

# 福島久保田遺跡 福島大光坊遺跡

主要地方道藤岡・大胡線地方特定道路整備事業に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告第2集

2003

群 馬 県 土 木 部

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



# 福島久保田遺跡 福島大光坊遺跡

主要地方道藤岡・大胡線地方特定道路整備事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告第2集

2003

群 馬 県 土 木 部  
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団





## 序

福島久保田遺跡、福島大光坊遺跡は佐波郡玉村町に所在し、主要地方道藤岡・大胡線地方特定道路整備事業に伴って発掘調査された遺跡です。

発掘調査は、群馬県土木部から委託を受け、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が平成8年度から実施しました。

今回の発掘調査により江戸時代から縄文時代にわたる生活の跡が年輪のように層をなして確認されました。

江戸時代は、火山災害や洪水などの自然災害に対する復旧の跡がみつきり、中世では溝に囲まれた館が姿をあらわし、さらに「文和五年」(1356年)の年号が刻まれた硯も発見されました。さらに、その下には平安時代や古墳時代の住居や水田もみつかっています。

これらの調査成果は、郷土群馬の歴史の重要な資料となるとともに、現在そして未来へ向けた古の人々からのメッセージともなります。

この報告書が、研究者、県民、そして学校教育における郷土学習にも大いに役立てていただけるものと確信しております。

最後になりましたが、群馬県教育委員会、群馬県土木部、同伊勢崎土木事務所、玉村町教育委員会、玉村町都市施設課、JA佐波伊勢崎並びに関係機関、地元関係者各位には終始ご協力を賜り、心より感謝の意を表し序といたします。

平成15年3月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団  
理事長 小野 宇三郎



# 例 言

1. 本書は、主要地方道藤岡・大胡線地方特定道路整備事業に伴い事前調査された福島久保田遺跡・福島大光坊遺跡の発掘調査報告書である。
2. 福島久保田遺跡は群馬県玉村町大字福島字久保田地内、福島大光坊遺跡は群馬県佐波郡玉村町大字福島字大光坊地内に所在する。
3. 事業主体 群馬県土木部（伊勢崎土木事務所）
4. 調査主体 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
5. 調査期間 福島久保田遺跡 平成9年4月1日～平成10年10月31日  
福島大光坊遺跡 平成8年11月1日～平成9年3月31日  
平成11年10月1日～平成12年3月31日
6. 整理期間 平成14年4月1日～平成15年3月31日
7. 調査・整理組織  
事務担当 菅野 清、小野宇三郎、原田恒弘、赤山容三、吉田豊、渡辺 健、住谷 進、神保佑史、水田 稔、能登 健、小河 淳、坂本敏夫、大島信夫、真下高幸、中東耕志、西田健彦、国定 均、井上 剛、小山建夫、笠原秀樹、須田朋子、吉田有光、柳岡良宏、宮崎忠司、岡島伸昌、森下弘美、片岡徳雄、大澤友治  
調査担当 福島久保田遺跡 斉藤利明、長岡将之、田中 雄  
福島大光坊遺跡 斉藤利明、遠藤俊爾、長岡将之（平成8年度）  
麻生敏隆、伊平 敬、石川雅俊、原 眞、村上章義（平成11年度）  
整理担当 原 雅信  
整理補助員 平林照美、下境マサ江、田中晩美、南雲素子、萩原由香  
遺物写真 佐藤元彦  
保存処理 関 邦一、土橋まり子、横倉知子  
土器実測 田中穂子、酒井史恵（器械実測班）
8. 発掘調査資料・出土遺物は群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。
9. 発掘調査及び報告書作成には以下の方々にご協力・ご指導いただいた。記して感謝の意を表します。  
石守 晃、伊平 敬、大木紳一郎、大西雅広、神谷佳明、斉藤利明、桜岡正信、関 明彦、友廣哲也、外山政子、三浦京子、村上章義、綿貫邦男
10. 本文執筆 縄文時代石器については麻生敏隆、Iは石川雅俊、以外 原が分担した。なお、発掘調査各担当者には随時助言を得ている。
11. 本書編集 原 雅信

## 凡 例

1. 本書における遺構名は算用数字を用いて表す。数字は調査の進行に従って便宜上付与しているため、いかなる順位を示すものではなく遺構固有名詞とする。
2. 本書の遺構図版中にある+印とそれに記される数値は国家座標に基づき設定した物である。詳細については、I-3に後述している。
3. 本書における遺構図には、それぞれ比例尺を付したが、基本的に次のようである。  
住居跡：1/60 掘立柱建物跡：1/80 井戸・墓・土坑・溝：1/40  
ただし、図によってはその限りではなく、異なる場合は各々スケールを付した。
4. 本書における遺物図版にはそれぞれに比例尺を付したが、基本的に次のようである。  
金属器・石器類の小型品：1/2 土器・陶器など：1/4 大型壺など：1/6 銭貨・石鏃：1/1  
ただし、図によってはその限りではなく、異なる場合は各々スケールを付した。
5. 本書における遺構図版中の断面基準は標高値で表した。単位はmである。
6. 各遺構図版中の遺物・遺物図版・遺物写真図版・遺物観察表に付された番号は同一である。
7. 土器の実測図は原則として四分画法をとった。ただし、残存量が二分の一以下の場合は180度展開して図上復元とし、中心線は点線で示した。
8. 遺物の撮影および展開・断面は基本的に一角方で示した。
9. 土器の色調は「標準土色調」農林省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究監修に準じた。
10. 本書で使用する浅間山および榛名山噴火による降下火砕物・泥流堆積物の呼称については以下のように表記する。

As-A : 浅間山噴出の火砕物 1783 (天明3) 年

As-B : 浅間山噴出の火砕物 1108 (天仁元) 年

FP泥流 : 榛名二ツ岳噴出の火砕物泥流堆積物

Hr-FP : 榛名二ツ岳噴出の火砕物

FA泥流 : 榛名二ツ岳噴出の火砕物泥流堆積物

Hr-FA : 榛名二ツ岳噴出の火砕物

As-C : 浅間山噴出の火砕物

# 目 次

序

例言

凡例

挿図目次

写真図版目次

報告書抄録

## I 発掘調査と遺跡の概要

1 調査に至る経過	1
2 周辺の歴史的環境	3
a 遺跡の立地	
b 周辺の遺跡	
3 調査の方法と経過	8
a グリッドの設定	
b 調査経過	
4 遺跡の概要	11

## II 発掘調査の成果

### 福島久保田遺跡

1 縄文時代の遺物	16
2 第7面の遺構と遺物	17
a 概要	
b 水田	
3 第4面の遺構と遺物	22
a 概要	
b 130号土坑	
c 住居	
d 土坑	
e 竪穴遺構	
f 井戸	
g 水田	
4 第3面の遺構と遺物	42
a 概要	
b 館	
c 掘立柱建物	
d 井戸	
e 墓	
f 土坑	
g ビット	
h 区画溝	
i グリッド出土遺物	
刻書硯について	
j 溝	
5 第2面の遺構と遺物	85
a 水田、溝	
6 第1面の遺構と遺物	86
a 火山灰復旧溝	
b 土坑	
c 溝	
d グリッド出土遺物	

### 福島大光坊遺跡

1 縄文時代の遺構と遺物	94
a 縄文時代の石器 麻生敏隆	
b 土坑	
2 第8面の遺構と遺物	96
a 概要	
b 土坑	
c 溝	
3 第7面の遺構と遺物	99
a 概要	
b 竪穴住居	
c 掘立柱建物	
d 柱穴列	
e 土坑	
f ビット	
g 井戸	
h 溝	
i 水田	
j 畑	
4 第6面の遺構と遺物	132
a 概要	
b 土坑	
c 柱穴列	
d 溝	
5 第5面の遺構と遺物	134
a 概要	
b 土坑	
c 溝	
d 畑	
6 第4面の遺構と遺物	140
a 概要	
b 水田	
c 土坑	
d 溝	
7 第3面の遺構と遺物	152
a 水田	
b ビット	
c 溝	
8 第2面の遺構と遺物	159
a 概要	
b 土坑	
c 溝	
d 水田	
e 畑	
9 第1面の遺構と遺物	165
a 概要	
b 畑	
c 復旧溝	
d 溝	
e グリッド出土遺物	

# 挿 図 目 次

第1図 遺跡位置図	1	第69図 溝	82	第137図 グリッド出土土遺物②	131
第2図 森岡大形線跡断面	2	第70図 11・14号溝出土土遺物	82	第138図 第6面全体図①	132
第3図 遺跡周辺地形図	3	第71図 第2面全体図①	83	第139図 第6面全体図位置図	132
第4図 周辺遺跡分布図	4	第72図 全体図位置図	83	第140図 2区7号土坑	133
		福 島 久 保 田 遺 跡		第141図 2区1・2号柱穴列	133
第5図 福島久保田遺跡グリッド設定図	10	第73図 第2面全体図②	84	第142図 2区26号溝	133
第6図 福島久保田遺跡グリッド設定図	10	第74図 1溝・3号溝、水田	85	第143図 第5面全体図①	134
第7図 グリッド出土土遺物(縄文時代)	16	第75図 第1面遺構配置図	86	第144図 第5面全体図位置図	134
第8図 第7面遺構配置図	17	第76図 第1面全体図①	87	第145図 第5面全体図②	135
第9図 第7面グリッド出土土遺物	18	第77図 全体図位置図	87	第146図 第5面全体図③	135
第10図 第7面全体図①	18	第78図 第1面全体図②	88	第147図 第5面全体図④	136
第11図 全体図位置図	18	第79図 第1面全体図③	89	第148図 土坑・ピット	136
第12図 第7面全体図②	19	第80図 第1面全体図④	89	第149図 2区11号溝・17号溝断面図	137
第13図 第7面全体図③	20	第81図 第1面全体図⑤	90	第150図 2区11・17号溝、4区18・19・20号溝	138
第14図 第7面水田断面図	21	第82図 第1面全体図⑥	91	第151図 2区19号溝、4区18・19・20号溝	138
第15図 第4面遺構配置図	22	第83図 As-A復旧溝断面図	91	第152図 3区19溝、4区18・20溝断面図	138
第16図 第4面全体図①	23	第84図 1号土坑	92	第153図 2区9号堀	139
第17図 全体図位置図	23	第85図 2・6号溝	92	第154図 2区水田断面図	139
第18図 第4面全体図②	24	第86図 グリッド出土土遺物	92	第155図 第4面全体図位置図	140
第19図 第4面全体図③	24	福 島 大 光 坊 遺 跡		第156図 第4面全体図①	140
第20図 第4面全体図④	25	第87図 6区41号土坑出土土遺物	95	第157図 第4面全体図②	141
第21図 第4面全体図⑤	26	第88図 グリッド出土土遺物	96	第158図 第4面全体図③	141
第22図 130号土坑出土土遺物①	27	第89図 第8面全体図位置図	97	第159図 第4面全体図④	142
第23図 130号土坑出土土遺物②	28	第90図 第8面全体図①	97	第160図 第4面全体図⑤	142
第24図 1号住居出土土遺物	29	第91図 第8面全体図②	97	第161図 グリッド出土土遺物	142
第25図 2号住居出土土遺物	30	第92図 第8面全体図③	97	第162図 ピット	143
第26図 5号住居出土土遺物	30	第93図 1区39・40号土坑、4区34号溝	98	第163図 2区12・21号溝	143
第27図 3号住居出土土遺物	31	第94図 第7面全体図位置図	99	第164図 2区13・14・15・16号溝	144
第28図 4号住居出土土遺物	32	第95図 第7面全体図①	100	第165図 8区・10区5号溝	146
第29図 7号住居出土土遺物	33	第96図 第7面全体図②	100	第166図 8区・10区5号溝出土土遺物	147
第30図 6号住居出土土遺物	34	第97図 第7面全体図③	101	第167図 10区溝、22・23号溝出土土遺物	147
第31図 土坑	35	第98図 第7面全体図④	101	第168図 2区水田断面図	148
第32図 土坑、128・136号土坑出土土遺物	36	第99図 第7面全体図⑤	101	第169図 3・6・7・9区水田断面図	149
第33図 2号竪穴	37	第100図 7区1号住居出土土遺物	103	第170図 第3面全体図位置図	150
第34図 3号竪穴	37	第101図 2区2号住居出土土遺物	103	第171図 第3面全体図①	150
第35図 3号竪穴出土土遺物	37	第102図 2区3号住居	104	第172図 第3面全体図②	151
第36図 1号井戸出土土遺物	38	第103図 2区4号住居出土土遺物	104	第173図 第3面全体図③	151
第37図 水田断面図	39	第104図 10区1号住居出土土遺物	105	第174図 グリッド出土土遺物	152
第38図 グリッド出土土遺物①	40	第105図 10区2号住居出土土遺物	106	第175図 2号土坑・ピット、出土土遺物	153
第39図 グリッド出土土遺物②	41	第106図 10区3号住居出土土遺物	106	第176図 8区・10区1号溝	154
第40図 第3面遺構配置図	42	第107図 10区4号住居出土土遺物	106	第177図 2区・10区・12区 溝	155
第41図 掘立柱建物①	45	第108図 10区5号住居出土土遺物	106	第178図 7区・9区9号溝・10号溝	156
第42図 掘立柱建物②	47	第109図 10区6号住居出土土遺物	106	第179図 2区10号溝①	157
第43図 掘立柱建物③	48	第110図 10区7号住居出土土遺物	107	第180図 2区10号溝②	158
第44図 掘立柱建物④	49	第111図 10区8号住居	107	第181図 2区水田断面図	158
第45図 掘立柱建物⑤	50	第112図 10区9号住居	107	第182図 第1面全体図位置図	159
第46図 掘立柱建物⑥	51	第113図 7区1号掘立柱建物出土土遺物	108	第183図 土坑・溝断面図	159
第47図 掘立柱建物⑦	52	第114図 7区2号掘立柱建物	109	第184図 第2面全体図①	160
第48図 柱穴列	52	第115図 2・6区柱穴列	112	第185図 第2面全体図②	160
第49図 井戸、2号井戸出土土遺物	53	第116図 土坑①	112	第186図 第2面全体図③	161
第50図 竊輪	54	第117図 土坑②	113	第187図 2区水田断面図	162
第51図 土坑①	61	第118図 土坑③	114	第188図 6区水田断面図	163
第52図 土坑②	62	第119図 土坑④	115	第189図 10区2号堀	164
第53図 土坑③	63	第120図 土坑出土土遺物①	116	第190図 第1面全体図位置図	165
第54図 土坑④	64	第121図 土坑出土土遺物②	116	第191図 第1面全体図①	165
第55図 土坑⑤	65	第122図 ビット①	118	第192図 第1面全体図②	166
第56図 土坑⑥	66	第123図 ビット②、55ビット出土土遺物	119	第193図 第1面全体図③	166
第57図 土坑⑦	67	第124図 8区1号井戸出土土遺物	120	第194図 第1面全体図④	167
第58図 土坑⑧	68	第125図 10区17号溝	121	第195図 第1面全体図⑤	167
第59図 土坑⑨	69	第126図 10区18号溝出土土遺物	122	第196図 2区1号溝①	168
第60図 土坑⑩	70	第127図 8区19号溝出土土遺物	123	第197図 2区1号溝②	169
第61図 土坑⑪	71	第128図 2・6区 溝	124	第198図 2区2号溝出土土遺物	170
第62図 北堀・南堀、11号溝断面図	75	第129図 2区24号溝出土土遺物	125	第199図 2区3・4号堀	171
第63図 ビット①	76	第130図 6区31号溝出土土遺物	125	第200図 2区5号堀	172
第64図 ビット②	77	第131図 溝①	126	第201図 6区・2区7号堀、10区復旧溝	173
第65図 グリッド出土土遺物	78	第132図 溝②、6区28号溝出土土遺物	127	第202図 9区 復旧溝、2・3号溝	174
第66図 刺青規 準規	79	第133図 2区大町溝、6区水田断面図	128	第203図 10区 復旧溝	175
第67図 溝全体図①	80	第134図 8区水田断面図	128	第204図 溝	176
第68図 溝全体図②	81	第135図 8区1・7区6号堀	129	第205図 グリッド出土土遺物	176
		第136図 グリッド出土土遺物①	130		

## 写真図版目次

## 福島久保田遺跡

PL.1	2区中世館を上空から望む		4区4号土坑土層断面	5区2区66号土坑(北から)
PL.2	1区2区4番を上空から望む		5区2区5号土坑(北から)	6区2区56号土坑土層断面
	2区2区7番を上空から望む		6区2区8号土坑土層断面	7区2区58号土坑土層断面
PL.3	1区2区1番水田(南東から)		7区2区6号土坑(東から)	8区2区59号土坑(北西から)
	2区2区7番水田調査状況	PL.18	8区2区6号土坑土層断面	9区2区61・62・64号土坑(北東から)
PL.4	1区2区3番南堀(船)		9区2区7号土坑(東から)	10区2区82号土坑土層断面
	2区2区3番南堀土層断面		10区2区7号土坑土層断面	PL.24
PL.5	1区2区3番北堀(船)		11区2区8号土坑(東から)	1区2区61号土坑土層断面
	2区2区3番北堀土層断面		2区2区8号土坑土層断面	3区2区63号土坑(北から)
PL.6	1区2区4番水田(北西から)		3区2区9号土坑(東から)	4区2区63号土坑土層断面
	2区2区4番水田(南東から)		4区2区9号土坑土層断面	5区2区64号土坑(南から)
PL.7	1区2区1面 空撮		5区2区11号・19号土坑(南から)	6区2区64号土坑土層断面
	2区2区1面 空撮		6区2区11号・19号土坑土層断面	7区2区土坑群(西から)
PL.8	1区2区大山丘復旧溝		7区2区12号土坑(南から)	8区2区65号土坑土層断面
	2区2区水田	PL.19	8区2区12号土坑土層断面	9区2区91号土坑土層断面
	3区2区火山丘復旧溝		9区2区13号土坑(北西から)	10区2区90・94・95号土坑(南から)
	4区洪水復旧溝		10区2区13号土坑土層断面	PL.25
	5区2区復旧溝掘削工具供		11区2区14号土坑(南から)	1区2区67・68号土坑(東から)
PL.9	1区2区1号住居(北から)		2区2区14号土坑土層断面	2区2区67・68号土坑土層断面
	2区2区1号住居カマド(南から)		3区2区15号土坑(南から)	3区2区69号土坑(南から)
	3区2区1号住居カマド(北から)		4区2区15号土坑土層断面	4区2区70・71号土坑(東から)
	4区2区1号住居カマド全景		5区2区16・23・25・27号土坑	5区2区72号土坑遺物出土状態
	5区2区1号住居カマド遺物出土		6区2区16号土坑土層断面	6区2区72号土坑土層断面
PL.10	1区2区2号住居(西から)		7区2区23号土坑土層断面	7区2区73号土坑(南から)
	2区2区2号住居(東から)	PL.20	8区2区26号土坑土層断面	8区2区73号土坑土層断面
	3区2区2号住居土層断面(東から)		9区2区17・69号土坑(北から)	9区2区74号土坑土層断面
	4区2区2号住居土層断面(東から)		10区2区17・69号土坑土層断面	10区2区76号土坑土層断面
	5区2区2号住居土層断面(東から)		1区2区土坑群(北から)	PL.26
PL.11	1区2区3号住居(北西から)		2区2区土坑群(東から)	1区2区76号土坑(南から)
	2区2区3号住居遺物出土状態		3区2区18・19・33号土坑土層断面	2区2区76号土坑土層断面
	3区2区3号住居遺物出土状態		4区2区29・31号土坑土層断面	3区2区77・78・79号土坑(北から)
	4区2区3号住居遺物出土状態		5区2区20号土坑(北から)	4区2区77・78号土坑土層断面
	5区2区3号住居遺物出土状態		6区2区20号土坑土層断面	5区2区85・100号土坑(西から)
PL.12	1区2区4号住居(西から)		7区2区34号土坑(南から)	6区2区85・100号土坑土層断面
	2区2区5号住居(西から)	PL.21	8区2区34号土坑土層断面	7区2区86・87号土坑(北から)
	3区2区6号住居(西から)		9区2区36・39号土坑(東から)	8区2区86・87号土坑土層断面
	4区2区90号土坑・3号井戸土層		10区2区39・44号土坑土層断面	9区2区88号土坑(北から)
PL.13	1区2区7号住居(西から)		1区2区41・42・47号土坑(南から)	10区2区88号土坑土層断面
	2区2区6号住居遺物出土状態		2区2区41・42号土坑土層断面	PL.27
	3区2区6号住居遺物出土状態		3区2区21号土坑(北から)	1区2区89号土坑(西から)
	4区2区90号土坑・3号井戸土層		4区2区21号土坑土層断面	2区2区89号土坑土層断面
PL.14	1区2区7号住居(西から)		5区2区22号土坑(南から)	3区2区90号土坑・3号井戸土層
	2区2区7号住居カマド遺物出土状態		6区2区22号土坑土層断面	5区2区98号土坑(東から)
	3区2区7号住居遺物出土状態		7区2区24・25号土坑土層断面	6区2区98号土坑土層断面
	4区2区7号住居遺物出土状態		8区2区28号土坑土層断面	7区2区99号土坑(北から)
	5区2区7号住居貯蔵穴	PL.22	9区2区27・84号土坑(東から)	8区2区99号土坑土層断面
PL.15	1区2区3号溝(西から)		10区2区84号土坑土層断面	9区2区101号土坑(西から)
	2区2区4号溝(西から)		1区2区43号土坑(南から)	10区2区101号土坑土層断面
	3区2区8号溝(東から)		2区2区43号土坑土層断面	PL.28
	4区2区9号溝(南西から)		3区2区48号土坑(西から)	1区2区103号土坑(北から)
	5区2区10号溝(北から)		4区2区48号土坑土層断面	2区2区103号土坑土層断面
	6区2区11号溝(東から)		5区2区49号土坑(北から)	3区2区123・104号土坑(西から)
PL.16	1区2区12号溝・13号溝(北西から)		6区2区49号土坑土層断面	4区2区104号土坑土層断面
	2区2区14号溝(南西から)		7区2区50号土坑(南東から)	5区2区107号土坑(南西から)
	3区2区17号溝(南西から)		8区2区50号土坑土層断面	6区2区107号土坑土層断面
	4区2区20号溝(西から)	PL.23	9区2区51号土坑(南から)	7区2区108号土坑(西から)
PL.17	1区2区2号土坑(西から)		10区2区51号土坑土層断面	8区2区109号土坑土層断面
	2区2区2号土坑遺物出土状態		1区2区52・54・55・58・92号土坑	9区2区111号土坑(北西から)
	3区2区4号土坑(北から)		2区2区52・54号土坑土層断面	10区2区111号土坑土層断面
			3区2区50号土坑土層断面	PL.29
			4区2区54号土坑土層断面	1区2区112号土坑・30ピット(南から)
			5区2区64号土坑土層断面	2区2区112号土坑土層断面
				3区2区113号土坑(北から)
				4区2区116号土坑土層断面
				5区2区114号土坑(北西から)

6	2区114号土坑土層断面	7	2区2号壑穴遺構	5	6区8号土坑(北から)
7	2区117号土坑(北から)	8	2区3号壑穴遺構	6	6区8号土坑土層断面
8	2区121・122号土坑土層断面	PL26	旧石器・縄文時代出土遺物	7	7区9号土坑(東から)
9	2区126号土坑(北西から)	PL37	グリッド、土坑出土遺物	8	7区9号土坑土層断面
10	2区129号土坑土層断面	PL38	住居出土遺物	PL49	1区10号土坑(南から)
PL30	1 2区128・129号土坑(南から)	PL39	住居、土坑、壑穴、井戸 グリッド出土遺物	2	7区10号土坑土層断面
2	2区129号土坑遺物出土状態	PL40	グリッド、井戸、清土遺物	3	10区10号土坑(南から)
3	2区129号土坑遺物出土状態			4	10区10号土坑土層断面
4	2区129号土坑遺物出土状態			5	7区11号土坑(南から)
5	2区130号土坑(東から)			6	10区11・12号土坑(西から)
6	2区130号土坑遺物出土状態			7	7区12号土坑(西から)
7	2区130号土坑土層断面			8	7区12号土坑土層断面
8	2区130号土坑遺物出土状態			PL50	1 7区13号土坑(南から)
9	2区131号土坑土層断面			2	7区13号土坑土層断面
10	2区134号土坑(北から)			3	10区13号土坑(西から)
PL31	1 2区133号土坑(西から)	PL42	1 1区4号水田(南から)	4	7区13号土坑(北から)
2	2区133号土坑土層断面	2	1区4号水田(北から)	5	7区14号土坑(北から)
3	2区136号土坑遺物出土状態	3	2区4号水田	6	7区14号土坑土層断面
4	2区136号土坑土層断面	4	2区4号水田	7	10区14号土坑(西から)
5	2区138号土坑土層断面	5	2区4号水田	8	10区14号土坑土層断面
6	2区139号土坑土層断面	6	7区4号水田	PL51	1 10区15号土坑(南から)
7	2区5号ピット(南から)	7	7区4号水田	2	10区15号土坑土層断面
8	2区9・10号ピット(南から)	8	7区4号水田(南から)	3	7区16号土坑(西から)
9	2区12号ピット(南東から)	PL43	1 2区3号水田(東から)	4	7区16号土坑土層断面
10	2区13号ピット(南から)	2	2区3号水田(北から)	5	7区17号土坑(東から)
PL32	1 2区15号ピット(南西から)	PL44	1 7区1号住居(西から)	6	7区17号土坑土層断面
2	2区16号ピット(南から)	2	7区1号住居掘り方(西から)	7	7区18号土坑・32号ピット
3	2区18・19号ピット(南から)	3	10区1号住居(西から)	8	7区18号土坑・32号ピット断面
4	2区21号ピット(南から)	4	10区1号住居掘り方(西から)	PL52	1 7区19号土坑(北から)
5	2区25・25号ピット(南から)	5	7区2号住居掘り方(西から)	2	7区19号土坑土層断面
6	2区27号ピット(西から)	6	10区2号住居(南から)	3	7区20号土坑土層断面
7	2区28号ピット(南から)	7	2区3号住居掘り方(西から)	4	7区21号土坑土層断面
8	2区29・30号ピット(南から)	8	10区3号住居掘り方(西から)	5	2区23号土坑(西から)
9	2区32・33・35号ピット(南から)	PL45	1 2区4号住居(西から)	6	2区23号土坑土層断面
10	2区40号ピット(南東から)	2	10区4号住居(西から)	7	2区27号土坑(西から)
PL33	1 2区41号ピット(東から)	3	10区4号住居(西から)	8	2区24号土坑土層断面
2	2区48号ピット(南から)	4	10区5号住居カマド掘り方	PL53	1 2区25・31号土坑(東から)
3	2区50号ピット(南から)	5	10区6号住居(北から)	2	2区25号土坑土層断面
4	2区54・55号ピット(南西から)	6	10区7号住居(西から)	3	2区26号土坑(南から)
5	2区57・58号ピット(南西から)	7	10区8号住居掘り方	4	10区27・28号土坑(南から)
6	2区59号ピット(南から)	8	10区9号住居掘り方	5	7区29号土坑(南から)
7	2区62号ピット(南から)	PL46	1 2区1号土坑(東から)	6	7区29号土坑土層断面
8	2区65・66・67号ピット(南から)	2	2区1号土坑土層断面	7	2区30号土坑(西から)
9	2区69・87号ピット(南から)	3	2区2号土坑	PL54	1 6区33号土坑(西から)
10	2区73号ピット(南から)	4	10区4号土坑土層断面	2	6区33号土坑土層断面
PL34	1 2区76号ピット(西から)	5	7区3号土坑(北から)	3	2区34号土坑(北から)
2	2区77号ピット(南東から)	6	7区3号土坑土層断面	4	2区34号土坑土層断面
3	2区82号ピット(南から)	7	12区3号土坑(西から)	5	2区35号土坑(東から)
4	2区89号ピット(南から)	8	12区3号土坑土層断面	6	1区38号土坑(北から)
5	2区90号ピット(東から)	PL47	1 2区4号土坑(東から)	7	1区36号土坑土層断面
6	2区93号ピット(南から)	2	2区4号土坑土層断面	8	1区36号土坑土層断面
7	2区94・95・96号ピット(南西から)	3	2区5号土坑(南から)	PL56	1 1区37号土坑(北から)
8	2区104号ピット(南から)	4	2区5号土坑土層断面	2	1区37号土坑土層断面
9	2区112号ピット(西から)	5	10区5号土坑土層断面	3	1区39号土坑(東から)
10	2区83・84・85・86号ピット	6	10区7号土坑土層断面	4	1区39号土坑土層断面
PL35	1 1区1号井戸(東から)	7	2区6号土坑(西から)	5	1区40号土坑(北から)
2	2区2号井戸(東から)	8	2区6号土坑土層断面	6	1区40号土坑土層断面
3	2区1号墓塚(東から)	PL48	1 10区6号土坑(北西から)	7	6区41号土坑(北から)
4	2区1号墓塚掘り方(東から)	2	10区6号土坑土層断面	8	6区41号土坑土層断面
5	2区2号墓塚(西から)	3	2区7号土坑(東から)	PL56	1 2区42号土坑(南から)
6	2区2号墓塚(北から)	4	2区7号土坑土層断面	2	2区42号土坑土層断面

### 福島大光坊遺跡



	3 2区1号ピット (南から)		8 7区22号ピット土層断面		6 10区5号溝 (東から)
	4 2区1号ピット土層断面	PL64	1 10区22号ピット土層断面		6 3区6号溝 (東から)
	5 9区1号ピット (南から)		2 10区23号ピット土層断面		7 2区8号溝 (東から)
	6 9区1号ピット土層断面		3 7区23号ピット (西から)		8 9区8号溝 (東から)
	7 10区1号ピット (南から)		4 7区23号ピット土層断面	PL72	1 9区6号溝 (西から)
	8 10区1号ピット土層断面		5 7区24号ピット (南から)		2 9区7号溝 (西から)
PL57	1 10区2号ピット (南から)		6 7区24号ピット土層断面		3 7区9号溝 (南から)
	2 10区2号ピット土層断面		7 7区25号ピット (東から)		4 6区7号溝 (北から)
	3 2区3号ピット (東から)		8 7区25号ピット土層断面		5 2区11-17号溝 (南から)
	4 2区3号ピット土層断面	PL65	1 10区25号ピット土層断面	PL73	1 2区10号溝 (北から)
	5 10区3号ピット (南から)		2 10区26号ピット土層断面		2 1区13-14号溝 (南から)
	6 10区3号ピット土層断面		3 7区27号ピット (北から)		3 9区14-15-16号溝 (南から)
	7 2区4号ピット (南から)		4 7区27号ピット土層断面		4 8区11号溝 (北東から)
	8 2区4号ピット土層断面		5 7区31号ピット (西から)		5 1区12号溝 (東から)
PL58	1 2区5号ピット (南から)		6 10区31号ピット土層断面		6 10区13号溝 (西から)
	2 2区5号ピット土層断面		7 2区34号ピット (東から)		7 1区15-16号溝 (東から)
	3 10区5号ピット (南から)		8 2区34号ピット土層断面	PL74	1 8区17号溝 (北から)
	4 10区5号ピット土層断面	PL66	1 2区35号ピット (東から)		2 10区19号溝 (東から)
	5 2区6号ピット (南から)		2 2区35号ピット土層断面		3 10区21-22-23号溝 (東から)
	6 10区6号ピット (南から)		3 2区36号ピット (東から)		4 3区19号溝 (南から)
	7 2区7号ピット (南から)		4 2区36号ピット土層断面		5 12区20号溝 (西から)
	8 2区7号ピット土層断面		5 2区37号ピット (南から)		6 1区21号溝 (東から)
PL59	1 10区7号ピット (南から)		6 2区37号ピット土層断面		7 2区24号溝 (東から)
	2 10区7号ピット土層断面		7 10区29号ピット (南から)	PL75	1 10区24号溝 (東から)
	3 10区8号ピット (南から)		8 7区38号ピット (西から)		2 2区25号溝 (東から)
	4 10区8号ピット土層断面	PL67	1 7区40号ピット (東から)		3 2区26号溝 (西から)
	5 7区8号ピット (南から)		2 7区40号ピット土層断面		4 6区28号溝 (北から)
	6 10区10号ピット土層断面		3 6区41-54号ピット (南から)		5 2区30号溝 (北から)
	7 7区9号ピット (南から)		4 6区42号ピット土層断面		6 6区31-32号溝 (西から)
	8 7区9号ピット土層断面		5 6区42-43号ピット (南から)		7 10区37-38号溝 (南から)
PL60	1 10区9号ピット (南から)		6 6区43号ピット土層断面	PL76	1 10区27号溝 (西から)
	2 10区9号ピット土層断面		7 7区46号ピット (南から)		2 12区28号溝 (南から)
	3 7区10号ピット (南から)		8 7区46号ピット土層断面		3 2区29号溝 (西から)
	4 7区10号ピット土層断面	PL68	1 2区47号ピット遺物出土状態		4 10区29号溝 (西から)
	5 6区11号ピット (南から)		2 6区54号ピット土層断面		5 10区31号溝 (北西から)
	6 6区11号ピット土層断面		3 2区48-49-50号ピット (南から)		6 10区37号溝 (北から)
	7 10区11号ピット (南から)		4 2区48-49-50号ピット土層断面	PL77	1 2区1号溝 (東から)
	8 10区11号ピット土層断面		5 2区53号ピット (南から)		2 8区1号溝 (東から)
PL61	1 7区12号ピット (南から)		6 2区53号ピット土層断面		3 2区2号溝 (南から)
	2 7区12号ピット土層断面		7 2区56号ピット (東から)		4 2区2号溝 (南から)
	3 10区12号ピット (南から)		8 2区56号ピット土層断面		5 10区2号溝 (北から)
	4 10区12号ピット土層断面	PL69	1 2区57号ピット (南から)		6 2区3号溝 (南から)
	5 2区13号ピット遺物出土状態		2 2区57号ピット土層断面		7 2区4号溝 (南から)
	6 10区15号ピット (南から)		3 2区58号ピット (南から)		8 6区5号溝 (北から)
	7 6区14号ピット (南から)		4 2区58号ピット土層断面	PL78	1 4区6号溝 (東から)
	8 6区14号ピット土層断面		5 2区59-60号ピット (北から)		2 2区7号溝 (東から)
PL62	1 6区15号ピット (南から)		6 2区59-60号ピット土層断面		3 7区1号掘立柱建物 (南から)
	2 6区15号ピット土層断面		7 2区61-62号ピット (東から)		4 7区2号掘立柱建物 (南から)
	3 6区16号ピット (南から)		8 2区61号ピット土層断面		5 6区3号柱穴列 (西から)
	4 6区16号ピット土層断面	PL70	1 2区62号ピット土層断面		6 6区3号柱穴列土層断面
	5 6区17号ピット (南から)		2 2区63号ピット土層断面		7 10区1号井戸-8号土坑 (南から)
	6 6区17号ピット土層断面		3 1区64号ピット (東から)		8 10区1号井戸土層断面
	7 7区18号ピット (南から)		4 1区64号ピット土層断面	PL79	住居、掘立柱建物出土遺物
	8 7区19号ピット土層断面		5 2区66号ピット (南から)	PL80	土坑出土遺物
PL63	1 7区19号ピット (西から)		6 2区66号ピット土層断面	PL81	ピット、井戸出土遺物
	2 7区19号ピット土層断面		7 2区65号ピット (南から)	PL82	グリッド出土遺物
	3 10区19-20号ピット (東から)		8 2区72号ピット土層断面	PL83	溝、畑、グリッド遺物
	4 10区20号ピット土層断面	PL71	1 6区1号溝 (西から)		
	5 10区21号ピット (南から)		2 9区2-3号溝 (東から)		
	6 10区21号ピット土層断面		3 7区4号溝 (東から)		
	7 7区22号ピット (西から)		4 8区5号溝 (東から)		

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	ふくしまくぼたいせき・ふくしまだいこうほういせき
書名	福高久保田遺跡・福高大光坊遺跡
副書名	主要地方道藤岡・大胡線地方特定道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告
巻次	第2集
シリーズ名	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告
シリーズ番号	第317集
編集者	原 雅信
編集機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒377-8555 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784-2 TEL0279-52-2511
発行年月日	西暦2003年3月28日

ふりがな 所収遺物名	所在地	コード		北緯 東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号				
ふくしまくぼたいせき 福高久保田遺跡	佐波郡 玉村町			36° 18' 17" 139° 7' 45"	1998年4月 ～2000年8月	8,250m <sup>2</sup>	藤岡・大胡線 道路整備
ふくしまだいこうほう 福高大光坊遺跡	大字福 島			36° 18' 4" 139° 7' 44"	1996年11月 ～2000年3月	8,500m <sup>2</sup>	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
福高久保田遺跡	集落	古墳・平安	竪穴住居・土坑・溝	土師器・須恵器・灰軸陶器	刻書硯
		中世	竪立柱建物・墓・井戸・土坑・墓	陶磁器	
	生産跡	古墳・平安	水田	土師器・須恵器・灰軸陶器	
		中世			
	近世	災害復旧溝			
福高大光坊遺跡	集落	古墳・平安	竪穴住居・土坑・溝	土師器・須恵器・灰軸陶器	
		縄文	土坑	縄文土器	
	生産跡	古墳・平安	水田	土師器・須恵器・灰軸陶器	
		中世・近世			
		古墳・近世	畑		
近世	災害復旧溝	陶器・古銭・煙管			

## I. 発掘調査と遺跡の概要

### 1. 調査に至る経過

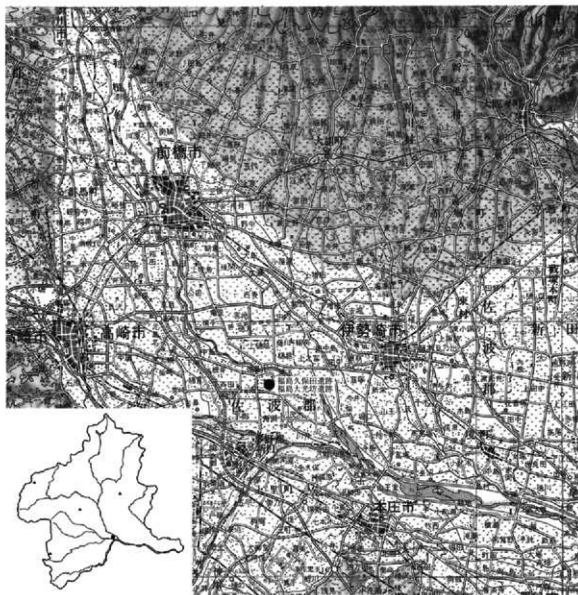
県道藤岡大胡線は、藤岡市本郷を起基点とし大胡町大胡を終点とする延長23kmの幹線道路である。本道は、玉村町福島橋において高崎伊勢崎線、前橋玉村線と交差し、高崎市、前橋市、伊勢崎市、藤岡市とを結ぶ都市間連絡道路でもある。しかし、本路線の玉村町福島橋付近は、通勤帰宅時には、慢性的な交通渋滞をきたし、その対策、加えて安全な交通環境の整備が強く望まれていた。

このような状況の下、玉村町上飯島から国道354号線の玉村町上飯島までを新しい橋「玉村大橋」を

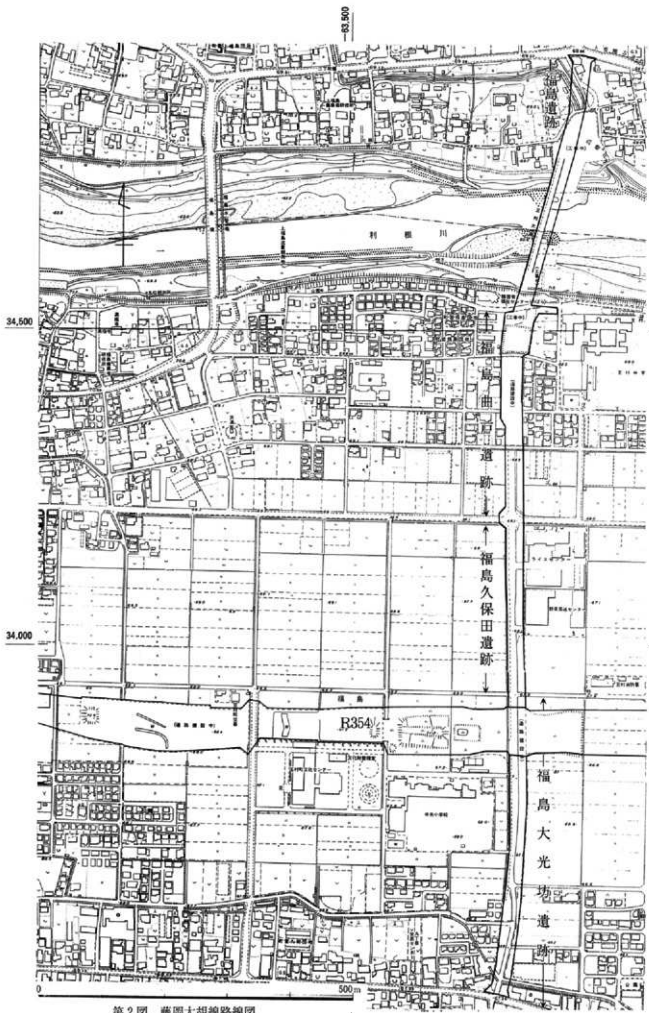
建設し整備しようという事業が県土木部により計画・実施されることとなった。

路線内の埋蔵文化財については、発掘調査に先立つ試掘調査の結果に基づき、利根川階及び堤防下を除く路線内が全面発掘を要する遺跡包蔵地とされた。

調査は、平成8・11年度に福島大光坊遺跡、平成9年度に福島久保田遺跡、平成10年度に福島曲戸遺跡を調査し、平成12年度には利根川右岸の発掘調査を終了、平成13年度には、利根川左岸の上福島遺跡を調査し、全線の発掘調査を終了した。



第1図 遺跡位置図(国土地理院 1/200,000「宇都宮・長野」使用)



第2圖 藤岡大胡線路線圖

## 2. 周辺の歴史的環境

### a. 遺跡の立地

福島久保田遺跡、福島大光坊遺跡は、群馬県佐波郡玉村町大字福島字久保田、字大光坊境内に所在する。位置は福島久保田遺跡が北緯36°18'17"、東経139°7'45"付近、福島大光坊遺跡が北緯36°18'4"、東経139°7'44"付近、標高67mである。

遺跡の所在する玉村町は、群馬県の南端部に位置し、神流川や烏川・利根川を隔てて、東は伊勢崎市、西は高崎市、南は藤岡市・新町、埼玉県上里町・本庄市、北は前橋市と接している。

この地域からの眺望は、東から南東方向は関東平野の水田地帯が広がり、南方には秩父山地・関東山地。西方には、観音山丘陵から遠くに妙義山・浅間山を臨む。北西部には榛名山の外輪山が連なり、中央部の中腹より「相馬ヶ原」と呼ばれる扇状地が見える。北方には近年完成した群馬県庁舎が聳え、その奥に榛名山・赤城山の裾野が望み、その間に子持山、更に奥に谷川岳が見える。北北東には裾野の長い赤城山、右奥に日光から足尾山地の山並みが続く。

前橋台地の南端部に立地する玉村町は、低湿地と微高地の違いによる多少の高低差があるものの、全体的には北西から南東方向に緩やかに傾斜する平坦な地形である。南端部は烏川の浸食により一部急崖となっている。河川の影響を受けて形成された地形である。

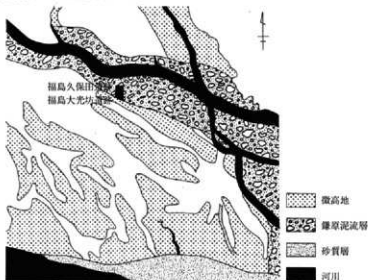
洪積世後期、利根川によって運ばれた河成堆積物は、前橋市北部を要とした扇状地形を形成し、地下100m程の厚さで砂礫層を残している。さらに、約24,000年前には浅間山の噴火による泥流堆積物が極めて短期間に、この扇状地を覆い尽くした。凝灰角礫岩を含むこの地層は前橋泥流堆積物層と呼ばれ、西は群馬県南部から高崎市北・東部の平野へ広がり、東は前橋市の東北部から伊勢崎市西部にかけて厚さ10m以上堆積しており、烏川と広瀬川とに挟まれた県央

の平野地域の基盤層となっている。

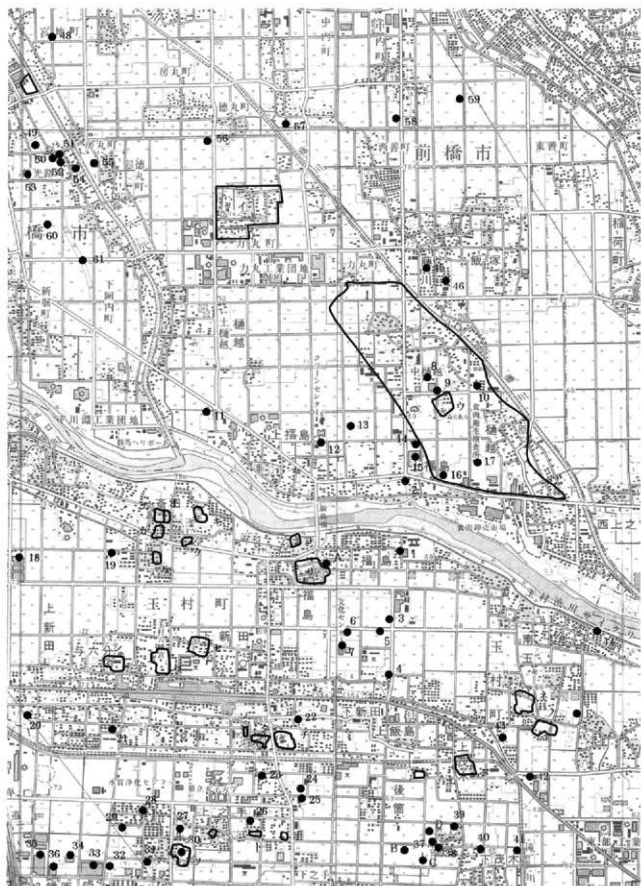
この前橋泥流堆積物層の上には、シルト・粘土・砂・泥炭層などによって構成される水成ローム層が堆積している。シルト・泥炭層は水中や湿潤な環境で形成されることから、この時期の前橋台地が湿原状態であったと考えられる。自然科学分析によると、水成ローム層に含まれる泥炭質粘土層は約13,000年前という測定値を示し、現在の1000~1500mの山岳地帯落葉樹林帯を形成する植生が推定できることからウルム氷期に比定されている。

こうして形成された前橋台地は、洪積世後期以降、河川による浸食を免れ沖積地化が進んだが、利根川をはじめとする大小河川が台地上を流路定めずに流れていたため、他の台地とは異なりロームの堆積が殆ど見られない。利根川は中世に至るまで幾度となくその流路を変え、これに影響されるように小河川は前橋台地を刻み続け、後背湿地と微高地とが複雑に入り組んだ地形を形成した。

現在の利根川は、中世の変流後幾度も洪水を引き起こし、天明3(1783)年浅間山噴火の際にはその泥流がこの地域まで達し、多大な被害を及ぼしている。近年でも昭和22年にはキャサリン台風の直撃を受け、大きな被害を被っている。発掘調査によっても、このような自然的営力の影響を受けた痕跡を確認している。この遺跡は利根川右岸の、この泥流上に立地している。



第3図 遺跡周辺地形模式図  
(群馬県史参照)



第4図 周辺遺跡分布図(国土地理院1:25,000「高崎」「前橋」「大胡」「伊勢崎」使用)

## b、周辺の歴史的環境

**旧石器** 現在の地形が形成されたのが2万数千年前で、しかも低湿地であった為、人間が居住できる環境ではなかった。故に遺跡は全く発見されていない。

**縄文時代** 玉村町では縄文時代前期後半の遺構が現在確認されていない。遺物では、草創期、早期なども出土していることから、より古い時期の遺構の存在も予想される。遺跡は数少ない台地の緑辺部に僅かに認められる程度で、集落の確認には至っていない。前橋台地は依然として湿潤な状態が続いていたことから、居住地としての環境には、あまり適していなかったことも考えられる。

**弥生時代** 縄文時代と同様な様相を呈し、遺跡は少ない。上福島に所在する一万田遺跡では弥生後期の再葬墓が確認されており集落が存在する可能性もある。隣接する前橋台地の緑辺部では中・後期の遺跡が確認され、特に西側の井野川流域は県内で最も弥生文化が進展した地域である。しかし、玉村町の弥生時代遺跡は、極限られた時期に限られた地域に認められるに過ぎない。

**古墳時代** 4世紀初頭、県内では東海地方の影響を受けた集落遺跡が出現する。遺跡の所在する玉村町地域では、烏川流域の下郷を中心として、隣接する下斉田・八幡原・若宮などに濃密に分布している。弥生時代に栄えた高崎市北部と隣接し深い関わりを推測させる。また、そこから烏川流域に沿って角淵・川井まで分布する。利根川流域では、安定した分布は認められないが、越後や福島周辺に小規模な集落が出現したものみられる。4世紀後半頃、低地に水田を開き、周辺の微高地に集落を拡大する。

**奈良・平安時代** 6・7世紀に「佐味君」という在地豪族の支配権にあったと推測されている当地域は、奈良時代以降律令制下において中央集権国家が確立されていく中、上野国那波郡に属し、公地公民制による支配体制に組み込まれていった。承平5（935）年に成立した「和名類聚抄」によれば、那波郡には七つの郷名が記されている。その内、当遺跡は佐味郷か賴田郷にあたると考えられるが、どちらかに比

定することは現在のところ特定できない。集落遺跡は、微高地上に数多く存在する。また、天仁元（1108）年浅間山の噴火に伴う、降下軽石に埋没した水田が低地を中心に存在するが、集落と重なる部分が多くあり、当時の水田が集落域にも開発を広げていた様子が確認されている。12世紀に玉村保・玉村御厨が存在しており、これらの大開発が、在地開発領主の私領形成と中央貴族・寺社の直轄地確保とが結びついて、私的大土地所有制を確立していった結果であると考えられる。特殊な遺跡として、当遺跡の利根川を挟んで北側に都衡の要素を持った一万田遺跡、その北東には東山道が検出された砂町遺跡がある。

**中世** 天仁元（1108）年浅間山の噴火により災害に遭った人々は、A-Bを働きこみ再び活動を開始し、古代の条里地割りを踏襲した水田区画を作る。微高地には周囲に溝を巡らせ、内部に掘立柱建物群の立ち並ぶ屋敷が出現し始める。

このような遺構は環濠遺構群として前橋南部地域から玉村地域にかけてその存在が多数確認されている。この頃に広瀬川低地帯を流れていた利根川が現在の位置に流路を変える。

**近世** 利根川変流以降、この地域は度重なる水害に遭い、前橋市公田町から佐波郡玉村町にかけて洪水砂を何層も確認している。繰り返された洪水層下からは、その都度水田が作り直された様子が確認でき、洪水層中から複数の水田が検出された。天明3（1783）年浅間山が噴火し、この地にも大量の火山灰を降らせた。人々は火山灰を除去するため溝を掘って灰を埋め込んだり、農地の外に灰掻き山にしたりする等して復旧作業を行った。利根川に接する部分では、この天明泥流を埋没させた復旧溝も確認された。尚、福島曲戸遺跡の対岸に位置する上福島町町遺跡では、この泥流に埋没する屋敷が確認された。

### <参考文献>

1. 『玉村町史』通史編上巻1992
2. 『玉村の遺跡』玉村町教育委員会1992
3. 『下阿内老町遺跡 下阿内前田遺跡』群書類文2001
4. 『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』群書類文2001

周辺の遺跡一覧表

番号	遺跡名	所在地	遺跡の概要	参考文献等
1	福島曲戸遺跡	玉村町福島	古墳前期住居。Hr-FPA混成下木田。平安住居。As-B下木田。中世木田。近世水田。近世災害復旧遺構。	田 報告書2002
2	福島久保田遺跡	玉村町福島	古墳前期住居。Hr-FPA下木田。平安住居。As-B下木田。中世炭焼・水田。近世水田。近世災害復旧遺構。	本書
3	福島大光坊遺跡	玉村町福島	古墳前期住居・倉。Hr-FPA下木田。平安住居。As-B下木田。中世木田。近世水田。近世災害復旧遺構。	本書
4	福島大島遺跡	玉村町福島	Hr-FPA下木田・Hr-FPA上木田・Hr-PP下木田。平安住居。As-B下木田。中世炭焼。	田 『年報』16・17
5	福島飯塚遺跡	玉村町福島	古墳前期周溝墓。As-C混成木田・Hr-FPA下木田・Hr-PP下木田。平安大塚。住居。棚立。As-B下木田。中世炭焼。水田。近世災害復旧遺構。	田 『年報』18・19
6	福島稲荷木遺跡	玉村町福島	古墳住居。奈良・平安住居。	玉 調査1991 『玉村町の遺跡』
7	松原日遺跡	玉村町福島	古墳・奈良・平安・中世・古墳土塔。溝。	玉 調査1988 『玉村町の遺跡』
8	松原日遺跡	玉村町福島	古墳・平安・中世・古墳土塔。水田。溝。	玉 調査1991 『玉村町の遺跡』
9	草成遺跡	玉村町福島	古墳前期溝。平安住居。	玉 報告1998
10	新田日遺跡	玉村町福島	奈良・平安住居。As-B下木田。江戸層。水田。	玉 報告1992
11	金免遺跡	玉村町上福島	As-B下木田。	玉 報告1991
12	赤崎遺跡	玉村町上福島	縄文中期新石器。古墳前期溝。古墳直路。As-B下木田。	玉 調査1990-1991 田 『年報』18
13	尾崎町B遺跡	玉村町上福島	近世築瓦土塔。溝。	玉 報告1992
14	尾崎町遺跡	玉村町上福島	As-B下木田。	玉 報告1992
15	一方田遺跡	玉村町上福島	弥生後期再葬墓。平安住居・棚立・横列。江戸層。	玉 調査1991 『玉村町の遺跡』
16	榎ノ入遺跡	玉村町上福島	奈良・平安住居。棚立。As-B下木田。	玉 報告1992
17	中道川遺跡	玉村町新田	As-B下木田。	玉 調査1998
18	道明遺跡	玉村町新田	As-B下木田。	玉 調査1988 『玉村町の遺跡』
19	上新田地区遺跡群	玉村町新田	As-B下木田。	玉 報告1997
20	南車跡地遺跡	玉村町新田	平安中井。土塔。溝。	玉 報告1989
21	八条南遺跡	玉村町新田	As-B下木田。	玉 調査1991 『玉村町の遺跡』
22	中袋遺跡	玉村町上之平	As-B下木田。平安中井。土塔。	玉 報告2000
23	南田遺跡	玉村町上之平	平安中井。舟形。溝。	玉 報告1999
24	南田日遺跡	玉村町上之平	As-B下木田。	玉 報告1999
25	上之平野遺跡	玉村町上之平	奈良・平安住居。	玉 調査1991 『玉村町の遺跡』
26	中塚遺跡	玉村町上之平	平安木田。住居。	玉 調査1991 『玉村町の遺跡』
27	上之平八王子遺跡	玉村町上之平	古墳前期住居。奈良・平安住居。棚立。As-B下木田。中世炭。	玉 報告1991
28	上之平地区遺跡群(1)	玉村町上之平	As-B下木田。平安棚立。土塔。溝。	玉 報告1999
29	上之平塚田遺跡	玉村町上之平	中世屋敷。	玉 調査1988 『玉村町の遺跡』
30	行人塚V遺跡	玉村町上之平	奈良・平安住居。溝。土塔。	玉 報告2001
31	上之平地区遺跡群(2)	玉村町上之平	平安棚立。土塔。溝。	玉 報告1999
32	宇屋遺跡	玉村町上之平	古墳前期住居。奈良・平安住居。棚立。中世炭立。舟形。土塔墓。	玉 報告1998
33	赤城日遺跡	玉村町八幡取	古墳土塔。平安土塔。	玉 報告1983
34	八幡町赤城遺跡	玉村町八幡取	As-B下木田。	玉 調査1989 『玉村町の遺跡』
35	八幡町赤城V遺跡	玉村町八幡取	奈良住居。As-B下木田。中世炭立。舟形。籠。	玉 報告2000
36	神明日遺跡	玉村町上茂木	As-B下木田。	玉 調査1987 『玉村町の遺跡』
37	神明遺跡	玉村町上茂木	As-B下木田。	玉 調査1986 『玉村町の遺跡』
38	萬川南遺跡	玉村町上茂木	古墳住居。平安住居。As-B下木田。	玉 報告1999
39	下茂木地区(遺跡群)	玉村町上茂木	平安中井。As-B下木田。	玉 報告1999
40	下茂木地区(遺跡群)	玉村町上茂木	As-B下木田。	玉 報告1999
41	十土上V遺跡	玉村町上茂木	As-B下木田。	玉 報告2000
42	十土堂宮遺跡	玉村町南玉	平安住居。	玉 調査1991 『玉村町の遺跡』
43	新保日遺跡	玉村町下之宮・南	As-A下木田・土手。	報告書1998
44	藤田前遺跡	玉村町藤田	As-B下木田。	玉 報告1993
45	前溝遺跡	玉村町藤田	As-B下木田。	玉 報告2000
46	東田遺跡	南城市下飯島町	古墳時代前期の土師器出土。	南市 調査1990
47	宮地中田遺跡	南城市宮地町	As-B下木田。	南市 報告1997
48	西田日遺跡	南城市龍光跡町	As-B下木田。	南市 調査1998
50	西田日遺跡	南城市龍光跡町	縄文中期新石器。古墳前期の有矢土須器。古墳溝。土塔。As-B下木田。棚立。中・近世の溝。	南市 報告書1999
51	西田IV遺跡	南城市龍光跡町	As-B下木田。中・近世の溝。	南市 報告書1999
52	西田遺跡	南城市龍光跡町	As-B下木田。	南市 報告書1996
53	西田遺跡	南城市龍光跡町	古墳時代(Cs-C混成下木田。Hr-FPA下木田。平安住居。As-B下木田。江戸土城墓。	田 『年報』17・18
54	龍丸路環溝遺跡	南城市龍光跡町	平安住居。独立建物。As-B下木田。中世炭焼。	田 『年報』17・18
55	龍丸塚遺跡	南城市龍光跡町	古墳前期住居。平安時代As-B下木田。中世炭焼。	田 『年報』17・18
56	龍丸神田遺跡	南城市龍光跡町	縄文中期新石器。有矢土須器。有矢土須器。古墳前期住居。水跡。As-C混成下木田。平安住居。棚立。中世炭焼。	田 『年報』17・18
57	西善尺司遺跡	南城市西善町	縄文土器ブツク。古墳前期周溝墓。Hr-FPA下木田。	田 報告書2001
58	中内村前遺跡	南城市中内町	奈良・平安中井住居。As-B下木田。中世炭焼。大葬墓。	田 『年報』17・18
59	前田遺跡	南城市東善町	平安住居。As-B下木田。中世炭焼。	田 『年報』18
60	下河内(宮)遺跡	南城市下河内町	古墳住居。Hr-FPA下木田。As-B下木田。近世災害復旧遺構。	田 報告書2001
61	下河内(宮)遺跡	南城市下河内町	As-C混成木田。As-B下木田。近世災害復旧遺構。	田 報告書2001
A	天降古墳	玉村町福島	規模30m前後	玉村町遺跡古墳群
B	塚原山古墳	玉村町南島	径約40m、高さ約6mの墳丘残存。墳形不明。4世紀後半と推定。上毛古墳群。	昭和61年市立博物館年報
C	玉村町第3号	玉村町南島	環状水田。	昭和41年群馬大学調査 上毛古墳群
D	麻塚(芝樹村第10号)	玉村町上茂木	環状塚。木刀・刀子・鉄器・金銀・埴輪・土師器・薬器出土。昭和41年調査	上毛古墳群発掘6札 玉 調査1976
E	社宮山古墳	玉村町南玉	規模41m前後	玉 調査1991



番号	遺跡名	所在地	遺跡の概要	参考文献等
ア	原阿内古城	熊本市鶴里町	文明9(1447)年、土料御宇築城。	
イ	方丸城	熊本市方丸町	15-16世紀方丸氏の居城。近年破壊。	
ウ	阿佐美館	玉村町藤橋	中世館跡。現状宅地。礎。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
エ	青田内屋敷	玉村町青田	中世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
オ	青田東屋敷	玉村町青田	中世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
カ	堀田屋敷	玉村町青田	中世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
キ	田口下屋敷	玉村町青田	中世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
ク	田村屋敷	玉村町青田	中世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
ケ	石巻屋敷	玉村町青田	中・近世館跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
コ	宇津木館	玉村町福島	中世屋敷跡。現状宅地。	玉村町史蹟調査報告
サ	福島館	玉村町福島	中世館跡。現状宅地。礎。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
シ	外六屋敷	玉村町与六分	近世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
ス	星村八幡館	玉村町下新田	中世・近世館跡。中世古基	熊谷春樹(201)
セ	玉村館	玉村町下新田	近世館跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
ソ	内田屋敷	玉村町上之平	中世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
タ	宮下屋敷	玉村町上之平	中世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
チ	藤岡寺屋敷	玉村町上之平	中世屋敷跡。現状宅地。墓施。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
ツ	原屋敷	玉村町上之平	中世屋敷跡。現状宅地。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
テ	藤田屋敷	玉村町上之平	中世屋敷跡。現状宅地。	玉村町中世城館跡分布調査
ト	林山屋敷	玉村町上之平	中世屋敷跡。現状宅地。	玉村町中世城館跡分布調査
ナ	本原屋敷	玉村町上之平	中世屋敷跡。現状宅地。	玉村町中世城館跡分布調査
ニ	五郎屋敷	玉村町五郎	戦国屋敷跡。現状宅地。礎。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
ヌ	茂木館(南三原屋敷)	玉村町上茂木	中世館跡。現状水路。宅地。礎。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
ネ	玉村館(南三原屋敷)	玉村町南玉	中世城跡。現状宅地。水田。礎。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
ノ	南木館(尾武屋敷)	玉村町南玉	中世館跡。現状水路。水田。	『熊馬系古城遺址の研究』山崎一著
1	玉村資料・玉村保護完備	玉村町藤橋	縄文・埴輪・土師器・須恵器・陶磁器類遺物散布地	『玉村町の遺跡』

編 熊馬系教育委員会 調査 熊馬系歴史文化財発掘調査団・熊馬系教育委員会  
 図 財団法人熊馬系歴史文化財調査事業団 玉 玉村町教育委員会

### 3. 調査の方法と経過

#### a. グリッドの設定 (第5、6図)

県道藤岡大胡線地方特定道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査においては、国家座標に基づき玉村町全域を網羅するように南東隅の座標 $X=30,000$ ・ $Y=60,000$ を起点とする10km四方の区画を設定しそれを「地区」と呼称した。

そして、その中を1km四方に分割し、南東隅から北に向けて1~100の番号を平行式に付して「区」(大区画)とした。

次にこの大区画を100m四方に分割し大区画同様に番号を付し、「中グリッド」(中区画)とした。

さらに中区画を5m四方に分割し、「小グリッド」(小区画)と称した。「小グリッド」には南東隅を起点として西方向(X軸方向)にアラビア数字を北方向(Y軸方向)にアルファベットを付した。発掘調査に伴うグリッド名称は、この「小グリッド」を表している。

福島久保田遺跡は35地区、福島大光坊遺跡は34地区に位置する。

#### b. 調査区の設定

##### 福島久保田遺跡

発掘調査に際しては、基準となるグリッドとは別に南北に走行する現道を境界として、西側を1区、東側を2区と便宜的に区別して進めた。

##### 福島大光坊遺跡

発掘調査は実施年度が2時期にわたることから、対象地区を道路または水路によって便宜的に区分し実施している。平成8年度は1区から7区、平成11年度は8区から12区を調査した。

#### c. 調査の方法

遺跡地は、住宅地および水田耕作地に接しているため通行用の道路を確保しながら調査を実施した。

遺跡地は、現利根川の自然堤防上に立地するため、洪水堆積物が厚く堆積しているため、重機により遺構確認面まで掘削した。洪水堆積層は砂質で崩れやすいため、隣接する住宅より十分な距離を持って掘削し、深くなる場合には段をつくって掘削した。

確認された遺構は、中央部に十字に土層確認用のベルトを設定し、その状態を確認した。土坑、溝など小規模な遺構についてはこの限りではない。

遺構名称は、住居・土坑・溝・掘立柱建物など遺構種別ごとに1号から順次番号を付した。この名称は遺構確認時に付しているため、調査後に種別を異にする場合もあるが途中での変更はせず、基本的に当初の遺構名称を使用している。ただし、福島大光坊遺跡では、調査年次に間隔があり、調査区も連続したものではなかった関係から同一番号の重複がみられる。報告に際しては番号の変更を行わず、調査時の遺構名称を使用するものとし、それぞれ調査区を遺構番号の前に付けておくものとする。

なお、遺構番号は時間的前後関係を示すものではない。

遺構の記録は実測図化と写真撮影により行った。遺構の図化は、調査区内をグリッドに準じて縮尺40分の1で割図とし、遺構の状況に沿って縮尺20分の1により図化している。特殊な場合はこの限りではない。遺構写真は、モノクロ写真を6×7判および35ミリ1眼レフ、カラー(リバーサル)を35ミリ1眼レフにて撮影した。しかし、広範囲にわたる水田遺構や遺物の分布状況などは業者に委託し、気球による航空写真測量や光波測量などで効率化を図った。状況によっては高所作業車を利用して写真撮影をした。

#### d. 調査経過

##### 福島久保田遺跡

発掘調査は平成9年4月1日から平成9年10月31日まで実施された。調査経過について日誌からその概要を報告しておく。

4月

1日より調査着手。2区から表土除去を開始するが、延長距離がながいため南半部から実施する。第1面は火山灰及び洪水砂等の災害復旧のための埋設溝群を検出し、調査を進める。なお、1区においても同様の遺構群確認。2区南半部については第1面近世面が調査終了後、第2面中世面の確認調査へ。

5月

2区南半部では第2面、3面中世面の残存状況が不良であったが水田を確認する。引き続き第4面のAs-B層埋没面の調査を実施し、水田畦畔を確認する。1区でも同水田を検出する。

第4面終了に伴い、下層の確認調査を行う。その結果、古墳時代の小区画水田を検出する。

さらに敷高地区には堅穴住居確認。

6月

2区北半部調査着手。表土除去を実施する。第1面As-A復旧溝確認。

7月

第2面中世面調査着手。水田畦畔、溝等を確認する。終了に伴い下層の調査を実施。

8月

2区北半部第3面に北および南側に規模の大きな溝を確認。溝間は13760m前後で、その内部に方形土坑や柱穴状の小ピットを多数検出する。方形館の一部とみられる。

9月

第3面館調査。掘立柱建物確認するが、柱穴とみられるピット群が多数重複するため掘削しにくい。土坑、ピットともおよそ100基以上存在。

10月

館に伴う土坑、ピット等の調査継続。

他地点の検出遺構等の図化および写真記録終了。

月末には調査区内埋め戻しを終え、調査完了となる。

#### 福島大光坊遺跡

発掘調査は平成8年度、平成11年度の2時期に分割して実施された。1区から7区が平成8年11月1日から平成9年3月31日まで、8区から11区が平成11年10月1日から平成12年3月31日まで行われていた。以下、調査の経過について概要を報告しておきたい。

平成8年度11月

発掘調査着手。2区から表土除去開始。As-Aに関連する細状の遺構を確認する。

12月

6区調査着手。表土除去、遺構確認作業を行う。As-A関連の細状遺構検出する。

平成9年1月

2区、6区第2面中世水田調査。3区、4区の遺構確認調査を行う。6区、7区の表土除去開始。中世面終了後、As-B層埋没水田の調査を行う。

2月

As-B層埋没水田耕土下調査着手。Hr-FP泥流堰没の小区画水田、溝等を確認する。1区調査着手。

3月

1区から7区について、確認遺構の調査および記録作業終了。事務所等の撤去、調査区内の埋め戻しを実施し終了となる。

平成11年度10月

8区から調査着手。すでに実施している福島曲戸遺跡と同時に事業を進める計画となる。

11月

9区第1面As-A復旧溝、溝等の近世遺構群確認。8区5号溝（平安時代）確認。

12月

8区古墳時代の小区画水田調査。9区中世の溝等の調査を行う。

1月

8区調査継続。12区の調査を着手する。10区第1面調査。As-A復旧溝等を検出する。

2月

8区1号畑はAs-C混土層に関連する古墳時代のものとみられる。10区5号溝、12区As-B埋没面調査継続。

3月

12区28号溝等古墳時代の遺構調査。10区住居、土坑等の調査を行う。30日までに各区調査終了し、埋め戻し完了。同日には伊勢崎土木事務所立ち会いのもと、引き渡しを行う。

福島大光坊遺跡の発掘調査を完了する。



## 4 遺跡の概要

福島久保田遺跡は、現町道の両側幅部分にあたり、町道東側を1区とし、西側を2区と仮称し調査を実施している。

調査区間は町道の通過部分であり、1区北側にはJA玉村が存在し、2区東側は水田が広がっている。遺構が検出できる埋没土層は前記のとおり複数にわたるが、調査区全域に確認できるものではない。上層からの攪乱等により本来形成される土層が遺失している場合が多い。特に中世以前については、現状ではわかりにくい微高地や低地が入り組んだ地形が存在し、それぞれの地形に伴う地層が形成され、その環境に見合った生活面（居住域、生産域）が存在する。しかし、被覆層厚や諸行為の継続性等により残存状況は様々である。

福島大光坊遺跡も、福島久保田遺跡に連続する遺跡であり、遺構の検出状況はほぼ同様である。しかし、調査年次が連続したのではなく1期、2期に分割して実施されたこともあり、調査内容が統一的とはならない部分もある。遺構名称の重複や文化面の相違等が認められるのもその関係である。また、3・4区とそれ以外の区の間には国道354号線工事に伴う福島大島遺跡が存在し、福島大光坊遺跡を分断している。

以下、両遺跡の概要について発掘調査終了時の実績報告書の内容を再録しておく。なお、本報告と表現の異なる部分も生じるが、それは資料整理段階での変更であり、最終的には本書に準じるものと理解していただきたい。

「平成9年度事業概要 福島久保田遺跡」

### I 調査に至る経緯

主要地方道藤岡・大胡線地方特定道路整備事業に伴い、平成8年11月より発掘調査を実施し、今年度はその継続調査である。

- (1) 事業主体 群馬県
- (2) 調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- (3) 調査期間 平成9年4月1日～平成9年10月31日

(4) 調査地 佐波郡玉村町福島地内

(5) 調査面積 8,250㎡

(6) 調査担当者 斉藤利明、長岡裕之、田中 雄

(7) 調査協力 玉村町教育委員会、JA佐波伊勢崎

### II 調査の経過

今年度の調査区は、福島地内の字久保田にあり、遺跡名も福島久保田遺跡とした。調査地点は、玉村町消防署前の東西道路とJA佐波伊勢崎のライスセンター西の南北道路との交差点以北の道路幅部分である。調査は、排土置き場や土出しの関係から調査区を南北に2分して行った。

### III 調査の概要

玉村町は北西から南東方向に利根川が流下し、南には烏川が東流する。標高も60㎡代と県内でも低い地域である。遺跡は国道354号線と藤岡・大胡線の交差する市街地より北東300㎡程離れた水田地帯の中にある。地形は、遺跡南側を東西に走る354号線を境に若干低くなる。傾斜はわずかに北西から南東に向く。

調査地周辺部は圃場整備が進み平坦な水田地帯であるが、調査により、下層より幾重にも重なる洪水層や浅岡山・榛名山等の噴火火山灰を確認し、古くは起伏に富んだ地形であったことがわかった。今回の調査では、洪水層や各火山灰の下から遺構を確認し、縄文時代から江戸時代までの遺構面8面の調査を行った。同様な地層は、北では前橋市横手町、西では高崎市上流町などで確認できる。

**近世・近代(1面)** 1783年(天明3年)の浅岡山噴火軽石(As-A)降下直後に軽石を排除するために掘られたサク状の溝群とその溝群を掘り込み洪水砂を同様な方法で埋め込む溝群を検出した。

**中世(2・3面)** 利根川の流路変更に伴う洪水層に埋もれた水田跡を検出した。水田跡は、現在の圃場整備された水田と同じ方向に畦が作られ規則性を持つ。この水田区画は、奈良時代以降全国的に施行された1町(108m)四方を基準とした条里制地

割と近似するものであり、条里制地割の名残と考えられる。水田面には鉄跡などが残っていたが、土層観察の結果、初期の洪水埋没直後、復旧のための藁・鉄跡であることがわかった。

また、調査地北端では、この水田下層よりローム層の見られる微高地を確認し、微高地両端部には館の堀と考えられる上幅6m、下幅1m、深さ1mの規模を持つ大溝が60mの間隔で2条平行気味に検出された。両溝ともローム等の地山ブロックを多量に含む土で埋め戻されていた。両溝の内側には掘立柱建物跡の柱穴と思われる無数のピット群や10基以上の土坑群、井戸跡が検出された。

**平安時代（4面）** 1108年とされる浅間山噴火火山灰軽石（As-B）は、上記の中世の水田に敷込まれ薄く残り、下層より水田跡を検出した。しかし、大半の畦は後世の耕作により攪乱を受け残りが悪く、微妙な凹凸や土質の違いで水田区画を決定した。また、この面より微高地や低地等の地形の微妙な起伏が見られなくなる。調査地北端の微高地部分では、9世紀代の竪穴住居5軒、溝3条、土坑・ピット等の遺構を検出し、小規模な集落が営まれていたが、As-B降下前後に大規模な水田開発が行われ、集落が移動されたことが考えられる。

**古墳時代（5～7面）** 6世紀中頃の榛名山噴火後の泥流（FP泥流）を確認し、その下層より間層を挟み6世紀初頭の榛名山噴火火山灰及び泥流（FA泥流）も確認した。間層は耕作土と思われるが、畦畔などは確認できなかった。FA層下の水田は4世紀代の浅間山噴火軽石（As-C）を鉄込み耕作を行っており、県内で発見されている古墳時代の一般的な1坪弱の小区画水田であった。この水田跡も黒色土の反転が見られ、災害直後に復旧がなされたと思われる。微高地縁辺部の水田跡は依存状態は悪く火山灰層の広がりなどで水田区画を確認した。微高地上には、1・2軒の住居跡や土坑・溝等が確認でき、小集落も存在したと考えられる。

「平成8年度事業概要 福島大光坊遺跡」

## I 調査に至る経過

主要地方道藤岡・大胡線の改築工事に伴い、群馬県教育委員会文化財保護課により、平成7年度当該地域の試掘調査が行われ、江戸時代～古墳時代にかけての畝跡や水田跡が確認された。これにより発掘調査の必要性が認められ、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が調査を実施することになった。

- (1) 事業主体 群馬県
- (2) 調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- (3) 調査期間 平成8年11月1日～平成9年3月31日
- (4) 調査地 佐波郡玉村町福島地内
- (5) 調査面積 6,000㎡
- (6) 調査担当者 斉藤利昭、遠藤俊爾、長岡将之
- (7) 調査協力 玉村町教育委員会

## II 調査の経過

今年度は、国道354号線以北の福島地内6000㎡について11月より調査を開始し、3月末までの5ヶ月間発掘調査を実施した。路線は、玉村町立中央小学校東側の南北に走る町道の拡幅部分にあたり、周囲は水田に囲まれているため作業用通路（馬入れ）を確保しての調査となった。このため、調査区は分断された場合のみ、馬入れを一部移動し調査を行った。また、調査面が多く深所におよぶため、表土や遺構排土の移動についてクローラードンプを使用した。

## III 遺跡の概要

当遺跡は、国道354号線と藤岡・大胡線の交叉する市街地東北東数百mの水田地帯の中に位置する。地形は、圃場整備が行われ平坦に見えるが、わずかに北西方向から南東方向に傾斜する。南側は国道354号線を境に一段高く、台地へと移行する。また、調査地北数百mには利根川が東流する。調査地周辺部は、沖積地であり幾重にも重なる洪水層や浅間山・榛名山等の噴火火山灰を確認し、古墳時代初期から江戸時代まで遺構面8面の調査を行った。同様な地層は、北では前橋市横手町、西では高崎市上流町などで確認できる。

近世(1画) 1783年(天明3年)の浅間山噴火軽石(As-A)を部分的に確認した。軽石の残る部分では耕作地の復旧をするため、灰掻き用に溝を掘り、埋め込む方法やそのまま軽石を鍛込み方法を行っている耕作地を確認した。

中世(2・3画) 利根川はかつて前橋市街地方面を東南流していたが、中世に現在の位置まで南下したと言われている。近年、当地域をはじめ周辺部で発掘調査が行われ、この頃のものと思われる洪水層が確認されるようになり、利根川の流路変更時期についての資料が増えてきている。今回の発掘調査においてもこの洪水層に埋もれた水田跡を検出した。水田跡は、現在の圃場整備された水田と同じ方向に畦が作られ、規則性をもっている。この水田区画は、奈良時代以降全国的に施行された1町(108m)四方を基準とした条里制地割と近似する区画であり、条里制地割の名残りと考えられる。また、水田面には鍛跡などが残っていたが、土層観察の結果、初期の洪水埋没直後、復旧のための鍛・鍛跡であることがわかった。

平安時代(4画) 1108年とされる浅間山噴火軽石(As-B)は、上記の中世の水田に鍛込まれていたが、薄く層として残り、下層より水田跡を検出した。ただし、大半の畦は後世の耕作により攪乱を受け残りが悪く、微妙な凸凹や土質の違いで水田区画を確認した。また、この面より微高地や低地等の地形の微妙な起伏が見られるようになり、微高地部分では9世紀代の土器片が出土し、井戸跡や土坑・ピット等の遺構も検出した。このことから、この地域全体が水田化したわけではなく、点在する微高地上には小規模な集落が営まれており、As-B降下後に大規模な水田開発が行われたと考えられる。

古墳時代(5～7画) As-B下の水田耕作土は非常に粘性の強い洪水層であり、6世紀中頃の榛名山噴火後の泥流(FP泥流)を耕作土としている。

さらに下層では、6世紀初頭の榛名山噴火時の火山灰及びその後の泥流(FA泥流)を確認し、4世紀代の浅間山噴火軽石(As-C)を鍛込み耕作を行っている水田跡を検出した。この水田跡は埋没直後の復旧により旧状はわずかな痕跡で確認できる程度であった。微高地では、住居跡や土坑・溝等を検出し小集落が存在したと考えられる。

古墳時代以前(8画) As-C耕作土下に砂層の広がりが見られ溝を確認した。溝内には4世紀代の土器と共に縄文時代の石器等が出土している。微高地部分では、縄文時代中期の土坑やさらに古い時代の尖頭器が出土している。

「平成11年度事業概要 福島県戸遺跡・福島大光坊遺跡」  
福島県戸遺跡・福島大光坊遺跡(追加)

#### 1 調査に至る経緯

主要地方道藤岡・大胡線地方特定道路整備事業に伴い、平成8年11月より発掘調査を実施し、今年度はその継続調査の4年次に当たる。

- (1) 事業主体 群馬県(伊勢崎土木事務所)
- (2) 調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- (3) 調査期間 平成11年4月1日～平成12年3月31日
- (4) 調査地 佐波郡玉村町大字福島字曲戸・大光坊
- (5) 調査面積 福島県戸遺跡 12,375㎡  
(延べ面積 49,600㎡)  
福島大光坊遺跡 2,500㎡  
(延べ面積 9,925㎡)
- (6) 調査担当者 麻生敏隆、伊平敬、石川雅俊、  
囃託員 原 真、村上章義
- (7) 調査協力 群馬県教育委員会、玉村町教育委員会

#### 2 調査の経過

今年度の調査地点は、福島県戸遺跡は昨年に引き続き、町道222号線から町道2592号線の間である。南から、水路や町道を境にA・B・C・D・E区と設定した。福島大光坊遺跡は、玉村中央小学校の東部分から国道354線の交差点までであり、調査開始順番に8・9・10・11・12区と設定した。

### 3 調査の概要

遺跡が所在する玉村町は前橋台地の南端部に位置し、現在は北西から南東方向に緩やかに傾斜する平坦な地形であり、町を南北に二分する形で利根川が、また町の南端部には烏川が北西から南東方向にそれぞれ流れ下っている。その利根川は古くは桃ノ木川や広瀬川が旧流路であったものが、中世末期ごろに現在の流路に大きく移動したもので、応永34年(1427年)とする考えが有力である。玉村町福島は、利根川が流れの向きを東南から東に変えるうえに、川幅が狭くなるために、増水時には決壊しやすい位置であり、江戸時代から今日にかけて何度も堤防の決壊と洪水の記録が残されている。

今年度の調査では、下層より幾重にも重なる利根川の洪水層と、浅間山や榛名山の噴火による火山灰と泥流層の下からそれぞれ遺構を検出した。時期は、古墳時代から近世までで、遺構面16面の調査を行った。

**近代・近世** はほぼ遺跡の全域で、天明三年(1783年)の浅間山の噴火による軽石(As-A)降下後にその軽石と利根川を流れ下ってきた泥流を排除するために掘られた短冊状の復旧溝群を検出した。利根川に近いE区(旧名称C区)では黒く発泡した溶岩石が多量に埋め込まれている。溝の大きさは、幅約30~50cm、長さ10~14m、深さ50cm以上である。20~30条を単位として島の区画を示している。D区では同様の遺構が下層からも検出されており、出土遺物や文献から寛保二年(1742年)の洪水の復旧溝と考えられる。また、これらの復旧溝を掘り込む形で洪水砂を排除するために掘られた溝群を確認している。昭和22年(1947年)のキャサリン台風の時の洪水の復旧の跡である。

**中世** 天仁元年(1108年)の浅間山の噴火による軽石(As-B)降下後の水田、及び軽石が混じる土の上面や、応永34年の洪水による利根川の流路変更後の度重なる洪水に覆われた水田や溝などが5面も

検出された。また、福島大光坊遺跡12区で中世の屋敷の堀と思われる溝が、福島大光坊遺跡8区・10区では現在も玉村町の北側を流れる豊沢の旧河道が検出された。

**平安時代** 遺跡のほぼ全域で、As-B軽石に覆われた水田が検出された。また、福島曲戸遺跡C区や福島大光坊遺跡8区・10区で大きな溝が検出され、特に福島大光坊遺跡で溝の底から土器の底部内側に文字がある墨書土器が出土したことから、北西に位置する福島飯塚遺跡で検出された大溝との関連が注目される。

福島曲戸遺跡A区や福島大光坊遺跡10区を中心に8世紀から10世紀にかけての集落が検出されており、承平五年(935年)に成立した『和名類聚抄』に記載された那波郡の七つの郷のうちの倭文郷、佐味郷、精田郷のいずれかに相当するものと考えられる。

遺物は土師器や須恵器、灰輪陶器などが出土しており、特に多量に出土した緑釉陶器の存在から祭祀に用いられたもので、古代の役所や寺院に関連する集落と考えられる。

**古墳時代** 福島曲戸遺跡A区を中心に、4世紀の堅穴住居と考えられる遺構が数軒検出されており、福島大光坊遺跡8区では6世紀中頃の榛名山の噴火後の泥流(Hr-FP)で覆われた水田、福島曲戸遺跡C区では6世紀初頃の榛名山の噴火後の泥流(Hr-FA)で覆われた溝が検出されている。また、福島大光坊遺跡8区では古墳時代前記の畝と畝間のほっきりした島が検出された。



# 福島久保田遺跡

## 1 縄文時代の遺物 (第7図、PL36)

縄文時代の遺物については、少数ながら出土が確認されている。

遺構についてはこの遺跡では認められていないが、南接する福島大光坊遺跡では加曾利E 3式土器を伴出する土坑1基が確認されている。さらに、北接する福島曲戸遺跡では加曾利E 4式土器を伴う土坑1基が調査されている。

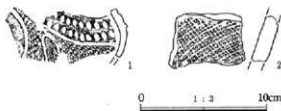
また、遺物の出土例をみると前期や中期および後期の土器類がみとめられ散発的な分布が確認される。また、石器類については「福島大光坊遺跡 1-a 縄文時代の石器」にて指摘があるように草創期に属する有舌尖頭器の出土も認められるなど、縄文時代各期の遺物が散見されることが注目されよう。

1は、波状口縁部片で、2区32K-8グリッドから出土した。内径する口縁部外面に連続刺突文が2帯加えられ、以下細かい単一沈線文による区画文が施される。縄文はPL縦位が観察される。器厚はやや薄手で5mm前後を計測する。加曾利E 4式。

2は、2区32K-10グリッドから出土した。

平行線文による格子状文が施される。平行線文は密接し、施文も深い。また、平行線の一つがより深く施文される傾向がある。縄文は認められない。割れ口を観察すると、輪積み痕部で剥落しており粘土帯の幅は3.5cm程度となっている。裏面には横位の整形痕が残る。加曾利B 2式土器に相当するとみられる。

なお、石器については石鏃の出土があるが、福島大光坊遺跡 1-a おいて報告しているため、P 94をあわせて参照していただきたい。



第7図 グリッド出土遺物(縄文時代)

## 2 第7面の遺構と遺物

### a 概要

As-B層もしくはAs-B混土層下にあたる面は第4面として調査している。As-B堆積層下では平安時代水田が確認され、微高地部分では古墳時代から平安時代にかけての住居、土坑、井戸等の遺構が存在している。

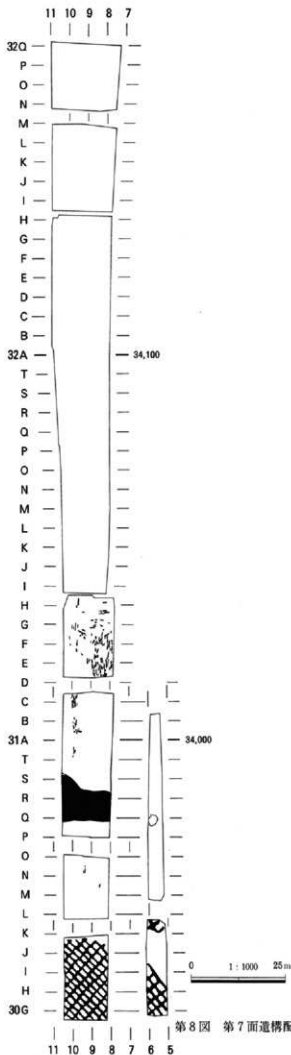
この遺跡では、北西方向から南東方向にかけて傾斜をもっている。各時期には洪水や火山災害等による影響があり、各時期の遺構面を被覆する堆積層の形成がなされ、さらにそれらの層が以降の耕作等で攪乱を受けるため、遺構やその確認面および土層の残存状況は一律ではない。そのため、調査区によって遺構の確認面には増減があり、広範囲に共通する遺構面もあるものの、地点によっては相違は大きい。特に、第4面以下の遺構確認面については異同が目立つ。それは、古墳時代に堆積したHr-PP泥流およびHr-PA泥流の残存状況が大きく影響する。この榛名山の噴火に起因し発生した泥流はこの地域に広く確認されるが、層厚があまり厚くないことと、継続的な水田耕作により泥流層、遺構面とも残存状況の差が著しい。

この遺跡では、第4面以下の層について周辺遺跡の調査事例も参考とし、As-B埋没水田耕土下および部分的に認められた泥流層等、各面について遺構確認を行っている。その間、分散的に遺物の出土は認められたが、遺構確認面としての把握はなされていない。しかし、南接する福高大光坊遺跡との関連から、遺構面については単じて調査している。その関係から、Hr-PP泥流埋没水田の確認面は第7面となっている。

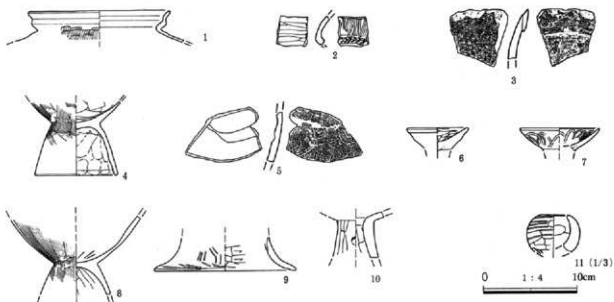
第7面では、遺跡南側にHr-PP泥流層が確認され、その下に小区画水田が確認された。北側については微高地が含まれ、また泥流層もほとんど残存しないことから、水田をはじめ同層に埋没する遺構については検出されていない。

なお、グリッドからはS字状口縁台付き甕、盥、高杯等古墳時代土器類の出土が認められている。これらの遺物は第4面で確認されている同期遺構に伴うものであろうが、検出面に応じて第7面出土として報告しておく。

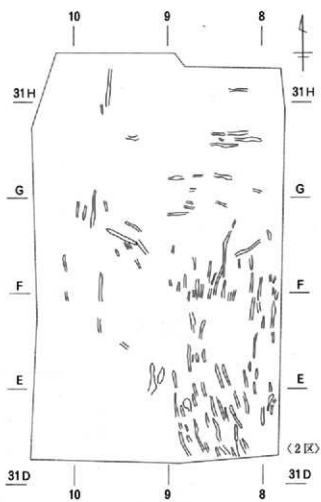
この面は基本的に調査最終面にもあたり、グリッド出土遺物には縄文時代のものも認められている。そのため、遺構の有無を確認しているが住居および土坑等の遺構は確認されていない。



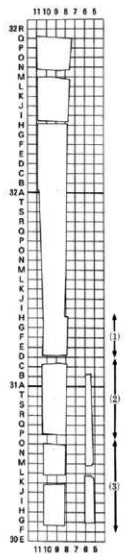
第8図 第7面遺構配置図



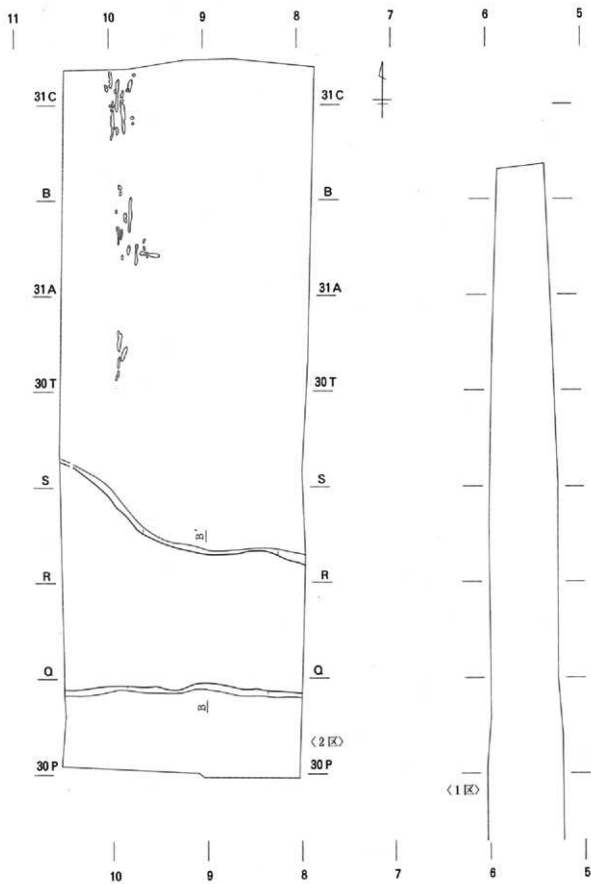
第9図 グリッド出土物



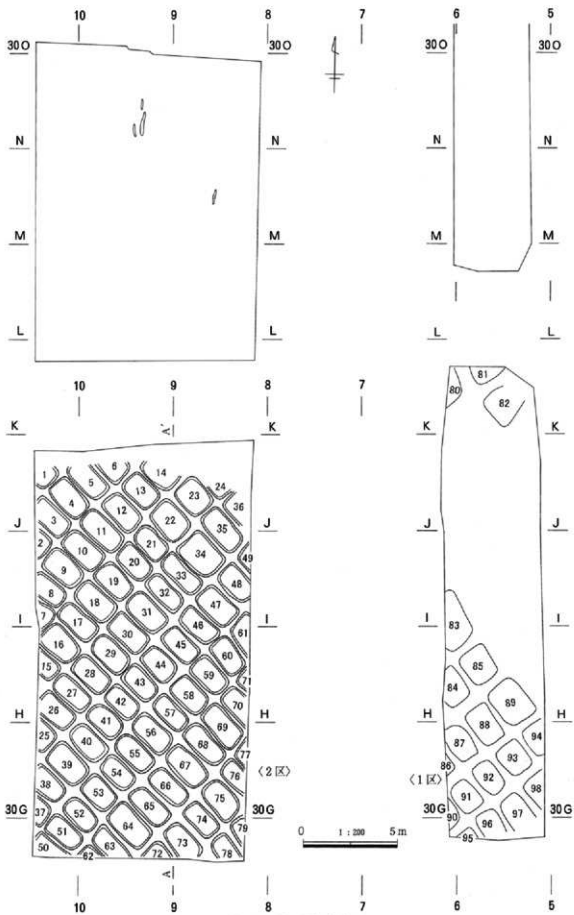
第10図 第7面全体図(1)



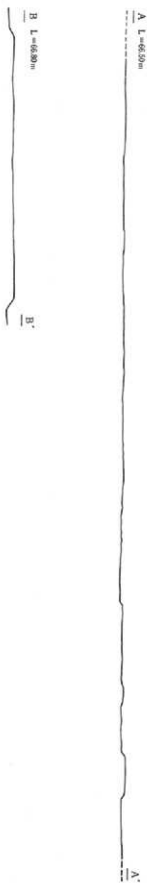
第11図 全体図位置図



第12图 第7面全体图(2)



第13圖 第7面全体図(3)



## b 水田（第10図～第14図、PL3）

1区および2区の南側に確認された。この部分ではHr-FP泥流の堆積が認められ、その下層に小区画水田が検出された。被覆層の層厚は薄く、確認できていないが泥流堆積後の水田耕作により泥流層が動きこまれ、上位は攪乱されている。

この面で確認された遺構は、2区の30Q-9グリッド付近で帯状の高まりが東西方向に認められている。この高まりの周囲には畦畔が確認されていないことから、小区画水田との関連は明確ではない。さらに、東側延長にあたる1区では存在が確認されていない。

また、2区の31Gライン付近から31Aラインにかけて不規則な溝状痕が確認されている。泥流により埋没するが、周囲では畦畔の確認はないため、小区画水田との関連は不明だが、時間的には同時期とみられ耕作痕とみることができるところ。

小区画水田は、1区・2区とも30Kライン付近以南において検出されている。全体的に残存状況は不良であるが、とくに1区は状況が悪い。

1区では畦畔の起伏はなくほぼ平坦面となり、泥流層と耕土である黒色土とのわずかな差異により水田区画が判断された。この部分では計19区画の水田区画が認められた。このうち全形が把握できる面は8面あり、その水田面積の平均は2.4㎡を計測できる。なお、水田の長軸方向はN-140°-Eであり、ほぼ地形の傾斜に沿った区画が認められる。

2区では、やや残存状況が良好といえる。この部分では計79面の水田区画が確認された。畦畔も数cm程度ながら残存し、その形状は明瞭である。全形の把握できる面は59面あり、その平均面積は1.96㎡を計測する。1区の水田区画の平均面積に比すれば約2割程小さいが、これは1区水田が夷平されていることで水田面と畦畔の境界が不明瞭となり、本来の水田面の範囲が不明瞭となっているためかもしれない。なお、1区、2区水田区画の平均面積は2.18㎡である。水田区画の長軸方向は1区とはほぼ類似するが、N-135°-Eを示す。確認された畦畔には水口については把握できていない。これは、検出畦畔より上位に水口が設けられたか、もしくは掛け流しであったためであろう。この部分で用水を導入すれば、北西方向から南東方向へ水流するが、この方向はちょうど確認された水田区画と同方向である。このことから、用水補給については掛け流しであった可能性が高いと考えられる。

### 3 第4面の遺構と遺物

#### a 概要

降下火山灰や火山噴火に起因する泥流堆積物および河川氾濫による洪水堆積物などの影響を受け、複雑な地層を形成する地域に所在するため、この遺跡においても各地区、各面の遺構検出には困難を生じている。さらに微高地や低地が細かく入り組んでいる場合も多く、被覆する地層もより把握しにくいものとなっている。加えて連続的な人為的開発行為により地層の擾乱も著しい。

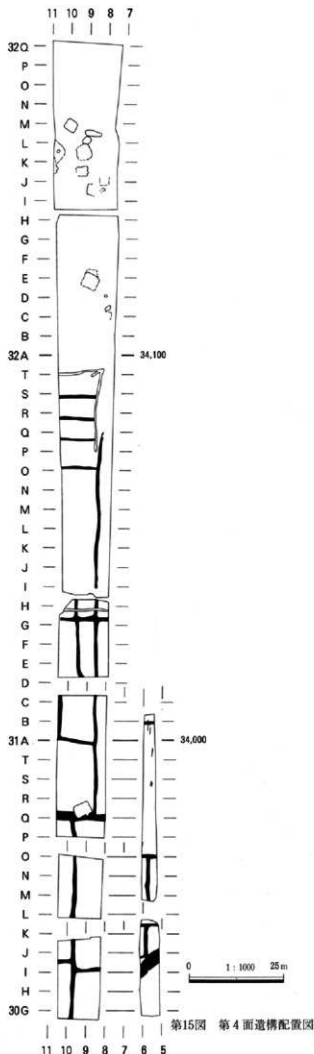
しかし、そのような複雑な地層の堆積のなかで基準ともなるものがAs-B層である。藤岡大胡線に関わる福島曲戸遺跡、福島大光坊遺跡においても確認され、その上下層には各調査区で相違が認められるが同層はほぼ全域で検出されている。

福島久保田遺跡では、第4面がこのAs-B層埋没面に相当する。同層が純層として残存する部分は低地部にあたり、埋没水田面の確認が行われている。ただ、この火山灰層が認められず埋没水田と連続する層面をAs-Bを混入する、いわゆるB混土が直接覆う部分も認められる。この地点は微高地にあたる場所であり、当初の地表面はAs-B降下以降の開発により削平を受けている。確認される遺構は住居、土坑等であり、些少な微高地が居住域として利用されていたことがわかる。

これらは全体的にはAs-B降下以前とみられるが、時間的にはやや幅があり古墳時代から平安時代の遺構群が検出されている。なお、遺物出土がなく時期が確定できないものも認められるが、その一群についてもこのような時間幅の中にあると考えられよう。

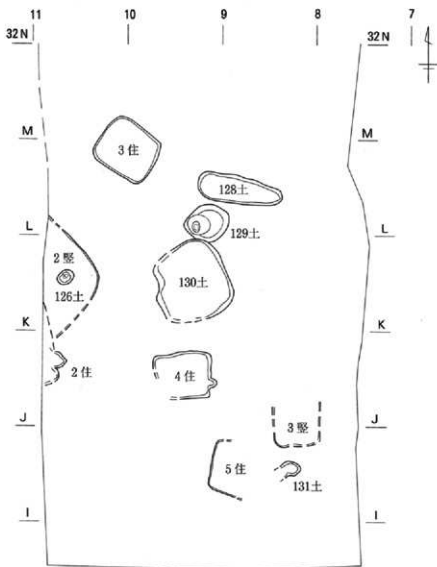
また、埋没水田畦畔と重複する住居等も存在するが、それらの遺構は水田より古い時期のものである。時間的経過のなかで水田化が拡大したものとみられる。

以下、遺構種別ごとにその概要を報告する。

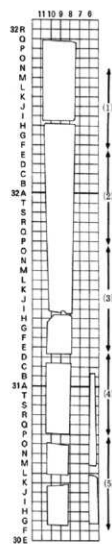


第15図 第4面遺構配置図

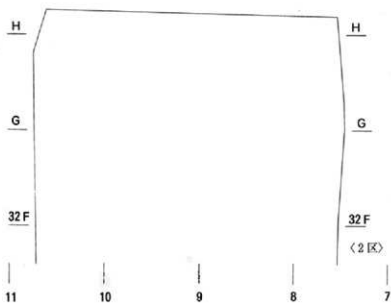


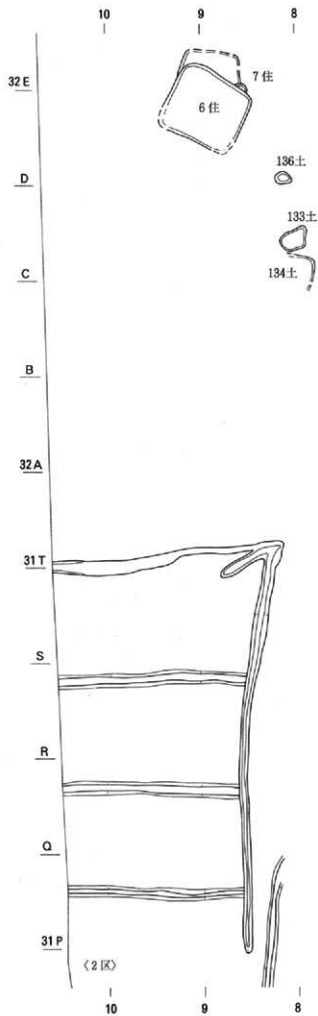


第16图 第4面全体图(1)

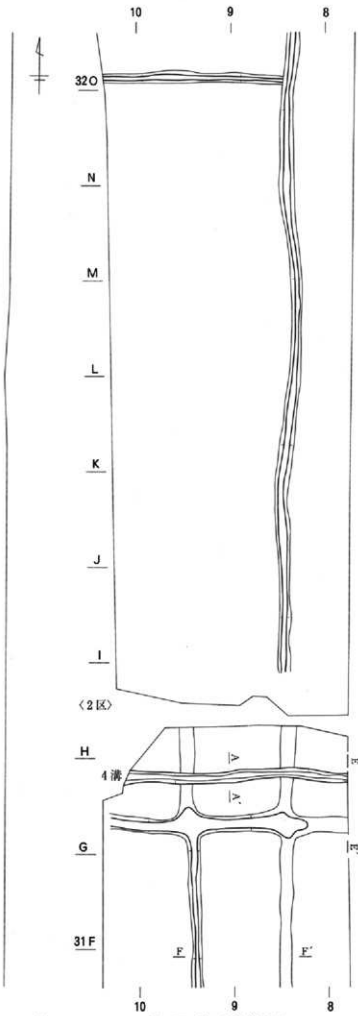


第17图 全体图位置图

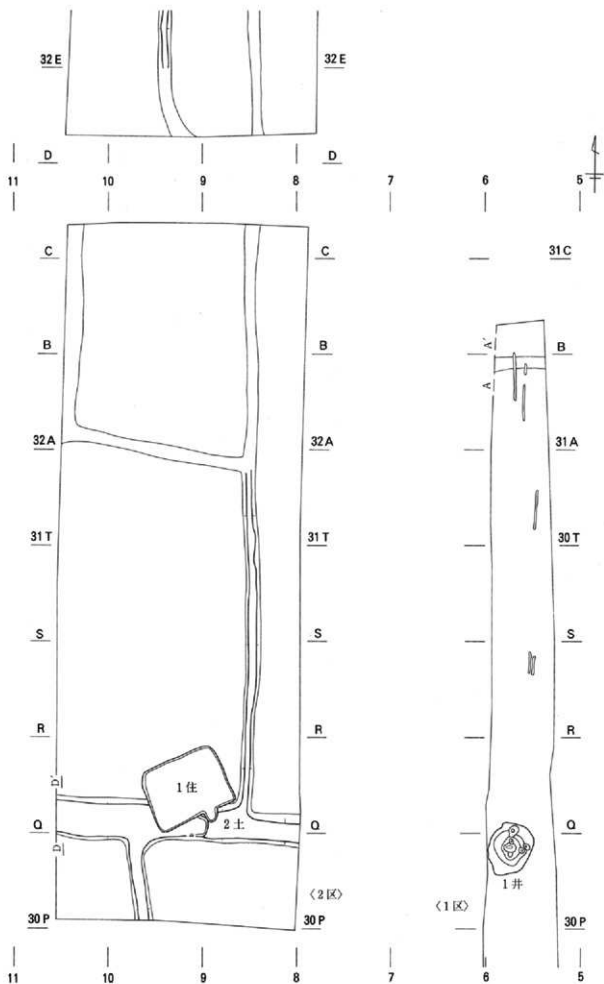




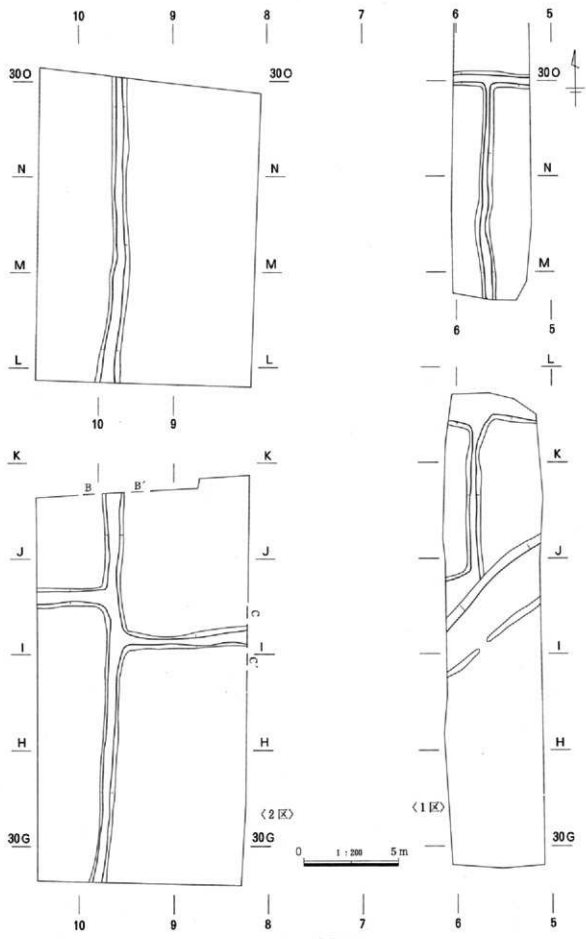
第18图 第4面全体图(2)



第19图 第4面全体图(3)



第20图 第4面全体图(4)

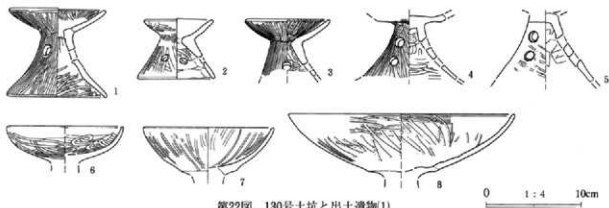
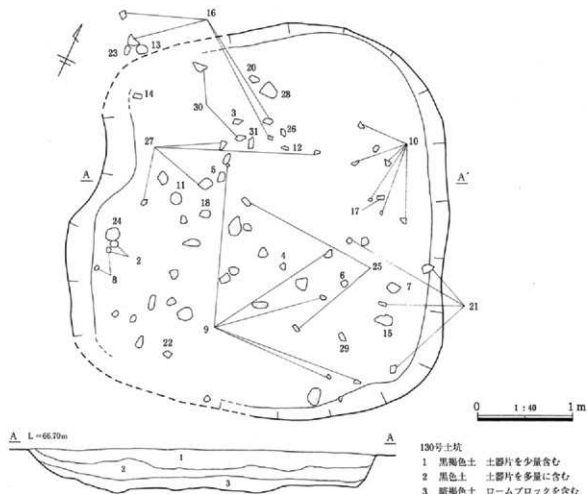


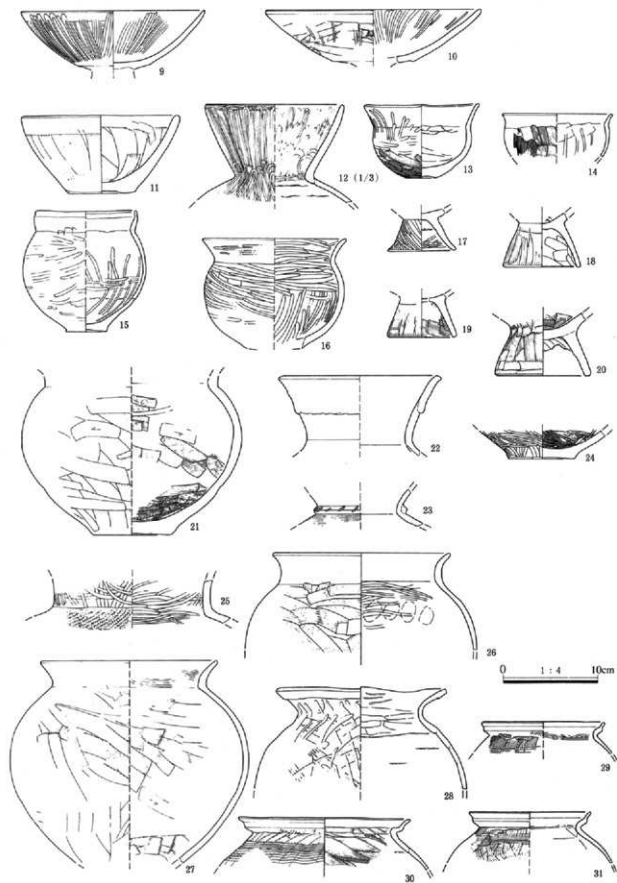
第21图 第4面全体图(5)

b 130号土坑 (第22・23図、PL30・37)

32K-8に位置し、As-b層埋没水田の耕作土下において検出された。この地点は水田化以前は微高地であったようである。周囲にはやや時期を前後するが、住居や土坑などの遺構が検出されている。調査時には土坑としたが、長軸410cm、短軸405cm、深さ46cmを測り、平面形はやや不整ながら隅丸方形

を呈している。これからみると住居に類する規模や形態をもつと考えられるが、床面および炉等の施設については不明である。遺物は埋没土2層を中心に出土し、4世紀代の土器が多量に検出されている。底面には少ないようである。出土状況から、3層が床面を形成していることも推定できる。





第23图 130号土坑出土遗物(2)

### c 竪穴住居

第4面で調査し、確認された竪穴住居は7軒である。残存状況はいずれも不良であり、形状がやや不規則な例も含まれる。

確認はAs-B混土層下の黒色土面において行われた。この面は基本的にAs-B埋没水田検出面の土層面と連続するものであり、主として同火山灰降下以前は微高地であった部分にあたる。As-B降下時にはこの部分にも住居埋没土も黒色土であり、検出には困難な部分が多い。上層からの耕作による影響もあり、遺構形状は不安定なものであったが、遺物の出土状況および掘り方の検出により把握された。カマドが攪乱により遺失する住居が目立つが、確認された例では東側に付設されるようである。また、掘り方方向も南東方向例が多いようだ。

分布状況を見ると、32Kライン付近、32Iラインおよび30Qラインにそれぞれ位置し、分散的なあり方を示している。北側に位置する福島曲戸遺跡では、やはりAs-B埋没水田下から9世紀代を中心とした大規模な集落が検出されているが、そのような様相は看取されない。また、出土遺物も一般的な集落に伴うものが多い。

#### 1号住居 (第24図、PL 9・38)

位置 30Q-8 グリッド

重複 2号土坑と重複するが、新旧関係については不明。また、As-B埋没水田畦畔との重複では住居が古い。

主軸方位 N-160° - E

形態 横長方形の平面形を呈す。

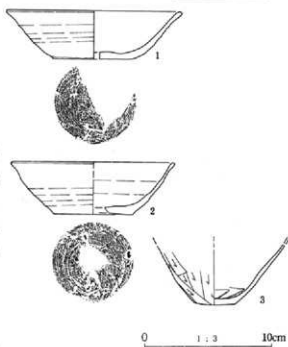
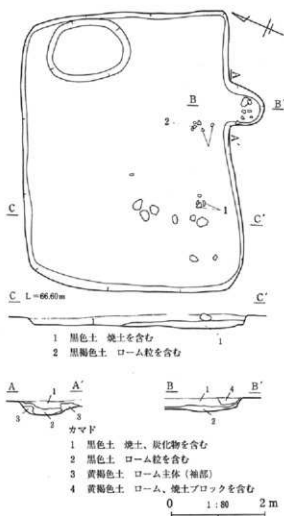
規模 440cm×335cm 床面積 13.4㎡

カマド 南東側壁東寄りに付設される。焼土、灰の集中が認められた。また、ロームによる袖の構築も一部確認される。

床 床面とみられる硬化面は全く認められない。遺物の出土状況等から検出した面が床だと考えられる。北東隅に深さ20cm程度の楕円形落ち込みがみられるが、住居に伴うものであるかは不明。柱穴は認められない。

掘り方 不明。

遺物 須恵器坏、土師器甕等の破片の他、カマド構築材とみられる被熱礫が散布する。



第24図 1号住居と出土遺物

2号住居 (第25図、PL10・38)

位置 32J-10グリッド

重複 2号竪穴と重複するが、新旧関係は不明。

主軸方位 N-90°-E

形態 調査区西端部に位置するため、東壁部カマド周辺のみ  
の部分的検出にとどまり形態は不明。

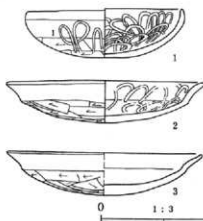
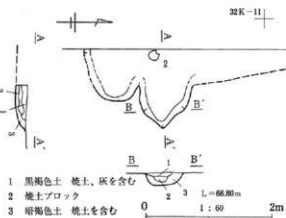
規模 - 床面積 -

カマド 東壁やや南寄りに付設される。残存状況が不良であるが、焼土、灰の集中が認められた。また、ロームによる袖の構築も一部確認されカマドであると判断できた。

床 特に硬化面の確認は行われていない。部分的調査であり不明であるが、床面付近から遺物出土が認められる。

掘り方 不明。

遺物 暗文をもつ土師器類が出土している。



第25図 2号住居と出土遺物

5号住居 (第26図、PL12・38)

位置 32I-9グリッド

重複 住居東半部が上層からの掘削により遺失している。

主軸方位 -

形態 西半部のみ確認のため形状不明。

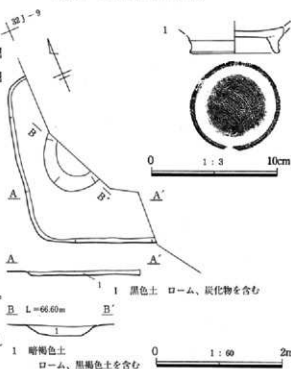
規模 西壁長250cm 床面積 -

カマド 不明。

床 床面とみられる硬化面は全く認められない。検出面が掘り方であろう。住居中央付近に径110cm、深さ15cmの掘り込みがあるが、掘り方に伴う床下土坑であろう。

掘り方 検出面が掘り方。

遺物 須恵器碗の出土がある。



第26図 5号住居と出土遺物

3号住居 (第27図、PL11・38)

位置 32L-9グリッド

重複 他遺構との重複はない。

主軸方位 N-125°-E

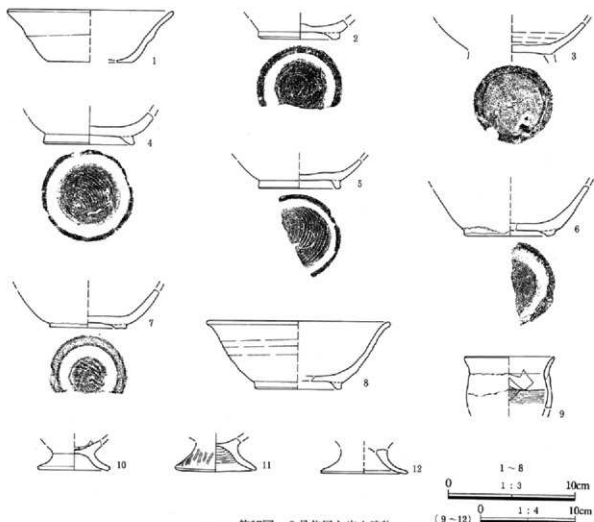
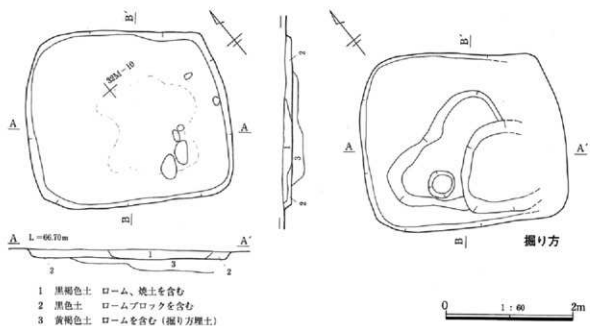
形態 南東方向に長軸をもち縦長長方形を呈すとみられる。

規模 320cm×275cm 床面積 7.8㎡

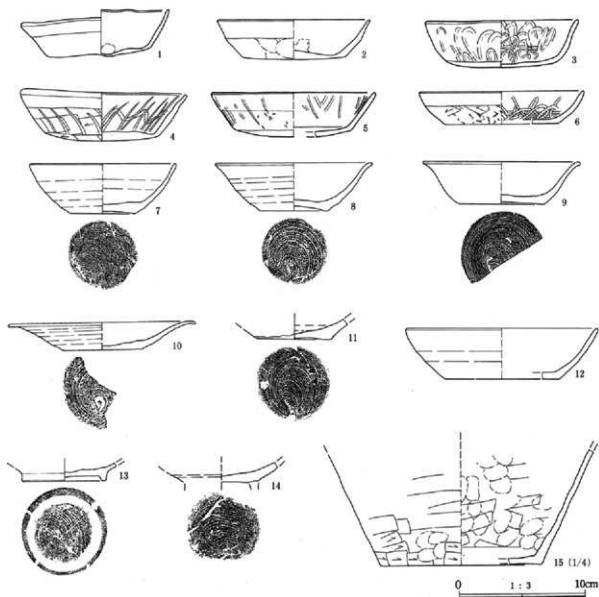
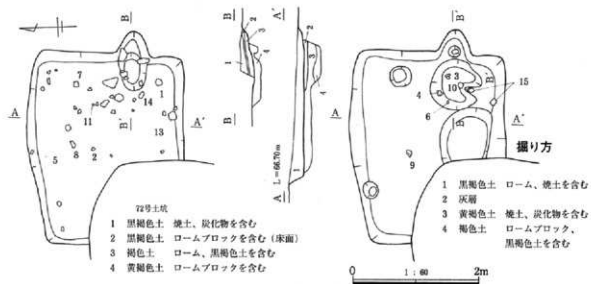
カマド 確認されていない。おそらく南東側の壁に付設されるとみられるが、痕跡も認められない。

床 ロームを含む黄褐色土により床面が形成される。特に住





第27図 3号住居と出土遺物



第28図 4号住居と出土遺物

居中央部に硬化面が認められた。

掘り方 住居中央部に深さ20cm前後の不定形な土坑状の掘り込みが認められた。

遺物 須臾器環・椀、土師器甕類が出土している。

#### 4号住居 (第28回、PL12・38)

位置 32J-9グリッド

重複 北西隅部が72号土坑に切られる。

主軸方位 N-90° -E

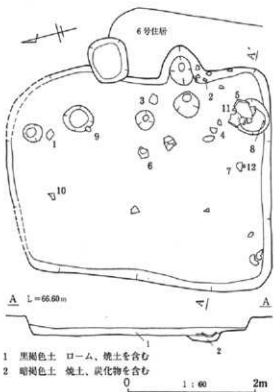
形態 東西方向に長軸をもつ縦長方形を呈する。

規模 300cm×245cm 床面積 6.3㎡

カマド 東壁中央やや南寄りに付設される。幅50cm、奥行き50cm。袖部には構築材である礫も確認される。

床 ロームブロックを多く含む褐色土により床面が形成され、部分的に硬化面が認められる。

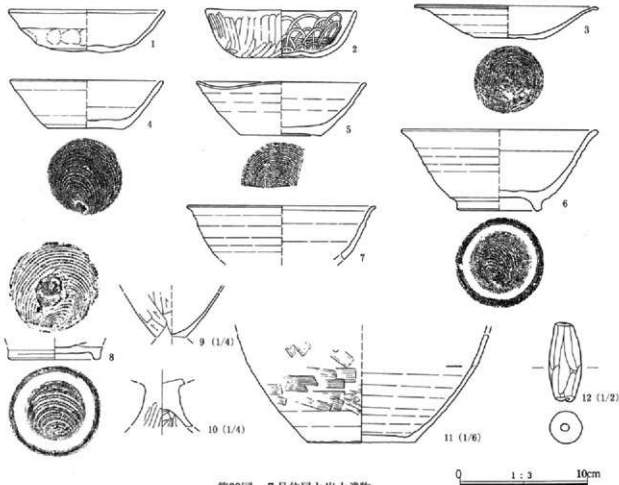
掘り方 カマド前部および南壁付近に深さ15cm~30cm程度



1 黒褐色土 ローム、焼土を含む

2 暗褐色土 焼土、炭化物を含む

0 1:60 2m



第29回 7号住居と出土遺物

0 1:3 10cm

の土坑状の掘り込みが認められ、ロームブロックを含む黄褐色土により埋め戻される。

遺物 暗文をもつ土師器杯、須恵器杯・碗等が出土する。

### 7号住居 (第29図、PL14・39)

位置 32E-9グリッド

重複 6号住居と重複し、本住居が新しい。

主軸方位 N-35°-E

形態 横長方形を呈する。

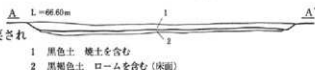
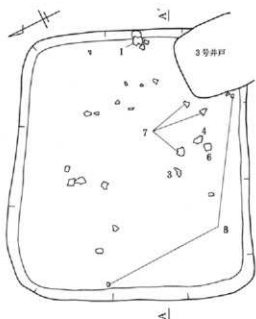
規模 415cm×335cm 床面積 11.7m<sup>2</sup>

カマド 東壁中央やや南寄りに付設される。幅65cm、奥行き60cmの規模をもつ。

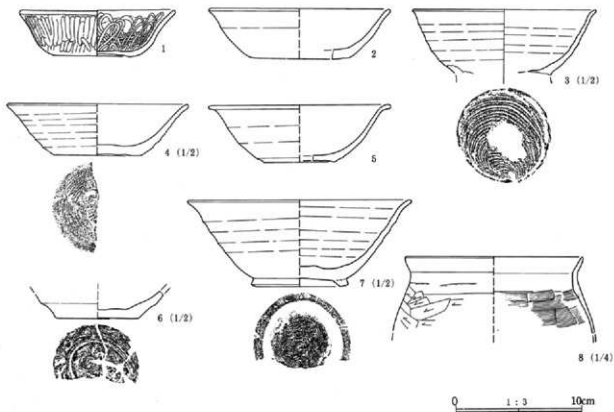
床 掘り方埋土上面が床面となるが、特に硬化面は確認されていない。

掘り方 全体が浅く掘り下げられ、暗褐色土が埋め戻される。

遺物 土師器杯、須恵器杯・碗、土師器甕類が出土している。



- 1 黒色土 焼土を含む  
2 黒褐色土 ロームを含む (床面)



第30図 6号住居と出土遺物

6号住居 (第30図、PL13・38)

位置 32D-9グリッド

重複 7号住居と重複する。また、南東隅が3号井戸により切られる。

主軸方位 -

形態 南東方向に長軸をもつ長方形を呈する。

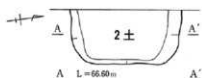
規模 420cm×370cm 床面積 13.3m<sup>2</sup>

カマド 確認されていない。おそらく南東側の壁に付設されるとみられるが、すでに遺失している。

床 ロームブロックを含む黒褐色土により床面が部分的にかくにんされた。

掘り方 土坑状の掘り込みはなく、不規則な浅い凹凸がみられ、黒褐色土により埋土される。

遺物 暗文をもつ土師器杯、須恵器杯・碗、甕類が出土する。



1 黒色土 軽石粒を含む粘り土

126土



1 黒褐色土 ロームブロックを含む  
2 黄褐色土 ローム、粘土を含む

d 土坑 (第31図・32図、PL17・30・31・39)

この調査面に伴う土坑として8基を報告する。いずれもAs-B層もしくはAs-B混土層下から検出したもので、火山灰降下以前の土坑である。形態は多岐にわたり、特徴はとらえにくい。分布状況をもとめると前記住居周辺に位置する傾向があり、このことから平安時代の遺構とみることが出来る。また、出土土器を伴う土坑からも9世紀代の土器が認められている。

2号土坑 (第31図、PL17)

30P-8グリッドに位置する。As-B埋没水田畦畔と重なるが土坑が時期的に古い。また、1号住居と重複するが新旧関係は不明である。擾乱により全形が不明であるが、方形を呈する。一辺118cm、深さ19cmを計測する。

126号土坑 (第31図、PL29)

32K-10グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、底面には柱穴状の小穴が認められる。2号壘穴遺構と重複するが、新旧関係は不明。長径88cm、短径71cm、深さ75cmを計測する。

131号土坑 (第31図、PL30)

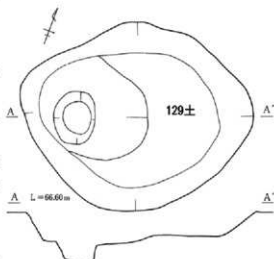
32I-8グリッドに位置する。52・75と重複し西端部が遺失する。平面形は不整形な楕円形を呈し、短径90cm、深さ17cmを計測する。

129号土坑 (第31図、PL30)

32K-9グリッドに位置する。底面端部に小穴があり重複土坑の可能性もある。大型の楕円形平面を呈し、長径248cm、



1 黒褐色土 ローム、粘土を含む

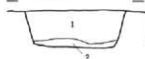


第31図 土坑

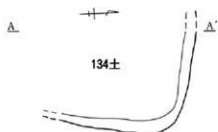
0 1:40 1m



A L=66.50m A'



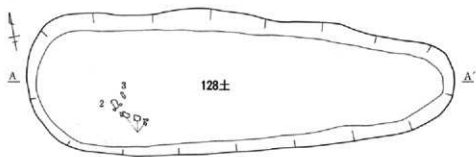
1 黒褐色土 ローム粒を含む  
2 褐灰色土 炭土、炭化物を含む



A L=66.50m A'

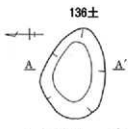
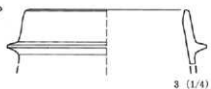
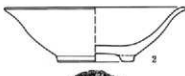


1 黒褐色土 ロームを含む



A L=66.70m A'

0 1:40 1m



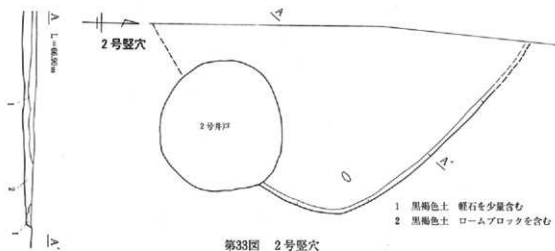
A L=66.48m A'



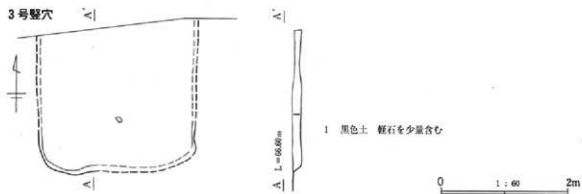
0 1:40 1m

0 1:5 10cm

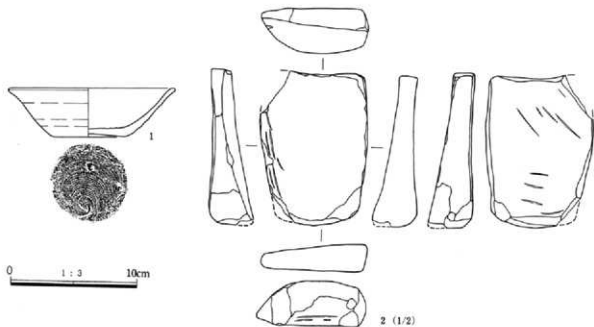
第32図 土坑、128・136号土坑出土遺物



第33図 2号堅穴



第34図 3号堅穴



第35図 3号堅穴出土遺物

短径199cm、深さ50cmを計測する。

#### 133号土坑 (第32図、PL31)

32C-7グリッドに位置する。やや不整な楕円形平面を呈し、長径138cm、短径98cm、深さ39cmを計測する。

#### 134号土坑 (第32図、PL30)

32B-7グリッドに位置する。方形平面の一部のみの検出であり形状は不明。住居の可能性もある。

#### 128号土坑 (第32図、PL30・39)

32K-9グリッドに位置する。長楕円形平面を呈し、底面から須恵器碗、羽釜が出土している。長径460cm、短径150cm、深さ10cmを計測する。

#### 136号土坑 (第32図、PL31・39)

32D-8グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、長径94cm、短径66cm、深さ26cmを計測する。壁面に接して土師器坏、須恵器碗の出土が認められた。

#### e 竪穴遺構 (第33・34図、35図、PL35・39)

方形平面のやや大型の遺構を竪穴遺構として調査した。

2基とも部分的な検出であり、全形は不明である。

#### 2号竪穴遺構 (第33図、PL35)

32K-10グリッドに位置する。東半部だけの調査であり、全形は不明。126号土坑と重複するが新旧関係は不明。深さ20cmを計測する。

#### 3号竪穴遺構 (第35図、PL35・39)

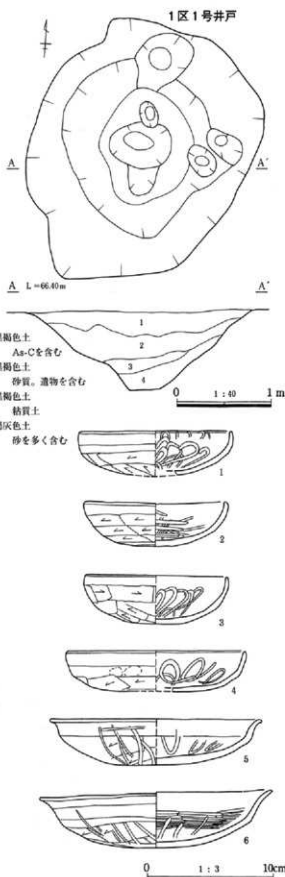
32I-7グリッドに位置する。南半部だけの調査であり、全形は不明。南壁長245cm、深さ12cmを計測する。須恵器坏、砥石が出土している。

#### f 井戸 (第36図、PL35・39)

32Q-6グリッドに位置する。埋没土上層から土師器坏類が出土し、下層には破片が少量が含まれる。やや不整な楕円形平面で、断面形は漏斗状を呈する。長径290cm、短径230cm、深さ80cmを計測する。

#### g 水田

調査区の広い範囲においてAs-B層の堆積が確認されるが、その部分では下層に埋没水田面が検出されている。As-B層は層厚が数cm程度と薄く、大半が火山灰降下以降の水田耕作



第36図 1号井戸と出土遺物

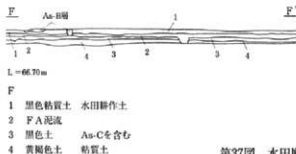
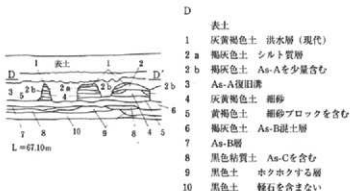
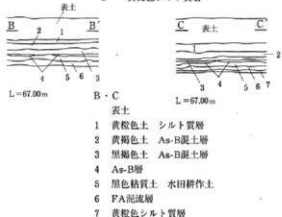
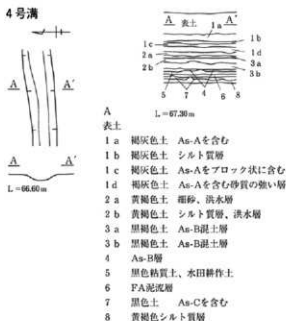


時に掘込まれているものとみられる。そのため水田の残存状況は概して良くない。畦畔もわずかな高まりにより判別できる程度である。

畦畔の走行をみると、南北方向および東西方向とも国家座標に準じた調査グリッドラインにほぼ沿っている。周辺遺跡においてもAs-B埋没水田は広く確認されている。これらの埋没水田畦畔には条里地割りがすでに確認されている。平安時代末には当地域に条里地割りが施工されていたことは理解できる。今回の調査により確認した畦畔も条里地割りとの関連のなかで考える必要があろう。

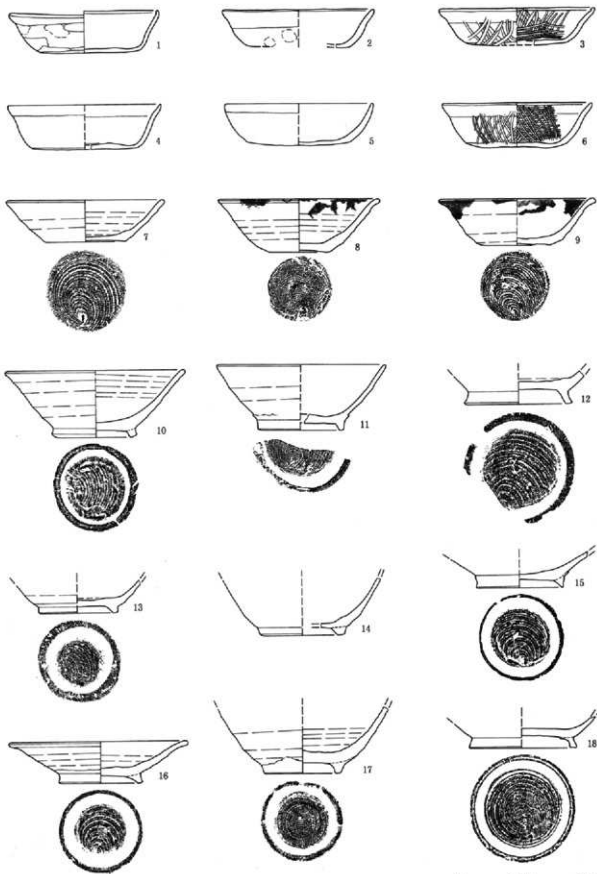
これら条里地割りがどの時点までさかのぼるのかについては有効な資料は得られなかった。ただ、今調査では9世紀代の住居が営まれた後に水田が造営されていることがわかっていいる。このような状態は北接する福島曲戸遺跡でもみられた。福島曲戸遺跡も9世紀代を中心とした規模の大きな集落上に水田が造営されていることが確認されている。

隣接して確認されている方形区画溝をもついわゆる中世館の立地についても、そのような地割りの影響が看取されている。発掘調査が進捗しつつある当地域の条里地割りの検討はあらためて考慮しなければならない。

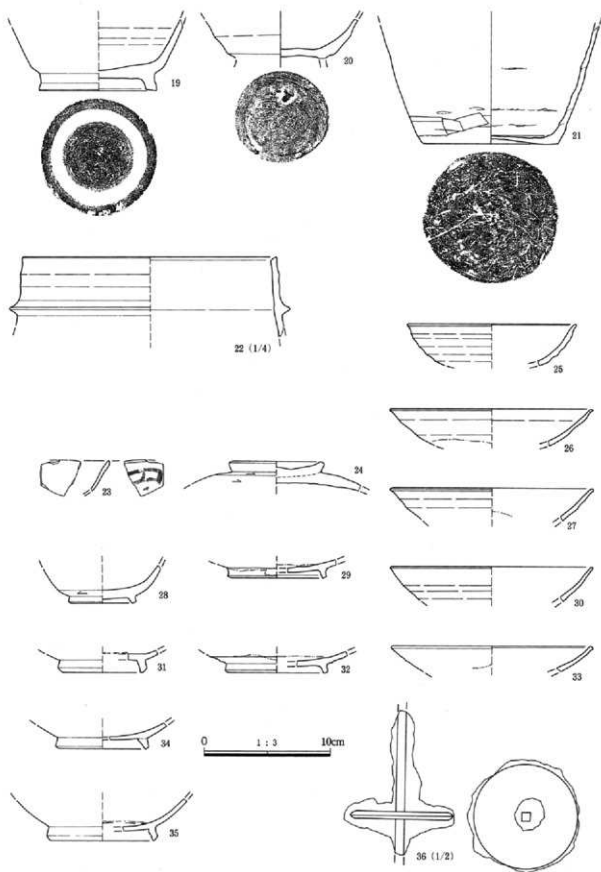


第37図 水田断面図

0 1:80 2m



第38回 グリッド出土遺物(1)



第39図 グリッド出土遺物(2)

#### 4 第3面の遺構と遺物

##### a 概要

中世に相当する遺構面は発掘調査による遺構確認面では、第2面および第3面が該当する。層準とすれば第1面確認層であるいわゆる黄褐色を示す洪水層に被覆され、As-B層に挟まれた土層である。この層は下層に堆積するAs-Bを混入するところから発掘調査時には「B混層」と通称されているものである。このような土層は遺跡が所在する玉村町をはじめ利根川兩岸の諸遺跡では通常の土層として確認され、また遺構や遺物が包含される層となっており、周辺遺跡における中世確認層の基準として認識されている層である。また、「B混層」は色調、As-B混入量に差異により分層できる。今回の発掘調査では2層に分層され、それぞれの層上において第2面、第3面の遺構確認面が検出されている。なお、地点によってはさらに分層できる場合があり、近接する福島大島遺跡では4層が確認され、それぞれの土層面において遺構の検出が認められている。

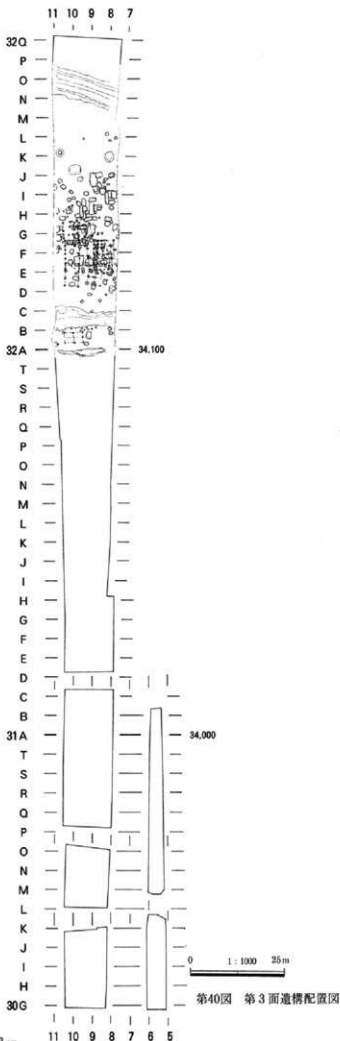
As-B降下以降、中世を通じて形成、堆積した土層となっており、応永年間と想定される利根川の変流に伴う洪水により埋没したものと理解されている。

今回の発掘調査では、洪水層に埋没する水田が検出され（第2面）、その下層に北側および南側を区画する溝内に掘立柱建物、井戸、各種土坑により構成されるいわゆる「館」遺構が確認されている。なお、この館については発掘調査時点での実績報告には「微高地両端部には館の堰と考えられる上幅6m、下幅1m、深さ1mの規模を持つ大溝が60mの間隔で2条平行気味に検出された。」とされている。

さらに、南側を区画する溝については約6m程度の間隔をもつ二重の区画溝が確認されている。北側区画溝については1条の溝により画されている。

内部の遺構は、掘立柱建物15棟、土坑98基、ピット60基、井戸3基等が検出されている。これらの遺構群は区画溝との位置関係で見ると、全体的に中央やや南寄りに集中する傾向が看取できる。

掘立柱建物はほぼ2地点に集中していることから



第40図 第3面遺構配置図

重複が著しい。両地点とも7種の重複が確認できる。なお、1棟は南側の二重区画溝間に位置し、他は掘立柱建物との重複はない。

土坑群は形態別に分類してみると、集中分布する傾向を示す類と散在分布する類が認められる。さらに掘立柱建物群と重複する土坑もあるが、全体的にはより北側に接した部分に分布している。

このような分布傾向の差異をみると、居住施設である掘立柱建物群の北側に貯蔵施設である土坑群を設けたように考えることもできるだろう。

井戸は2基確認されている。2号井戸は、掘立柱建物や土坑群等の北側に位置し、他遺構との重複はなく、周囲にも遺構の存在は認められていない。これと相違し3号井戸は南側に位置し、掘立柱建物と重複している。両井戸は平面、深さとも規模を異にしているため、性格にも差異があるのかもしれない。

墓塚が2基検出されている。いずれも小規模な土坑状のもので残存状況は不良である。1基は北側区画溝に接する位置で、他1基は南側の二重区画溝間に位置している。

なお、ピットと称する小型土坑は、掘立柱建物に関する柱穴と考えられたものである。主たる分布域は掘立柱建物群と同様であるが、その性格や構成はわからない。

第2面の水田は残存状況は不良である。調査区では2区にあたる30H-6グリッド付近に東西方向の畦が一条確認されている。またこの畦の北側に水田区画に関連する段差も認められる。これは、遺跡南側がより低く、北に向かって微高地が存在することによる。近世以降の耕作等の影響を受けにくいより低位部分に水田区画が残存したものと見える。なお、前記の第3面遺構は、この微高地上に形成されたものである。また、畦畔の確認には至っていないが、館遺構が立地する微高地にも第2面確認層が存在している。このことから、第2面および第3面の遺構面の把握ができるものとなった。

なお、遺構としての状況はあまり良くないが、隣接遺跡の調査成果などもふくめ、この面に水田が存

在することが確認されたことといえる。

以下、第2面および第3面において検出された遺構について概要を報告する。

#### b 館(付図、PL1・4・5)

2区北側で検出された遺構群を総称して1号館として報告する。

この遺構群は、32Aラインに位置する幅5m前後と2m前後の平行する溝を南限とし、北側は32Oライン付近の地点に集中する。特に32Dラインから32Jライン間の南北30mの範囲にほとんどの遺構が密集する。この遺構群は東および西側には広がりをもつが、その範囲は今後の周辺での発掘調査により確認されるものといえる。

ここに検出された遺構は次の種類がある。掘立柱建物15棟、井戸2基、墓塚2基、土坑96基、ピット59基等である。なお、土坑とピットを区分して報告しているが、発掘調査時に柱穴とみられる小規模な円形落ち込みをピットとし、それ以外の規模の大きな落ち込みを土坑として調査を進めていることによる。報告に際しても、呼称については基本的に調査時の名称に準じている。

遺構群は前記の範囲に密集しているが、それぞれの分布状態をみると、掘立柱建物群が集中する部分と土坑群が集中する部分はわずかに差異が認められる。掘立柱建物は遺構集中部の南半部、土坑は同集中部の北半部に偏する傾向がある。

掘立柱建物群は近接する2ヶ所に分布域があり、重複が著しい。掘立柱建物は規模により分類が可能であるが、同様の規模のものについては重複例が少ないようである。

土坑についても、規模や形態から分類が可能であるがその分布状況をみると同形態の土坑は分布域を共有する傾向があるが、重複は少ない。

ピットとしたものは一部が掘立柱建物の柱穴となることから、同建物群周辺に偏在する。

なお、南側区画溝と11号溝間には5m前後の面をもつが、この部分に溝と平行するように掘立柱建物

が1棟および柱穴や土坑、墓塚が分布する。北側区画溝は32Nライン付近にあり、東西に走行する。南北区画溝はほぼ260mの規模であり、掘立柱建物をはじめとした遺構群はこの区画の中央や南側に集中する。

以下、これらの遺構について報告していく。

#### c 掘立柱建物（第41回～第47回）

掘立柱建物は15棟が確認された。調査時には8棟が立棟されたが、さらに整理作業時に図面上で確認した掘立柱建物が7棟あり、多少変更が生じる面もあるがこの15棟を報告していくものとする。

掘立柱建物群は分布域が特定されるため重複が著しい。その分布状況を見ると近接するものの2地点に集中部が認められる。仮にその2ヶ所をA地点とB地点とし概要を説明しておく。

A地点は西側に分布域をもつ一群で、32d-9グリッドから32G-9グリッド間にあたる。B地点はこれに東接する32D-8グリッドから32F-8グリッド間において重複する一群である。

次に掘立柱建物について規模別に分類し、その上でA地点、B地点における分布の特徴をみておきたい。

確認された掘立柱建物を比較すると、次の7類に分類できる。

a、桁行4間、梁行2間の建物で、2号掘立柱建物、9号掘立柱建物が該当する。柱間はやや不規則で、規模も多少相違するが、2号が桁行720cm（24尺）、梁行360cm（12尺）、9号が桁行660cm（22尺）、梁行390cm（13尺）である。2号がA地点、9号がB地点にありおよそ4m程距離をおいて存在する。

b、桁行3間、梁行2間の建物で、1号掘立柱建物、4号掘立柱建物が該当する。2棟とも桁行は575cm（19尺）であるが、梁行は1号が390cm（13尺）、4号が360cm（12尺）を計測する。両掘立柱建物はA地点に位置するが、4m前後の間隔をもち重複関係はない。

c、桁行2間、梁行2間の建物で、10号掘立柱建物、

12号掘立柱建物、13号掘立柱建物が該当する。柱構成や規模にやや相違があるが、ほぼ同規模のものと考えられる。計測値は、10号が桁行450cm（15尺）、梁行390cm（13尺）、12号が桁行420cm（14尺）、梁行390cm（13尺）、13号が桁行450cm（15尺）、梁行420cm（14尺）である。この3棟はB地点において重複する。同様の規模を示す掘立柱建物が重複関係にある例は、この種のみである。

d、桁行2間、梁行2間の建物で、3号掘立柱建物、15号掘立柱建物が該当する。桁行方向の柱間や寸法に相違があるが、梁行方向については共通する。なお、15号には中央部にも柱穴が確認されているが、3号については未確認である。計測値は、3号が桁行420cm（14尺）、梁行270cm（9尺）、15号が桁行480cm（16尺）、梁行270cm（9尺）である。位置は3号がA地点、15号が南側区画溝と11号溝間となる。

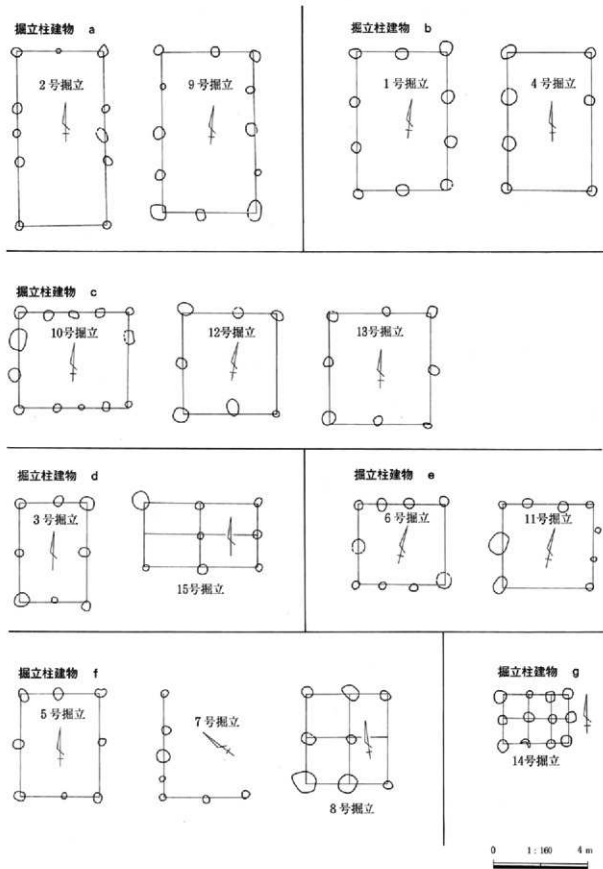
e、桁行3間、梁行3間（2間）の建物で、6号掘立柱建物、11号掘立柱建物が該当する。柱穴が一部未確認のため柱間が不規則である。桁行方向は3間であるが、梁行方向については11号が3間であることから、6号も同様の可能性があろう。規模は6号、11号とも桁行360cm（12尺）、梁行330cm（11尺）を計測する。位置は6号がA地点、11号がB地点でそれぞれ4m前後の距離をもつ。

f、桁行2間、梁行2間の建物で、5号掘立柱建物、7号掘立柱建物、8号掘立柱建物が該当する。8号については中央部に柱穴が確認されるが、5号、7号には未確認である。また、7号掘立柱建物としたものについても南側、東側の柱穴が確認されていないが、規模の比較からこの3棟を同種に含めておく。

規模は、3棟とも梁行は330cm（11尺）と共通するが桁行は5号が450cm（15尺）、7号が420cm（14尺）、8号が390cm（13尺）を計測する。

位置は、5号、7号がA地点、8号がB地点にあり、重複関係はない。

g、桁行3間、梁行2間の総柱建物で、14号掘立柱建物が該当する。規模は桁行270cm（9尺）、梁行210cm（7尺）を計測し、B地点に位置する。



第41图 独立柱建筑物一覽图

#### 1号掘立柱建物 (第42図)

32G-10グリッドに位置する。桁行3間、梁行2間の規模で、掘立柱建物bに該当する。桁行長は575cmで、梁行長は390cmを計測する。2号・3号・5号・6号・7号掘立柱建物と重複し、桁行方位は $N-6^{\circ}-W$ を示す。

#### 2号掘立柱建物 (第42図)

32E-9グリッドに位置する。桁行4間、梁行2間の規模で、掘立柱建物aに該当する。桁行長は720cm、梁行長は360cmを計測する。1号・3号・4号・5号・6号掘立柱建物と重複する。桁行方位は $N-1^{\circ}-W$ を示す。

#### 3号掘立柱建物 (第43図)

32F-9グリッドに位置する。桁行2間、梁行2間の規模で、掘立柱建物dに該当する。桁行長は420cmで、梁行長は270cmを計測する。1号・3号・5号・6号・掘立柱建物と重複し、桁行方位は $N-2^{\circ}-W$ を示す。

#### 4号掘立柱建物 (第43図)

32D-9グリッドに位置する。桁行3間、梁行2間の規模で、掘立柱建物dに該当する。桁行長は575cm、梁行長は360cmを計測する。2号掘立柱建物と重複し、桁行方位は $N-3^{\circ}-W$ を示す。

#### 5号掘立柱建物 (第43図)

32F-9グリッドに位置する。桁行2間、梁行2間の規模で、掘立柱建物fに該当する。桁行長は450cm、梁行長は330cmを計測する。1号・2号・3号・6号掘立柱建物と重複する。桁行方位はNを示す。

#### 6号掘立柱建物 (第43図)

32G-9グリッドに位置する。桁行3間、梁行3間の規模で、掘立柱建物eに該当する。桁行長は360cm、梁行長は330cmを計測する。1号・2号・3号・5号掘立柱建物と重複する。桁行方位は $N-14^{\circ}-$

Wを示す。

#### 7号掘立柱建物 (第44図)

32H-10グリッドに位置する。桁行2間、梁行2間の規模で、掘立柱建物fに該当する。桁行長は420cm、梁行長は330cmを計測する。1号掘立柱建物と重複する。桁行方位は $N-50^{\circ}-W$ を示す。

#### 8号掘立柱建物 (第44図)

32D-8グリッドに位置する。桁行2間、梁行2間の規模で、掘立柱建物fに該当する。桁行長は390cm、梁行長は330cmを計測する。9号・10号・12号掘立柱建物と重複する。桁行方位は $N-8^{\circ}-W$ を示す。

#### 9号掘立柱建物 (第44図)

32E-8グリッドに位置する。桁行4間、梁行2間の規模で、掘立柱建物aに該当する。桁行長は660cm、梁行長は390cmを計測する。10号・11号・12号・13号・14号掘立柱建物と重複する。桁行方位は $N-5^{\circ}-W$ を示す。

#### 10号掘立柱建物 (第45図)

32E-8グリッドに位置する。桁行2間、梁行2間の規模で、掘立柱建物cに該当する。桁行長は450cm、梁行長は390cmを計測する。9号・11号・12号・13号掘立柱建物と重複する。桁行方位は $N-88^{\circ}-W$ を示す。

#### 11号掘立柱建物 (第45図)

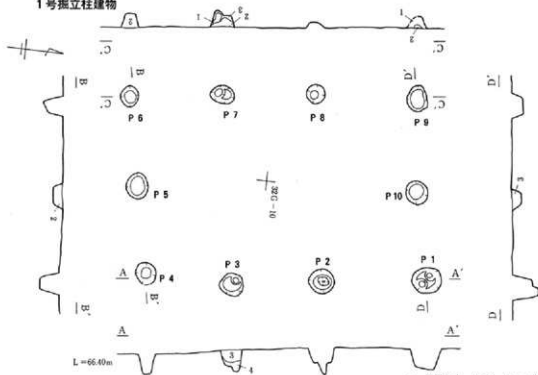
32E-7グリッドに位置する。桁行3間、梁行3間の規模で、掘立柱建物eに該当する。桁行長は360cm、梁行長は330cmを計測する。9号・10号・12号・13号掘立柱建物と重複する。桁行方位は $N-12^{\circ}-W$ を示す。

#### 12号掘立柱建物 (第46図)

32E-8グリッドに位置する。桁行2間、梁行2

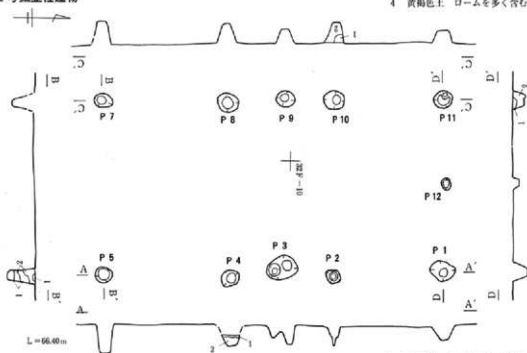


1号掘立柱建物



- 1 黒褐色土 As-B, ロームを含む
- 2 黒褐色土 ローム粒少量含む
- 3 黄褐色土 ロームブロックを含む
- 4 黄褐色土 ロームを多く含む

2号掘立柱建物

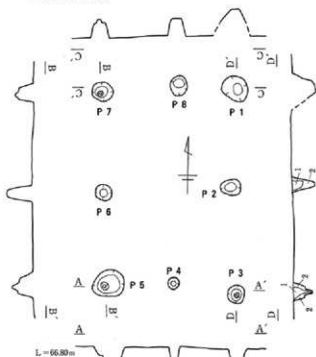


- 1 黒褐色土 As-B, ローム含む
- 2 暗褐色土 ロームブロックを含む

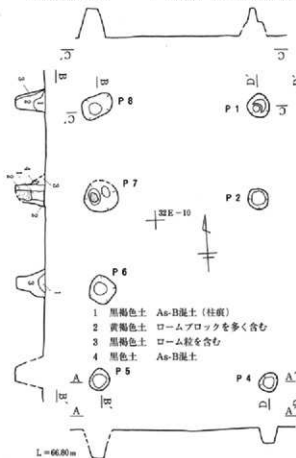
第42図 掘立柱建物(1)

0 1 : 80 2 m

3号掘立柱建物

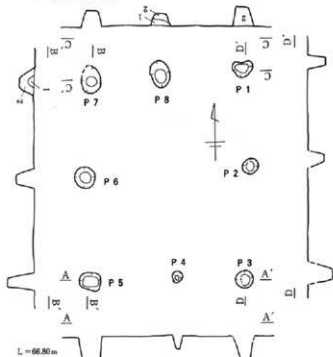


4号掘立柱建物



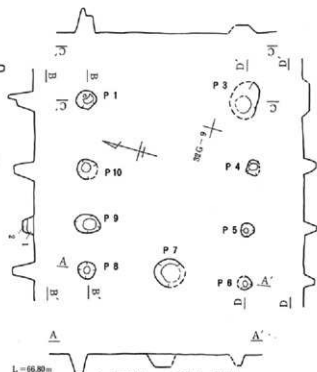
- 1 黒褐色土 As-B混土 (柱痕)
- 2 黒灰色土 ロームブロック含む

5号掘立柱建物



- 1 黒褐色土 As-B混土、軟弱層
- 2 黒褐色土 As-B、ロームを含む

6号掘立柱建物

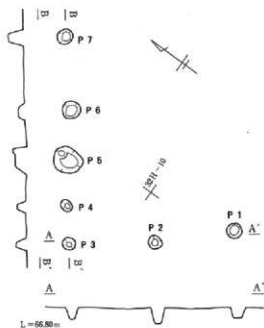


- 1 黒褐色土 As-B混土、軟弱層
- 2 黒褐色土 As-B、ロームを含む

第43図 掘立柱建物(2)

0 1:80 2m

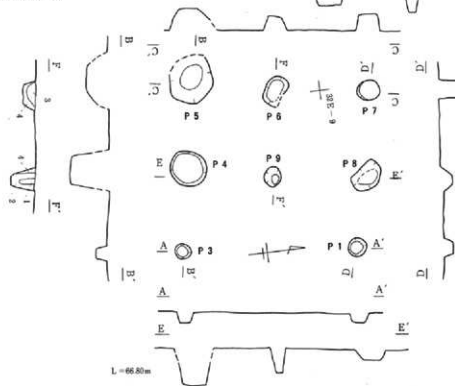
7号掘立柱建物



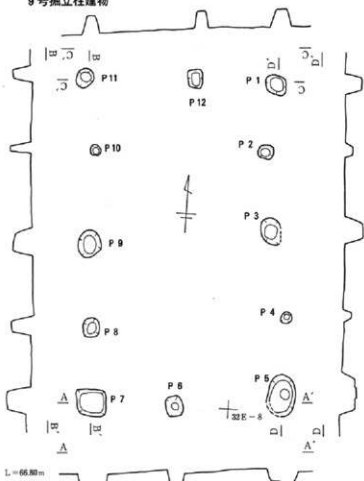
8号掘立柱建物

- 1 黒褐色土 ロームを含む軟弱な層 (柱痕)
- 2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む
- 3 黒褐色土 As-B混土
- 4 黒褐色土 ロームブロックを含む

8号掘立柱建物



9号掘立柱建物



第44図 掘立柱建物(3)

0 1.00 2.00

間の規模で、掘立柱建物cに該当する。桁行長は420cm、梁行長は390cmを計測する。9号・10号・11号・13号・14号掘立柱建物と重複する。桁行方位はN-10°-Wを示す。

#### 13号掘立柱建物 (第46図)

32F-8グリッドに位置する。桁行2間、梁行2間で、掘立柱建物cに該当する。桁行長は450cm、梁行長は420cmを計測する。9号・10号・11号・12号掘立柱建物と重複する。桁行方位はN-3°-Wを示す。

#### 14号掘立柱建物 (第47図)

32F-8グリッドに位置する。桁行3間、梁行2間の規模で、掘立柱建物gに該当する。桁行長は270cm、梁行長は210cmを計測する。9号・12号・13号掘立柱建物と重複する。桁行方位はN-90°-Wを示す。

#### 15号掘立柱建物 (第47図)

32A-9グリッドに位置する。桁行2間、梁行2間の規模で、掘立柱建物dに該当する。桁行長は480cm、梁行長は270cmを計測する。二重の南側区画溝間に位置する。桁行方位は溝と平行関係にあり、N-88°-Wを示す。

#### 2号柱穴列 (第48図)

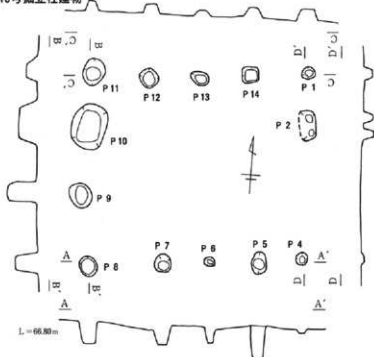
32A-9グリッドに位置し、南側区画溝南辺にはほぼ平行する4穴による列構成が認められた。延長4mで、柱間は100cmを計測する。

#### 3号柱穴列 (第48図)

32A-10グリッドに位置し、南側

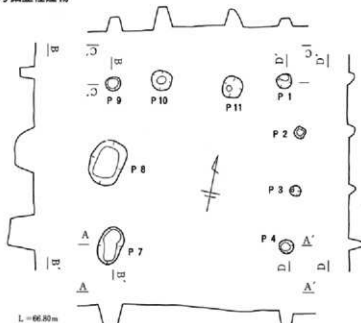
区画溝にはほぼ平行する5穴による列構成が認められた。東側では2号柱穴列と重複する位置関係となる。延長8m、4穴が柱間100cmで並び、西端柱穴が4mの間隔となる。

#### 10号掘立柱建物



1 黒灰色土 As-B, ロームを含む

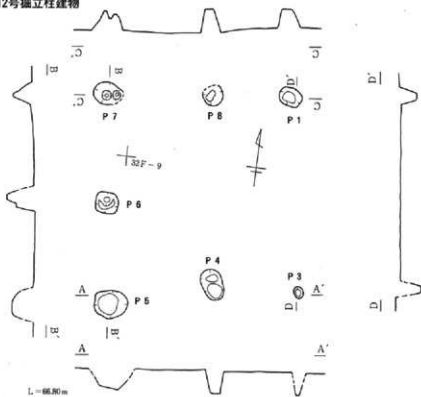
#### 11号掘立柱建物



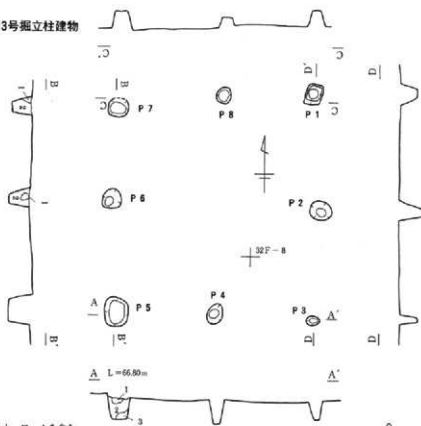
第45図 掘立柱建物(4)

0 1:50 2m

12号掘立柱建物



13号掘立柱建物

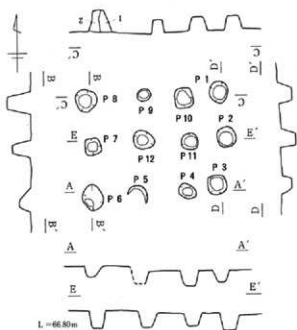


- 1 黒褐色土 ロームを含む
- 2 黒灰色土 ローム粒、シルトを含む
- 3 黄褐色土 黒褐色土、ロームを含む

第46図 掘立柱建物(5)

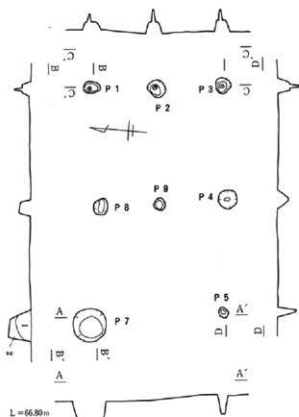
0 1:80 2m

14号掘立柱建物



- 1 黄褐色土 ローム殻含む (柱状)
- 2 黄褐色土 ロームブロックを多く含む

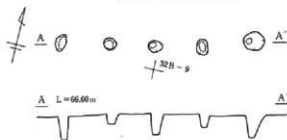
15号掘立柱建物



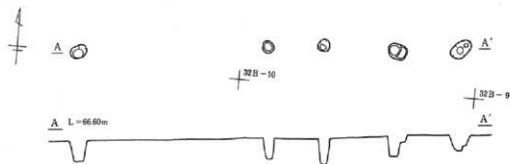
- 1 灰褐色土 As-B混土
- 2 灰褐色土 ロームブロックを含む

2号柱穴列

第47図 掘立柱建物(6)



3号柱穴列



第48図 柱穴列



d 井戸 (第49図、PL22・27・35・40)

井戸は3基が確認された。なお、調査時は土坑としていたが、整理に伴い井戸と考えられるため51号土坑についてもここに報告しておく。

2号井戸は大型の井戸で掘立柱建物や土坑等の遺構群の北側に位置する。周囲に遺構は認められない。3号井戸、51号土坑はやや小さいものであるが、それぞれ遺構群の北側と南側に位置している。

2号井戸

32K-10グリッドに位置する。口径200cm、底径100cm、深さ160cmの規模で、下半部は円筒形であるが、上半部は強く開く。埋没土は上層がAs-Bを含む黒褐色土であり、下層にはロームブロックを多量に含む黒褐色土で埋没している。また、下層から掘り鉢、石臼が出土している。

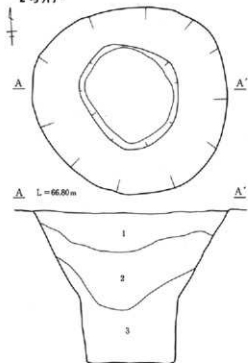
3号井戸

32D-8グリッドに位置する。口径110cm、底径60cm、深さ95cmを計測する。90号土坑および8号掘立柱建物と重複するが、新旧関係は不明である。

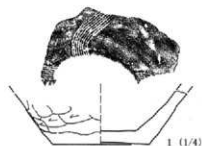
51号土坑

32K-7グリッドに位置する。口径82cm、底径60cm、深さ145cmを計測し、円筒形を呈する。周囲に土坑が存在するが、遺構群からやや離れた地点に位置する。

2号井戸



- 1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む
- 2 黒褐色土 多量のロームブロックを含む
- 3 褐灰色土 黒色土、ロームブロックを含む

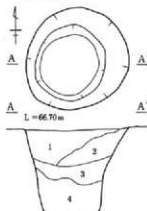


1 (1/4)



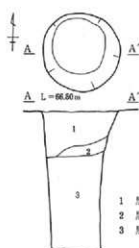
2 (1/5)

3号井戸



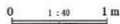
- 1 暗褐色土 As-Bを含む
- 2 褐灰色土 ロームブロックを含む
- 3 褐色土 ローム粒を含む
- 4 黒褐色土 ロームブロックを含む粘質土

51号土坑



- 1 黒色土 As-B、ローム粒を含む
- 2 黒色土 ロームブロックを含む
- 3 黒褐色土 ロームブロックを含む粘質土

第49図 井戸、2号井戸出土遺物



#### e 墓塚 (第50回、PL35)

墓塚は2基検出された。1号墓塚は二重の南側区画溝間にあり、2号墓塚は館内遺構群の北側に位置する。いずれも他遺構との重複はなく、掘立柱建物や土坑の集中する遺構群とは離れた地点に分布する点は共通性が認められる。

##### 1号墓塚

32A-10グリッドに位置し、長径130cm、短径75cm、深さ30cmを計測する。長軸は南北方向にあり、東壁に幅35cm、長さ50cmの張り出しが付設される。埋没土層は2層に分層されるが、上層はAs-Bを含む褐色土、下層は炭化材を主体とし、骨片を含む層となっている。骨片はこの土層の上部に多いとの調査所見がある。

##### 2号墓塚

32K-7グリッドに位置し、長径65cm、短径35cm、深さ6cmを測るやや不整な楕円形を呈する。残存状況は不良で、検出時において炭化材、骨片等の散布が認められた。墓塚上部は掘乱により遺失しているものとみられる。

#### f 土坑 (第51回～第61回、PL17～29、31)

土坑は計98基検出された。分布状況は前記のように掘立柱建物群との重複もあるが、傾向としては主たる分布域はより北側にあるようにみられる。

これらの土坑群は形態から次の各種に分類が可能である。

##### 土坑A

長軸200cm前後、短軸140cm前後の長方形平面を呈する。掘立柱建物群に北接する範囲に帯状に直線的な分布状況を示す。さらに2基づつ並ぶような分布にもみえる。例えば55号・73号、20号・58号、96号・96号、19号・31号、12号・14号等にそのような位置関係が看取される。

##### 土坑B

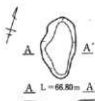
長軸140cm前後、短軸120cm前後の長方形平面を呈する。長短軸長の差が少なく方形平面に近いものもある。分布は分散し、同種土坑間の重複はない。

##### 1号墓塚



- 1 褐色土 As-B、ロームブロックを含む
- 2 黒色土 炭化材を多く含み、骨片を混入する

##### 2号墓塚



第50回 墓塚

##### 土坑C

長軸100cm前後、短軸80cm前後の長方形平面を呈する。分布状況は遺構分布範囲内にわたり分散分布する。

##### 土坑D

一辺100cm前後の方形平面を呈する。分散分布を示し、他遺構との重複も少ない。

##### 土坑E

短軸100cm前後で、長軸は200cmから300cm前後の規模をもつ帯状の長方形平面を呈する。長軸方向が延長軸のため、長さは一定しないことが形態的特徴といえる。分布をみると集中する傾向があり、掘立柱建物群の北側に偏在している。なお、54号土坑は大型だが、重複しているものと考えられる。

##### 土坑F

長径が50cmから100cm前後の長方形土坑。一部が



掘立柱建物群と重複するが、大半はその周辺部に分布する傾向がある。

#### 土坑G

径が100cmから200cm前後の大型円形土坑で、掘立柱建物群に近接する場所に分布し、重複例も多い。

#### 土坑H

長径が200cm前後の規模を持つ大型楕円形土坑。掘立柱建物群の接して分布する。

#### 土坑I

長軸200cm以上的大型方形土坑。2基認められているが、1基は掘立柱建物群内に、他1基は掘立柱建物群北側にそれぞれ位置する。

#### 土坑J

長径300cm前後の大型楕円形土坑。他土坑と重複せず、確認された3基は分散して分布する。

形態からこのように分類したが、特徴を指摘しておきたい。

土坑群は館中央南寄りに分布し、部分的に重複するが掘立柱建物群の北側に主要な分布域をもつ。土坑間重複は多いが、同分類土坑ではほとんど重複はみられない。ただ、土坑Eは同地点に集中し、重複が多いことが特徴的である。

土坑A、B、C、Dとした長方形土坑は2基ずつ並んで分布するようにみえる。この分布状況は前記のとおり土坑Aにおいて顕著であるが、他のB、C、Dでも伺える。これらの土坑は同類土坑の位置関係でもみることができるが、さらにはAからDの別類土坑間でもそのような位置関係が看取できる。

#### 4号土坑（第51図、PL17）

32A-8グリッドに位置する。長径194cm、短径127cm、深さ16cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

#### 5号土坑（第51図、PL17）

32A-8グリッドに位置する。長径118cm、短径83cm、深さ52cmを測る。平面形は長方形で土坑Cに

該当する。

#### 6号土坑（第51図、PL17）

32D-9グリッドに位置する。長径152cm、短径103cm、深さ48cmを測る。平面形は長方形で土坑Dに該当する。

#### 7号土坑（第51図、PL17）

32D-9グリッドに位置する。長径166cm、短径109cm、深さ42cmを測る。平面形は長方形で土坑Dに該当する。

#### 8号土坑（第51図、PL18）

32E-9グリッドに位置する。長軸148cm、短軸127cm、深さ40cmを測る。平面形は長方形で土坑Gに該当する。

#### 9号土坑（第51図、PL18）

32F-10グリッドに位置する。長軸不明、短軸116cm、深さ24cmを測る。平面形は長方形で土坑Dに該当する。

#### 11号土坑（第51図、PL18）

32G-10グリッドに位置する。長径不明、短径160cm、深さ43cmを測る。土坑Gに該当する。

#### 12号土坑（第51図、PL18）

32G-10グリッドに位置する。長軸165cm、短軸105cm、深さ42cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

#### 13号土坑（第51図、PL18）

32H-10グリッドに位置する。長径不明、短径155cm、深さ38cmを測る。平面形は円形で土坑Gに該当する。

#### 14号土坑（第52図、PL19）

32H-9グリッドに位置する。長径173cm、短径9

8cm、深さ25cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**15号土坑（第52図、PL19）**

32F-10グリッドに位置する。長径101cm、短径75cm、深さ38cmを測る。平面形は長方形で土坑Cに該当する。

**16号土坑（第52図、PL19）**

32H-9グリッドに位置する。長径101cm、短径100cm、深さ16cmを測る。平面形は長方形で土坑Dに該当する。

**17号土坑（第52図、PL19）**

32F-9グリッドに位置する。長径218cm、短径130cm、深さ14cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**18号土坑（第53図、PL20）**

32G-9グリッドに位置する。長径317cm、短径86cm、深さ50cmを測る。平面形は長方形で土坑Eに該当する。

**19号土坑（第53図、PL20）**

32G-9グリッドに位置する。長径不明、短径114cm、深さ40cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**20号土坑（第52図、PL20）**

32H-8グリッドに位置する。長径192cm、短径100cm、深さ34cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**21号土坑（第52図、PL21）**

32H-9グリッドに位置する。長径134cm、短径114cm、深さ52cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**22号土坑（第52図、PL21）**

32I-9グリッドに位置する。長径144cm、短径121cm、深さ50cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**23号土坑（第52図、PL19）**

32H-9グリッドに位置する。長径93cm、短径77cm、深さ53cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**24号土坑（第54図、PL21）**

32H-9グリッドに位置する。長径90cm、短径68cm、深さ28cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**25号土坑（第54図、PL21）**

32D-9グリッドに位置する。長径75cm、短径68cm、深さ25cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**26号土坑（第54図、PL19）**

32I-9グリッドに位置する。長径116cm、短径78cm、深さ54cmを測る。平面形は長方形で土坑Cに該当する。

**27号土坑（第54図、PL21）**

32I-10グリッドに位置する。長径128cm、短径107cm、深さ53cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**28号土坑（第54図、PL21）**

32F-10グリッドに位置する。長径不明、短径177cm、深さ11cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**29号土坑（第53図、PL20）**

32H-9グリッドに位置する。短径122cm、深さ33cmを測る。平面形は長方形で土坑Eに該当する。

**30号土坑 (第53図、PL20)**

32H-9グリッドに位置する。長径140cm、短径105cm、深さ31cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**31号土坑 (第31図、PL20)**

32H-9グリッドに位置する。長径不明、短径143cm、深さ36cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**33号土坑 (第53図、PL20)**

32G-9グリッドに位置する。長径174cm、短径167cm、深さ42cmを測る。平面形は大型楕円形で土坑Gに該当する。

**34号土坑 (第53図、PL20)**

32H-9グリッドに位置する。長径108cm、短径88cm、深さ23cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**36号土坑 (第54図、PL20)**

32G-8グリッドに位置する。長径不明、短径136cm、深さ25cmを測る。平面形は長方形で土坑Eに該当する。

**39号土坑 (第53図、PL20)**

32G-8グリッドに位置する。長径247cm、短径93cm、深さ26cmを測る。平面形は長方形で土坑Eに該当する。

**41号土坑 (第54図、PL20、21)**

32H-8グリッドに位置する。長径124cm、短径78cm、深さ26cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**42号土坑 (第54図、PL20、21)**

32H-8グリッドに位置する。長径不明、短径(120cm)、深さ36cmを測る。平面形は長方形で土坑Eに該当する。

**43号土坑 (第54図、PL22)**

32C-8グリッドに位置する。長径82cm、短径70cm、深さ30cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**44号土坑 (第54図、PL20)**

32G-8グリッドに位置する。長径167cm、短径99cm、深さ43cmを測る。平面形は楕円形で土坑Hに該当する。

**47号土坑 (第54図、PL20)**

32H-8グリッドに位置する。重複のため規模は不明、深さ38cmを測る。平面形は方形を呈する。

**48号土坑 (第55図、PL22)**

32L-8グリッドに位置する。長径107cm、短径97cm、深さ17cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**49号土坑 (第55図、PL22)**

32K-8グリッドに位置する。長径72cm、短径70cm、深さ50cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**50号土坑 (第55図、PL22)**

32E-8グリッドに位置する。長径112cm、短径78cm、深さ16cmを測る。平面形は長方形で土坑Cに該当する。

**52号土坑 (第55図、PL23)**

32I-8グリッドに位置する。長径148cm、短径106cm、深さ45cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**54号土坑 (第55図、PL23)**

32I-8グリッドに位置する。長径366cm、短径199cm、深さ43cmを測る。平面形は長方形で土坑Eに該当する。

**55号土坑 (第56図、PL23)**

32 I-8 グリッドに位置する。長径184cm、短径145cm、深さ45cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**58号土坑 (第56図、PL23)**

32 I-8 グリッドに位置する。長径不明、短径120cm、深さ30cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**59号土坑 (第56図、PL23)**

32 F-9 グリッドに位置する。長径119cm、短径116cm、深さ35cmを測る。平面形は長方形で土坑Dに該当する。

**61号土坑 (第56図、PL23, 24)**

32 F-10 グリッドに位置する。長径116cm、短径88cm、深さ46cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**62号土坑 (第56図、PL23)**

32 E-8 グリッドに位置する。長径130cm、短径105cm、深さ19cmを測る。平面形は楕円形で土坑Hに該当する。

**63号土坑 (第56図、PL24)**

32 G-9 グリッドに位置する。長径88cm、短径74cm、深さ32cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**64号土坑 (第56図、PL23, 24)**

32 F-9 グリッドに位置する。径86cm、深さ24cmを測る。土坑Aに該当する。

**65号土坑 (第56図、PL24)**

32 I-8 グリッドに位置する。長径179cm、短径163cm、深さ21cmを測る。平面形は円形で土坑Gに該当する。

**67号土坑 (第56図、PL25)**

32 F-10 グリッドに位置する。長径76cm、短径64cm、深さ44cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**68号土坑 (第56図、PL25)**

32 F-10 グリッドに位置する。長径67cm、短径63cm、深さ21cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**69号土坑 (第52図、PL25)**

32 F-9 グリッドに位置する。長径110cm、短径106cm、深さ51cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**70・71号土坑 (第56図、PL25)**

32 F-9 グリッドに位置する。長径208cm、短径130cm、深さ13cmを測る。平面形は楕円形で土坑Hに該当する。

**72号土坑 (第57図、PL25)**

32 J-9 グリッドに位置する。長径322cm、深さ74cmを測る。平面形は不整楕円形で土坑Jに該当する。

**73号土坑 (第57図、PL25)**

32 I-7 グリッドに位置する。長径169cm、短径111cm、深さ38cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**74号土坑 (第57図、PL25)**

32 I-8 グリッドに位置する。長径98cm、短径69cm、深さ15cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**75号土坑 (第57図、PL25)**

32 I-8 グリッドに位置する。長径85cm、短径57cm、深さ24cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑F

に該当する。

**76号土坑 (第57図、PL26)**

32H-7グリッドに位置する。長径117cm、短径104cm、深さ9cmを測る。平面形は長方形で土坑Dに該当する。

**77号土坑 (第57図、PL26)**

32G-7グリッドに位置する。長径175cm、短径113cm、深さ19cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**78号土坑 (第57図、PL26)**

32G-7グリッドに位置する。長径146cm、短径125cm、深さ13cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**79号土坑 (第57図、PL26)**

32G-7グリッドに位置する。短径57cm、深さ7cmを測る。平面形は長方形で土坑Cに該当する。

**84号土坑 (第57図、PL21)**

32I-10グリッドに位置する。長径131cm、短径114cm、深さ60cmを測る。平面形は長方形で土坑Dに該当する。

**85号土坑 (第58図、PL26)**

32F-8グリッドに位置する。長径186cm、短径74cm、深さ18cmを測る。平面形は楕円形で土坑Hに該当する。

**86号土坑 (第58図、PL26)**

32E-8グリッドに位置する。長径161cm、短径120cm、深さ27cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**87号土坑 (第58図、PL26)**

32E-8グリッドに位置する。長径156cm、短径

75cm、深さ27cmを測る。平面形は楕円形で土坑Hに該当する。

**88号土坑 (第58図、PL26)**

32E-8グリッドに位置する。長径70cm、短径63cm、深さ45cmを測る。平面形は円形で土坑Fに該当する。

**89号土坑 (第58図、PL27)**

32E-9グリッドに位置する。長径143cm、短径85cm、深さ47cmを測る。平面形は楕円形で土坑Hに該当する。

**90号土坑 (第58図、PL27)**

32D-8グリッドに位置する。長径208cm、短径112cm、深さ45cmを測る。平面形は楕円形で土坑Hに該当する。

**91号土坑 (第58図、PL24)**

32I-8グリッドに位置する。長径74cm、短径65cm、深さ20cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**92号土坑 (第58図、PL23)**

32I-8グリッドに位置する。長径133cm、短径111cm、深さ56cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**93号土坑 (第59図、PL24)**

32H-8グリッドに位置する。長径308cm、短径86cm、深さ47cmを測る。平面形は長方形で土坑Eに該当する。

**94号土坑 (第59図、PL24)**

32H-7グリッドに位置する。短径197cm、深さ32cmを測る。平面形は方形で土坑Iに該当する。

**95号土坑 (第59図、PL24)**

32H-7グリッドに位置する。長径194cm、短径142cm、深さ45cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**96号土坑 (第59図、PL24)**

32H-7グリッドに位置する。長径187cm、短径110cm、深さ30cmを測る。平面形は長方形で土坑Aに該当する。

**98号土坑 (第58図、PL27)**

32I-10グリッドに位置する。長径177cm、深さ70cmを測る。平面形は円形で土坑Gに該当する。

**99号土坑 (第59図、PL27)**

32F-8グリッドに位置する。長径298cm、短径200cm、深さ41cmを測る。土坑Jに該当する。

**100号土坑 (第59図、PL26)**

32F-8グリッドに位置する。長径68cm、短径55cm、深さ19cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**101号土坑 (第59図、PL27)**

32G-7グリッドに位置する。長径185cm、短径127cm、深さ44cmを測る。平面形は楕円形で土坑Hに該当する。

**103号土坑 (第59図、PL28)**

32C-9グリッドに位置する。長径78cm、短径74cm、深さ20cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**104号土坑 (第59図、PL28)**

32F-7グリッドに位置する。短径92cm、深さ22cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**107号土坑 (第60図、PL28)**

32E-9グリッドに位置する。長径259cm、短径

244cm、深さ18cmを測る。平面形は方形で土坑Iに該当する。

**108号土坑 (第52図、PL28)**

32F-9グリッドに位置する。長径115cm、短径94cm、深さ14cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**109号土坑 (第60図、PL28)**

32E-7グリッドに位置する。長径219cm、短径201cm、深さ22cmを測る。平面形は円形で土坑Gに該当する。

**111号土坑 (第60図、PL28)**

32J-7グリッドに位置する。長径255cm、短径241cm、深さ66cmを測る。土坑Jに該当する。

**112号土坑 (第60図、PL29)**

32D-8グリッドに位置する。長径132cm、短径101cm、深さ49cmを測る。平面形は長方形で土坑Cに該当する。

**113号土坑 (第60図、PL29)**

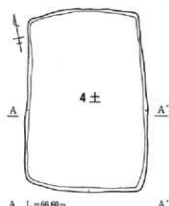
32C-8グリッドに位置する。長径118cm、短径64cm、深さ7cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**114号土坑 (第60図、PL29)**

32D-7グリッドに位置する。長径104cm、短径65cm、深さ42cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

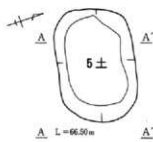
**116号土坑 (第61図、PL29)**

32C-7グリッドに位置する。長径197cm、短径184cm、深さ49cmを測る。不整形平面を呈し重複土坑とみられる。



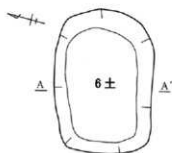
A L=66.60m A'

1 黒褐色土 As-Bを含む



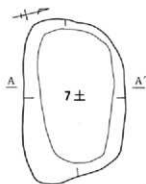
A L=66.50m A'

1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む  
2 黄褐色土 As-B、ロームブロックを含む



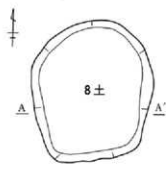
A L=66.90m A'

1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む



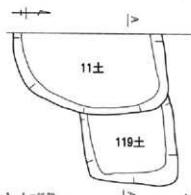
A L=66.70m A'

1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む  
2 黒褐色土 ロームブロックを含む



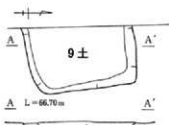
A L=66.70m A'

1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む  
2 黒褐色土 ロームブロックを含む



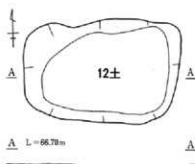
A L=66.70m A'

1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む  
2 黒褐色土 ロームブロックを多量に含む  
3 黒色土 As-B、ローム粒を含む



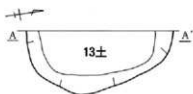
A L=66.70m A'

1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む  
2 黒褐色土 ローム粒を多量に含む



A L=66.70m A'

1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む  
2 黒褐色土 As-B、多量のロームブロックを含む



A L=66.60m A'

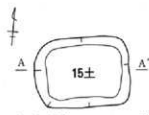
1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む  
2 褐色土 As-B、ローム粒を含む

第51図 土坑(1)

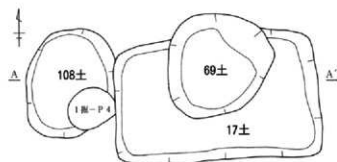
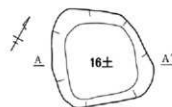
0 1:40 1m



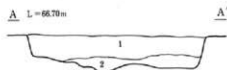
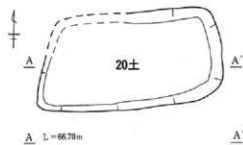
- 1 黒褐色土 As-B, ローム粒を含む  
2 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む



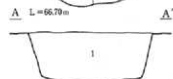
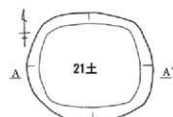
- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
2 黒褐色土 As-B, 多量のロームブロックを含む



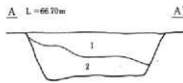
- 1 黒褐色土 As-Bを含む  
2 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む



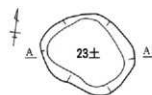
- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
2 褐色土 多量のロームブロックを含む



- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む



- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
2 黄褐色土 ロームブロックを含む



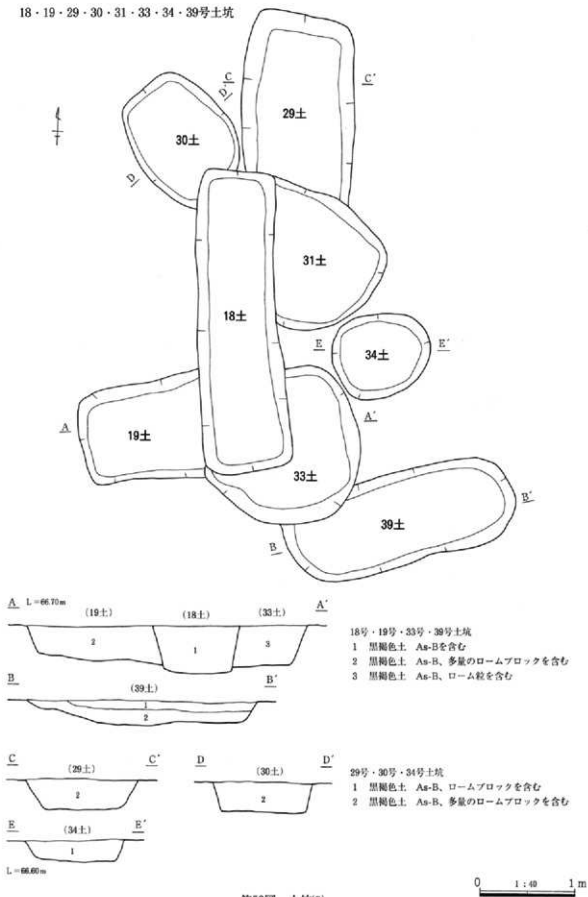
- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む



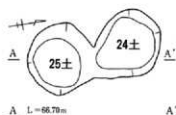
第52図 土坑(2)



18・19・29・30・31・33・34・39号土坑



第53図 土坑(3)



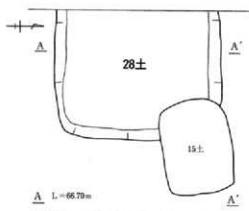
1 黒褐色土 ロームブロックを含む



1 黒褐色土 ロームブロックを多く含む



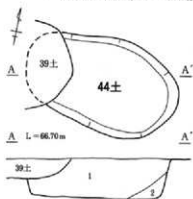
1 黒褐色土 As-B, ローム粒を含む  
2 黒褐色土 As-B, 多量のロームブロックを含む



1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む

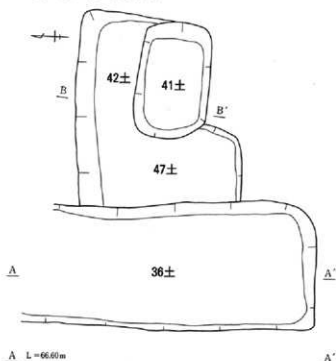


1 黒褐色土 As-B, ローム粒を含む

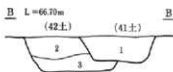


1 黄褐色土 ローム粒を含む  
2 黄褐色土 ロームブロックを含む

36・41・42・47号土坑



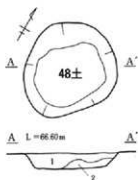
1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
2 黒褐色土 As-B, ローム, 粘土ブロックを含む



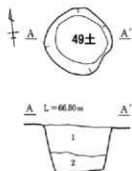
1 黒褐色土 ローム粒を含む  
2 黒褐色土 As-B, ローム粒を含む  
3 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む

0 1:40 1m

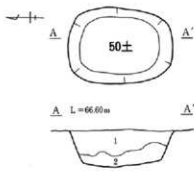
第54図 土坑(4)



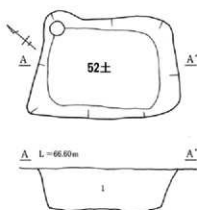
- 1 黒褐色土 黒色土ブロックを含む  
2 黄褐色土 ロームブロックを含む



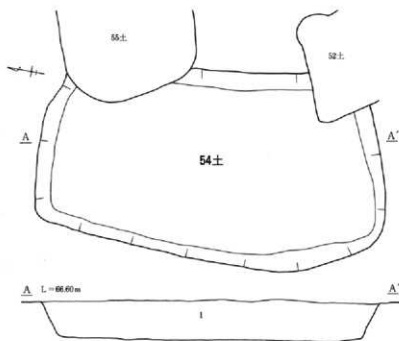
- 1 黒色土 As-B, ローム粒を含む  
2 黒色土 ロームブロックを含む



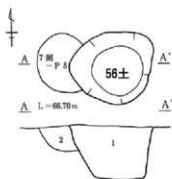
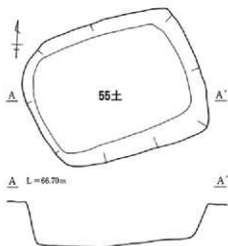
- 1 黒色土 多量のロームブロックを含む  
2 暗褐色土 As-B, ロームブロックを含む



- 1 黒色土 As-B, ローム粒を含む



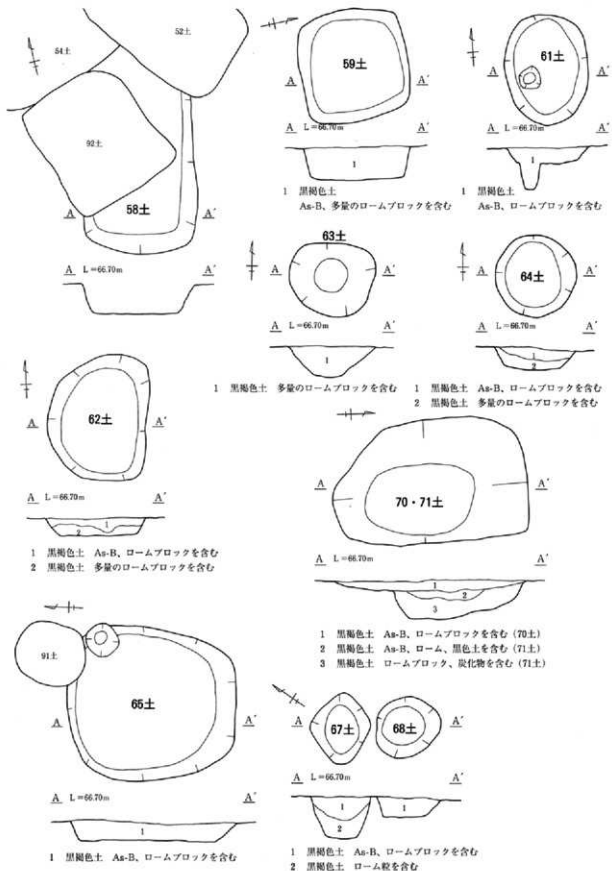
- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む



- 1 黒褐色土 黄褐色土ブロックを含む(56土)  
2 黒色土 多量のロームブロックを含む(7根立柱穴)

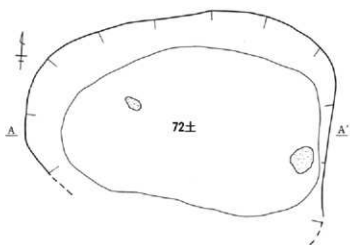
第55図 土坑(5)

0 1:40 1m

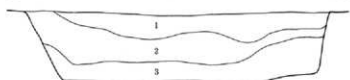


第56図 土坑(6)

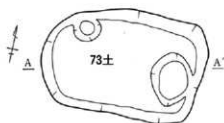
0 1:40 1m



A L=66.70m A'



- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む
- 2 黒色土 As-Bを含む
- 3 黒褐色土 ロームブロックを含む



A L=66.60m A'



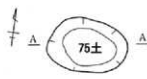
- 1 暗褐色土 多量のロームブロックを含む
- 2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む(柱穴)



A L=66.60m A'



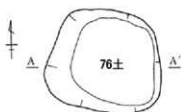
- 1 暗褐色土 多量のロームブロックを含む



A L=66.60m A'



- 1 黒褐色土 多量のロームブロックを含む



A L=66.60m A'



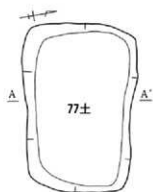
- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む



A L=66.60m A'



- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む



A L=66.50m A'



- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む



A L=66.40m A'



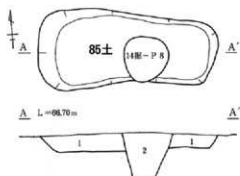
A L=66.70m A'



- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む
- 2 黒褐色土 多量のロームブロックを含む

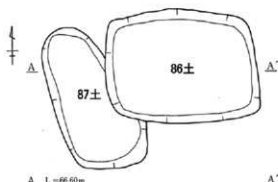
0 1:40 1m

第57図 土坑(7)



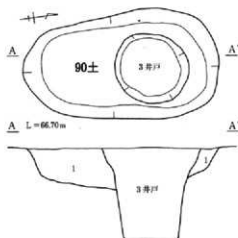
A L=66.70m

- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む  
2 黄褐色土 ロームブロックを含む(4根立柱状)



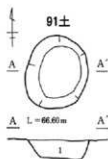
A L=66.60m

- 86号土坑  
1 黄褐色土 黒色土、ロームを含む  
87号土坑  
1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む  
2 褐色土 多量のロームブロックを含む



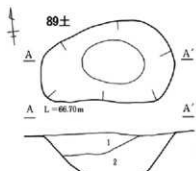
A L=66.70m

- 1 暗褐色土 As-B、ロームブロックを含む



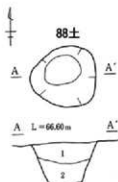
A L=66.60m

- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む



A L=66.70m

- 1 黒褐色土 As-Bを含む  
2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む



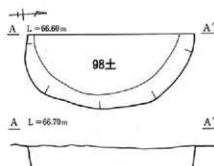
A L=66.60m

- 1 暗褐色土  
As-B、ロームブロックを含む  
2 黒褐色土  
As-B、ロームブロックを含む



A L=66.60m

- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む

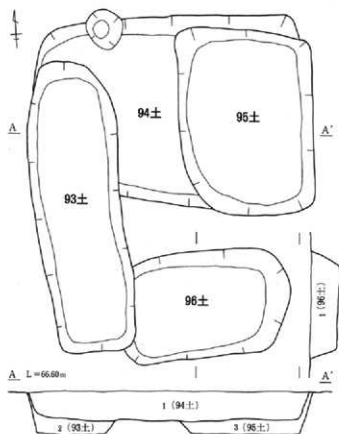


A L=66.70m

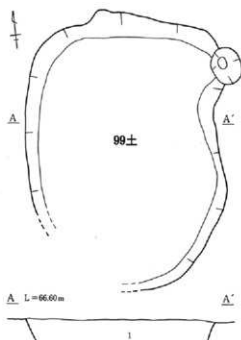
- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む

0 1:40 1m

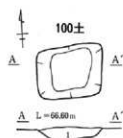
第58図 土坑(8)



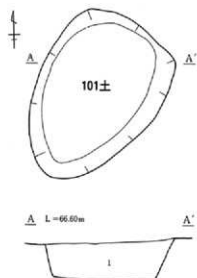
- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む
- 2 褐色土 ローム粒を含む
- 3 黄褐色土 多量のロームブロックを含む



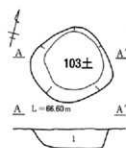
- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む



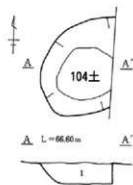
- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む



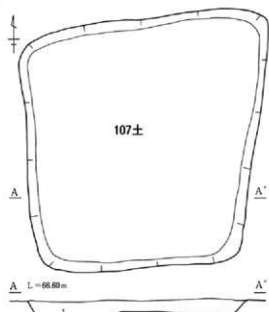
- 1 暗褐色土 As-B, ロームブロックを含む



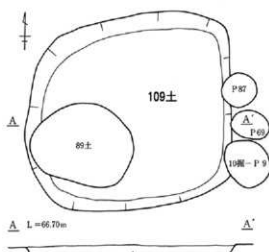
- 1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む



- 1 暗褐色土  
多量のロームブロックを含む



1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む



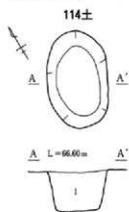
1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む



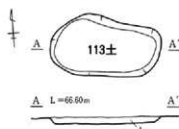
1 黒褐色土 As-Bを含む  
2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む



1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む  
2 黄褐色土 ローム粒を含む砂質土



1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む

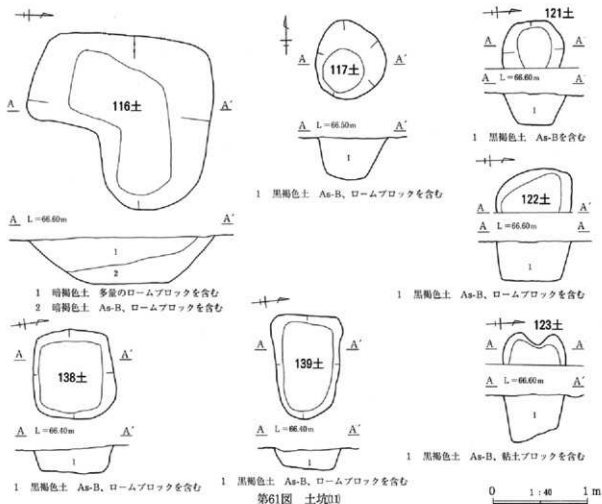


1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む

第60図 土坑03







第61図 土坑①

**117号土坑 (第61図、PL29)**

32B-8グリッドに位置する。長径83cm、短径75cm、深さ43cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**119号土坑 (第51図、PL18)**

32G-10グリッドに位置する。短径96cm、深さ43cmを測る。平面形は長方形で土坑Bに該当する。

**121号土坑 (第61図、PL29)**

32D-7グリッドに位置する。長径64cm、深さ41cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**122号土坑 (第61図、PL29)**

32D-7グリッドに位置する。長径78cm、深さ41cmを測る。平面形は小型楕円形で土坑Fに該当する。

**123号土坑 (第61図、PL28)**

32G-7グリッドに位置する。長径56cm、深さ49cmを測る。西半部のみを確認。

**138号土坑 (第61図、PL31)**

32B-7グリッドに位置する。長径95cm、短径85cm、深さ28cmを測る。平面形は長方形で土坑Dに該当する。

**139号土坑 (第61図、PL31)**

32A-7グリッドに位置する。長径110cm、短径68cm、深さ23cmを測る。平面形は長方形で土坑Cに該当する。

g ビット (第63図・64図、PL31~34)

ビットとした遺構は、2区館内で検出された掘立柱建物の柱穴とみられる小穴を一括して呼称している。口径や深度に大小があるが、断面形は円筒状を呈し、また柱痕を残すものも多い。分布域をみると、掘立柱建物群と重複する傾向があり、このような点からも建物もしくは構列等に伴う柱穴の可能性が高い遺構とみられる。また、土坑群との分布域についても差があることが看取できる。

ビット5

32D-8グリッドに位置する。径40cm、深さ58cmを計測し、ほぼ円形平面を呈する。

ビット8

32D-8グリッドに位置する。径50cm×46cm、深さ63cmを計測し、楕円形平面を呈する。

ビット9

32E-8グリッドに位置する。径35cm、深さ32cmを計測する円形ビットである。

ビット10

32E-8グリッドに位置する。径23cm、深さ34cmを計測する円形ビットである。

ビット12

32D-8グリッドに位置する。径65cm×47cm、深さ28cmを計測し、楕円形平面を呈する。

ビット13

32E-9グリッドに位置する。径28cm×24cm、深さ48cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット16

32E-9グリッドに位置する。径34cm×31cm、深さ31cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット17

32E-10グリッドに位置する。径36cm、深さ43cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット18

32F-10グリッドに位置する。径22cm、深さ47cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット19

32F-10グリッドに位置する。径52cm×45cm、深さ35cmを計測し、楕円形平面を呈する。

ビット21

32F-10グリッドに位置する。径35cm、深さ55cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット24

32G-9グリッドに位置する。径48cm×34cm、深さ42cmを計測し、楕円形平面を呈する。

ビット25

32G-10グリッドに位置する。径40cm×32cm、深さ16cmを計測し、楕円形平面を呈する。

ビット27

32G-9グリッドに位置する。径36cm、深さ53cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット28

32G-9グリッドに位置する。径45cm、深さ46cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット29

32G-9グリッドに位置する。径53cm×40cm、深さ45cmを計測し、楕円形平面を呈する。

ビット30

32G-9グリッドに位置する。ビット29と重複し、西側を切られる。深さ41cmを計測する。

ビット32

32G-9グリッドに位置する。径45cm×36cm、深さ33cmを計測し、楕円形平面を呈する。

ビット33

32G-9グリッドに位置する。径33cm、深さ37cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット34

32G-9グリッドに位置する。径44cm、深さ43cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット35

32G-9グリッドに位置する。径32cm、深さ45cmを計測し、円形平面を呈する。

ビット37

32D-8グリッドに位置する。径48cm、深さ57cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット40**

32F-8グリッドに位置する。径57cm、深さ47cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット41**

32F-8グリッドに位置する。径70cm×45cm、深さ48cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット46**

32E-8グリッドに位置する。径38cm、深さ34cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット48**

32G-9グリッドに位置する。径46cm、深さ31cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット50**

32G-8グリッドに位置する。径42cm×32cm、深さ48cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット53**

32F-9グリッドに位置する。径73cm×43cm、深さ44cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット54**

32D-7グリッドに位置する。径58cm×51cm、深さ47cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット55**

32D-7グリッドに位置する。径55cm×46cm、深さ38cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット57**

32D-7グリッドに位置する。径48cm、深さ34cmを計測する。

**ビット58**

32D-7グリッドに位置する。径57cm、深さ23cmを計測する。

**ビット59a**

32E-9グリッドに位置する。径40cm、深さ35cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット59b**

32E-9グリッドに位置する。径38cm、深さ51cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット61**

32E-9グリッドに位置する。径60cm×43cm、深

さ41cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット62**

32E-8グリッドに位置する。径38cm×29cm、深さ32cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット65**

32E-7グリッドに位置する。径51cm、深さ43cmを計測する。

**ビット66**

32E-7グリッドに位置する。径67cm、深さ39cmを計測する。

**ビット67**

32E-7グリッドに位置する。径42cm、深さ18cmを計測する。

**ビット73**

32F-8グリッドに位置する。径41cm、深さ29cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット76**

32F-8グリッドに位置する。径27cm、深さ23cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット77**

32E-8グリッドに位置する。径45cm、深さ46cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット78**

32E-8グリッドに位置する。径29cm、深さ28cmを計測する。

**ビット79**

32E-8グリッドに位置する。径33cm、深さ28cmを計測する。

**ビット82**

32E-9グリッドに位置する。径50cm×28cm、深さ47cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット83**

32I-8グリッドに位置する。径45cm×39cm、深さ58cmを計測し、楕円形平面を呈する。

**ビット84**

32I-7グリッドに位置する。径32cm、深さ18cmを計測し、円形平面を呈する。

**ビット85**

32I-8グリッドに位置する。径35cm、深さ53cmを計測し、円形平面を呈する。

#### ピット86

32I-7グリッドに位置する。径36cm、深さ52cmを計測し、円形平面を呈する。

#### ピット87

32E-8グリッドに位置する。径39cm、深さ30cmを計測し、円形平面を呈する。

#### ピット89

32F-7グリッドに位置する。径34cm、深さ13cmを計測し、円形平面を呈する。

#### ピット90

32F-7グリッドに位置する。径28cm、深さ42cmを計測する。

#### ピット93

32F-7グリッドに位置する。径50cm×38cm、深さ41cmを計測し、楕円形平面を呈する。

#### ピット94

32E-7グリッドに位置する。径39cm×28cm、深さ25cmを計測し、楕円形平面を呈する。

#### ピット95

32E-7グリッドに位置する。径23cm、深さ38cmを計測し、円形平面を呈する。

#### ピット96

32E-7グリッドに位置する。径28cm、深さ31cmを計測し、円形平面を呈する。

#### ピット101

32F-7グリッドに位置する。径41cm×36cm、深さ42cmを計測し、楕円形平面を呈する。

#### ピット104

32G-9グリッドに位置する36cm、深さ34cmを計測し、円形平面を呈する。

#### ピット112

32C-8グリッドに位置する。径45cm、深さ20cmを計測し、円形平面を呈する。

#### ピット114

32H-8グリッドに位置する。径32cm、深さ26cmを計測し、円形平面を呈する。

## h 区画溝 (第62図、PL 4、5)

掘立柱建物等の遺構群を囲む溝で北側および南側に確認され、それぞれ北堀、南堀として調査されている。また、南堀に南接する11号溝も位置からみて関連する溝とみられる。

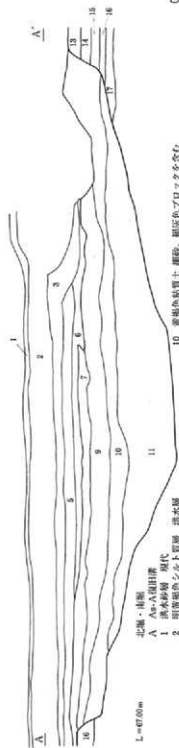
北堀は幅7m、深さ90cmの規模で直線的な形状をもっている。調査延長は約14mであるが、走行はN-108°-Eを示す。

南堀は幅が6.8m～3.6mと不規則であり、深さは115cmである。調査延長は14mであるが、走行は東西方向のグリッドラインに沿っており、北堀とは走行にやや相違がある。

11号溝も幅が100cm～200cmと不規則で、深さは☆cmを計測し、走行は東西方向で南堀と平行関係にある。両溝は溝中央間距離が920cmであり、南堀と北堀間がおおよそ58m程度であることから、その6分の1程度といえる。この部分にも掘立柱建物や方形土坑、墓塚等が認められる。特に掘立柱建物は南堀-北堀間の掘立柱建物群とは棟行方向を異にし、南堀と11号溝に平行するように配置されている。また、南堀南辺に沿って櫛列を思わせる柱穴列もみられる。

埋没状況のみよう。堀底部には細砂や砂礫層が堆積することから流水もしくは溜水があったものと思われる。主要となる埋没土層はAs-B混土である。土層断面の観察から人的要因による埋土との調査所見が得られている。As-B混土層中に掘りこまれ、その後廃棄、埋められたことになる。さらに掘埋没土上面には水田耕土となるAs-B混土層も形成されており、堀の廃棄とともに水田化がはかられたように考えられる。このような時間的な経過における館のあり方は近接する調査事例でもみることができ、水田耕地の拡大によってこのような館が埋められていっている。当時の社会体制の変化による領有関係、支配方法の異動に伴う事象とみられる。その時期はグリッド出土の年号刻書をもつ硯から14世紀半ば頃と考えることができる。

北端



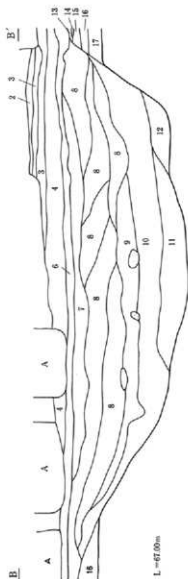
北端・南端

- A A'-A'断面  
 1 湧水層  
 2 明礬色シルト質層 洪水層  
 3 石灰質シルト質層 洪水層  
 4 明礬色シルト質層 洪水層  
 5 黄褐色シルト質層 洪水層  
 6 明礬色シルト質層 洪水層  
 7 明礬色シルト質層 洪水層  
 8 黒褐色土 AS-B層土  
 9 明礬色土 ローム、粘質土を含む

- 10 黄褐色粘質土 磁砂、黒灰色ブロックを含む  
 11 黒褐色土 磁砂、砂礫、ロームブロックを含む  
 12 明礬色土 砂礫、シルトを含む  
 13 AS-C層  
 14 黄褐色粘質土 水田層土  
 15 明礬色土 水田層土  
 16 黄褐色土 泥炭層  
 17 黒褐色粘質土 AS-C含む



南端



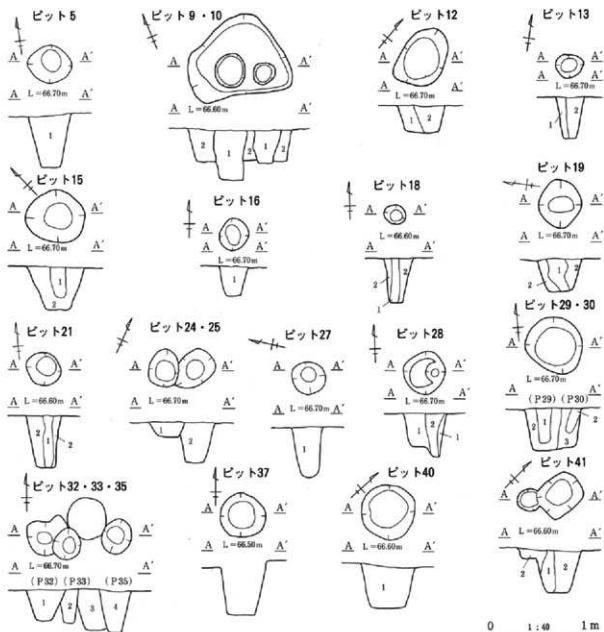
11号溝



- 1 明礬色土 AS-B層土  
 2 黒褐色土 AS-B層土

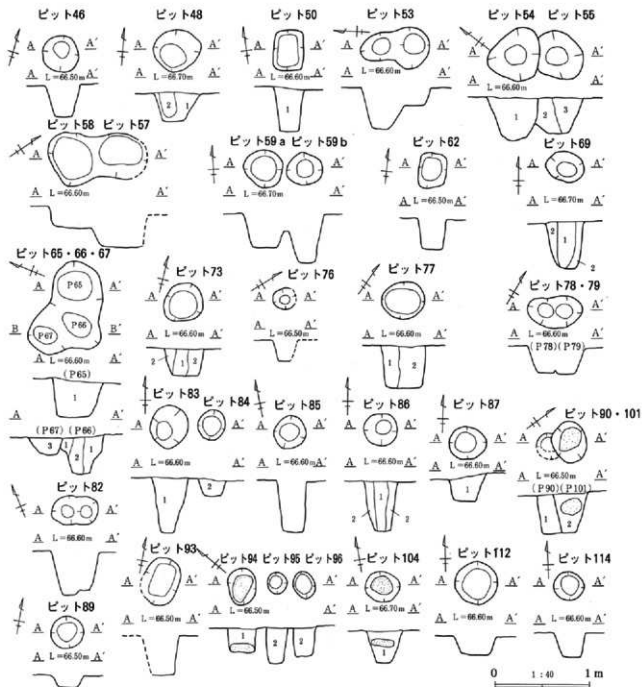


第62図 北端・南端・11号溝断面図



- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p>ビット 5</p> <p>1 黒褐色土 As-Bを含む</p>  | <p>ビット 18</p> <p>1 黒褐色土 As-Bを含む軟弱な層</p> <p>2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p>   | <p>ビット 28</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む</p> <p>2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p>  |
| <p>ビット 9・10</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p> <p>2 黄褐色土 多量のロームブロックを含む</p> | <p>ビット 19</p> <p>1 黒褐色土 As-Bを含む軟弱な層</p> <p>2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p>   | <p>ビット 29・30</p> <p>1 黒褐色土 As-Bを含む軟弱な層</p> <p>2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p> <p>3 暗褐色土 As-B、ローム粒を含む</p>                 |
| <p>ビット 12</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p> <p>2 黄褐色土 多量のロームブロックを含む</p>   | <p>ビット 21</p> <p>1 黒褐色土 As-Bを含む軟弱な層</p> <p>2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p>   | <p>ビット 32・33・35</p> <p>1 黒褐色土 As-Bを含む</p> <p>2 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p> <p>3 暗褐色土 As-Bを含む</p> <p>4 黒褐色土 ローム粒を含む</p> |
| <p>ビット 15</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む</p> <p>2 黒褐色土 多量のロームブロックを含む</p>      | <p>ビット 24・25</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む</p> <p>2 黒褐色土 多量のロームブロックを含む</p> | <p>ビット 40</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p>   |
| <p>ビット 16</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p>                               | <p>ビット 27</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む</p>                             | <p>ビット 41</p> <p>1 黒褐色土 As-B、ロームを含む軟弱な層</p> <p>2 黄褐色土 多量のロームブロックを含む</p>   |

第63図 ビット(1)

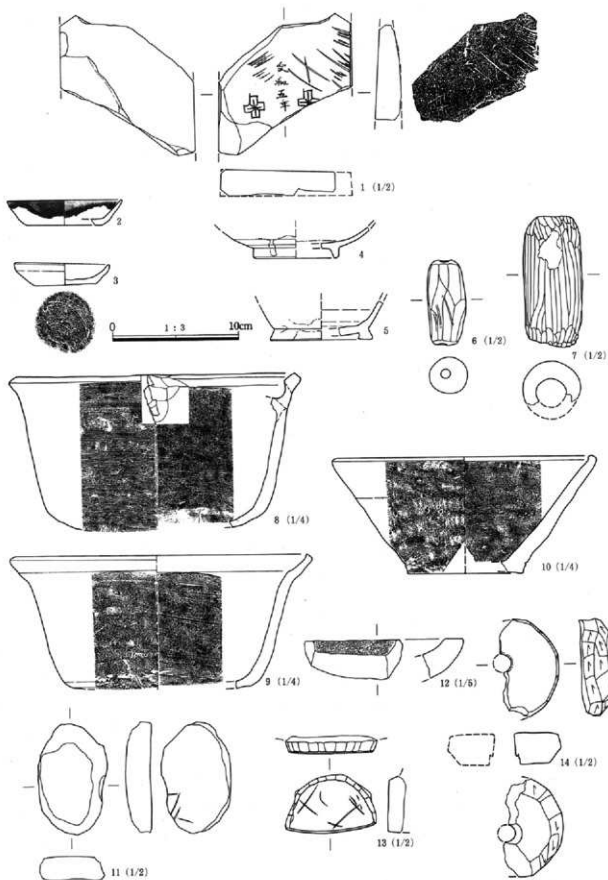


- ピット45  
1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
ピット54・55  
1 黒褐色土 As-Bを含む  
2 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
3 黒褐色土 ロームブロックを含む  
ピット65・66・67  
1 褐色土 ローム、粘土ブロックを含む  
2 褐色土 砂質で軟弱な層  
3 褐色土 ロームブロックを含む

- ピット69  
1 黒褐色土 As-Bを含む(柱窟)  
2 黄褐色土 しまりのある層  
ピット73  
1 黄褐色土 ロームブロックを含む軟弱な層  
2 黄褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
ピット77  
1 褐色土 ロームを含む  
2 黒褐色土 ロームブロックを含む  
ピット83・84  
1 黒褐色土 多量のロームブロックを含む  
2 暗褐色土 As-B, ローム粒を含む

- ピット86  
1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
ピット90・101  
1 黒褐色土 As-B, ロームブロックを含む  
2 黒褐色土 多量のロームブロックを含む  
ピット94・95・96  
1 黒褐色土 As-Bを含む  
2 暗褐色土 ロームブロックを含む  
ピット104  
1 黒褐色土 ロームブロックを含む

第64図 ピット(2)



第65図 グリッド出土遺物



## 1 グリッド出土遺物 (第65図)

土坑等の遺構検出に伴い遺物の出土も確認されている。種別には、内耳鉾、鉢、灯明皿、土鎌等が散見される。いずれも中世に位置づけられる資料であるが、断片的なものである。その中で、年号刻書をもつ石硯が確認され、この館の年代とも関連し注目される資料といえる。

### ・刻書硯について (第65図1、PL40)

この遺物は32G-10グリッド出土によるもので遺構に伴うものではない。また、出土層位についても不明となっている。このような事情から、この刻書硯が第3面において確認された遺構群に伴うという確証はないことになる。

しかし、第2面を被覆する洪水層が16世紀代と推定され、また第3面下にはAs-B層の存在が確認できることから、第2面および第3面については概ね中世に位置づけられる文化面としてとらえることが可能といえる。さらに、第2面は水田であり、第3面は環濠集落としての館が検出されるが、このような遺構検出状況からの硯が第3面の館に伴う可能性が高いものといえるだろう。

### ・硯

資料整理段階で一方の面に線刻が認められた。なお、縁辺部にある摺痕の沈み線はかなり明瞭なもので当初から目立っていた。そのため、年号および紋の線刻確認前は、この遺物については砥石の一種とも考えられていた。

しかし、遺物の点検作業中に十字形の紋の線刻が確認された。さらに線刻の有無を調べる中で、「文和五年」(1356年)の線刻を確認した。

この資料は、長方形の硯の一部と思われる。長辺部の両側測が残存するが、両端部は欠損する。両側測は平行しており、短軸長は7cmが計測できる。硯表面は剥落が著しく、硯縁は全く残存せず、磨墨面もほとんど遺失している。断面形状から墨堂から落潮部にかけての破片とみられる。

刻書は硯背面に認められる。「文和五年」刻書は硯中心部に長軸方向に書かれる。1文字5mm程度で

大きさはほぼ揃っている。刻書は先端の尖った金属棒を使用したものであろうか筆跡を観察すると、一划が一画ではなく筆法に類するような筆順がみられる。文ではあしが左はらいの後に右はらいが書かれる。和はつくりが三画、五は四画で刻まれる。

年号銘の両側に十字字形紋が配される。向かって左側の紋は年号銘と硯測の中間に位置するが、右側の紋は中心側にわずかに偏している。十字字形紋の刻線を観察すると、基本的に右回りに施工具が移動しているとみることができる。中央の交叉紋は十字を刻んだ後に左斜傾線を、そして右斜傾線を加えている。この筆順からみれば右手利きによる刻書といえる。右側の紋は下半部が欠損するが、残存部と比較すると左側の紋と相似形の十字紋が描かれる。このような紋について類別を求めたが、同様の紋形は確認できていない。家紋では、十字形の意匠は眷紋および十字架紋等にもみることができる。しかし、家紋では多くが円紋内に十字形が描かれ、さらに十字形内に★状の紋が加えられる例はみあたらない等、相違点が多い。また、十字架紋についてはキリスト教伝来以降のものとするれば、「文和五年」刻書をもつ今回の資料は時期的に比較はできないことになる。今回はこの十字形紋に関して特定できないまま報告するが、以後もさらに調査を進めていきたい。

文字 画数	文	和	五
1	ノ	ホ	一
2	ㄥ	和	丁
3	ㄥ	和	五
4	文		五

第65図 刻書硯 筆順

j 溝 (第67図～第70図、PL15・16・40)

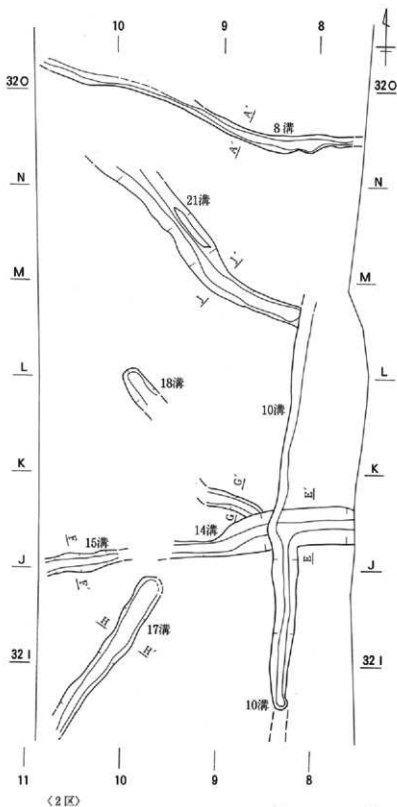
As-B混土層は多くの地点で2層に分層され、各々の層上において遺構面が検出される。第3面では前記のように船遺構が確認され、その上層である第2面では水田を調査している。

しかし、船調査に伴い土坑、ピット等の遺構群下に複数の溝の存在が確認された。層位的には、As-B混土層下部にあたり、As-B層より上位となる。

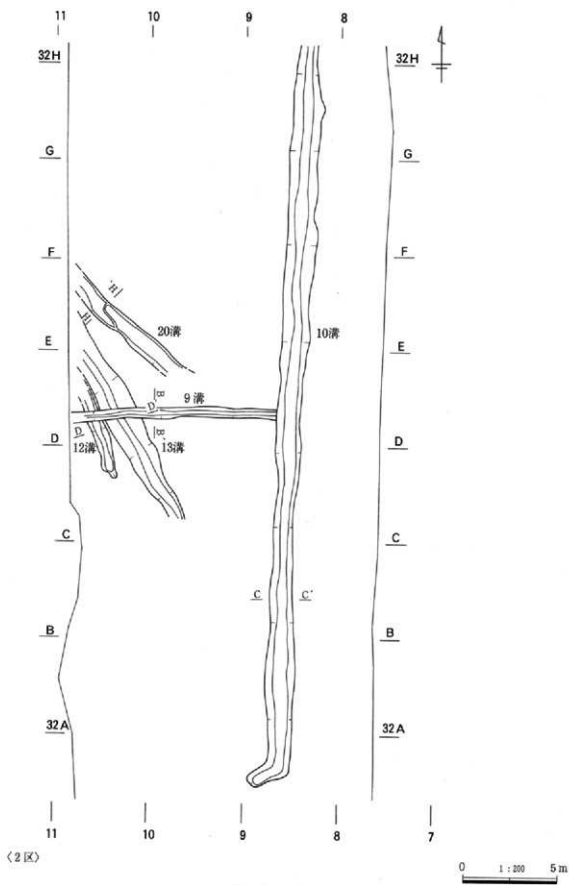
これらの溝群の走行をみると2種類の傾向が看取できる。ひとつは地形の傾斜に沿って北西から南東方向の走行をもつ一群である。8号溝・12号溝・13号溝・18号溝・20号溝・21号溝が該当する。このような走行はこの地点の地形傾斜に沿ったもので、人為的なものか自然流路か判然としない部分がある。

もう1種は南北もしくは東西方向の走行をもち、直線的に延長するものである。9号溝・10号溝・14・15号溝が該当しよう。特に9号溝、10号溝等は2面水田畦畔と類似した走行であることから耕作に伴う水路とみられる。

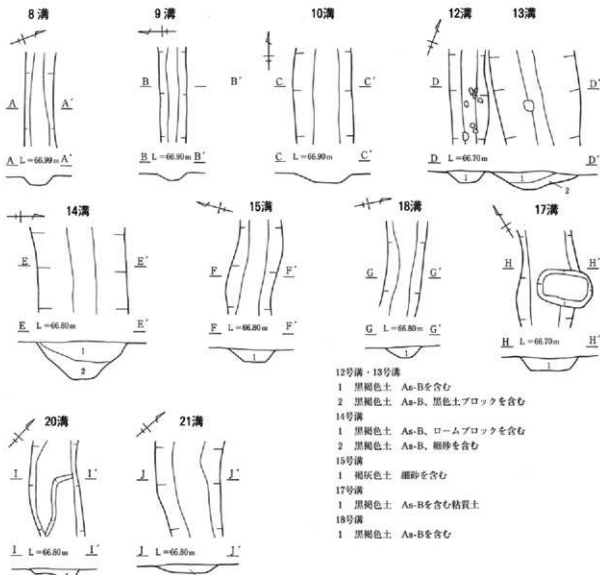
また、14号溝は他溝に比し掘削深もあり、断面形からみて区画溝の可能性も考えられる。土坑群分布域の北端にもあたり、構成は不明だが、船施設に関連する溝かもしれない。



第67図 溝全体図(1)



第68図 溝全体図(2)



12号溝・13号溝

1 黒褐色土 As-Bを含む

2 黒褐色土 As-B、黒色土ブロックを含む

14号溝

1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを含む

2 黒褐色土 As-B、細砂を含む

15号溝

1 褐色土 細砂を含む

17号溝

1 黒褐色土 As-Bを含む粘質土

18号溝

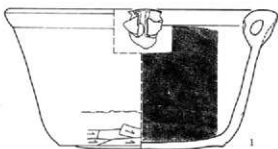
1 黒褐色土 As-Bを含む

1 黒褐色土 As-B、ローム粒を含む 1 褐色土 As-B、ロームブロックを含む

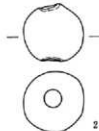
第69図 溝

0 1:80 2m

11溝



11溝



11溝



14溝

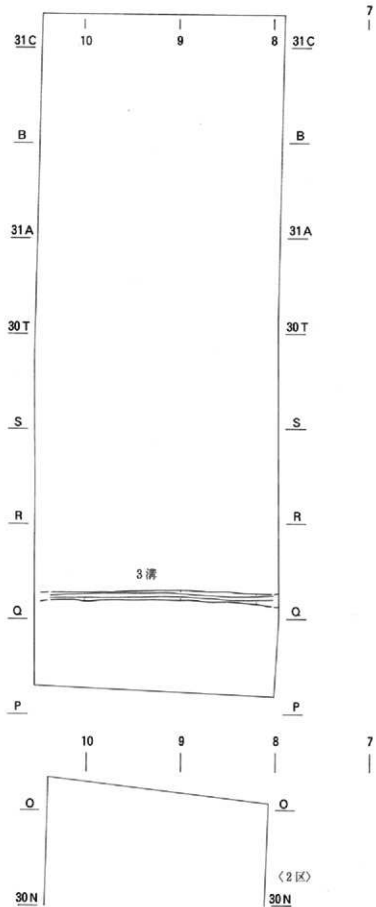


14溝

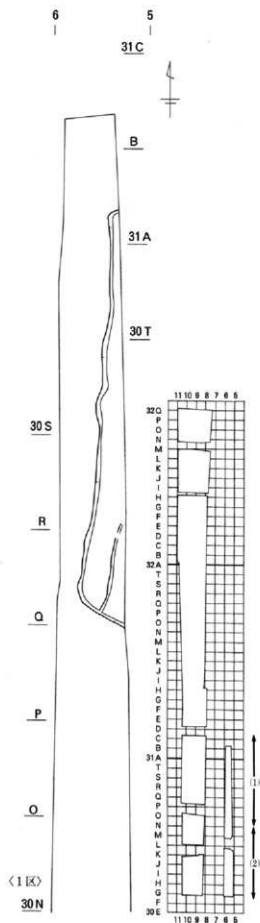


0 1:3 10cm

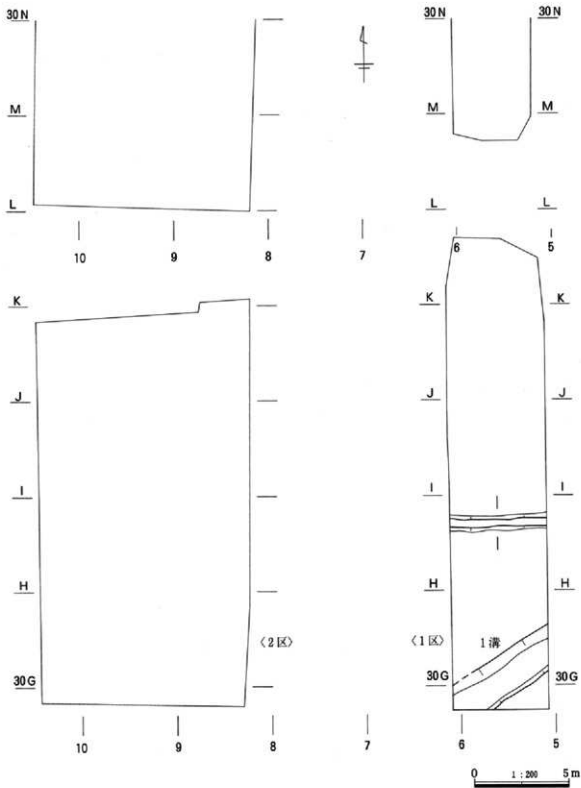
第70図 11・14号溝出土遺物



第71图 第2面全体(图1)



第72图 全体图位置图



第73回 第2面全体図(2)

## 5 第2面の遺構と遺物 (第71~第73図)

### a 水田、溝 (第74図)

通常この周辺では、As-B混土層は近世の利根川洪水層により被覆されている。この洪水層は黄褐色系のシルト質層であるため、As-B混土層とは明瞭に分層される。

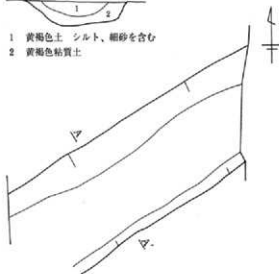
この遺跡でも、1区・2区において水田が確認されている。残存状況は不良であるが、1区30Iライン付近に沿って東西方向に畦が検出された。確認延長は5m程度で部分的な確認であり、畦もかなり平坦となり数cmほどの高まりとして認められている。なお、畦は西側に1区では延長部が確認されていない。この畦から北側47mに3号溝が検出されている。30Rライン北側に沿って東西方向に延長するが、洪水層に埋没しており1区確認の畦と同時期とみられ、畦畔に接して存在する溝状の落ち込みとみられることもできる。なお3号溝も東側の1区には延長部が確認されていないが、1区この部分では方形のわずかな段差が認められている。部分的であり詳細は不明だが、確認南北長は20m程度であり水田区画の一部かもしれない。1号溝も洪水層により埋没するが、水路の可能性はあるが、部分的確認にとどまる。

#### 1号溝

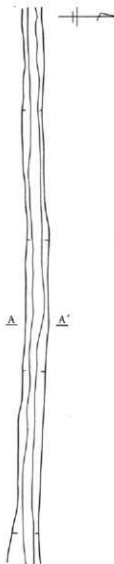
A L=67.00m A'



- 1 黄褐色土 シルト、細砂を含む
- 2 黄褐色粘質土

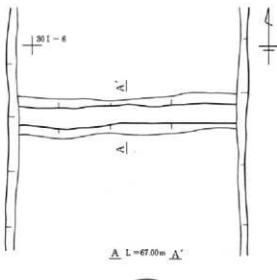


#### 3号溝



A L=67.00m A'

#### 水田畦畔



A L=67.00m A'

第74図 1溝・3号溝、水田

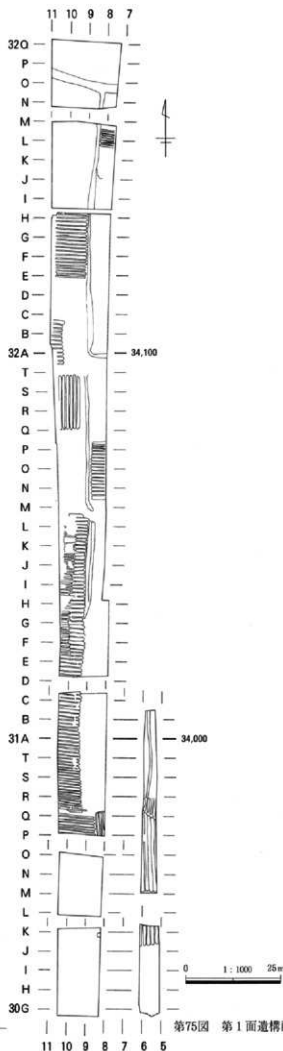
## 6 第1面の遺構と遺物

### a 火山灰復旧溝

この地域は昭和40年代に実施されたほ場整備事業により切り盛り土され、地形の変化が大きく多少の高低差は現状では平坦な地形となっている。さらに以降の耕作も含め、表土層およびその下位に堆積する洪水層への影響が多大となっている。当然のことながら、比較的高位部では洪水層における擾乱が著しいことになる。

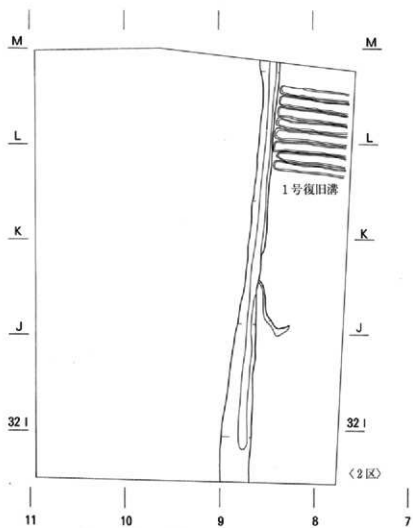
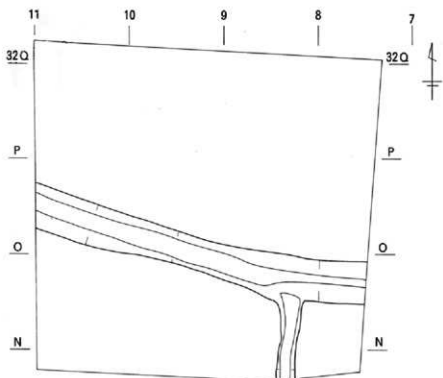
この地域では、表土層下の洪水層上面では1783(天明3)年の浅間山噴火火山灰および天明泥流の災害復旧を目的としたいわゆる天地返しによる災害堆積物埋設溝が検出されている。利根川に近接する福島曲戸遺跡E区では天明泥流の復旧溝群が確認され、この地点以南には火山灰復旧溝が検出されている。埋設される災害堆積物の差は、その地点での災害堆積物の差によるものとみられ、その地点毎の災害堆積物は地点毎で処理、復旧したことのあらわれといえる。また、復旧溝群が密集する地点が存在する一方で、散発的な分布を示す地点もみられるが、これも地点毎に異なる災害堆積物の量差によるものだろう。このことも、地点毎に処理、復旧したことを示している。短冊状の復旧溝群は基本的な方形の区画状のまとまりをもち、当時の地割もしくは耕作単位をあらわすものと理解されている。このような災害復旧溝群は玉村町域の利根川左岸においては多くの遺跡で調査されている。しかし、利根川右岸では福島中町遺跡のように火山灰および天明泥流により埋設する家屋や畑などが検出され、災害堆積物の処理は行われていない状態と対照的である。このような利根川両岸での相違については、今後の課題となるが堆積物の層厚の差に起因することは考えられるだろう。

今回の調査では12群の復旧溝群を確認した。いずれもAs-Aを埋設したもので、泥流はこの地点では認められない。また、その間には地割に伴う溝も認められている。

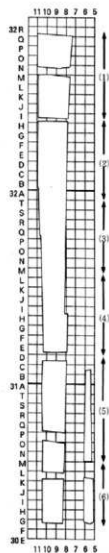


第75図 第1面遺構配置図

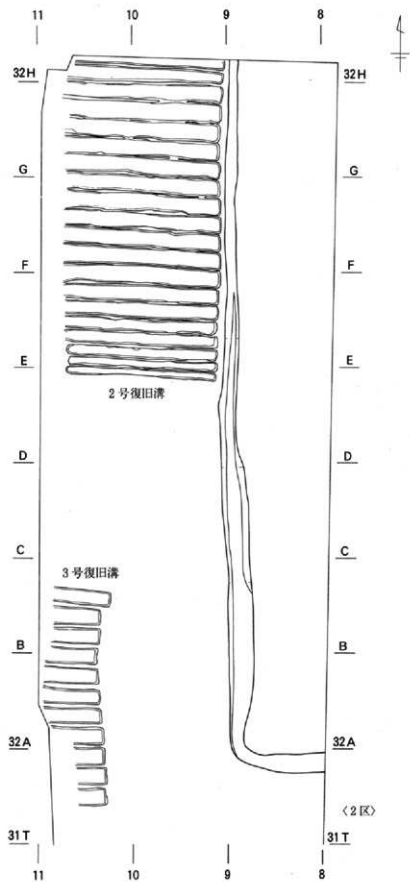




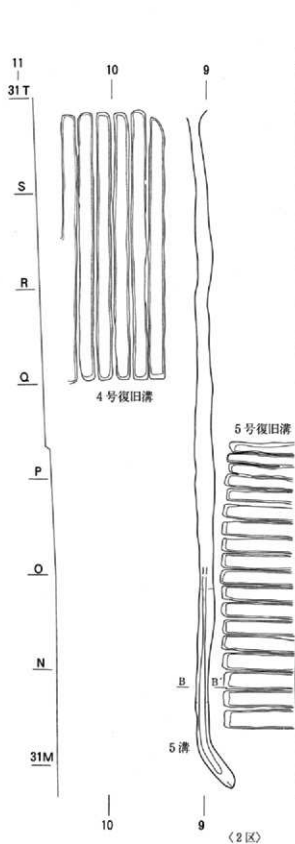
第76图 第1面全体图(1)



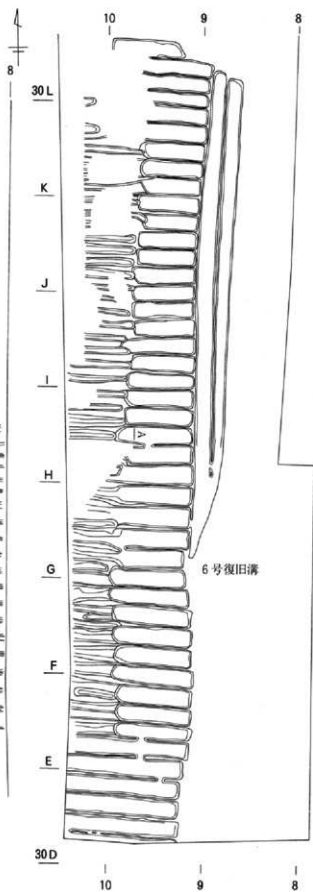
第77图 全体图位置图



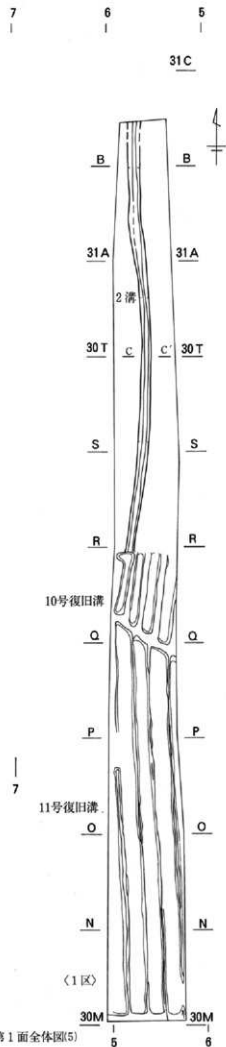
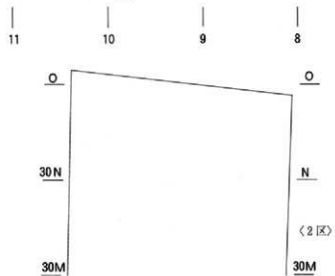
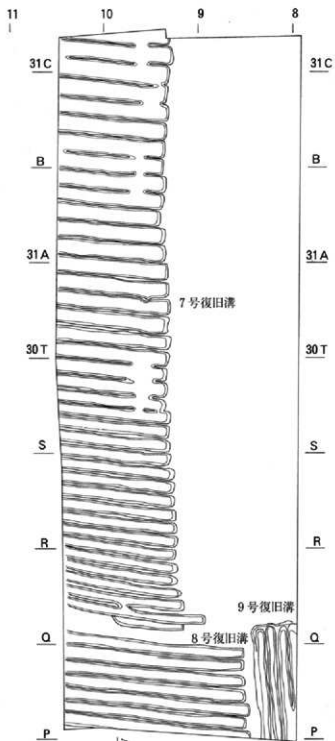
第78図 第1面全体図2)



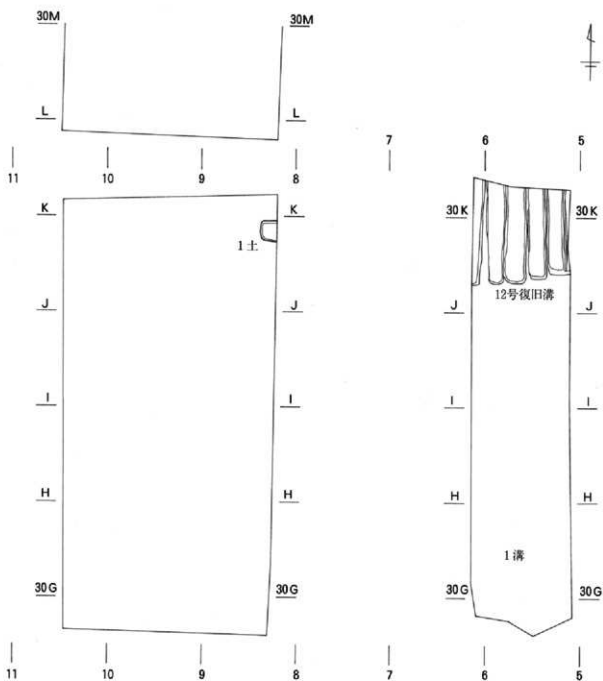
第79图 第1面全体图(3)



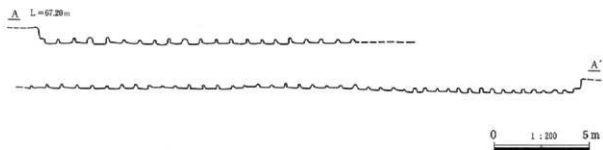
第80图 第1面全体图(4)



第81图 第1面全体图(5)



第82图 第1面全体图(6)



第83图 A-A復旧溝断面图

b 土坑 (第84図)

1号土坑が確認されている。調査区東端部にあり、部分確認である。埋没土はAs-aが含まれ、復旧溝の一部の可能性もある。幅110cm、深さ40cm。

c 溝 (第85図)

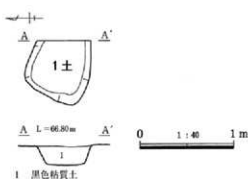
5号溝は1区にあり、南北方向の走行をもつ。ちょうど復旧溝群の間に位置し、復旧溝群端部はこの溝の手前で立ち上がる。地割に伴う溝であろう。

2号溝は1区に位置し、南北方向の走行を示す。

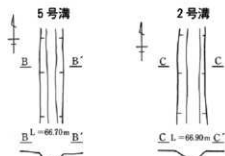
5号溝同様に地割に関する溝ともみられるが、10号復旧溝群と重複する関係を持ち、新旧関係も不明であることから性格は確定できない。

d グリッド出土遺物 (第86図)

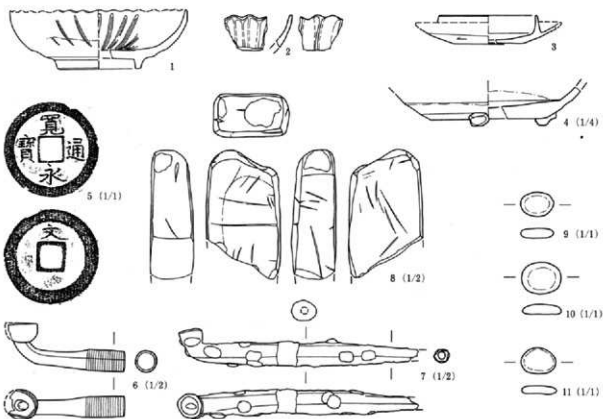
洪水層上面で復旧溝群の確認に伴い出土した遺物である。断片的だが、江戸時代の陶磁器、灯明皿、寛永通宝、煙管等が出土している。



第84図 1号土坑



第85図 2・5号溝



第86図 グリッド出土遺物

# 福島大光坊遺跡

## 1 縄文時代の遺構と遺物

### a 福島久保田遺跡及び福島大光坊遺跡出土の縄文時代の石器

麻生敏隆

どちらの遺跡も、縄文時代の明確な遺構は確認されていないが、縄文時代、あるいはそれ以前と考えられる時期に属する石器が出土している。

福島久保田遺跡では、僅かに打製石鏃の1点だけであるが、形状は凹基で挟りは浅く片方の脚の一部を欠損しており、石材は黒曜石である。

福島大光坊遺跡からは、石器と認定された資料が15点検出されている。内訳は下記の通りである。

彫器は1点で、本来は槍先形尖頭器として製作途中に折れて半分以上を欠損してしまったために、その折れ面を打面として2条の彫刻刀削片を剥ぎ取り、彫器としたと考えられる。石材は黒曜石である。縄文時代以前の石器である可能性が高く、そうであれば旧石器時代の群馬編年の第Ⅲ期と考えられる。

有舌尖頭器が2点で、小型でどちらも茎の一部が欠損している。石材は共にチャートである。このような形態は福島曲戸遺跡の報告でも述べたように、有茎の打製石鏃と分類される場合もあり、縄文時代草創期でなく、縄文時代後期から晩期にかけても存在するため、時期判定が難しい資料でもある。

打製石鏃は3点で、すべて凹基である。挟りが浅い黒色安山岩製は完形で、黒曜石製の挟りが浅い小型の資料は片方の脚が欠損している。黒色頁岩製は大型で挟りが深く、片方の脚が欠損している。打製石斧は1点で、形態は分厘型ではお片方を欠損している。石材は珪質頁岩である。石匙は1点で、側縁の一部を残して大部分が欠損している。石材は黒曜石である。削器は2点で、頁岩の資料は一辺に、玉髓(ぎょくずい)の資料は両側縁に調整を加えている。加工痕ある剥片は2点で、石材は黒色頁岩とホルンフェルスであり、共に風化が激しい。打面の調整剥片は1点で、剥離作業面の微細な調整が多数残

されている。石材は珪質頁岩である。石核は2点で、黒曜石の資料は背面に礫面を残す。玉髓は周囲を打ち欠いた半円錐体である。

特徴的な石器としては、旧石器時代の遺物と考えられる彫器、縄文時代草創期と考えられる有舌尖頭器の存在がある。石材では玉髓の存在があげられる。

特に、尖頭器と有舌尖頭器の存在は、玉村町周辺でも縄文時代草創期の時期の資料が最近増加しつつある傾向を裏付けるものである。前橋市徳丸仲田遺跡、同市小島田八日市遺跡では隆鏡文土器と尖頭器や打製石鏃などの石器が伴う形で出土し、高崎市元島名瓦井遺跡、同市岩鼻坂下北遺跡では有舌尖頭器がそれぞれ単独で出土している。福島曲戸遺跡の報告でもふれているように、地形的にも新井房夫(1962)で定義されていた1.3~1.4万年前の形成と考えられる前橋台地が矢口(2001)により新たに細分されており、この地域は前橋台地1面とされている。それによれば、標高85m付近よりも低い台地上の微高地を構成する地形面で、浅間板鼻黄色テフラ(As-YP)上位の上部ローム層が堆積していると定義されている。こうした状況からしても旧石器時代終末期から縄文時代草創期の段階の遺跡の存在が可能といえる。さらに、黒曜石製の彫器の存在は玉村町地域では初めての旧石器時代の存在を示す資料であり、重要である。玉髓は旧石器時代から利用される石材であるが、近世の火打ち石としての利用もあることから、縄文時代ではない可能性もある。火打ち石には硬度6.5~7の石が最適とされており、石英・瑪瑙・水晶・サヌカイト(讃岐石:安山岩)・チャート等が主に用いられる。群馬県内での玉髓の産出地は、甘楽郡下仁田町の御場(おんば)山が知られており、関連する火打ち金(鎌)では、江戸時代の文政年間に江戸まで流通し、幕末から明治にかけてトップブランドとして扱われた、上州吉井宿(多野郡吉井町)の吉井本家が有名である。



## b 土坑

縄文時代の遺物については、土器および石器類が少数ながら広い範囲で出土がみられる。藤岡大胡線に伴う発掘調査においても、福島久保田遺跡や福島大光坊遺跡、さらに利根川左岸にあたる上福島尾柄町遺跡等で確認されている。

しかし、遺構については検出例は乏しい。先の諸遺跡でも福島曲戸遺跡遺跡で中期の土坑1基調査されたのみである。

今回の調査においては土器や石器等の遺物に加えて、土坑が1基確認された。

### 41号土坑（第87、91図、PL55）

調査最下面にあたる第8面において確認された土坑である。この面は古墳時代の水田が確認されたAs-C混土層下にあたり、時間的には4世紀以前に位置づけられる資料が含まれることになる。

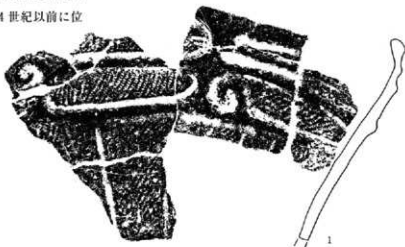
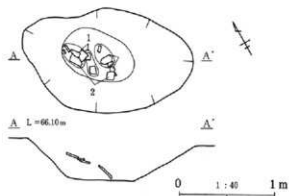
土坑は6区にあり、28N-9グリッドに位置する。長径132cm、短径110cm、深さ45cmの規模でやや不整の楕円形平面を呈する。底面はほぼ平坦で水平面を形成する。壁はゆるやかに立ち上がる。

土器は坑底面に接して出土している。破片は口縁部片で、胴下半および底部は認められない。

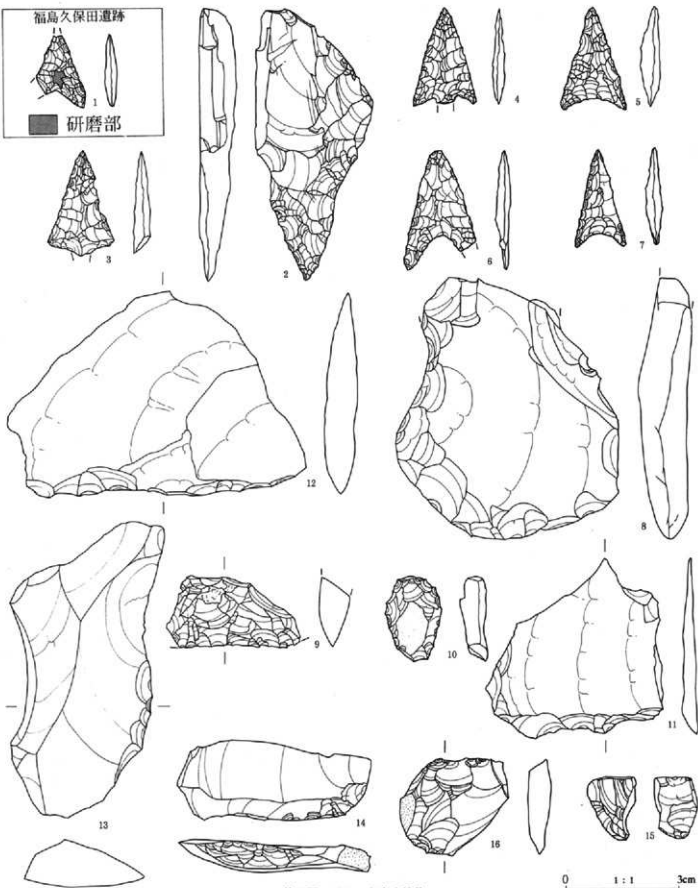
1は口縁部片で、口唇部を欠損する。ゆるやかなキャリパー形を呈する水平口縁の深鉢である。口縁部楕円区画内にはLR横位。胴部縄文は種別不明だが、口縁部縄文と走行は同様である。

2は口縁部を欠損する深鉢で、胴部懸垂文間は磨消しとし、縄文はRL横位である。

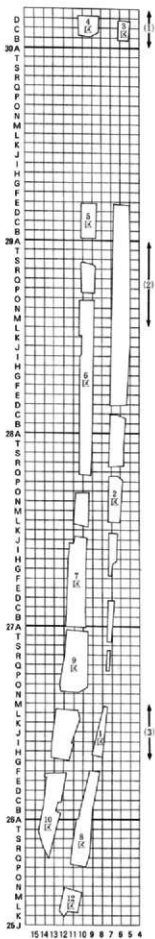
いずれの土器も加曾利E3式土器に該当する。



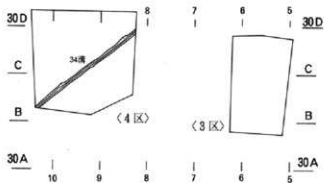
第87図 6区41号土坑と出土遺物



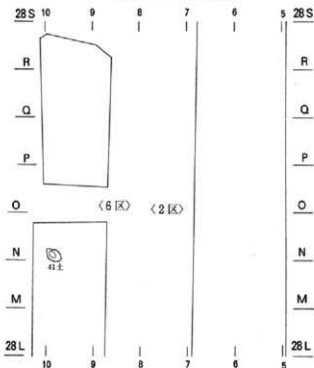
第88回 グリッド出土遺物



第89图 第8面全体图位置图

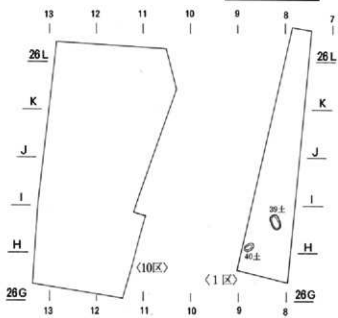


第90图 第8面全体图(1)



第91图 第8面全体图(2)

0 1:400 10 m



第92图 第8面全体图(3)

## 2 第8面の遺構と遺物

### a 概要

調査最終面で確認された遺構であるが、この遺跡で期的に最も古期であることを示すものではない。上層からの掘り込みによる遺構が、以降の人的、自然的要因により攪乱され、下部のみが残存し、そのため本来の層序では検出できなかったためと思われる。この面で確認された遺構は、4区34号溝、1区40号土坑、1区39号土坑、6区41号土坑である。このうち、6区41号土坑は縄文土器の伴出が確認されており、前項で報告したとおりである。以外の土坑、溝については時期が確定できないが、埋没土等からほぼ古墳時代に相当する遺構と考えられる。

なお、遺物については石器が散発的に認められる以外、特に出土は確認されていない。

### b 土坑（第93図、PL55）

#### 1区39号土坑

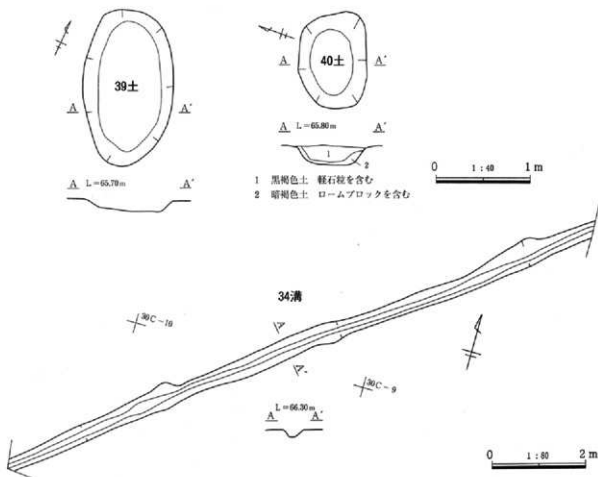
長径165cm、短径95cm、深さ12cmの楕円形土坑で、軽石を含む黒色土で埋没する。

#### 1区40号土坑

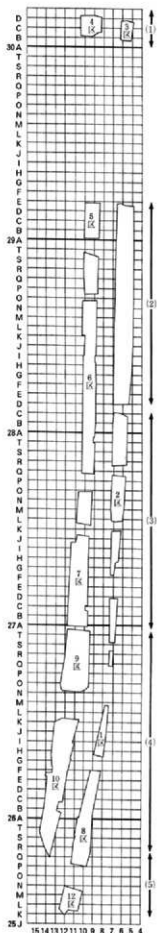
長径100cm、短径70cm、深さ20cmの楕円形土坑で、軽石を含む黒色土により埋没し、この軽石はAs-Cとみられる。

#### 4区34号溝

北東から南西方向に走行をもち、ほぼ直線的な溝で、幅30cm、深さ15cmの規模をもつ。上層の第7面ではこの部分に小区画水田が検出されるが、溝の走行は水田区画とも類似したものである。水田耕作に伴う区画溝もしくは水路の可能性があろう。



第93図 1区39・40号土坑、4区34号溝

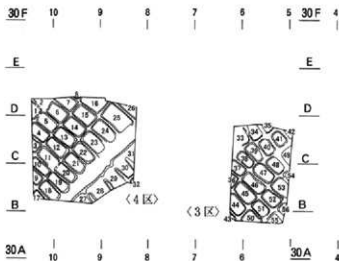


第94図  
第7面全体位置図

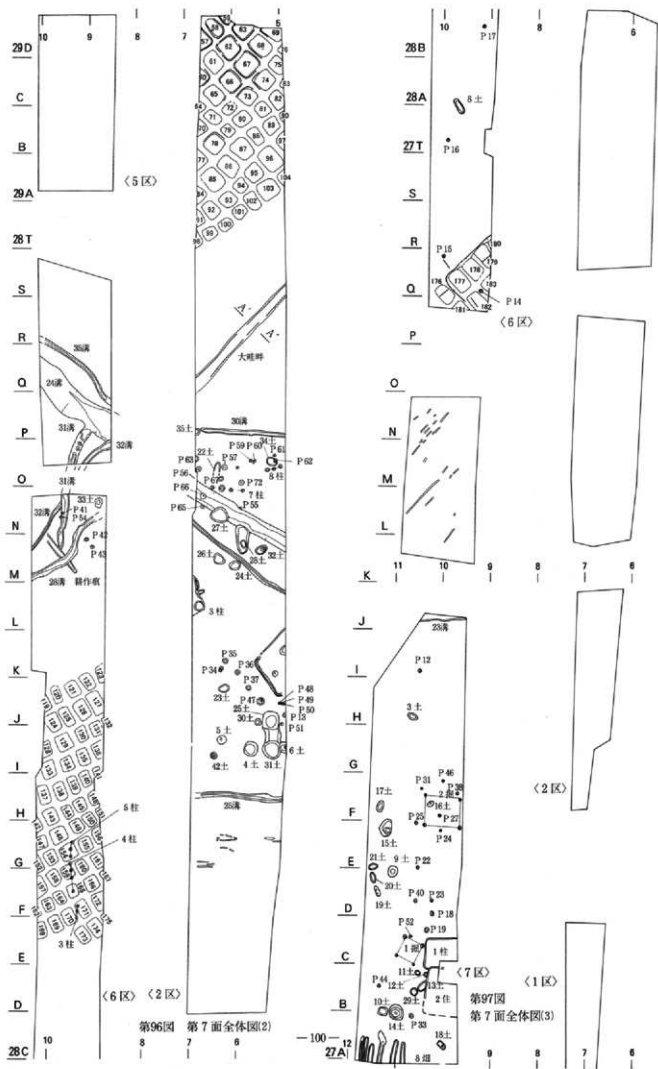
### 3 第7面の遺構と遺物

#### a 概要

各調査地点における遺構確認面はやや複雑で、各区毎に相違する状態である。そのような中で、As-B層は基準となる火山灰層であり、各地区および北接する福島大光坊遺跡においても確認されている。この火山灰埋没面は第4面として把握されており、水田等が検出されている。各調査区における遺構確認面の複雑な様相は、この第4面以下の層で生じていることである。確認面の相違や増減はこの層位にはHr-PP、Hr-FAやそれに伴う泥流およびAs-Cを混入する層などが含まれるが、As-C降下以降は継続的な耕作や住生活が営まれている。As-C混土も耕作等の人的影響により形成されたもので、以降の降下火山灰、泥流等の自然災害後も引き継ぎ生活が営まれたことで、本来の状態ならその堆積により被覆される生活面に大きな影響をおよぼすことになる。加えて地形上の起伏により堆積する厚層も相違する。そのため、各調査地点では層位および遺構の確認面等の残存状況が異なり複雑な様相を呈する。今回の調査では水田等の遺構は被覆層下に確認されたものであり、同時期面として認識できるものであるが、それ以外については遺構の確認が行われた調査面を基準に報告している。そのため同時期性を保証するものではなく、複数の時代の遺構が混在するものとなる。第7面は其中ではさらに複雑で、低地部ではHr-PP泥流埋没面にあたり、小区画水田が確認さ

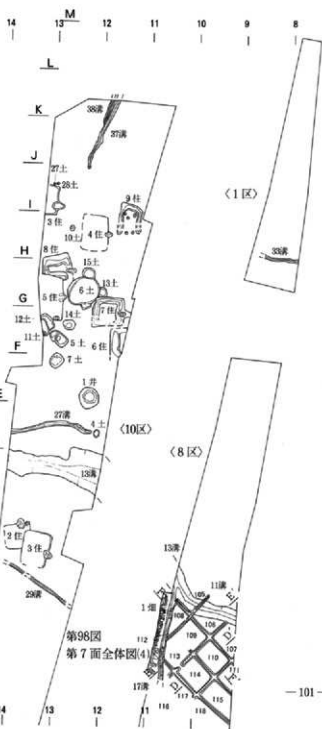
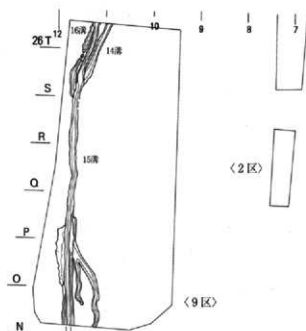


第95図 第7面全体図(1)

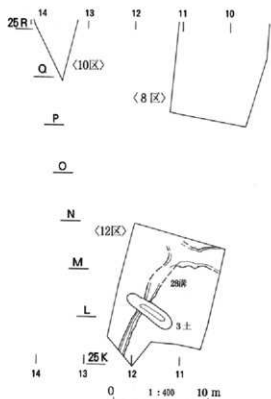


第96图 第7面全体图(2)

第97图 第7面全体图(3)



第98図  
第7面全体図(4)



第99図 第7面全体図(5)

れている。しかし、微高地では同記泥流は失われているため、遺構、遺物とも古墳時代から平安時代のものが含まれる。ここでは、このような第7面における確認遺構と遺物について種別ごとに報告していく。

#### b 竪穴住居

第七面の調査面で検出した住居は13軒である。この遺跡での竪穴住居の全棟がこの面で確認されたことになる。所属時期は古墳時代および平安時代のものが含まれる。確認面では複数の時期が混在するが、住居の分布をみると相違がある。古墳時代住居は7区にあり、平安時代住居は10区に集中する傾向がある。また、住居周辺には土坑、ピット等の分布も認められる。

#### 7区1号住居(第100区、PL40・80)

位置 27C-10グリッド

重複 7区2号住居と重複する。

規模 東半部未検出。南北長は320cm。

炉 床面には炉もしくは被熱部位は検出されない。

床 地山面を床とし、掘り方は認められていない。

硬質ではないが水平面が認められた。

遺物 S字口縁台付き甕、埴等が味上から出土する。

#### 7区2号住居(第101区、PL44・80)

位置 27B-10グリッド

重複 7区1号住居と重複する。

規模 東半部未検出。南北長は500cm。

炉 床面には炉もしくは被熱部位は検出されない。

床 地山面を床とし、掘り方は認められていない。

遺物 床上に甕、坏片等の散布が認められる。

#### 2区3号住居(第100区、PL44)

位置 28L-6グリッド

規模 東壁部分のみ検出。東壁長340cm。

カマド 東壁中央に付設。幅35cm、奥行き60cm。

床 確認部分では硬質面は認められないが、地山平坦面を検出。

遺物 調査範囲が些少であり、遺物は確認されない。

#### 2区4号住居(第103区、PL45・80)

位置 28J-5グリッド

規模 西半部のみ確認。南壁長450cm。カマドも未

検出。

床 硬質面は認められない。

遺物 墨書土器を含む土師器坏等が味上に散布する。

#### 10区1号住居(第104区、PL44・80)

位置 26A-13グリッド

規模 350cm×280cm。南北に長い横長長方形。南壁部に攪乱。

カマド 東壁中央やや南寄りに付設される。

床 硬質面は認められない。地山平坦面を確認した。

遺物 土師器坏片が埋没土から出土。

#### 10区2号住居(第105区、PL44・80)

位置 26B-13グリッド

重複 10区1号住居と重複

規模 残存状況が不良で、カマド部分を中心に確認した。推定長280cm×260cm。

カマド 北壁中央やや東寄りに付設される。

床 わずかに方形の段として確認されるが、すでに床面は失われているとみられる。

遺物 埋没土より土師器坏片の出土がある。

#### 10区3号住居(第106区、PL44・80)

位置 26I-13グリッド

規模 東半部のみ確認。東壁長300cm。

床 遺失部分が多い。床面もすでに失われており掘り方残存。

遺物 埋没土から須恵器碗片、砥石が認められた。

#### 10区4号住居(第107区、PL45・80)

位置 26H-12グリッド

規模 カマド部分を中心に確認した。残存状況は不良だが、推定規模375cm×275cm。

カマド 東壁中央に付設される。下部のみの残存。

床 遺失している。掘り方下部のみの確認。

遺物 埋没土から土器片が認められた。

#### 10区5号住居(第108区、PL45・80)

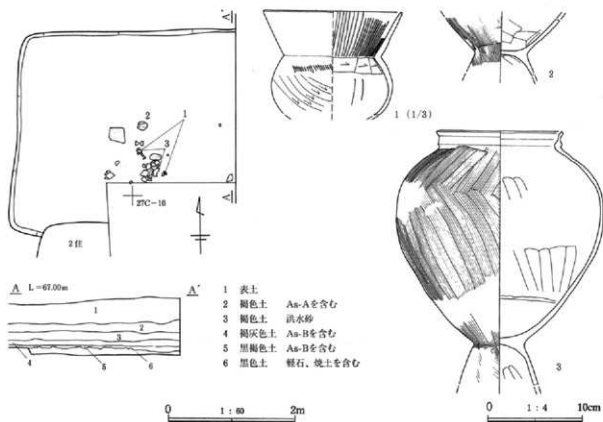
位置 26G-12グリッド

規模 カマド部分のみの確認。東壁推定長435cm。

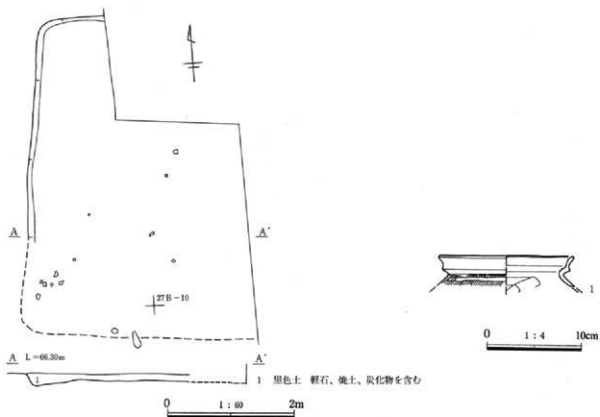
カマド 東壁中央部に付設される。

床 遺失している。わずかなくほみとして残存するのみである。

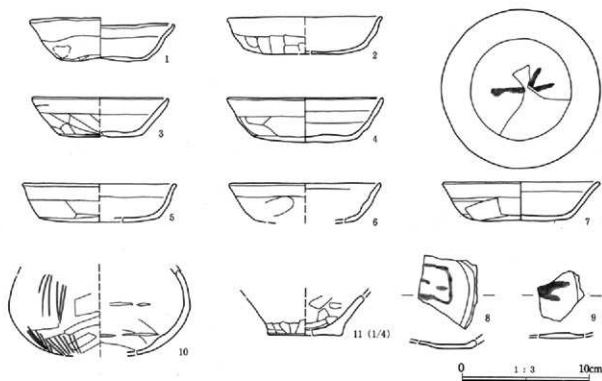
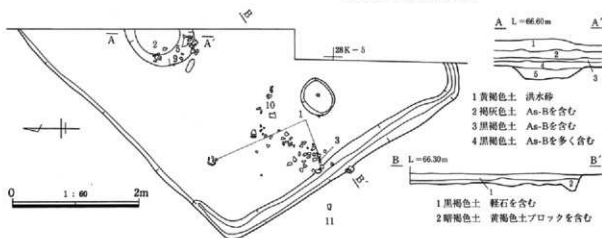
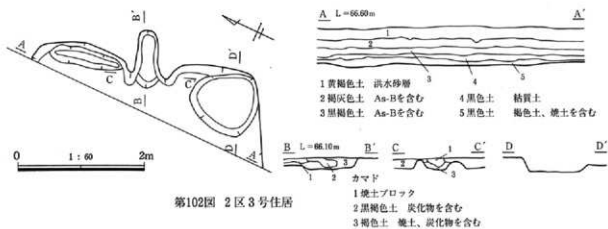




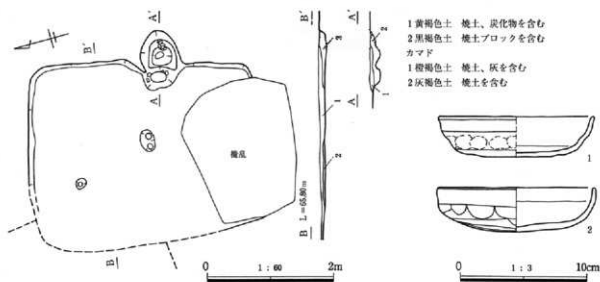
第100图 7区1号住居と出土遺物



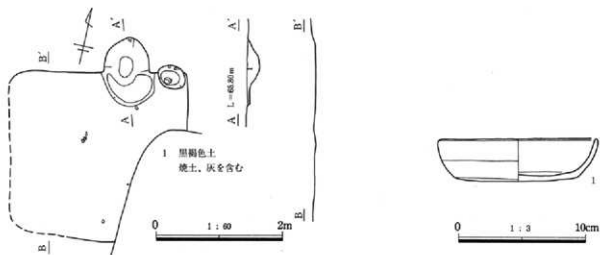
第101图 7区2号住居と出土遺物



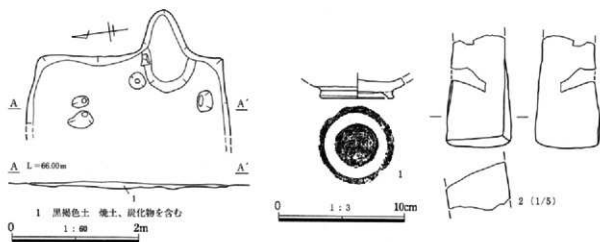
第103図 2区4号住居と出土遺物



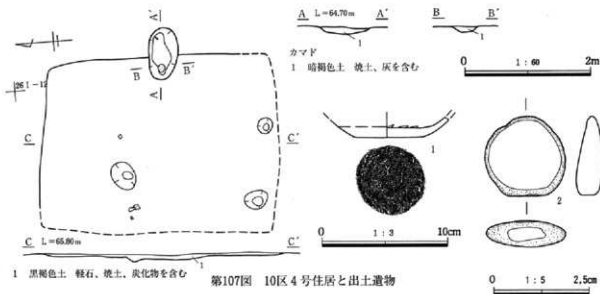
第104図 10区1号住居と出土遺物



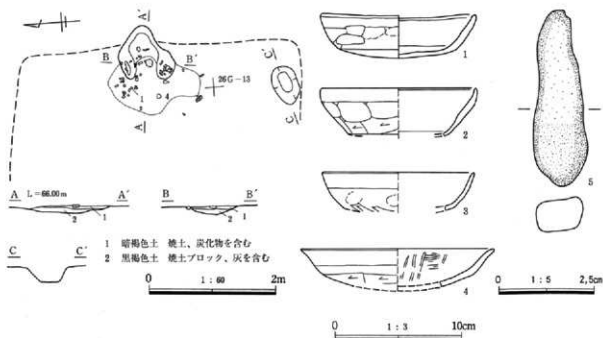
第105図 10区2号住居と出土遺物



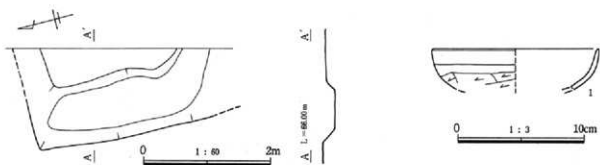
第106図 10区3号住居と出土遺物



第107図 10区4号住居と出土遺物



第108図 10区5号住居と出土遺物



第109図 10区6号住居と出土遺物

遺物 埋没土から土師器環等の出土がある。

10区6号住居 (第109図、PL45・80)

位置 26F-11グリッド

規模 住居北西隅部のみ検出。

カマド 未確認。

床 遺失している。掘り方のみ確認。

遺物 埋没土から土師器環片の出土がある。

10区7号住居 (第110図、PL45・80)

位置 26F-11グリッド

規模 320cm×300cm。東西に長軸をもつ長方形。

カマド 東壁中央に付設される。

床 遺失している。確認状態は掘り方のみ残存。

遺物 土師器環、須恵器輪等の破片の出土がある。

10区8号住居 (第111図、PL45)

位置 26G-12グリッド

規模 南側は不明。北壁長260cm。

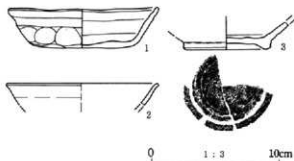
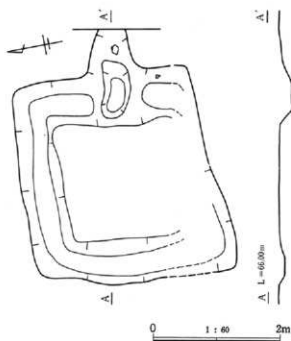
カマド 東壁中央に付設される。

床 遺失している。掘り方のみ残存で、住居縁辺部を巡るように溝状の掘り方がみられ、中央部は台状となる。

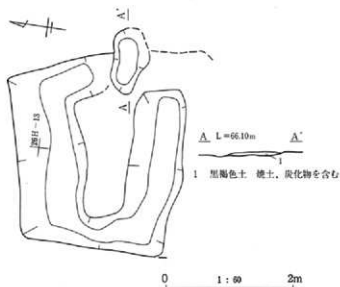
遺物 埋没土中からの遺物出土は認められていない。

10区9号住居 (第112図、PL45)

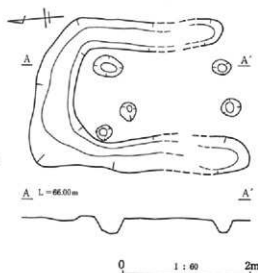
位置 26H-11グリッド



第110図 10区7号住居と出土遺物



第111図 10区8号住居



第112図 10区9号住居

規模 掘り方のみの確認。

カマド 残存せず、確認されていない。

床 遺失している。住居縁辺を巡る溝状の掘り方が認められる。ちょうど南側に向かうコの字状の形態となる。

遺物 埋没土中からの遺物出土は認められない。

### c 掘立柱建物

7区において2棟確認された。1号掘立柱建物は1号および2号住居と接した位置にあり、2号掘立柱建物はその15m北側に位置する。周囲には柱穴とみられるピットも散在し、さらに棟数の増加も考えられる。掘立柱建物の所属時期については明らかではないが、古墳時代住居の存在から同期集落を構成

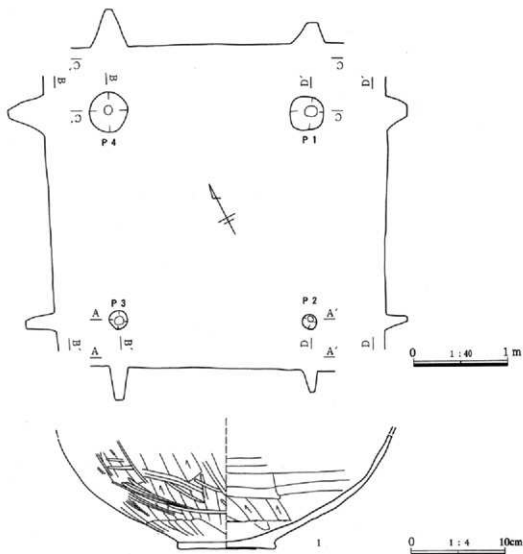
する可能性は高いといえるだろう。1号掘立柱建物柱穴からは古墳時代の裏底部の出土もある。

柱穴列としたものはピットが列状に並ぶ一群を呼称している。掘立柱建物の一部もしくは横状の構造物の可能性を考慮したが、性格は不明である。調査時の確認に沿って報告するが、調査経過に伴い柱穴列とは認められない例も存在し、そのため欠番を生じている。

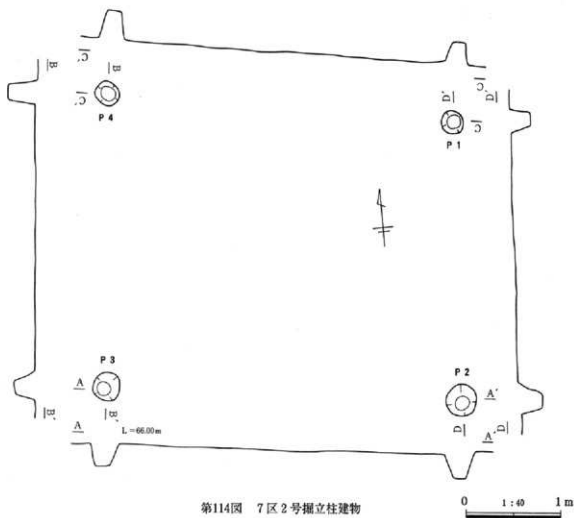
### 1号掘立柱建物(第113図、PL78・80)

27C-11グリッドに位置する。桁行1間、梁行1間の規模で、柱間は210cmを計測する。桁行方位はN-30°-Wを示す。

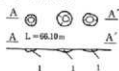
1号住居と接するが、新旧関係については不明であ



第113図 7区1号掘立柱建物と出土遺物



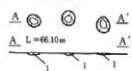
6区 3号柱穴列



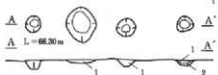
6区 4号柱穴列



6区 5号柱穴列



2区 7号柱穴列



2区 8号柱穴列



- 1 赭灰色土、粘質土、泥流小  
2 黑褐色土、粘質土

0 1:80 2m

第115图 2·6区柱穴列

る。なお、柱穴内より甕底部片の出土がある。

#### 2号掘立柱建物(第114図、PL78)

27F-10グリッドに位置する。桁行1間、梁行1間の規模で、桁行長は380cmで、梁行長は300cmを計測する。桁行方位はN-90°-Wを示す。

#### d 柱穴列(第15図、PL78)

6区3~5柱穴列は、水田中に確認され南北方向に連なる。

6区7・8柱穴列は微高地上で住居、土坑、ピット等とともに存在し、ほぼ東西方向に連なる。

#### e 土坑

第7面では計46基の土坑が確認された。各土坑の所属時期については不明な部分があるが、遺物出土例からはほぼ古墳時から平安時代の間に相当するものが含まれよう。このことは確認層位からも判断でき、As-B層埋没水田以前の複数時期の遺構が存在することになる。また、分布状況を見ると住居の周辺に集中する傾向がある。土坑の性格を特定できる資料はないが、居住地に存在することを考えれば貯蔵用施設として利用されたのかもしれない。

形態には円形平面、楕円形平面、長円形平面および方形平面を呈するものがあり、断面形には逆台形、皿状、方形などをみることができる。目的による差があるのであろうが、貯蔵と考えれば短期、長期、一時的等の相違があらわれているのかもしれない。

#### 12区3号土坑(第116図、PL46)

25L-11グリッドに位置する。長径550cm、短径155cm、深さ20cmを測る。大型の長楕円形平面を呈する。

#### 7区3号土坑(第116図、PL46)

27H-10グリッドに位置する。長径106cm、短径65cm、深さ30cmを測り、楕円形平面を呈する。

#### 2区4号土坑(第116図、PL47)

28I-5グリッドに位置する。長径150cm、短径141cm、深さ24cmを測る円形土坑。

#### 10区4号土坑(第116図、PL46)

26D-12グリッドに位置する。長径80cm、短径61cm、深さ9cmを測る楕円形土坑。

#### 2区5号土坑(第116図、PL47)

28I-6グリッドに位置する。長径91cm、短径89cm、深さ35cmを測る円形土坑。

#### 10区5号土坑(第116図、PL47)

26F-12グリッドに位置する。長径194cm、短径114cm、深さ30cmを測る不整楕円形土坑。重複土坑か。

#### 10区6号土坑(第116図、PL48)

26G-12グリッドに位置する。長径345cm、短径327cm、深さ14cmを測る。大型の楕円形土坑で確認深は浅い。

#### 2区6号土坑(第116図、PL47)

28I-4グリッドに位置する。西部部のみ調査であり、幅は113cm、深さ30cmを測る。底面に径30cm、深さ30cmの小穴がある。

#### 10区7号土坑(第117図、PL47・81)

26E-12グリッドに位置する。長径159cm、短径150cm、深さ55cmを測る方形土坑。

#### 6区8号土坑(第117図、PL48)

28T-9グリッドに位置する。長径165cm、短径65cm、深さ10cmを測る。長楕円形平面を呈する。

#### 7区9号土坑(第117図、PL48・81)

27D-10グリッドに位置する。長径115cm、短径95cm、深さ80cmを測る。底面からはほぼ完形のS字状口縁部台付き甕が出土している。

#### 7区10号土坑(第117図、PL49・81)

27A-11グリッドに位置する。長径100cm、短径80cm、深さ48cmを測る。方形平面を呈する。

#### 10区10号土坑(第117図、PL49)

26H-12グリッドに位置する。長径55cm、短径50cm、深さ30cmを測る小型の円形土坑。

#### 7区11号土坑(第117図、PL49)

27B-10グリッドに位置する。長径60cm、短径45cm、深さ14cmを測る小型の楕円形土坑。

#### 7区12号土坑(第117図、PL49)

27B-10グリッドに位置する。長径85cm、短径38cm、深さ10cmを測る長円形土坑。

#### 10区11・12号土坑(第117図、PL49・81)



26F-13グリッドに位置する。11号土坑が12号土坑を切る。両土坑とも長軸185cm程度の長方形土坑である。深さは30cmを測る。

**7区13号土坑 (第117図、PL50)**

27B-10グリッドに位置する。長径130cm、短径70cm、深さ10cmを測る楕円形土坑。

**10区13号土坑 (第117図、PL50・81)**

26G-11グリッドに位置する。長径120cm、短径110cm、深さ20cmを測る。不整な円形を呈する。

**10区14号土坑 (第117図、PL50)**

26F-12グリッドに位置する。長径125cm、短径100cm、深さ25cmを測る。方形平面で、すり鉢状断面を呈する。

**7区14号土坑 (第117図、PL50・81)**

27A-10グリッドに位置する。長径175cm、短径140cm、深さ65cmを測る。2段の掘り込みをもつ大型の円形土坑。

**7区15号土坑 (第117図、PL50)**

27E-11グリッドに位置する。長径190cm、短径125cm、深さ50cmを測る。大型の楕円形土坑で、底面が一段低くなる。

**10区15号土坑 (第118図、PL51)**

26G-12グリッドに位置する。長径132cm、短径110cm、深さ25cmを測る楕円形土坑。

**7区16号土坑 (第118図、PL51)**

27F-10グリッドに位置する。長径80cm、短径45cm、深さ8cmを測る小型の楕円形土坑。

**7区17号土坑 (第118図、PL51)**

27F-11グリッドに位置する。長径128cm、短径62cm、深さ10cmを測る小型楕円形土坑。

**7区18号土坑 (第118図、PL51)**

27A-9グリッドに位置する。長径105cm、短径55cm、深さ25cmを測る。柱穴状のピットに切られる。

**7区19号土坑 (第118図、PL52)**

27D-11グリッドに位置する。長径110cm、短径40cm、深さ30cmを測る。底面に2ヶ所の面があり重複土坑とみられる。

**7区20号土坑 (第118図、PL52)**

27D-11グリッドに位置する。長径110cm、短径50cm、深さ28cmを測る。

**7区21号土坑 (第118図、PL52)**

27D-11グリッドに位置する。長径95cm、短径55cm、深さ25cmを測る楕円形土坑。

**2区22号土坑 (第118図、PL81)**

28O-6グリッドに位置する。短径60cm、深さ8cmを測る長円形土坑。南半部は未調査。

**2区23号土坑 (第118図、PL52)**

28J-6グリッドに位置する。長径125cm、短径90cm、深さ30cmを測る楕円形土坑。

**2区24号土坑 (第118図、PL52・81)**

28M-5グリッドに位置する。長径125cm、短径90cm、深さ30cmを測る楕円形土坑。

**2区26号土坑 (第118図、PL53)**

28I-5グリッドに位置する。長径190cm、短径180cm、深さ38cmを測るやや不整な円形土坑。

**10区27号土坑 (第118図、PL53)**

26I-13グリッドに位置する。長径23cm、短径20cm、深さ20cmを測る小型円形土坑。

**10区28号土坑 (第118図、PL53)**

26I-12グリッドに位置する。径25cm、深さ23cmを測る小型円形土坑。

**2区28号土坑 (第118図)**

28M-5グリッドに位置する。長径295cm、短径125cm、深さ28cmを測る。底面に段があり重複土坑の可能性がある。

**2区27号土坑 (第118図、PL52・81)**

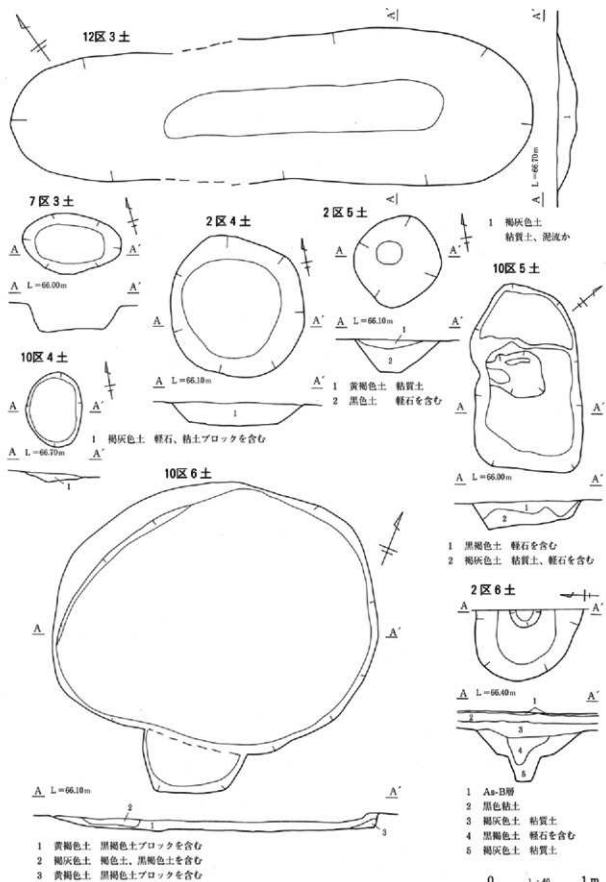
28N-6グリッドに位置する。長径195cm、短径155cm、深さ17cmを測る不整楕円形土坑。

**7区29号土坑 (第118図、PL53)**

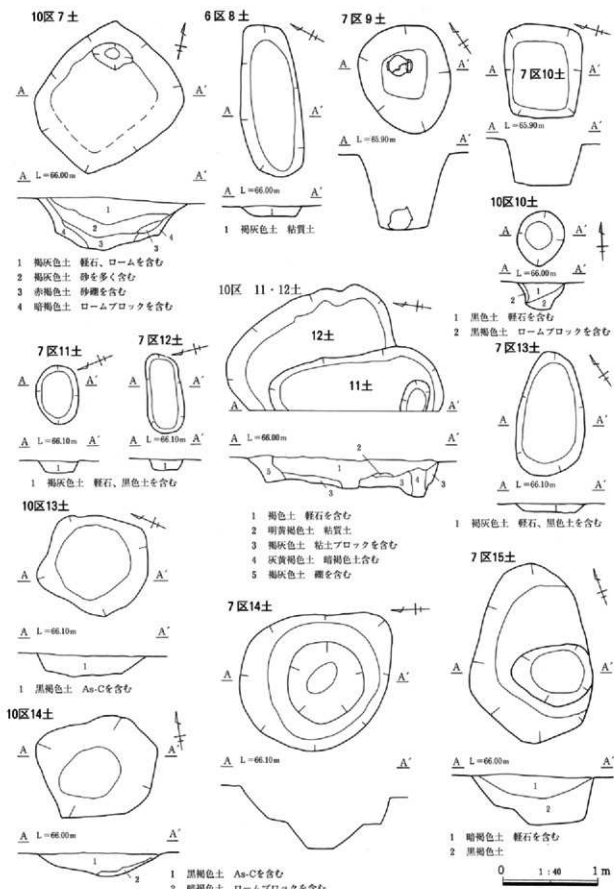
27B-10グリッドに位置する。径80cm、深さ10cmを測る円形土坑。

**2区32号土坑 (第118図、PL53・81)**

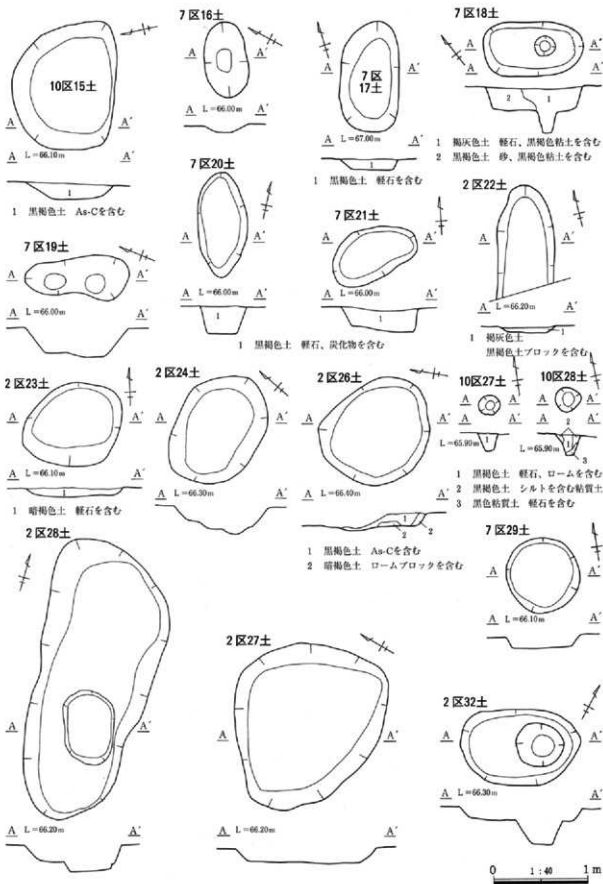
28M-5グリッドに位置する。長径130cm、短径80cm、深さ15cmを測る楕円形土坑。底面に径50cm、深さ25cmの落ち込みがある。



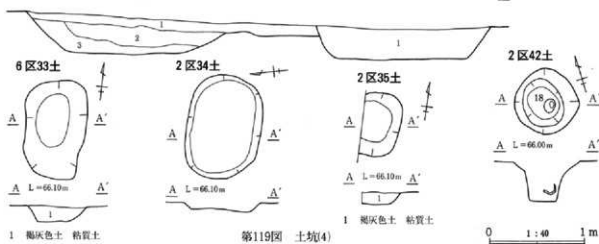
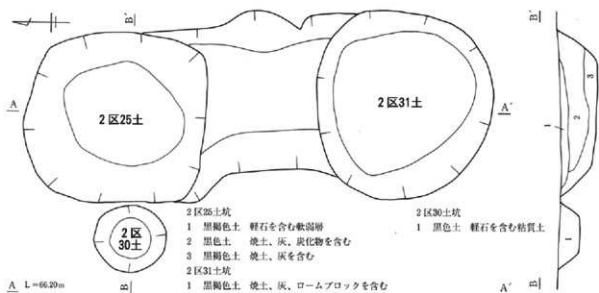
第116図 土坑①



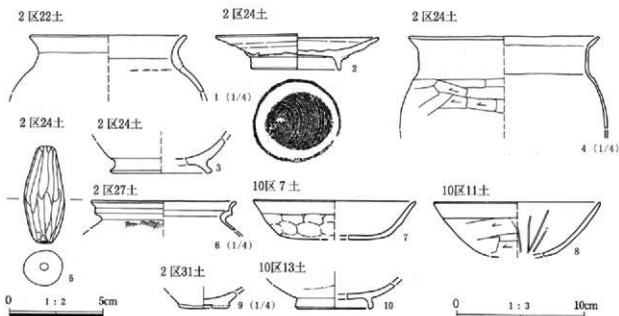
第117図 土坑(2)



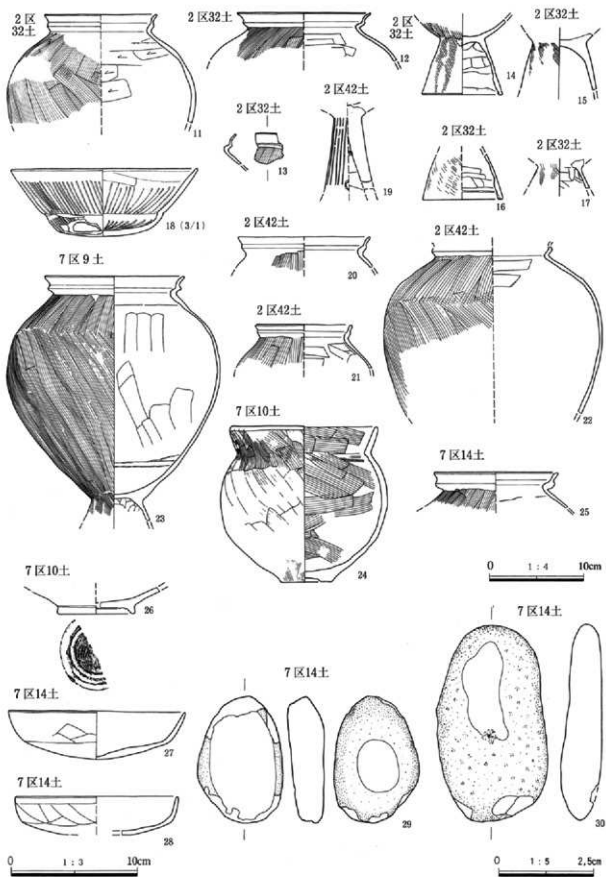
第118図 土坑(3)



第119図 土坑(4)



第120図 土坑出土遺物(1)



第121图 土坑出土遺物(2)

**2区30号土坑 (第119図、PL53)**

28I-5グリッドに位置する。径75cm、深さ23cmを測る円形土坑。

**2区25・31号土坑 (第119図、PL53・81)**

28I-5グリッドに位置する。重複関係をもつが、31号土坑が新しい。25号土坑は長径190cm、短径180cm、深さ38cmを測る。31号土坑は長径195cm、短径190cm、深さ32cmを測る。

**6区33号土坑 (第119図、PL54)**

28N-8グリッドに位置する。長径105cm、短径65cm、深さ18cmを測る楕円形土坑。

**2区34号土坑 (第119図、PL54)**

28O-5グリッドに位置する。長径110cm、短径80cm、深さ8cmを測る楕円形土坑。

**2区35号土坑 (第119図、PL54)**

28P-6グリッドに位置する。長径65cm、深さ15cmを測る楕円形土坑。西半部未調査。

**2区42号土坑 (第119図、PL56・81)**

28I-6グリッドに位置する。径70cm、深さ43cmを測る円形土坑。S字状口縁台付き壘、埴、高坏等の出土がある。

**f ビット**

小型の小穴をビットと呼称している。土坑と名称とした遺構とは遺構確認時の平面規模の相違による。これらのビットは径30cm～50cm程度の円形平面を呈する。深度は差が大きく、10cm前後～50cm前後と多様である。性格は特定できないが、他遺構と規模を比較すれば掘立柱建物や構成する柱穴に近い。多数確認したビット群は、掘立柱建物、柱穴列等の一部を形成するものと思われる。

**7区12号ビット (第122図、PL61)**

27I-10グリッドに位置する。長径36cm、短径30cm、深さ15cmを測り楕円形平面を呈する。

**2区13号土坑 (第122図、PL61)**

28J-4グリッドに位置する。長径39cm、短径28cm、深さ20cmを測り楕円形平面を呈する。

**6区14号ビット (第122図、PL61)**

27Q-9グリッドに位置する。長径45cm、短径35

cm、深さ11cmを測り楕円形平面を呈する。

**6区15号ビット (第122図、PL62)**

27Q-9グリッドに位置する。径30cm、深さ13cmを測り円形平面を呈する。

**6区16号ビット (第122図、PL62)**

27T-9グリッドに位置する。径29cm、深さ7cmを測る円形ビット。

**7区22号ビット (第122図、PL63)**

27D-10グリッドに位置する。径28cm、深さ12cmを測る円形ビット。

**6区17号ビット (第122図、PL62)**

28B-9グリッドに位置する。径29cm、深さ13cmを測る円形ビット。

**7区18号ビット (第122図、PL62)**

27D-10グリッドに位置する。長径44cm、短径34cm、深さ11cmを測る楕円形ビット。

**7区19号ビット (第122図、PL62・63)**

27C-10グリッドに位置する。短径44cm、深さ14cmを測る楕円形ビット。

**7区23号ビット (第122図、PL64)**

27D-10グリッドに位置する。径25cm、深さ23cmを測る円形ビット。

**7区24号ビット (第122図、PL64)**

27E-10グリッドに位置する。長径29cm、短径22cm、深さ14cmを測る楕円形ビット。

**7区25号ビット (第122図、PL64・65)**

27E-10グリッドに位置する。長径30cm、短径25cm、深さ19cmを測る楕円形ビット。

**7区27号ビット (第122図、PL65)**

27F-10グリッドに位置する。径29cm、深さ22cmを測る円形ビット。

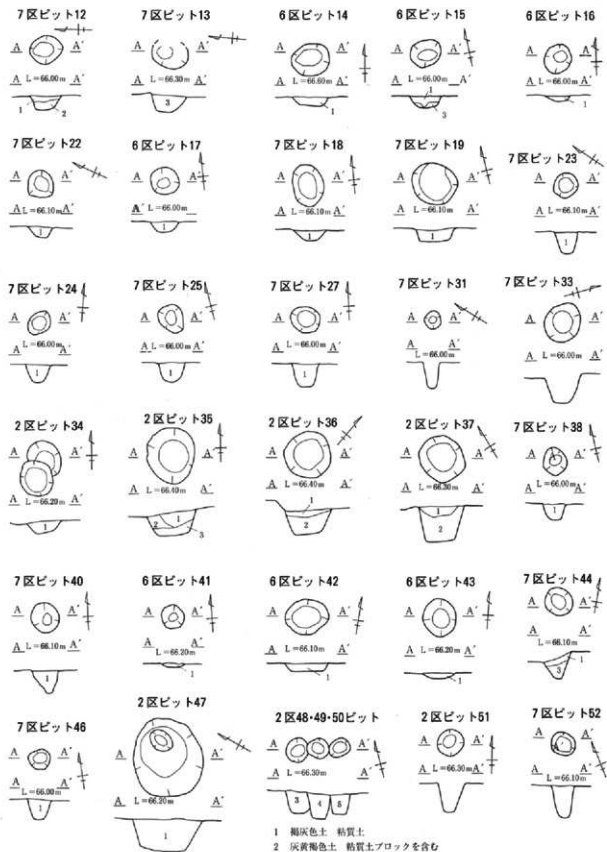
**7区31号ビット (第122図、PL65)**

27F-10グリッドに位置する。径18cm、深さ26cmを測る円形ビット。

**7区33号ビット (第122図)**

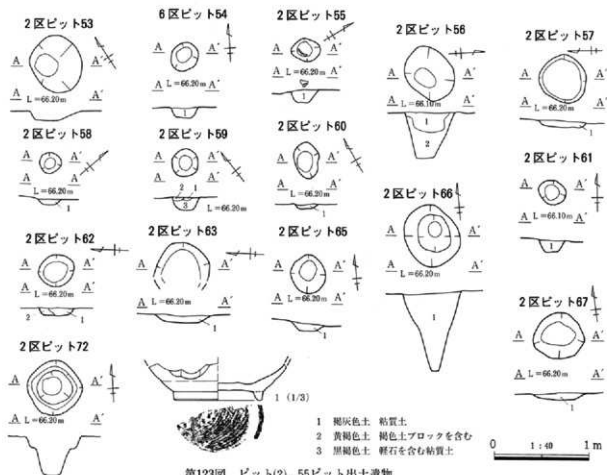
27A-10グリッドに位置する。径39cm、深さ30cmを測る円形ビット。

**2区34号ビット (第122図、PL65)**



第122図 ピット(1)





第123図 ビット(2), 55ピット出土遺物

28K-6グリッドに位置する。長径40cm、短径30cm、深さ14cmを測る楕円形ピット。

**2区35号ピット (第122図、PL66)**

28K-6グリッドに位置する。長径59cm、短径50cm、深さ29cmを測る楕円形ピット。

**2区36号ピット (第122図、PL66)**

28K-5グリッドに位置する。径50cm、深さ25cmを測る円形ピット。

**2区37号ピット (第122図、PL66)**

28J-5グリッドに位置する。径48cm、深さ37cmを測る円形ピット。

**7区38号ピット (第122図、PL66)**

27F-9グリッドに位置する。長径29cm、短径25cm、深さ16cmを測る楕円形ピット。

**7区40号ピット (第122図、PL67)**

27D-10グリッドに位置する。径30cm、深さ13cmを測る円形ピット。

**6区41号ピット (第122図、PL67)**

28N-9グリッドに位置する。径24cm、深さ4cmを測る円形ピット。

**6区42号ピット (第122図、PL67)**

28M-9グリッドに位置する。長径46cm、短径38cm、深さ10cmを測る楕円形ピット。

**6区43号ピット (第122図、PL67)**

28M-8グリッドに位置する。径38cm、深さ10cmを測る円形ピット。

**7区44号ピット (第122図)**

27B-11グリッドに位置する。径30cm、深さ29cmを測る円形ピット。

**7区46号ピット (第122図、PL67)**

27F-9グリッドに位置する。径22cm、深さ21cmを測る円形ピット。

**2区47号ピット (第122図、PL68)**

28J-4・5グリッドに位置する。長径82cm、短

径74cm、深さ35cmを測る楕円形ピット。

2区48・49・50号ピット (第122図、PL68)

27F-11グリッドに位置する。3基重複する。径25cm前後、深さ20cm前後の円形ピット。

2区51号ピット (第122図)

28J-4グリッドに位置する。径28cm、深さ30cmを測る円形ピット。

7区52号ピット (第122図)

27C-10グリッドに位置する。径24cm、深さ34cmを測る円形ピット。

2区53ピット (第123図、PL68)

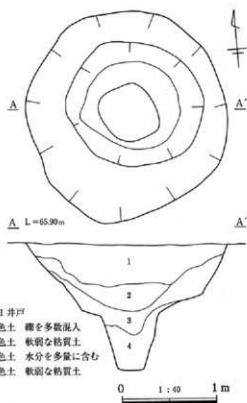
28K-5グリッドに位置する。径60cm、深さ10cmを測る円形ピット。

6区54号ピット (第123図、PL67・68)

28N-9グリッドに位置する。径28cm、深さ12cmを測る円形ピット。

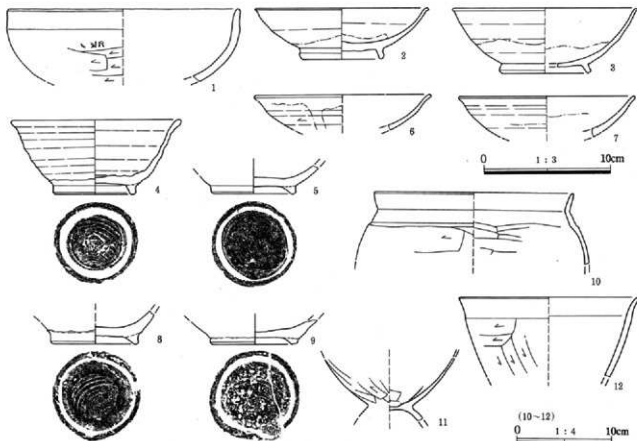
2区55号ピット (第123図)

28N-5グリッドに位置する。長径31cm、短径



10区1号1井戸

- 1 黒褐色土 礫を多数混入
- 2 暗褐色土 軟弱な粘質土
- 3 暗褐色土 水分を多量に含む
- 4 黒褐色土 軟弱な粘質土



第124図 10区1号井戸と出土遺物

24cm、深さ14cmを測る楕円形ピット。

**2区56号土坑 (第123図、PL68)**

28O-6グリッドに位置する。長径57cm、短径46cm、深さ47cmを測る楕円形ピット。

**2区57号土坑 (第123図、PL69)**

28O-6グリッドに位置する。径50cm、深さ7cmを測る円形ピット。

**2区58号土坑 (第123図、PL69)**

28O-5グリッドに位置する。径24cm、深さ6cmを測る円形ピット。

**2区59号ピット (第123図、PL69)**

28O-5グリッドに位置する。径cm、深さ14cmを測る円形ピット。

**2区60号ピット (第123図、PL69)**

28O-5グリッドに位置する。長径29cm、短径24cm、深さ5cmを楕円形ピット。

**2区61号ピット (第123図、PL69)**

28O-5グリッドに位置する。径28cm、深さ13cmを測る円形ピット。

**2区62号ピット (第123図、PL70)**

28O-5グリッドに位置する。径37cm、深さ7cmを測る円形ピット。

**2区63号ピット (第123図、PL70)**

28O-6グリッドに位置する。径59cm、深さ9cmを測る。

**2区65号ピット (第123図、PL70)**

28N-6グリッドに位置する。径40cm、深さ10cmを測る円形ピット。

**2区66号ピット (第123図、PL70)**

28N-6グリッドに位置する。長径66cm、短径59cm、深さ84cmを測る円形ピット。

**2区67号ピット (第123図、PL70)**

28O-6グリッドに位置する。径55cm、深さ7cmを測る円形ピット。

**2区72号ピット (第123図、PL70)**

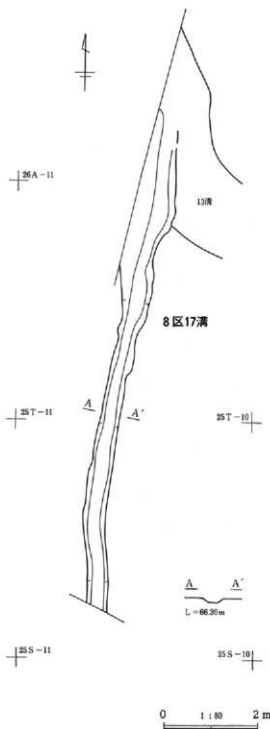
28O-5グリッドに位置する。径60cm深さ42cmを測る円形ピット。

**g 井戸 (第124図、PL78・82)**

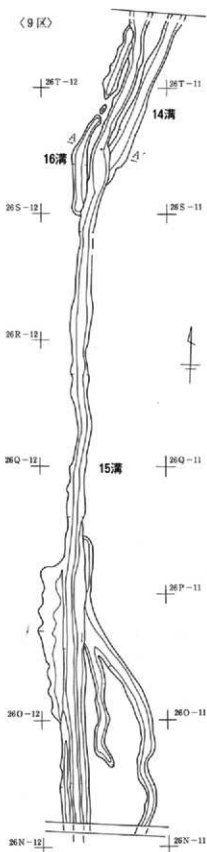
**1号井戸**

26E-12グリッドに位置する。径230cm×200cmのやや不整な円形平面を呈し、中央に径60cmの円筒形の掘り込みがある。

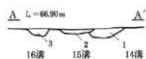
深度は135cmで、埋没土中層には礫が認められた。



第125図 8区17号溝

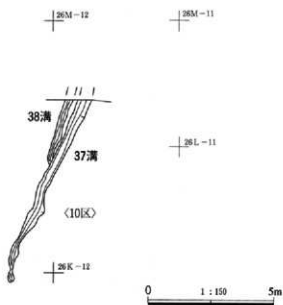


0 1 : 4 10cm



- 1 14溝 黒褐色土 砂、ロームを含む
- 2 15溝 黒褐色土 軽石、砂を含む
- 3 16溝 褐灰色土 軽石、ロームを含む粘質土

0 1 : 80 2m



第126図 9区14・15・16号溝と出土遺物、10区37・38号溝



9世紀代の土器類が埋没土中から出土している。

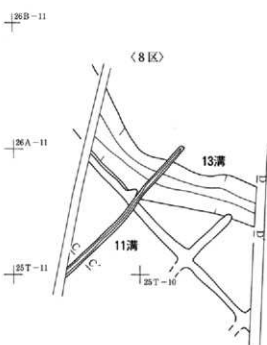
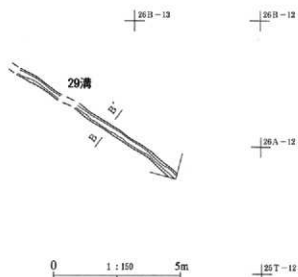
**h 溝 (第125図～第132図、PL71～76・84)**

溝も多数検出されている。しかし、それぞれの所属時期については不明な部分が多い。このことは土坑やピット等と同様であり、遺物出土が認められる例についてもほとんどが埋没土に含まれ、確実に伴出するとみられる調査所見は得られていない。

まず、溝の走行をもとに傾向をみておきたい。溝の走行には基本的に4方向あり、北西から南東の走行をもつ溝、北東から南西の走行をもつ溝、南北方向の走行をもつ溝、東西方向の走行をもつ溝がある。**北西から南東方向の溝**

6区35号溝、6・2区24号溝、2区29号溝、8区13号溝、10区29号溝がある。

6・2区24号溝は規模が大きく、溝底面には細



**10区27溝**



L = 65.70 m<sup>1</sup>

10区27溝

1 褐色土 泥流層

**10区29溝**



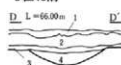
L = 65.70 m

**8区11溝**



L = 65.50 m

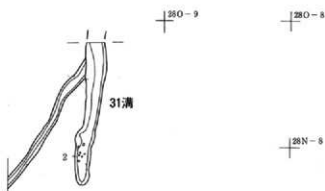
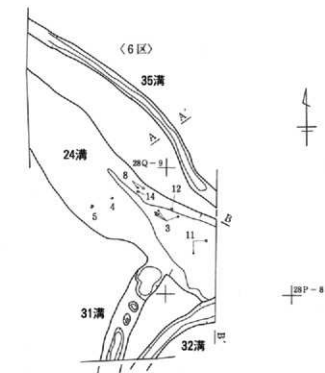
**8区13溝**



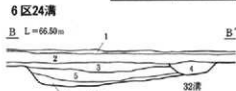
- 1 暗褐色土 As-Bを含む
- 2 黄褐色土 粘質土
- 3 褐色土 軽石を含む
- 4 黒色土 As-Cを含む

0 1:80 2 m

第127図 8区11号溝、8・10区13号溝、10区27・29号溝



6区35溝 6区24溝 0 1:150 5m



- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 As-B層         | 4 褐灰色土 細砂を含む粘質土 |
| 2 黒褐色粘質土 水田耕土   | 5 褐灰色土 粘質土      |
| 3 褐灰色土 細砂を含む粘質土 | 6 黒灰色土 細砂層      |

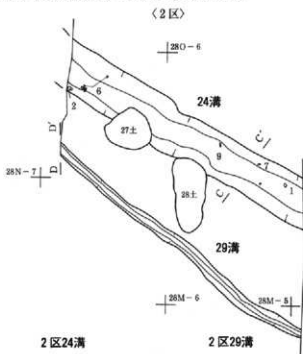
砂層の堆積が認められ水路として使用されたものとみられる。溝内から古墳時代土器の出土もあり、同期水田の灌漑用の可能性がある。6区35号溝や2区29号溝もこの溝に平行した位置にあり、やはり耕作に伴う溝とみられる。このことは10区29号溝も同様で東側の8区において検出された小区画水田に伴うものだろう。

北東から南西方向の溝

6区28号・32号溝があるが、両溝ともやや湾曲ぎみである。古墳時代の小区画水田畦畔方向と類似した走行であり、水田耕作に関連するものかもしれない。

南北方向の溝

9区14号・15号・16号溝および10区37号・38号溝がある。9区を縦断し、10区北端部で途切れる。



- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 褐灰色土 粘質土      | 1 As-B層          |
| 2 黒褐色土 軽石を含む粘質土 | 2 黒褐色土 水田耕土      |
|                 | 3 褐灰色土 泥炭層       |
|                 | 4 黒褐色土 粘質土 (29溝) |

第128図 2・6区 溝

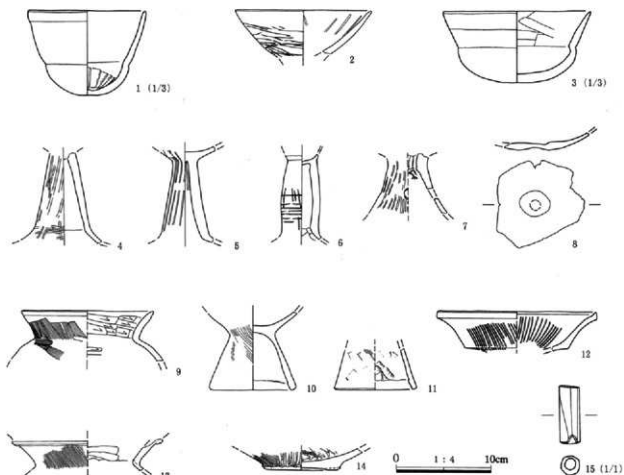
0 1:80 2m

また、9区北側の7区では確認されていない。走行はやや蛇行きみで部分的に枝分かれがある。埋没土をみると砂を含む粘質土であり、流水の痕跡とみられる。水田耕作に伴うものとすれば、走行から平安時代に関連するものとみることができる。

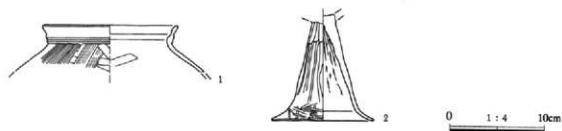
#### 東西方向の溝

2区25号溝、30号溝、1区33号溝等がある。

これらはAs-B埋没水田の水田区画に類似していることから第4面水田もしくは徳前の時間的連続性をもつ水田区画に伴う溝だろう。8・10区13号溝は古墳時代小区画水田より時間的には古い。調査区が狭いため、走行が東西方向を示すようであるが、溝底面の傾斜は北西から南東方向にある。溝幅、走行ともやや不規則であり、自然流路の可能性があらう。



第129図 2区24号溝出土遺物



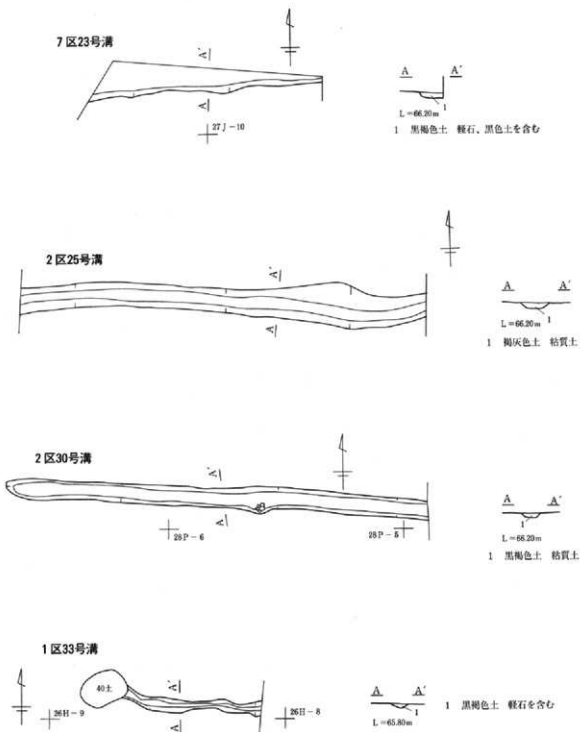
第130図 6区31号溝出土遺物

i 水田 (第133、134図、PL 4)

第7面においては、古墳時代から平安時代にかけての遺構群が検出されている。その間、火山災害やそれに伴う泥流被災により生活面が被覆される時期もあったが、その後の耕作等の影響により遺構や遺

物の混在が生じている。

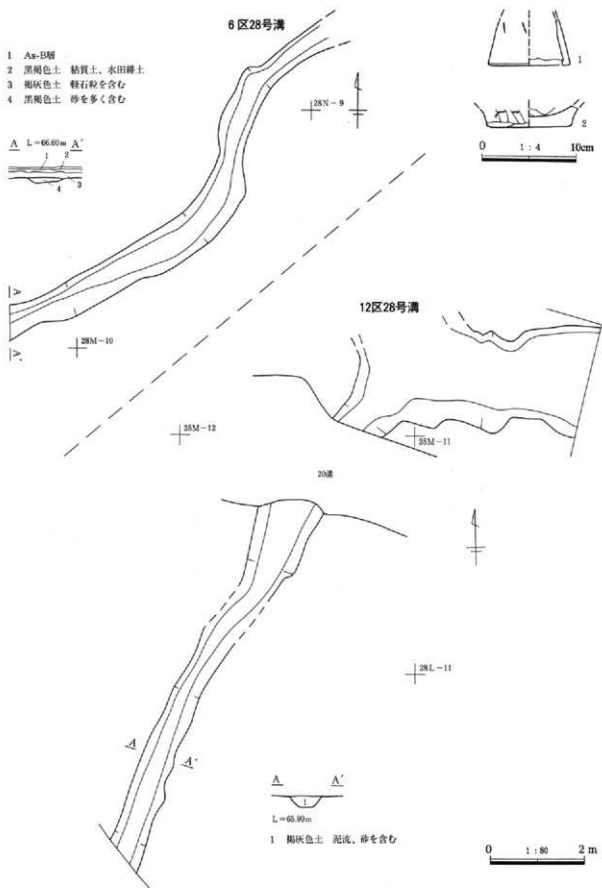
埋没水田については周辺の調査事例をみると古墳時代の榛名山二ッ岳の2度の噴火に伴い発生した泥流に被覆された小区画水田が検出されている。この泥流は、Hr-FA泥流とHr-FP泥流であり、調査地



第131図 溝(1)

0 1:80 2m





第132図 溝(2)、6区28号溝出土遺物

点によって確認される時期に相違が認められる。

しかし、いずれの水田耕作土もAs-Cを混入する黒色土を基本としている。これは、As-C降下後に水田耕作が行われたことを示すものであるが、その開始時期は明らかではない。福島曲戸遺跡を含め、3世紀末葉から4世紀代の集落が点在するが、このことをみればAs-C降下前後の時期には水田耕作が行われたことを考えることができる。

なお、隣接する福島大島遺跡等の調査事例によればHr-FA泥流埋没水田が検出され、さらにその泥流層を掘込む水田が確認されている。このことから、Hr-FA泥流堆積後、Hr-FP泥流の発生以前に水田耕作が開始、再開されていたことと、耕作の継続性というものを看取することができる。

この遺跡で確認された水田も、その時期のみ存在していたわけではなく、少なくともAs-C降下前後には水田耕作が行われ以降継続的なものであったものと思われる。

2区、3区、4区、6区および8区でHr-FP泥流に埋没する小区画水田が検出されている。いずれの

地点でもその前後の水田の存在については明らかではないが、周辺の調査事例からはやはり継続的な水田耕作があった可能性は高いだろう。

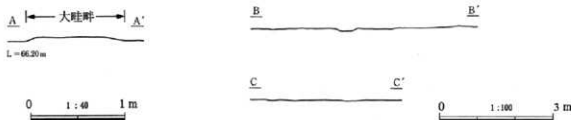
2区には小区画水田とともに、大畦が確認されている。この両端面には水田畦畔が確認されていないが、小区画水田と畦畔走行を同じにするとともに検出状況も一致するため、同時期の水田に伴う基本的な区画となるものだろう。なお、この大畦を含め2区、6区の水田はほぼ平坦で畦畔も起伏は失われており、残存状況は不良である。7区では水田区画は確認されていないが、泥流に埋没する機状痕がみられるがおそらく耕作痕の一部と考えられる。

8区の水田も残存状況は不良である。泥流層と水田耕作土のわずかな相違により畦畔を確認している。なお、この小区画水田下層より1号畑を検出した。

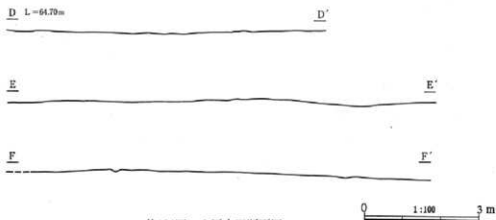
#### j 畑

##### 8区1号畑(第136図、PL77)

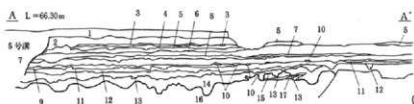
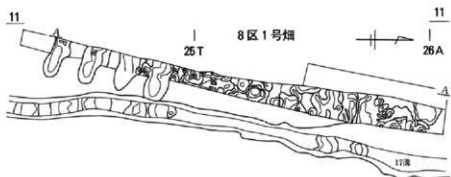
8区調査区西端部において検出された。壁際であり、部分的な検出のためやや不明瞭な点もある。平面的には帯状の落ち込みが数条認められ、土層断面



第133図 2区大畦畔、6区水田断面図



第134図 8区水田断面図



- 1 表土
- 2 黄褐色土 細砂層
- 3 黄褐色土 As-Aを含む
- 4 暗褐色土 As-Bを含む
- 5 黒褐色土 水田耕土
- 6 黄褐色土 軽石を含む粘質土
- 7 黄褐色土 軽石を多く含む
- 8 浅黄褐色土 粘質土
- 9 褐灰色土 白色軽石が多く含む
- 10 黄褐色土 Hr-FA
- 11 黄灰色土 砂を多く含む
- 12 黒色土 As-Cを含む
- 13 褐灰色土 粘質土主体の層
- 14 褐灰色土 褐灰色砂主体
- 15 黄褐色土 細砂、白色パミスを含む
- 16 褐色土 粘質土、砂質土の混在
- 17 褐灰色土 砂主体、黒色粘質土混在

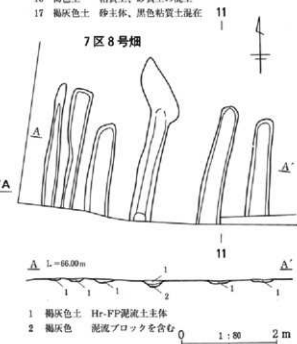
には畝状の起伏が確認できた。また端部を17号溝により切られるが、ちょうど畑の畝端にあたる部分とみられる。このような形態から畑遺構として調査を行った。検出層位は次のとおりである。

Hr-FP泥流埋没水田耕土の下層にはHr-FA泥流堆積層が存在する。さらにその下層には洪水堆積物とみられる砂質層の堆積がみられる。この砂質層の成因については現状では確定できないが、1号畑はこの砂質層中に形成されている。この層中にはAs-Cとみられる白色軽石が含まれるが、同テフラの純層は確認できない。なお、調査所見ではAs-C混土層下位に確認面をもつことから同テフラ降下以前を考慮したが、畑構茶面について不明なことからAs-C降下時期との関係は明確な判断ができない。特に畑被覆層が洪水層であることから、上部の攪乱が著しいことも確認を困難にしている。

畝幅および畝間とも20cm前後の間隔であり、平面的には4条、土層断面では6条が認められる。

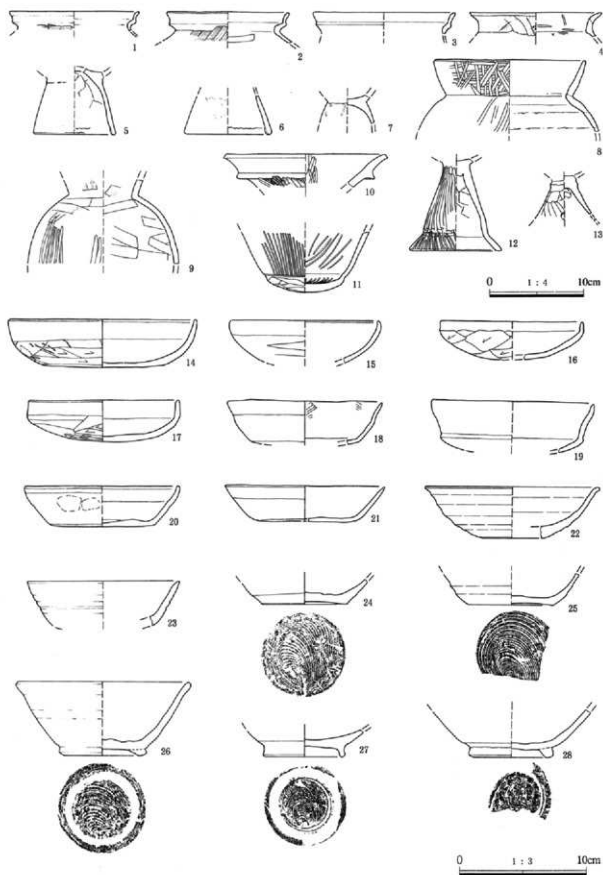
#### 7区8号畑 (第135図)

7区南端部に検出された6条の畝である。FP泥流とみられる褐灰色粘質土を埋没土とする。確認状況は小区画水田と同様であり、古墳時代の畑と考えられる。

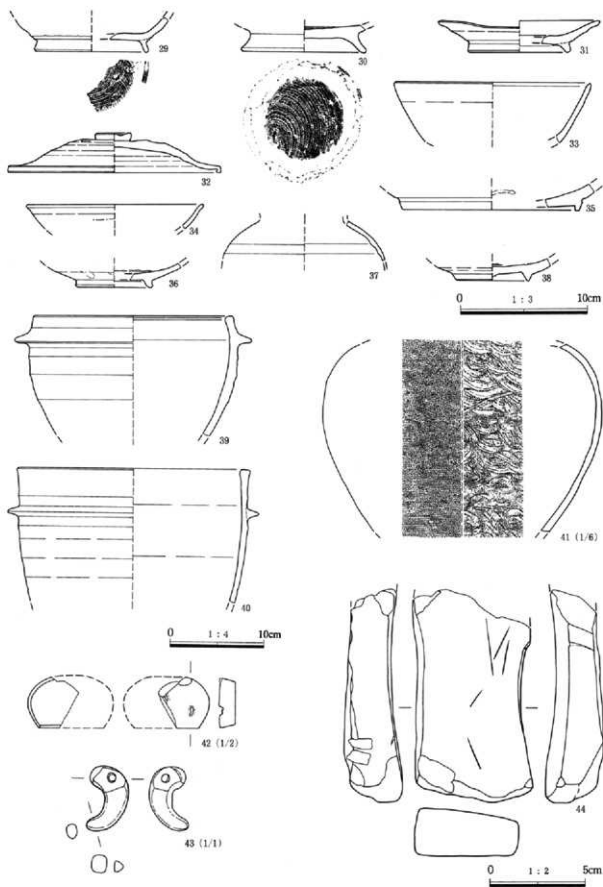


- 1 褐灰色土 Hr-FP泥流土主体
- 2 褐灰色土 泥流ブロックを含む

第135図 8区1・7区8号畑



第136図 グリッド出土遺物(1)



第137図 グリッド出土遺物(2)

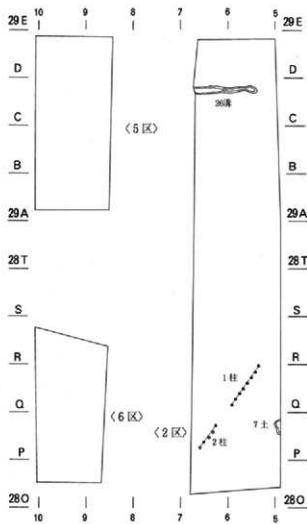
#### 4 第6面の遺構と遺物

##### a 概要

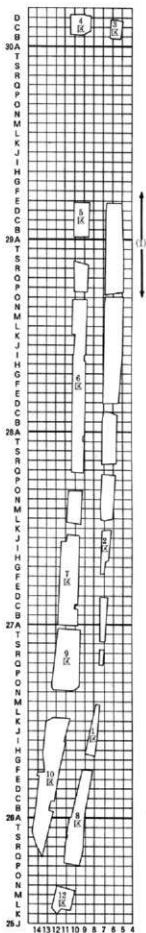
第4面であるAs-B埋没水田検出面の下層にあたるが、遺構の残存状況および確認面については各地点で相違がある。それぞれの確認面および確認される遺構に関しても、明確に時期を同定できないものが多いが、前後の層位的関係からみれば古墳時代から平安時代の間に位置づけられることになる。

この地点では下層にHr-PP泥流に埋没する小区画水田が存在し、上層にはAs-Bに埋没する水田が確認されている。つまり6世紀代から11世紀代の遺構となる。

さらに、古墳時代以降の生活跡をみると、第4面では居住施設となる遺構は認められず、土坑、溝および柱穴等が散漫に分布する状況が確認されてい



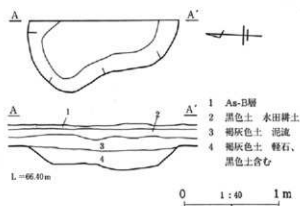
第138図 第6面全体図



第139図 第6面全体図位置図

る。この地域では古墳時代以降も継続的な土地利用があったものと考えられることから、この面では明瞭な遺構は検出されないものの、生産域となっていた可能性があろう。

なお、第6面としているがこの面は火山灰、洪水堆積物等に生活面が被覆されたものとは異なり、第4面水田耕土を徐々に除去しながら検出した面である。そのため、検出遺構の同時期性やこの面の上位である第5面遺構との時期差を保証するものではなく、前記した時代間の遺構が混在することを前提とする。



第140図 2区7号土坑

#### b 土坑 (第140図)

2区東端部において検出され、28P-4グリッドに位置する。西半部のみを検出であるが、長軸160cm、深さ18cmの楕円形平面を呈する。土坑内からの出土遺物は認められていない。

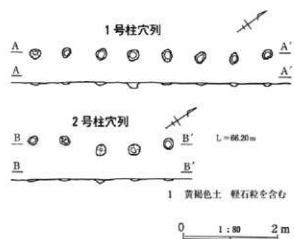
#### c 柱穴列 (第141図)

2区において検出された小ピットによる列状配置である。

1号柱穴列は、径20cm前後、深さ10cm前後で、盃状断面をもつ。小ピット間は70cm前後で8穴が並び、延長約5mを測る。

2号柱穴列は、1号柱穴列の南方向延長線上にあり、連続するものにみられる。径20cm前後、深さ10cm前後で5穴並ぶ。ピット間は70cm前後、延長290cmを測る。

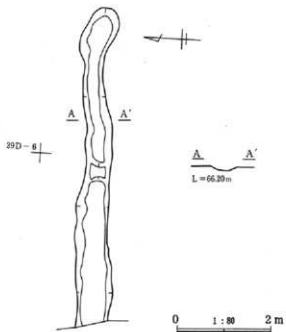
なお、1号柱穴列と2号柱穴列は延長11m程度の規模となる。柱穴列の方向はN-30°-Eを示す。



第141図 2区1・2号柱穴列

#### 溝 (142図)

2区北側で検出された。29C-5グリッドに位置し、東西方向の走行を示す。幅53cm、深さ8cm、延長7m程を検出したが、やや不安定な形状である。このような走行や位置からみると、第4面に確認される水田畦畔との関係が推定される。時間差は不明だが、畦畔に伴う溝状の落ち込みと考えられよう。



第142図 2区26号溝

## 5 第5面の遺構と遺物

### a 概要

第4面のAs-B層埋没水田の耕土下において検出された遺構群である。検出状況は第6面と同様であり、火山灰層や洪水堆積物に地表面が被覆された面とは異なる。

この面では土坑、溝、畑を確認した。

### b 土坑(第148図)

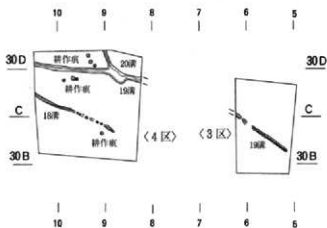
1区南側に3基並ぶように検出された。36号土坑は径50cm前後、深さ10cmで円形平面を呈し、37号土坑は径105cm×95cmの楕円形平面で、深さ18cm、38号土坑は部分確認だが、径135cm、深さ18cmを測る。いずれも深度は浅く、出土遺物は認められない。

### c 溝

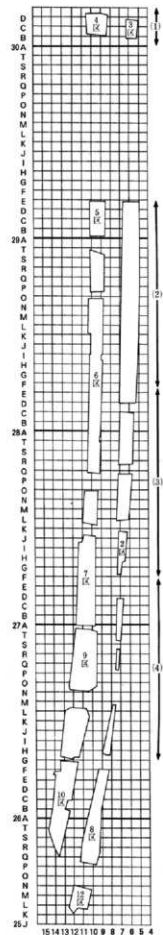
検出された溝は、いずれも南西から北東方向の走行を示す。これはほぼ地形の傾斜に沿ったもので、水田耕作時に関連する小水路とみられる。

### d 畑(第153図)

2区北側で検出された。残存状況は不良でありサク状痕跡が列をなして認められたことから、畑として認識した。平面で確認できる程度であり、断面ではほぼ平坦となり畝は全く確認できない。確認されたサクの幅は40cm前後、サク間は40cm～50cm程を計測する。As-B埋没水田以前に部分的に畑作を行っていたのであろう。

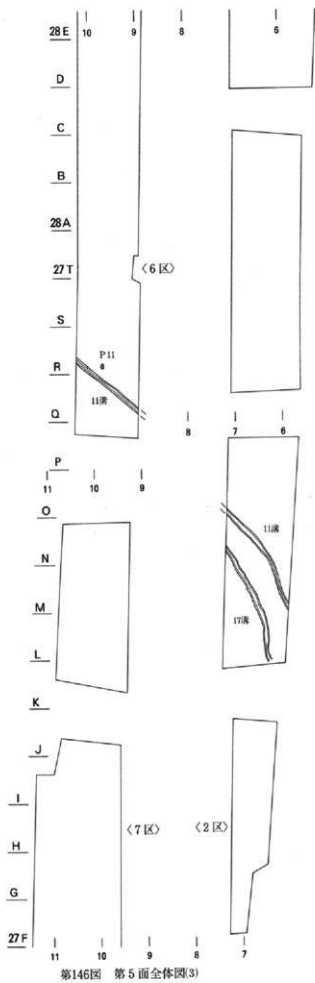
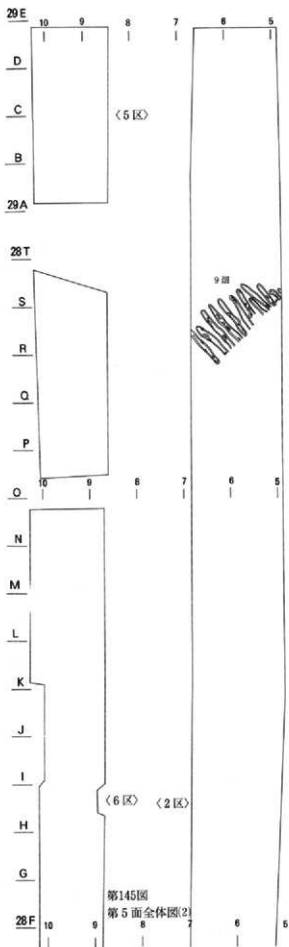


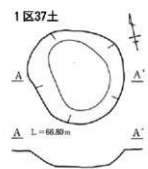
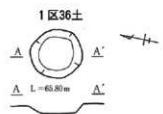
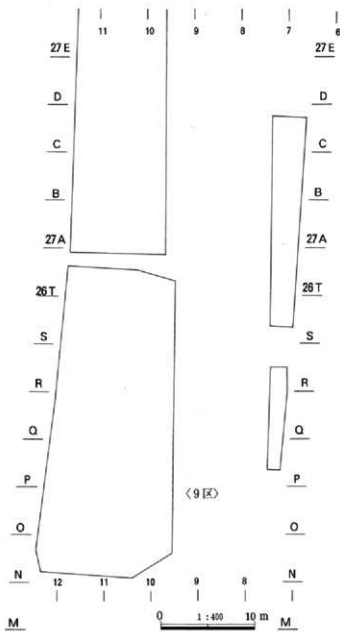
第143図 第5面全体図(1)



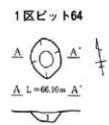
第144図 第5面全体図位置図



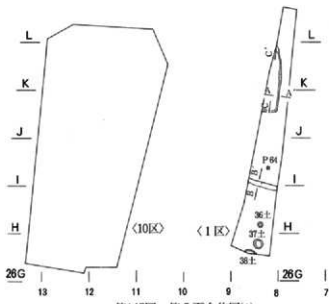




1 灰黄褐色土 粘質土



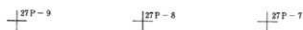
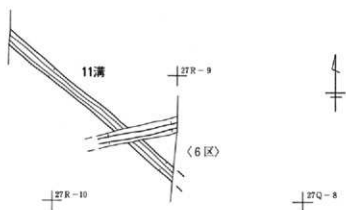
1 灰褐色土 A-Bを含む



第147図 第5面全体図(4)

28F

第148図 土坑・ビット



2区11・17溝

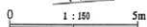
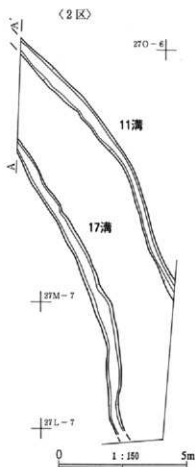
1 As-B層

2 黒褐色土、粘質土、水田耕土

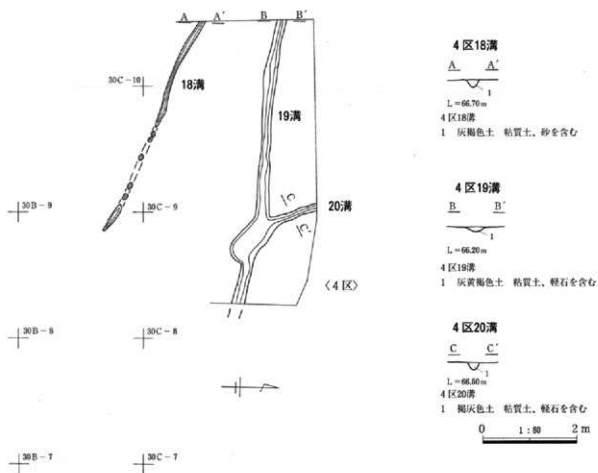
3 褐色土、粘質土、泥流層



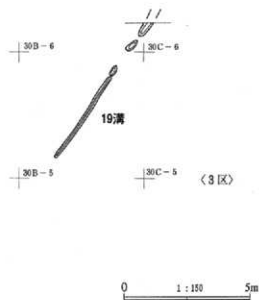
第149图 2区11号溝・17号溝断面图



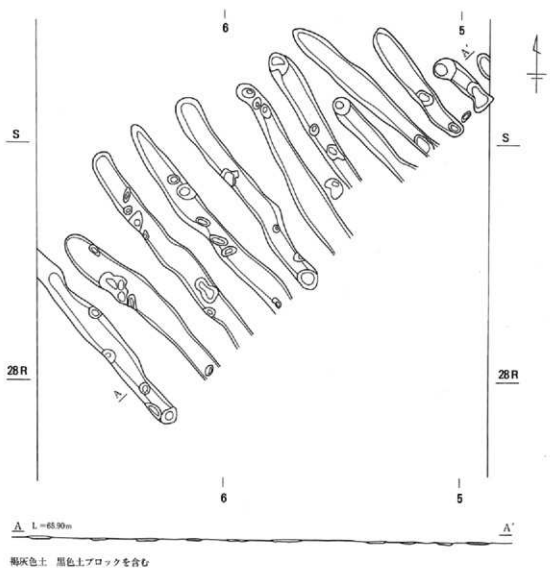
第150图 2区11・17号溝、6区11号溝



第152图 3区19溝、4区18~20溝断面图



第151图 3区19溝、4区18·19·20溝



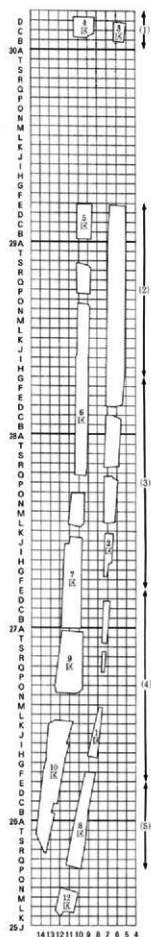
L = 65.90m



- 1 黄褐色土 泥炭
- 2 褐色シルト層
- 3 黒褐色土 黄褐色ブロック含む
- 4 灰褐色土 粘質土
- 5 灰黄褐色土 シルトを含む

0 1:100 3 m

第154図 1区水田断面図



第155図 第4面全体図位置図

## 6 第4面の遺構と遺物

### a 概要

この地域の遺跡では複数の火山災害および洪水災害等の自然災害の影響により、複雑な埋没層が形成されている。さらにこれら堆積層は後世の耕作や居住域の拡大等により削平され残存状況がことなり、より遺構検出面を複雑にしている。

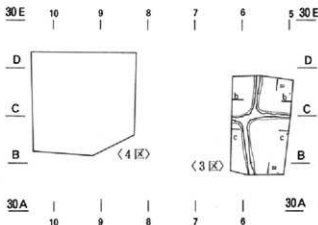
今回の調査にあっても地点毎に確認遺構面や地層の堆積に相違があり、相互の関連の把握に苦慮している。

このような中で、広い範囲で基準となる層がAs-Bである。As-B層も全体的には残存が不良であり、堆積層が認められる地点でも数cm程度であるが、このAs-B層が残存しない地点でも同火山灰を多量に含むいわゆるAs-B混土層が認められることで、ほぼ同時期面を把握し得るものとなっている。

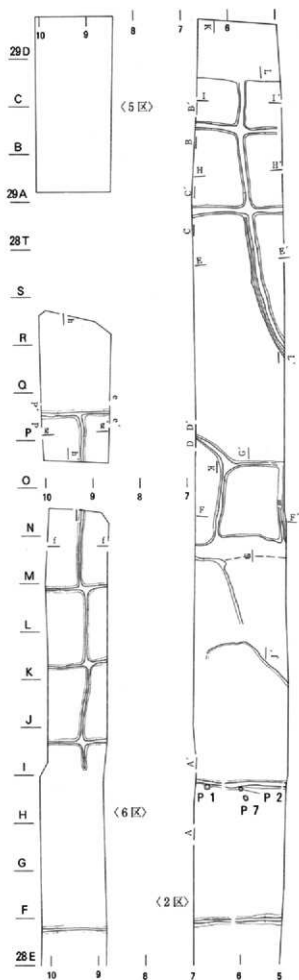
この遺跡でも調査区においてAs-B埋没水田が検出された。調査区が現道の両側で幅狭いため水田区画が把握できる部分は少ないが、ほぼ東西および南北方向に畦畔が設定されており、すでに指摘されているが条里区画に従ったものとみることができる。

また、調査区南側の8区、10区では大規模な溝(5号溝)が検出されている。

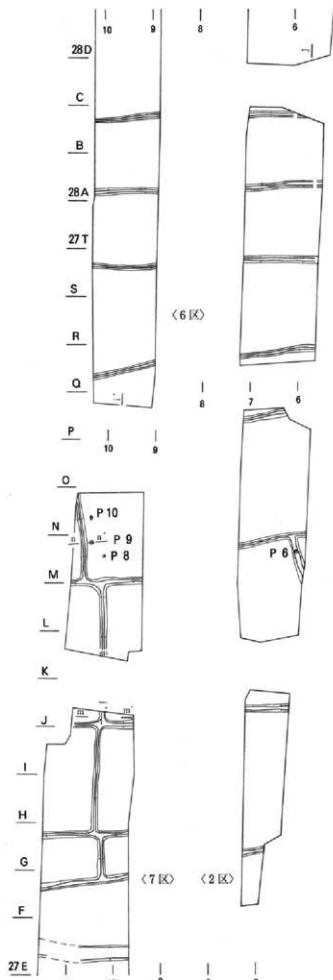
第4面は埋没水田を主とするため、遺物の出土は少ないが、28B-9グリッドの水田面から同鏡片(第161図)が検出されている。その他は5号溝から土器類の出土が認められた。



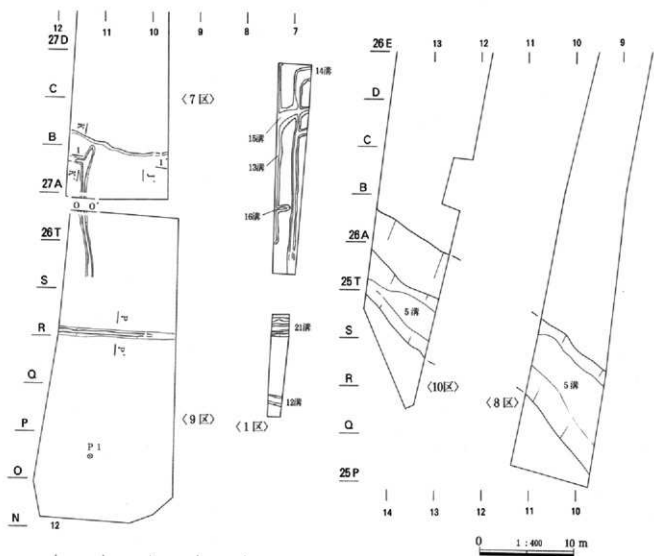
第156図 第4面全体図(1)



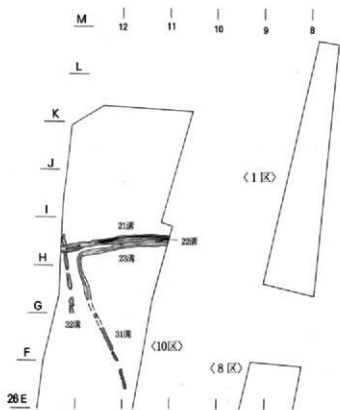
第157图 第4面全体图(2)



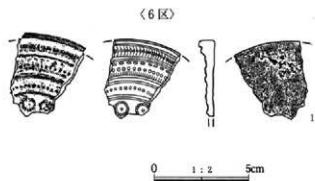
第158图 第4面全体图(3)



第160図 第4面全体図(5)



第159図 第4面全体図(4)



第161図 グリッド出土遺物



## b 水田

1108 (天仁元) 年噴出As-Bによる埋没水田が各調査区で確認されている。畦畔はほぼ東西、南北方向に一致し、グリッドラインに沿っている。なお、調査区の幅が狭いため水田区画が把握できる例がほとんどない。

6区や2区では東西方向の畦畔間が8m前後の規模が多く、他に5mもしくは11.5m程度の間隔をもつ東西畦畔が認められる。

## c ビット (第162図)

### 2区1ビット

26I-11グリッドに位置する。径54cm、深さ17cmの円形平面を呈する。

### 2区2ビット

28H-5グリッドに位置する。径24cm、深さ10cmの円形平面を呈する。

### 2区6ビット

27M-6グリッドに位置する。径40cm、深さ17cmの円形平面を呈する。

### 2区7ビット

28H-5グリッドに位置する。径54cm×42cm、深さ10cmの楕円形平面を呈する。

### 9区1ビット

26O-11グリッドに位置する。径49cm×44cm、深さ18cmの楕円形平面を呈する。

### 7区x10ビット

27N-10グリッドに位置する。径43cm×24cm、深さ11cmの楕円形平面を呈する。

### 7区8ビット

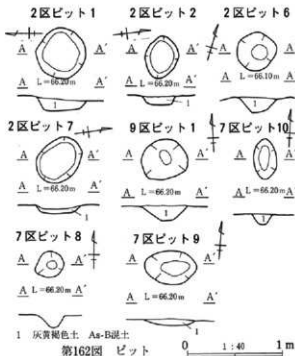
27M-10グリッドに位置する。径29cm、深さ13cmの円形平面を呈する。

### 7区9ビット

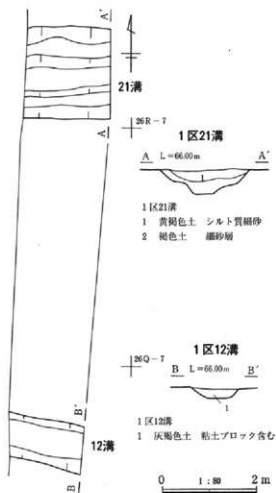
27M-10グリッドに位置する。径55cm×35cm、深さ5cmの楕円形平面を呈する。

## d 溝

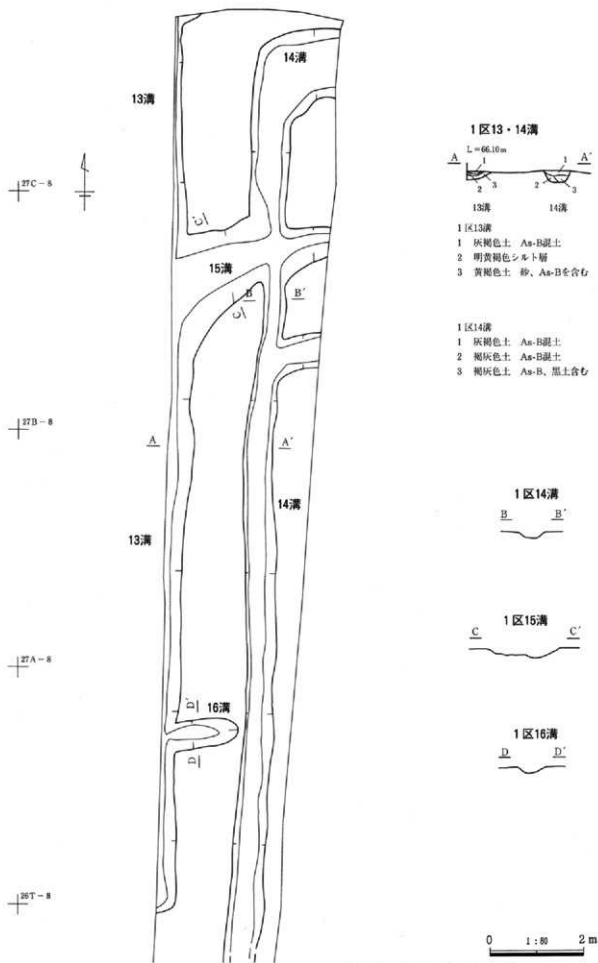
5号溝は10区から8区にかけて確認された。As-B降下時にはすでに埋没している。埋没土から9世紀代の土器類が出土し、墨書土器も含まれる。当時の河川の一部の可能性がある。



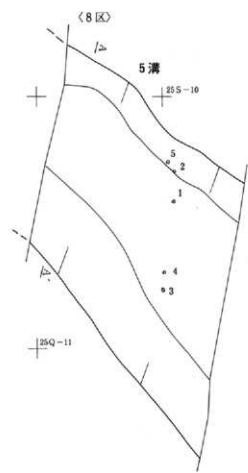
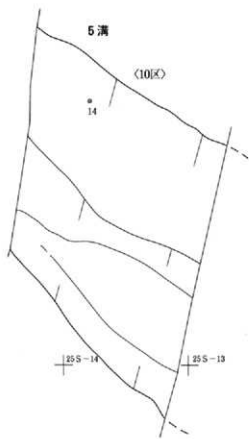
1 灰黄褐色土 As-B混土  
第162図 ビット 0 1:40 1m



第163図 1区12・21号溝



第164図 1区13・14・15・16号溝



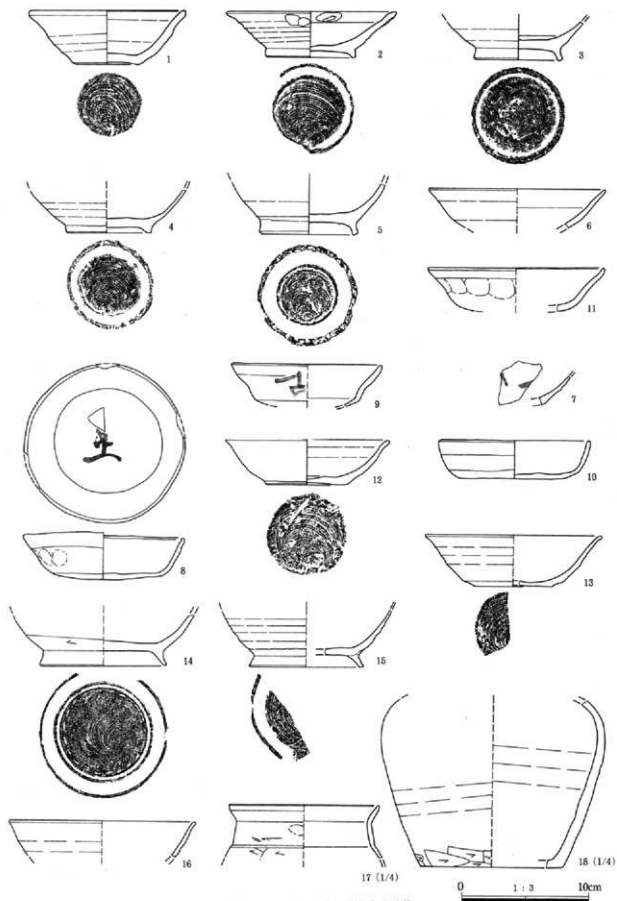
$\Delta$  L = 65.80m



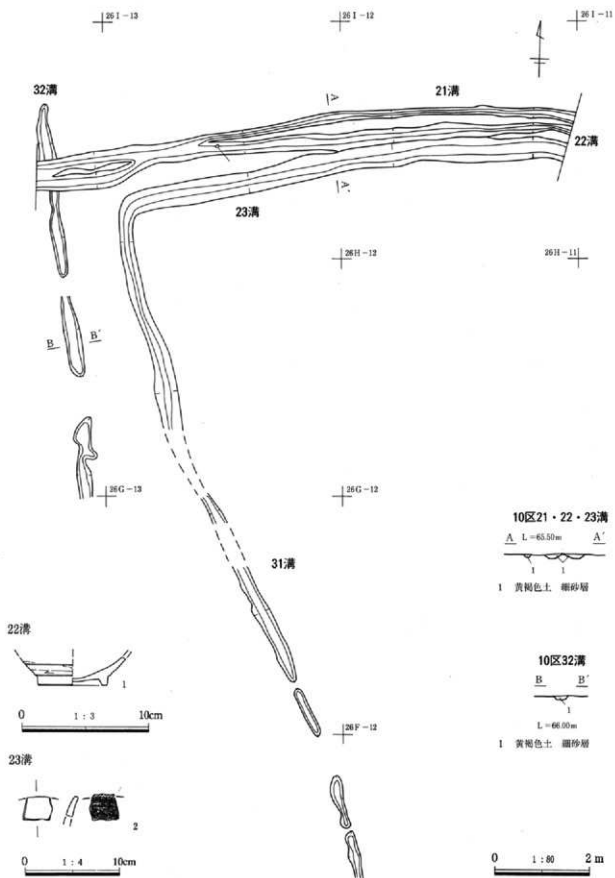
$\Delta'$



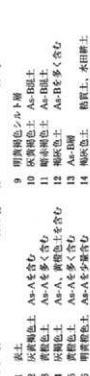
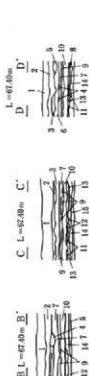
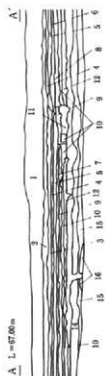
第165图 8区・10区5号溝



第166图 8区·10区5号溝出土遺物

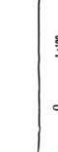


第167图 10区 溝、22·23号溝出土遗物



- 1 表土
- 2 黄褐色土 シルト質層
- 3 黄褐色土 鉄分沈着あり、砂質
- 4 黄褐色土 堆積砂層
- 5 黄褐色土 Au-B混多
- 6 黄褐色土 Au-Bを多く含む
- 7 黄褐色土 Au-Bを含む
- 8 灰黄褐色土 白色軽石を含む
- 9 黒色土 粘質土層
- 10 灰黄褐色土 泥炭層
- 11 黄褐色土 黄褐色土ブロックを含む
- 12 黒色土 Au-C混土、粘質土
- 13 灰褐色土 砂礫含む、粘質土
- 14 灰褐色粘質土
- 15 赤褐色砂質土
- 16 灰白色粘土

- 1 Au-B混
- 2 明褐色土 粘質土、水田耕土
- 3 黄褐色土 粘質土
- 4 黄褐色土 泥炭層



第168図 2区水田断面図



<3区>



<6区>



- 1 表土
- 2 As-A層
- 3 明黄褐色土 洪水層
- 4 灰黄褐色土 As-B混土
- 5 暗褐色土 As-B混土
- 6 As-B層
- 7 暗灰色土 水田層土
- 8 暗灰色土 泥炭層
- 9 暗灰色土 黄砂質シルトを含む
- 10 明黄褐色シルト層

<6区>



<6区>



<7区>



<7区>



<7区>



<9区>



- 1 表土
- 2 As-A層
- 3 明黄褐色土 洪水層
- 4 灰黄褐色土 As-B混土
- 5 暗褐色土 As-B混土
- 6 As-B層
- 7 暗灰色土 水田層土
- 8 暗灰色土 泥炭層
- 9 暗灰色土 黄砂質シルトを含む
- 10 明黄褐色シルト層

<7区>

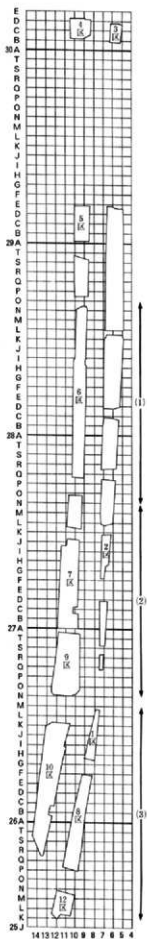


<9区>

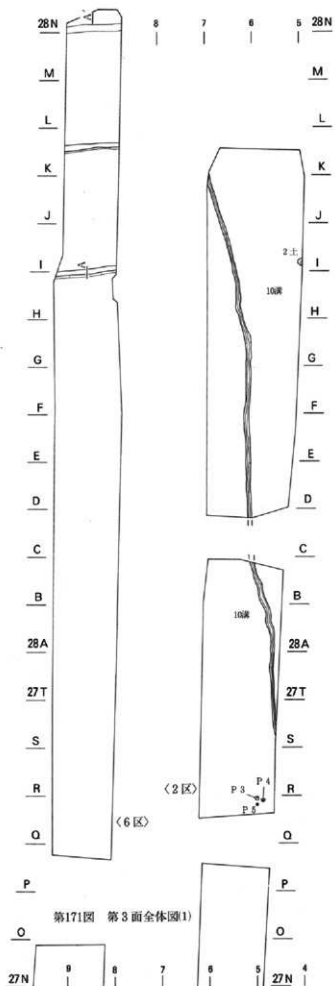


第169図 3・6・7・9区水田断面図



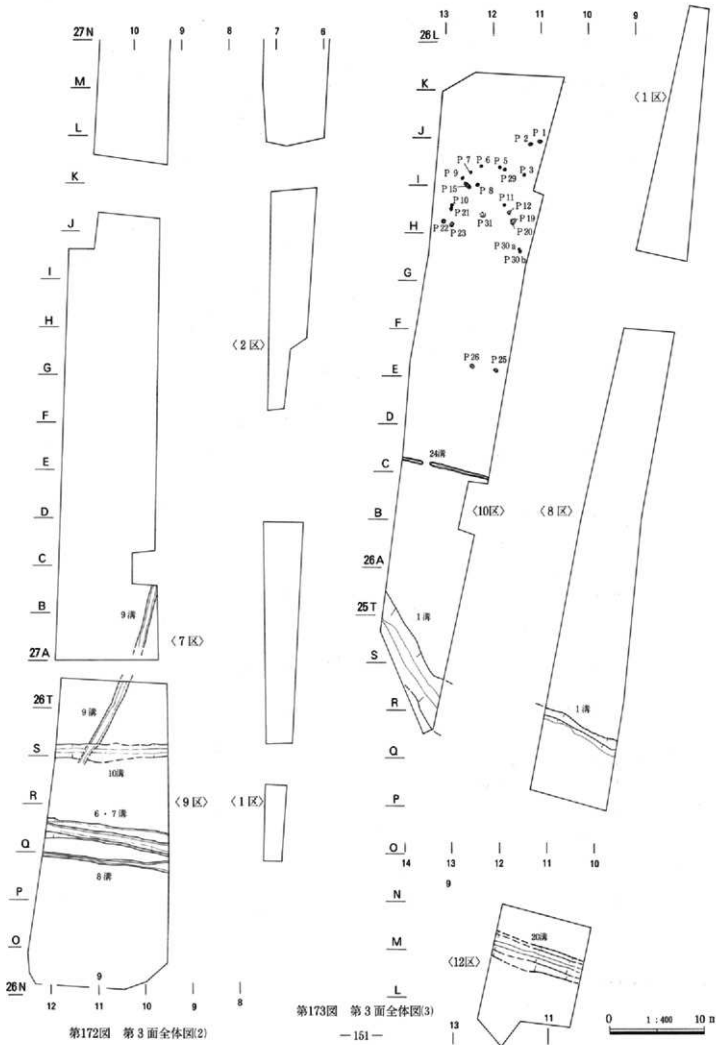


第170图 第3面全体图位置图



第171图 第3面全体图(1)





第172図 第3面全体図(2)

第173図 第3面全体図(3)

## 7 第3面の遺構と遺物

### a 概要

洪水層に被覆されるAs-B混土層上面において検出された遺構群である。中世面に対応するものであるが、水田畦畔、溝、土坑、ピット等が確認されるが、遺構密度は濃くない。また、遺構の残存状況も不良となっている。

水田畦畔は東西方向のものが2条確認されたのみである。溝は大半が東西もしくは南北方向の走行を示していることから、水田耕作に伴う水路とみられる。

ピット群は26H-11グリッド周辺に集中している。これらピットは径30cm前後と小規模で、確認深も浅い。断面形状は、鍋底状と円筒状を示すものがあり円筒状断面をもつピットには柱痕を認める例も存在する。小規模な建物の存在が推定できるが、その建物構成の確認にはいたっていない。

### b 土坑、ピット

#### 2土坑 (第175図、PL46)

26I-4グリッドに位置する。西半部のみの確認である。

径84cm、深さ15cmを計測する。

#### 2区3号ピット (第175図、PL57)

27Q-5グリッドに位置する。円形平面を呈し、長径36cm、短径35cm、深さ15cmを計測する。

#### 2区4号ピット (第175図、PL57)

27Q-5グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、長径36cm、短径30cm、深さ9cmを計測する。

#### 10区1号ピット (第175図、PL56)

26I-11グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、長径44cm、短径25cm、深さ9cmを計測する。

#### 10区2号ピット (第175図、PL57)

26I-11グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、長径41cm、短径21cm、深さ9cmを計測する。

#### 10区3号ピット (第175図、PL57)

26I-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径24cm、深さ16cmを計測する。

#### 10区5号ピット (第175図、PL58)

26I-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径25cm、深さ21cmを計測する。

#### 10区6号ピット (第175図、PL58)

26I-12グリッドに位置する。円形平面を呈し、径20cm、深さ24cmを計測する。

#### 10区7号ピット (第175図、PL59)

26I-12グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、長径22cm、短径17cm、深さ17cmを計測する。

#### 10区8号ピット (第175図、PL59)

26H-12グリッドに位置する。円形平面を呈し、径30cm、深さ14cmを計測する

#### 10区9号ピット (第175図、PL60)

26I-12グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、長径32cm、短径21cm、深さ17cmを計測する。

#### 10区10号ピット (第175図、PL59)

26H-12グリッドに位置する。円形平面を呈し、径30cm、深さ13cmを計測する。

#### 10区11号ピット (第175図、PL60)

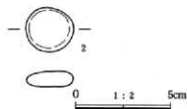
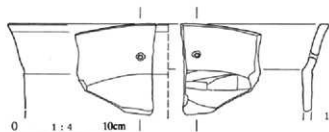
26H-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径23cm、深さ11cmを計測する。

#### 10区12号ピット (第175図、PL61)

26H-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径26cm、深さ12cmを計測する。

#### 10区15号ピット (第175図、PL61)

26H-12グリッドに位置する。不整楕円形を呈し、



第174図 グリッド出土遺物



長径40cm、短径35cm、深さ23cmを計測する。坑内から石棒状礫（こも編み石）2点が出土している。

**10区29号ピット（第175図、PL66）**

26I-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径25cm、深さ13cmを計測する。

**10区30a号ピット（第175図）**

26G-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径19cm、深さ16cmを計測する。

**10区30b号ピット（第175図）**

26G-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径19cm、深さ5cmを計測する。

**10区31号ピット（第175図、PL65）**

26H-12グリッドに位置する。南半部のみ検出、深さ10cmを計測する。

**c 溝（第176図～180図）**

**8区・10区1号溝（第176図、PL83）**

北西から南東方向の走行をもつ。第4面5号溝と同地点に位置する。継続的な旧流路の一部の可能性がある。

**9区6・7号溝、8号溝（第177図）**

ほぼ東西に走行し2条が重複する。土層から7号溝が新しいとみられる。さらに南接して8号溝が平行する。

**10区24号溝（第177図）**

ほぼ東西に走行する。浅く小規模であり途切れる部分もある。畦畔に伴う痕跡かもしれない。

**12区20号溝（177図）**

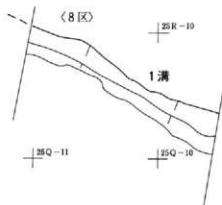
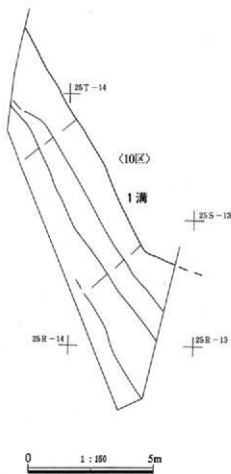
発掘調査時ではいわゆる館の方形区画溝の一部との所見であるが、方形溝の隅部、内部施設等の遺構は確認されていない。位置で見ると6・7号溝と平行する位置にあるが、何らかの関係がある可能性も指摘できる。なお、両溝間は約120m程度の距離をもつ。

**7・9区9・10号溝（第178図）**

9溝は北から南へ走行し、東西方向の巷拾10号溝と重複する。10号溝が新しい。

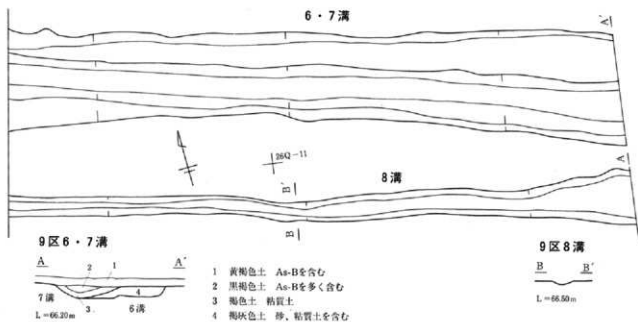
**2区10号溝（第179・180図）**

直接的な関係は確認されないが、9号溝と連続する可能性もある。

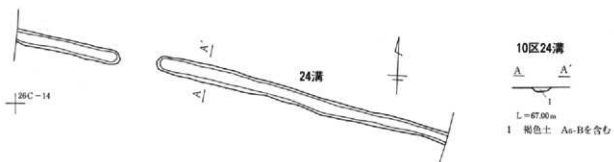


第176図 8区・10区1号溝

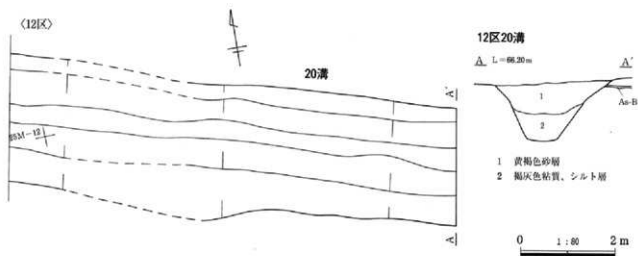
〈9区〉



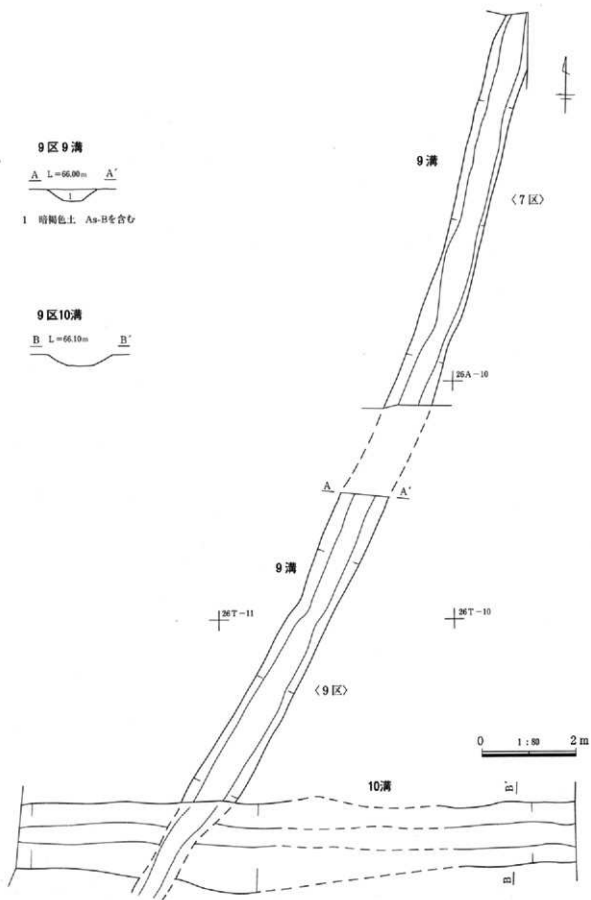
〈10区〉



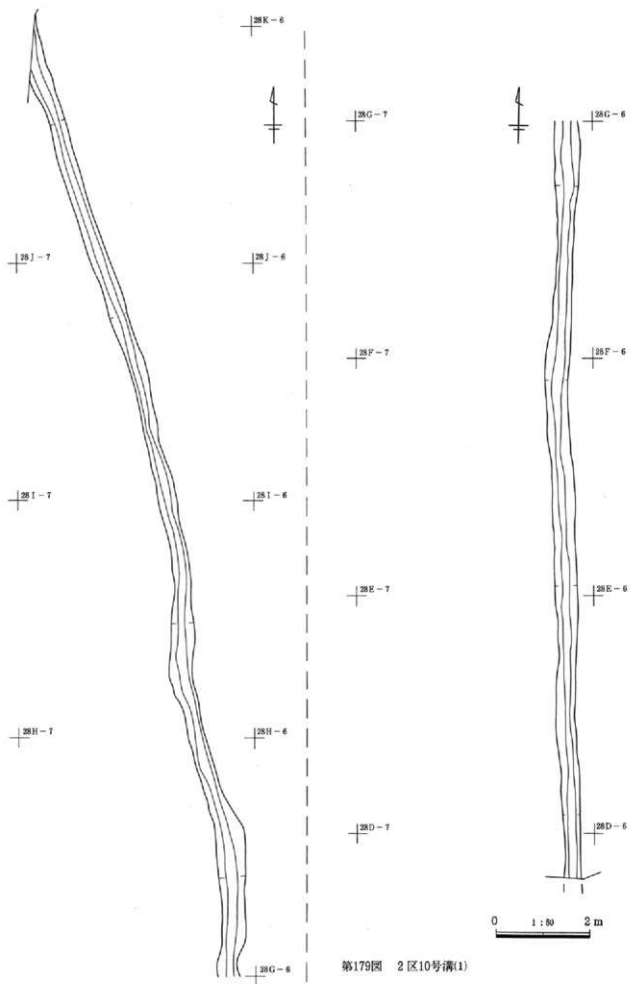
〈12区〉



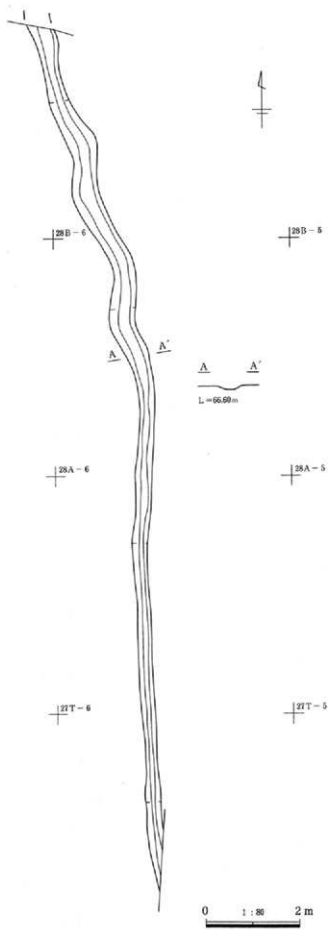
第177図 9区・10区・12区 溝



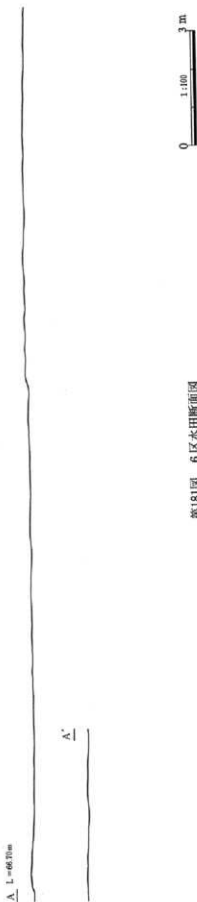
第178図 7区・9区9号溝・10号溝



第179图 2区10号溝(1)

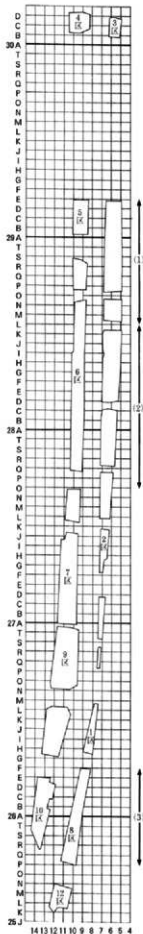


第180图 2区10号溝(2)



第181图 6区水田断面图





第182図 第2面全体図位置図

## 8 第2面の遺構と遺物

### a 概要

第2面として検出した遺構は2区および10区において認められたものである。

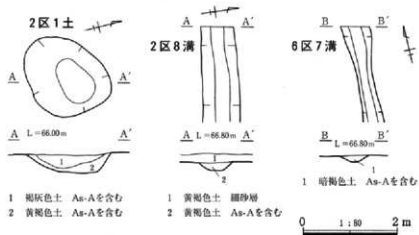
確認階位では、表土層下の洪水層を除去しながら遺構検出されたもので、洪水層下部からAs-B混土層の間で認められたことになる。

この面で検出された遺構は、土坑、溝、水田、畑である。基本的に洪水層に埋没するがその時期について有効な情報は得られていない。しかし、北接する福島曲戸遺跡において、寛保2(1742)年と推定される洪水砂を埋設する復旧溝が検出されている。

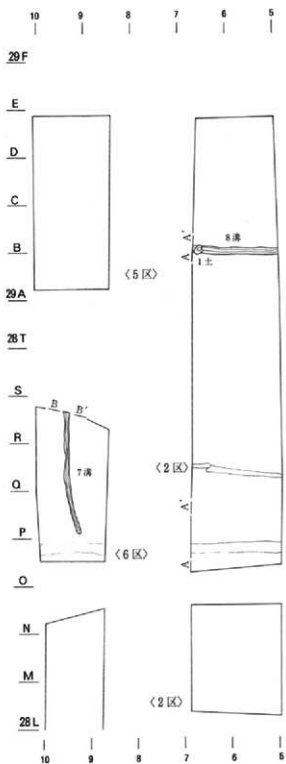
今回の第2面では時期を推定する遺物出土もないため特定できないが、水田を被覆する規模の大きな洪水の存在を考えると、福島曲戸遺跡における寛保の洪水の存在が浮かび上がる。今後の周辺調査によりその時期特定の可能性があるが、有力な候補として寛保2年を想定しておきたい。

2区では水田が存在するが、東西方向の畦畔のみ確認されている。また、10区では畑が1ヶ所認められた。

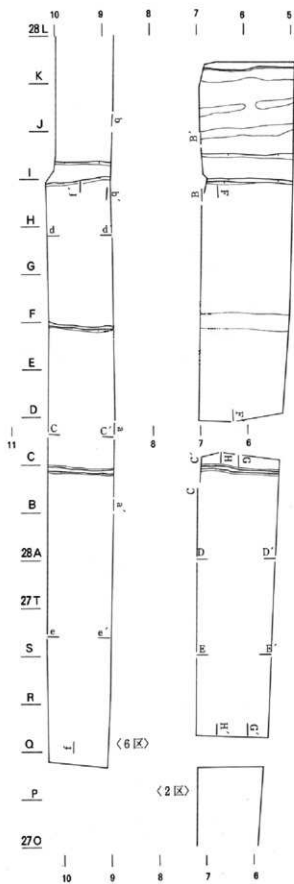
溝は東西走行のもの、南北走行を示すものが認められるが、いずれも水田区画に伴うものとみられる。



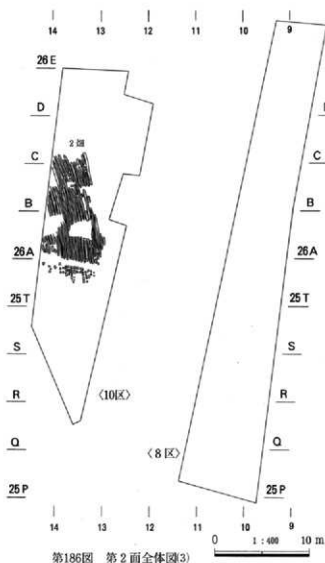
第183図 土坑・溝断面図



第184圖 第2面全体図(1)



第185圖 第2面全体図(2)



第186図 第2面全体図3)

**b 土坑 (第183図)**

**2区1号土坑**

29A-6グリッドに位置する。径93cm×77cm、深さ20cmの楕円形平面を呈する土坑。洪水砂で埋没し、遺物出土は認められていない。2区8号溝と重複するが新旧関係は不明である。

**c 溝 (第183図)**

**2区8号溝**

29Bラインに沿って東西方向の走行を示す。幅75cm、深さ18cmで、延長9mが検出された。

**6区7号溝 (第183図)**

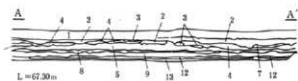
南北方向に走行する溝で、ほぼグリッドラインに沿っている。幅45cm、深さ15cmで延長12mが確認された。2区8号溝とは直接連続しないが、延長線上に方形の区画が想定でき、位置関係からみて水田区画もしくは畦畔に伴うものと考えられる。

**d 水田**

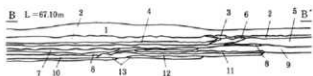
2区28Bライン以北に東西方向の畦畔が確認された。残存状況は不良で、畦畔はわずかな高まりとして確認されている。畦間は15m程度を計測する。

**e 畑 (189図)**

10区のみで確認されている。サク列は北西方向から南東方向に走行する。この走行は地形に沿ったものであろう。サク幅は20cm前後、サク間は10cm前後で密集する。残存状況は不良で、ほぼ平坦化している。

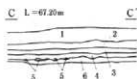


L=67.30m



B L=67.10m

- 1 表土
- 2 褐灰色土 As-Aを含む
- 3 As-Aブロック
- 4 黄褐色土 As-Aを含む
- 5 明褐色土 As-Aを含む
- 6 褐灰色土 As-Aを含み硬質
- 7 灰黄色土 As-Aを含む
- 8 黄褐色シルト層
- 9 褐灰色土 As-B混土
- 10 灰褐色土 As-B混土
- 11 灰黄色土 礫砂層
- 12 黒褐色土 As-B混土
- 13 As-B層



C L=67.20m

- 1 表土
- 2 褐灰色土 As-Aを含む
- 3 黄褐色土 シルト質で粘性あり
- 4 灰褐色土 シルトブロック含む
- 5 黄褐色シルト層
- 6 褐灰色土 As-B混土



D L=66.50m



E L=66.50m

0 1:100 3 m

F L=66.00m

G L=66.00m

H L=66.00m

第187図 2区水田断面図

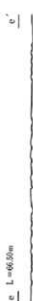
c. L = 66.50m



d. L = 66.50m



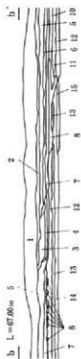
e. L = 66.50m



a. L = 67.10m

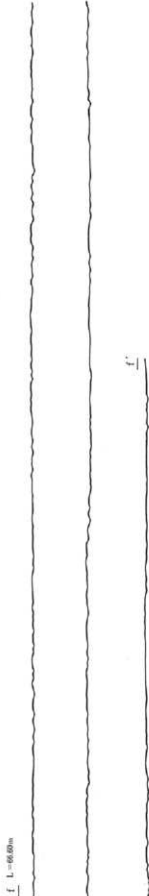


b. L = 67.00m



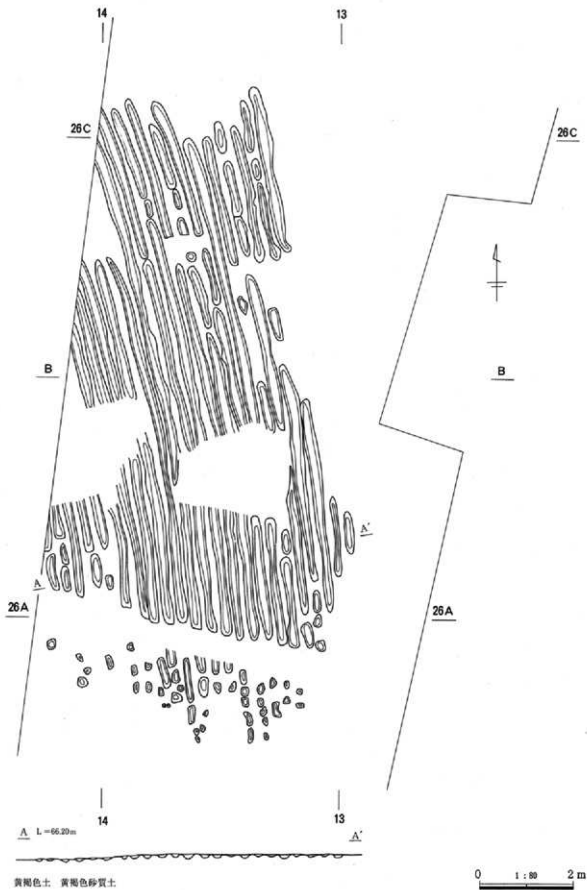
- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1 表土             | 9 黄褐色土 粘着が強い   |
| 2 褐色土 Au-Aを含む    | 10 灰黄褐色土 砂質層   |
| 3 灰色シルト質層        | 11 黄褐色土 砂質層    |
| 4 褐色土 シルトブロックを含む | 12 褐色土 Au-B以上  |
| 5 褐色土 Au-Aを含む    | 13 灰黄色土 礫砂層    |
| 6 灰褐色土 Au-Aを含む   | 14 黒褐色土 Au-B以上 |
| 7 黄褐色土 礫砂層       | 15 Au-B層       |
| 8 黄褐色シルト質層       |                |

f. L = 66.60m

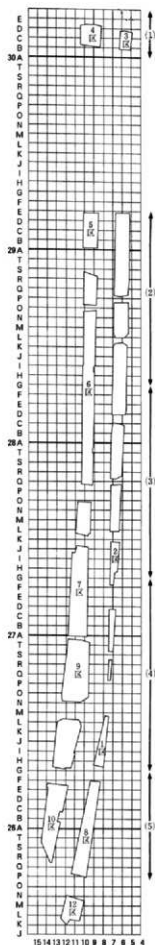


第188図 6区水田断面図





第189图 10区2号畑



第190図 第1面全体図位置図

## 9 第1面の遺構と遺物

### a 概要

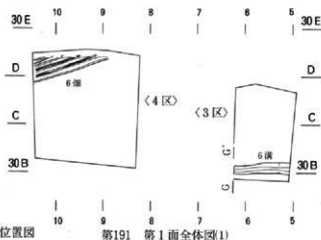
表土層下に堆積する洪水層上面で検出される遺構群である。確認されているのは畑および復旧溝である。

利根川右岸にあたるこの周辺の遺跡では、この層が広い範囲で存在し、同時に層上において復旧溝群が検出されている。この復旧溝は1783（天明3）年の浅間山噴火に伴う火山堆積物の埋設処理による復旧を目的としたもので、いわゆる天地返しの手法をとるものである。利根川に近接する地点では同噴火に伴う天明泥流を埋設する復旧溝がみられ、以南は火山灰を埋設する復旧溝が検出されている。

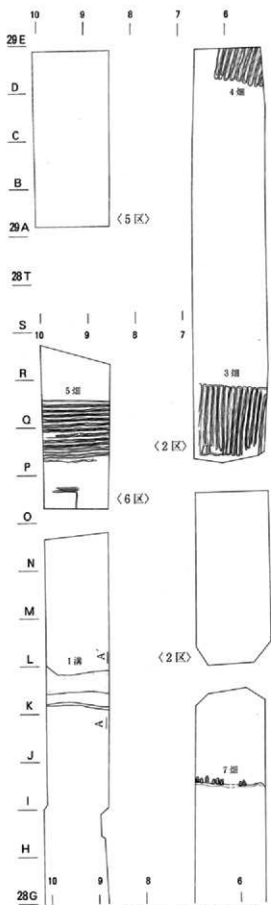
今回の調査では、このような火山灰を埋設する復旧溝も確認されるが、あわせて畑の検出も行われた。いずれの遺構もAs-A降下以降のものであり、さらに降下とほとんど時間差をもたないものとみられる。

火山灰復旧溝は調査区南側にあり、畑はほぼ北側に偏在する傾向がある。このような、分布域の偏差は堆積する火山灰層の層厚の差に起因するものかもしれない。

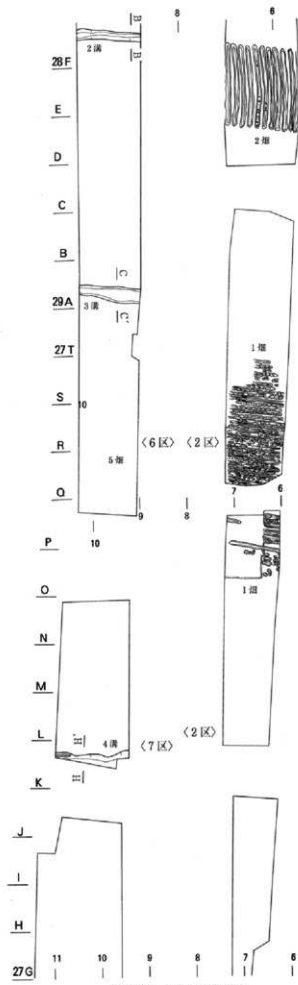
なお、畑と復旧溝は形態的にはやや類似する点もあり、残存状況によっては相違がわかりにくい部分もあるが、調査所見に従って調査時名称のもとに報告しておく。



第191図 第1面全体図(1)

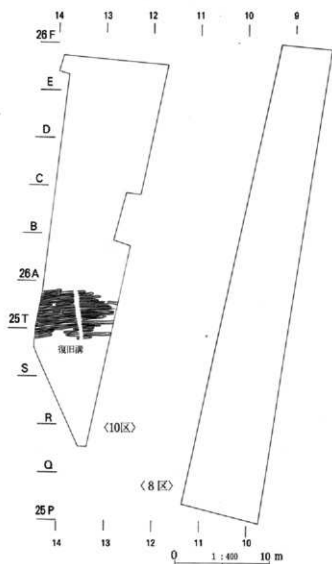
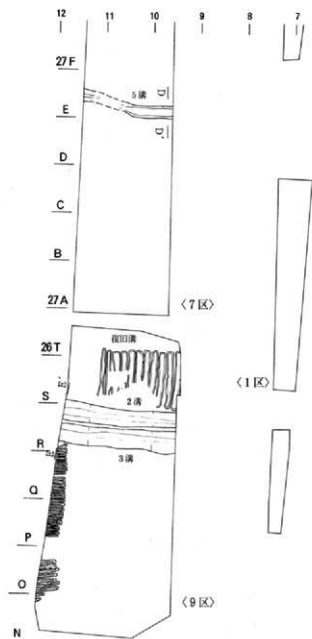


第192图 第1面全体图(2)



第193图 第1面全体图(3)





第195図 第1面全体図(5)



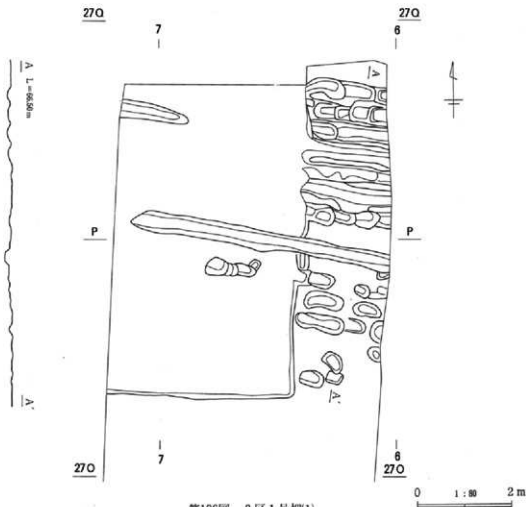
b 畑 (第196図～第201図)

調査区2、4、6区において検出された遺構群である。いずれも表土下の洪水層上面で確認している。溝状落ち込みの集合遺構であり、As-A混土により埋没している。溝状落ち込みをAs-Aにより埋没するものは認められない。すなわち、As-A降下後の遺構であり、軽石を混土とする埋没土の状況から降下後あまり時間を経ていないように考えられる。このことから、時期的には江戸時代に相当する遺構群といえる。

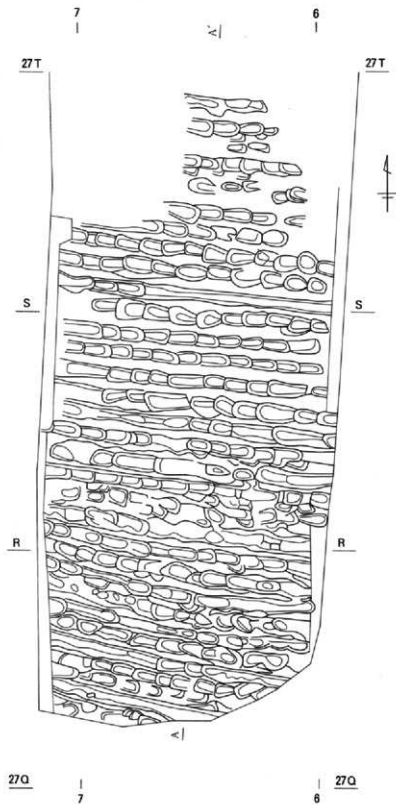
発掘調査時点では、これらの遺構群について「畑」として呼称し、調査を進めている。遺構の確認状況から溝状落ち込みを「サク列」と観察し、畑としたものである。また、溝状落ち込み底面に掘削に伴う連続する工具痕が認められたことも、耕作痕の可能性を考慮したものと見える。

しかし、遺構上半部は遺失しており、下半部のみの残存であり畝やサクは確認されていない。

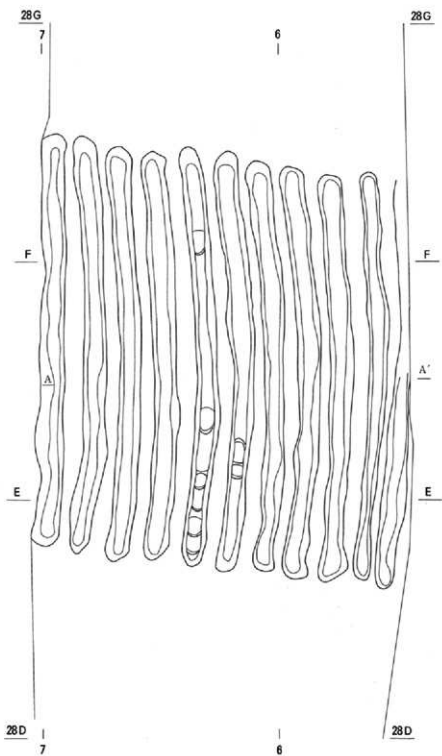
近年の調査では、利根川左岸に位置する遺跡でAs-A火山灰およびこれに伴う泥流に埋没する家屋や畑等が検出されている。しかし、利根川右岸では同火山灰および泥流はほとんどが復旧溝内に埋設される例が多い。今回発掘調査した藤岡大胡線の一連の遺跡や、近接する国道354号関連の遺跡群でもほぼ全域でこのような復旧溝群が検出されている。そのなかで、この部分にAs-Aを踏みむ畑が存在するかについてやや疑問が残る。時期的には復旧溝群と同時期を想定できることから、同様の生活面において一方で畑作を行っていた様子は考えにくいのではないだろうか。周辺の調査例を考慮し、再度検討する必要がある。



第196図 2区1号畑(1)



第197図 2区1号畑(2)



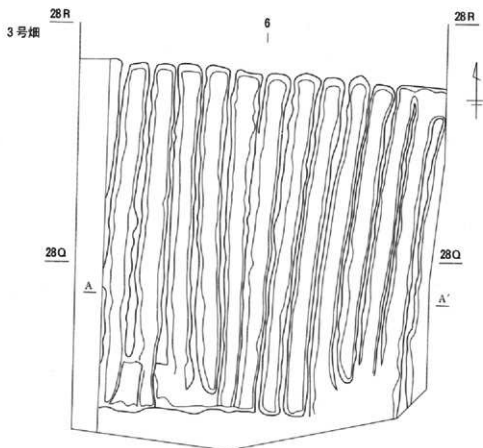
- 1 褐灰色土 As-Aを含む  
 2 灰白色土 As-A



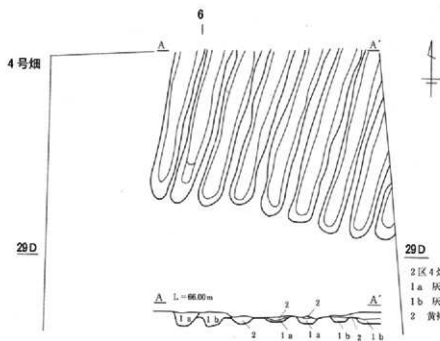
0 1:1 3cm

0 1:50 2m

第198図 2区2号畑と出土遺物



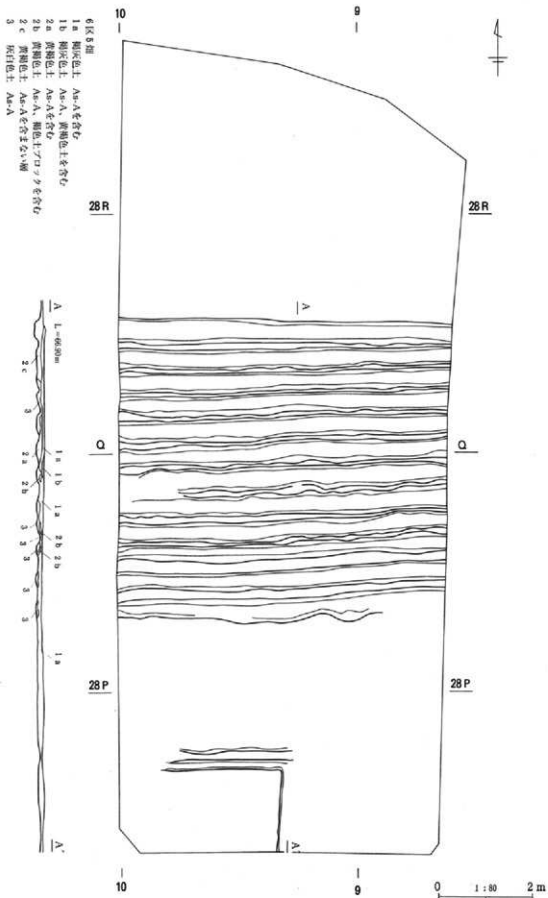
- 2区3畑
- 1 褐色土 As-Aを含む
  - 2 黄褐色土 As-Aを含む
  - 3 灰白色土 As-A主体の層
  - 4 褐色土 粘質層



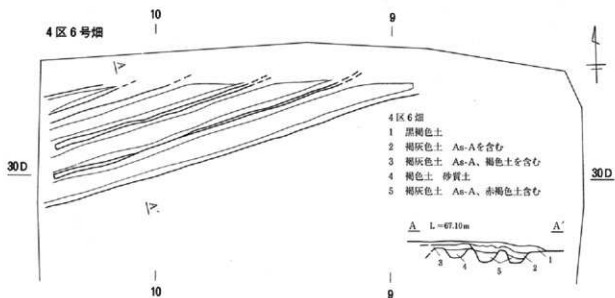
- 2区4畑
- 1a 灰白色土 As-A主体
  - 1b 灰白色土 As-A、褐色土を含む
  - 2 黄褐色土 As-Aを含む

第199図 2区3・4号畑

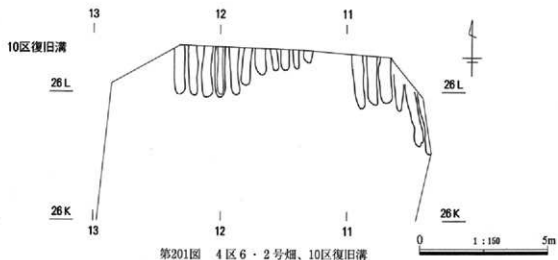
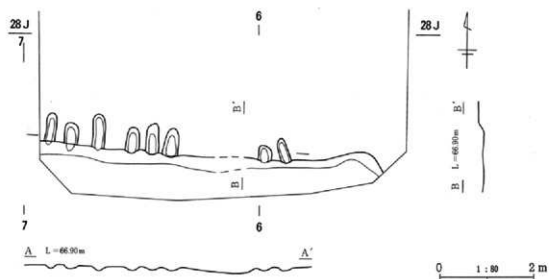
0 1:80 2m



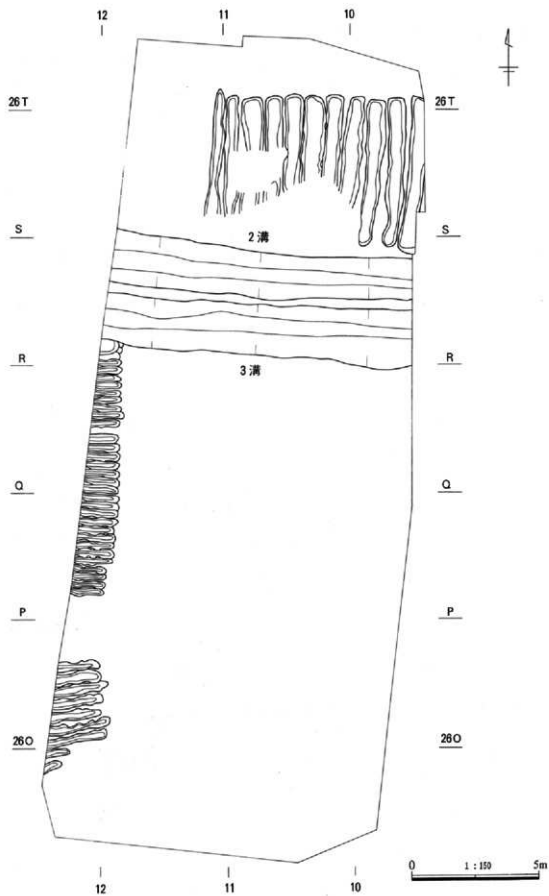
第200图 6区5号畑



2区7号畑



第201图 4区6・2号畑、10区復旧溝



第202圖 9区 復旧溝、2・3号溝



### c 復旧溝 (第202図、203図)

調査区9区および10区で検出された遺構群である。いずれも表土下に堆積する洪水層上面で確認されている。残存状況は不良で、遺構の大半は近年の耕作により攪乱され、痕跡が残る程度となっている。これらの遺構群はAs-Aを多く混入する褐色土により埋没している。洪水層上面における遺構確認ではAs-Aが帯状に並ぶように検出されている。さらにこの埋没土は軽石を主とするものの洪水層である褐色土もブロック状に含むことから、第一次堆積層ではなく人為的埋没土とみることができ。

これらの遺構群は、火山灰埋設を目的とした復旧溝と考えられる。各復旧溝群は残存状況や調査範囲もありいずれも部分的確認となっている。しかし、復旧溝群は東西もしくは南北方向に整然とならび、一定の区画を示している。これらは当時の耕作に伴う地割とみられ、これまで指摘されているようにそれぞれの耕作単位で火山灰復旧作業が行われ、耕作地や地割が再現されていたのだろう。

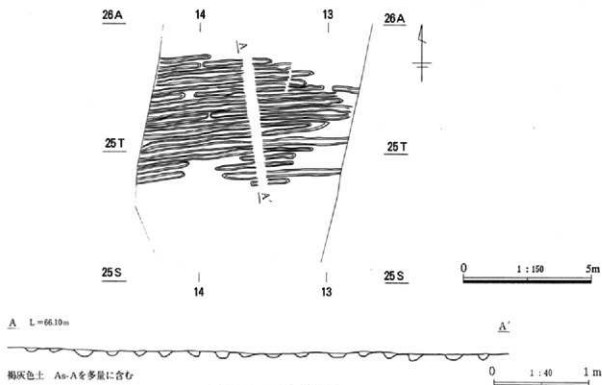
### d 溝 (第204図)

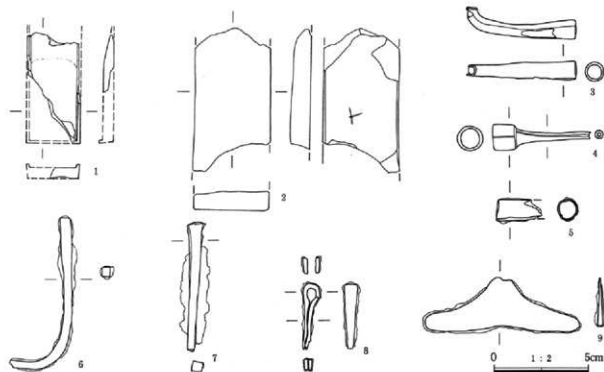
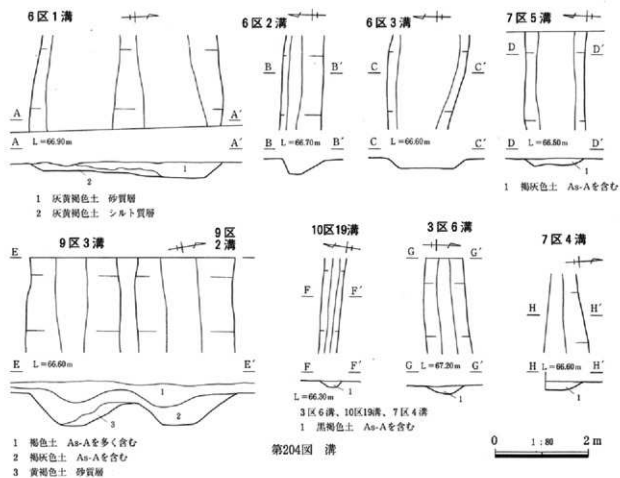
この面では、大小あわせて9条の溝が確認された。それぞれの溝は、As-A混土で埋設するもので、同火山灰降下後の遺構であり、火山灰に覆われる溝は認められていない。

各溝をみると、走行はほぼ東西方向を示し規模には相違があるものの共通性が認められる。さらに、これら溝間は20mから30m程度の間隔をもっている。そして、前記の畑、復旧溝群とも明確な新旧関係をもつ重複は認められていない。このようなことから、各溝群は当時の地割を示すものと考えられる。加えて耕作に伴う水路の可能性もあるだろう。

### e グリッド出土遺物 (第205図)

復旧溝や溝等の遺構確認作業に伴いグリッドから出土した遺物である。特徴的な出土状況は示していないが、石硯(1、2)、煙管(3、4、5)、釘(6、7)、火打金(9)等が認められる。





土坑一覧表

番号	区	面	グリッド	平面形	長さcm	幅cm	深さcm	時期	
1	2区	1面	30J-8	方形	-	61	20	古世	西半部のみ調査
2	2区	4面	30P-8	方形	-	118	19	古代	東半部のみ調査
4	2区	3面	32A-8	方形	194	127	16	中世	
5	2区	3面	32A-8	楕円形	118	83	52	中世	
6	2区	3面	32D-9	楕円形	152	103	48	中世	
7	2区	3面	32D-9	楕円形	166	109	42	中世	
8	2区	3面	32E-9	楕円形	148	127	40	中世	
9	2区	3面	32F-10	方形	-	116	24	中世	東半部のみ調査
11	2区	3面	32G-10	方形	-	160	43	中世	119号土坑を切る
12	2区	3面	32G-10	方形	165	105	42	中世	
13	2区	3面	32H-10	円形	-	155	38	中世	東半部のみ調査
14	2区	3面	32H-9	方形	173	98	25	中世	
15	2区	3面	32F-10	方形	101	75	38	中世	28号土坑と重複
16	2区	3面	32H-9	方形	101	100	47	中世	
17	2区	3面	32F-9	方形	218	130	14	中世	69・108号土坑と重複
18	2区	3面	32G-9	長方形	317	86	50	中世	19・29・30・31・33土坑
19	2区	3面	32G-9	長方形	-	114	40	中世	18・33号土坑と重複
20	2区	3面	32H-8	方形	192	100	34	中世	1ピットと重複
21	2区	3面	32H-9	円形	134	114	52	中世	
22	2区	3面	32I-9	方形	144	121	50	中世	17号溝と重複
23	2区	3面	32H-9	円形	93	77	53	中世	
24	2区	3面	32H-9	楕円形	90	68	28	中世	25号土坑と重複
25	2区	3面	32D-9	円形	75	68	25	中世	24号土坑と重複
26	2区	3面	32I-9	楕円形	116	78	54	中世	17号溝と重複
27	2区	3面	32I-10	方形	128	107	53	中世	
28	2区	3面	32F-10	方形	-	177	11	中世	15号土坑と重複
29	2区	3面	32H-9	長方形	-	122	33	中世	18・31号土坑と重複
30	2区	3面	32H-9	楕円形	140	105	31	中世	18号土坑と重複
31	2区	3面	32H-9	方形	-	143	36	中世	18・29号土坑と重複
33	2区	3面	32C-9	円形	174	167	42	中世	18・19号土坑と重複
34	2区	3面	32H-9	円形	108	88	23	中世	
36	2区	3面	32G-8	長方形	-	136	25	中世	47号土坑と重複
39	2区	3面	32C-8	長方形	247	93	26	中世	33・44号土坑と重複
41	2区	3面	32H-8	方形	124	78	26	中世	42・47号土坑と重複
42	2区	3面	32H-8	方形	-	36	36	中世	41・47号土坑と重複
43	2区	3面	32C-8	円形	82	70	30	中世	
44	2区	3面	32G-8	楕円形	167	96	43	中世	
47	2区	3面	32H-8	方形	-	176	38	中世	36・41・42・47号土坑
48	2区	3面	32L-8	円形	107	97	17	中世	
49	2区	3面	32K-7	円形	72	70	50	中世	
50	2区	3面	32E-8	楕円形	112	78	49	中世	87号ピットと重複
51	2区	3面	32K-7	円形	82	82	145	中世	井戸
52	2区	3面	32I-8	方形	148	106	45	中世	54号土坑と重複
54	2区	3面	32I-8	長方形	366	199	43	中世	52・55号土坑と重複
55	2区	3面	32I-8	方形	184	145	45	中世	54号土坑と重複
56	2区	3面	32H-9	円形	86	75	56	中世	7号掘立柱建物と重複
58	2区	3面	32I-8	長方形	-	120	30	中世	52・54・92号土坑と重複
59	2区	3面	32F-9	方形	119	116	35	中世	6号掘立柱建物と重複
61	2区	3面	32F-10	楕円形	116	88	46	中世	
62	2区	3面	32E-8	楕円形	130	105	19	中世	
63	2区	3面	32G-9	円形	88	74	32	中世	3号掘立柱建物と重複
64	2区	3面	32F-9	円形	86	86	24	中世	3号掘立柱建物と重複
65	2区	3面	32I-8	方形	179	163	21	中世	91・94号土坑と重複
67	2区	3面	32F-10	円形	76	64	44	中世	
68	2区	3面	32F-10	円形	67	63	21	中世	
69	2区	3面	32F-9	円形	110	106	51	中世	17・108号土坑と重複
70	2区	3面	32F-9	楕円形	208	130	13	中世	71土坑・3掘立柱建物
71	2区	3面	32F-9	楕円形	144	-	39	中世	70号土坑と重複
72	2区	3面	32J-9	楕円形	322	-	74	中世	4号住居と重複 常滑11C
73	2区	3面	32I-7	方形	169	111	38	中世	
74	2区	3面	32I-8	楕円形	98	69	15	中世	
75	2区	3面	32I-8	楕円形	85	57	24	中世	
76	2区	3面	32H-7	方形	117	104	9	中世	
77	2区	3面	32G-7	方形	175	113	19	中世	79号土坑と重複
78	2区	3面	32G-7	方形	146	125	13	中世	
79	2区	3面	32G-7	楕円形	-	57	7	中世	77号土坑と重複
84	2区	3面	32I-10	方形	131	114	60	中世	
85	2区	3面	32F-8	方形	186	74	18	中世	14号掘立柱建物と重複
86	2区	3面	32E-8	方形	161	120	27	中世	87土・12掘立柱建物
87	2区	3面	32E-8	方形	156	75	27	中世	86号土坑と重複
88	2区	3面	32E-8	円形	70	63	45	中世	
89	2区	3面	32E-9	楕円形	143	85	47	中世	109土・12掘立柱建物
90	2区	3面	32D-8	楕円形	208	112	45	中世	3号井戸と重複
91	2区	3面	32I-8	楕円形	74	65	20	中世	65号土坑と重複
92	2区	3面	32I-8	方形	133	111	56	中世	58号土坑と重複
93	2区	3面	32H-8	長方形	308	86	47	中世	
94	2区	3面	32H-7	長方形	-	197	32	中世	
95	2区	3面	32H-7	方形	194	142	45	中世	

番号	区	面	グリッド	平面形	長径cm	短径cm	深さcm	時期	
96	2区	3面	32H-7	方形	187	110	30	中世	
98	2区	3面	32I-10	円形	177	—	70	中世	東半部のみ調査
99	2区	3面	32F-8	不整形	206	200	41	中世	
100	2区	3面	32F-8	方形	68	55	19	中世	
101	2区	3面	32G-7	楕円形	185	127	44	中世	
103	2区	3面	32C-9	円形	78	74	20	中世	
104	2区	3面	32F-7	円形	—	92	22	中世	西半部のみ調査
107	2区	3面	32E-9	方形	259	244	18	中世	
108	2区	3面	32F-9	楕円形	115	94	14	中世	17・69号土坑と重複
109	2区	3面	32E-7	方形	219	201	22	中世	89土・11・12掘立柱建物
111	2区	3面	32J-7	方形	255	241	66	中世	14号溝と重複
112	2区	3面	32D-8	方形	132	101	49	中世	37号ピットと重複
113	2区	3面	32C-8	楕円形	118	64	7	中世	
114	2区	3面	32D-7	楕円形	104	65	42	中世	
116	2区	3面	32C-7	不整形	197	164	49	中世	重複土坑
117	2区	3面	32B-8	円形	83	75	43	中世	☆号溝と重複
119	2区	3面	32G-10	方形	—	96	34	中世	11号土坑に切られる
121	2区	3面	32D-7	円形	64	—	37	中世	
122	2区	3面	32D-7	方形	78	—	41	中世	116号土坑と重複
123	2区	3面	32G-7	不整形	56	—	49	中世	
126	2区	4面	32K-10	楕円形	88	71	75	古代	2号型穴遺構と重複
128	2区	4面	32K-9	楕円形	460	150	10	古代	遺物出土
129	2区	4面	32K-9	楕円形	248	199	50	古代	
130	2区	4面	32K-8	不整形	410	405	46	古代	18号溝と重複
132	2区	3面	32G-7	不整形	56	—	49	中世	
136	2区	4面	32K-10	楕円形	88	71	75	古代	2号型穴遺構と重複
131	2区	4面	32I-8	不整形	—	90	17	古代	52・75号土坑と重複
133	2区	4面	32C-7	楕円形	138	98	39	古代	
134	2区	4面	32B-7	方形	—	16	16	古代	一部のみ確認
136	2区	4面	32D-8	楕円形	94	66	26	古代	
138	2区	3面	32B-8	方形	—	96	85	中世	
139	2区	3面	32A-7	方形	110	68	28	古代	47号土坑と重複

2区7面(古墳時代) 水田計測一覧表

水田No	長軸(m)	短軸(m)	面積(m <sup>2</sup> )
1	—	—	—
2	—	—	—
3	2.00	1.00	1.77
4	2.04	1.24	2.18
5	1.90	1.04	2.01
6	—	—	—
7	—	—	—
8	(1.76)	0.94	1.41
9	1.98	1.18	2.15
10	2.12	1.08	2.17
11	2.30	1.08	2.38
12	1.92	1.06	1.93
13	1.78	1.10	1.82
14	1.80	(1.18)	1.87
15	—	—	—
16	1.94	1.22	2.25
17	2.06	0.96	1.91
18	2.04	1.14	2.28
19	1.90	1.16	2.05
20	1.79	1.04	1.83
21	1.72	1.02	1.64
22	1.86	1.32	2.33
23	1.68	1.34	2.11
24	—	—	—
25	—	—	—
26	1.90	1.06	1.96
27	2.02	0.92	1.78
28	1.88	1.06	1.98
29	2.00	1.12	2.13
30	2.02	1.16	2.20
31	2.10	1.12	2.22
32	2.02	0.86	1.64
33	2.26	0.84	1.19
34	2.02	1.48	3.01
35	2.18	1.08	2.33
36	—	—	—
37	—	—	—
38	(1.68)	1.02	1.69
39	2.10	1.21	2.41
40	1.90	1.04	1.88
41	1.76	1.02	1.69
42	1.76	0.96	1.60
43	1.80	0.98	1.67
44	1.70	1.10	1.79
45	1.80	0.96	1.77
46	1.96	0.96	1.71
47	1.98	1.30	2.32
48	1.90	1.12	1.92
49	—	—	—

水田No	長軸(m)	短軸(m)	面積(m <sup>2</sup> )
50	—	—	—
51	1.88	0.96	1.73
52	1.80	0.98	1.58
53	1.70	1.13	1.84
54	1.73	0.94	1.48
55	2.04	1.02	1.92
56	2.07	1.03	2.12
57	1.88	0.88	1.58
58	1.88	1.08	1.96
59	1.92	1.04	1.96
60	1.84	1.08	1.82
61	—	—	—
62	—	—	—
63	(1.63)	0.92	1.75
64	2.24	1.23	2.70
65	2.18	0.90	1.99
66	2.10	0.93	1.87
67	2.20	1.18	2.34
68	2.28	0.98	2.06
69	2.23	1.08	2.36
70	(1.46)	1.03	1.67
71	—	—	—
72	—	—	—
73	(1.96)	1.12	1.99
74	1.80	0.88	1.54
75	1.98	1.20	2.20
76	(1.30)	0.86	1.32
77	—	—	—
78	—	—	—
79	—	—	—
80	—	—	—
81	—	—	—
82	1.71	—	(2.82)
83	2.62	—	—
84	1.86	1.42	1.94
85	1.87	1.51	2.72
86	—	—	—
87	1.99	1.24	2.16
88	2.10	1.40	2.74
89	2.34	1.76	3.71
90	—	—	—
91	1.70	1.20	1.90
92	1.78	1.20	1.96
93	1.64	1.46	2.21
94	1.68	—	—
95	—	—	—
96	—	—	—
97	—	1.19	—
98	—	1.34	—

ビット一覧表

番号	区	面	グリッド	平面形	長さcm	幅cm	深さcm	時期	
5	2	3	32D-8	円形	40	39	58	中世	
8	2	3	32D-8	円形	51	46	63	中世	
9	2	3	32D-8	円形	55	52	52	中世	
10	2	3	32D-8	円形	59	53	31	中世	
12	2	3	32D-9	楕円形	65	47	28	中世	
13	2	3	32E-9	円形	28	24	43	中世	
16	2	3	32E-9	円形	34	31	31	中世	
17	2	3	32E-10	円形	36	34	43	中世	
18	2	3	32F-10	円形	22	20	47	中世	
19	2	3	32F-10	楕円形	52	45	35	中世	
21	2	3	32F-10	円形	37	35	55	中世	
24	2	3	32G-9	楕円形	48	34	42	中世	25号ビットと重複
25	2	3	32G-10	楕円形	40	32	16	中世	24号ビットと重複
27	2	3	32G-9	円形	36	34	53	中世	
28	2	3	32G-9	円形	45	45	46	中世	
29	2	3	32G-9	楕円形	53	40	45	中世	
30	2	3	32G-9	円形	—	—	41	中世	30号ビットと重複
32	2	3	32G-9	楕円形	45	36	33	中世	29号ビットと重複
33	2	3	32G-9	円形	33	31	37	中世	33号ビットと重複
34	2	3	32G-9	円形	44	42	43	中世	32・34号ビットと重複
35	2	3	32G-9	円形	32	32	45	中世	33・35号ビットと重複
37	2	3	32D-8	円形	48	46	57	中世	
40	2	3	32F-8	円形	57	56	47	中世	
41	2	3	32F-8	円形	70	45	48	中世	
46	2	3	32E-8	円形	58	37	34	中世	
48	2	3	32G-9	円形	46	43	51	中世	
50	2	3	32G-8	楕円形	42	32	48	中世	
53	2	3	32F-9	楕円形	73	43	44	中世	
54	2	3	32D-7	楕円形	58	51	47	中世	55号ビットと重複
55	2	3	32D-7	円形	55	46	38	中世	54号ビットと重複
57	2	3	32D-7	不整形	48	—	34	中世	58号ビットと重複
58	2	3	32D-7	不整形	57	—	23	中世	58号ビットと重複
59	2	3	32E-9	円形	41	40	35	中世	57号ビットと重複
59b	2	3	32E-9	円形	38	35	51	中世	
61	2	3	32E-9	楕円形	60	43	41	中世	
62	2	3	32E-8	楕円形	38	29	32	中世	
65	2	3	32E-7	不整形	51	—	43	中世	66・67号ビットと重複
66	2	3	32E-7	不整形	67	—	39	中世	65・67号ビットと重複
67	2	3	32E-7	不整形	42	—	18	中世	65・67号ビットと重複
73	2	3	32F-8	円形	41	39	29	中世	
76	2	3	32E-8	円形	27	25	23	中世	
77	2	3	32E-8	円形	45	40	46	中世	
78	2	3	32E-8	楕円形	29	—	28	中世	
79	2	3	32E-8	楕円形	33	—	28	中世	
82	2	3	32E-9	楕円形	50	28	47	中世	
83	2	3	32E-7	楕円形	45	39	58	中世	
84	2	3	32E-7	円形	32	29	18	中世	
85	2	3	32E-8	円形	35	35	59	中世	
86	2	3	32E-8	円形	36	34	59	中世	
87	2	3	32E-8	円形	39	34	30	中世	
89	2	3	32F-7	円形	34	34	13	中世	
90	2	3	32F-7	円形	28	—	42	中世	
93	2	3	32F-7	楕円形	50	38	41	中世	
94	2	3	32E-7	楕円形	39	28	25	中世	
95	2	3	32E-7	円形	23	20	38	中世	
96	2	3	32E-7	円形	28	23	31	中世	
101	2	3	32F-7	楕円形	41	36	42	中世	
104	2	3	32G-9	円形	36	32	34	中世	
112	2	3	32C-8	円形	45	45	20	中世	37号ビットと重複
114	2	3	32H-8	円形	32	30	26	中世	

溝一覧表

溝番号	区	面	グリッド	幅cm	深さcm	走向	時期	備考
1	1	2	30G-5	210	50	E-W	中世	
2	1	1	30Q-5	50	20	N-S	江戸	△a-A埋設溝
3	2	2	30Q-5	50	8	E-W	中世	
4	2	4	31G-8	55	12	E-W	古代	4面水田面で確認
5	2	1	31L-8	60	10	N-S	江戸	
8	2	3	32N-7	60	18	E-W	中世	
9	2	3	32D-8	60	16	E-W	中世	
10	2	3	32D-8	118	22	N-S	中世	
11	2	3	32E-8	175	20	E-W	中世	
12	2	3	32C-10	80	25	N-S	中世	
13	2	3	32C-9	180	38	N-S	中世	
14	2	3	32E-8	190	75	E-W	中世	
15	2	3	32E-9	100	23	E-W	中世	
17	2	3	32H-10	115	30	N-S	中世	
18	2	3	32E-8	75	25	E-W	中世	
20	2	3	32D-9	110	20	N-S	中世	
21	2	3	32L-8	125	20	N-S	中世	

住居一覧表

住居	区	グリッド	平面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	壁高 (cm)	床面積 (㎡)	主軸方向	備 考
1号住居	2区	30Q-9	長方形	440	335	15	13.4		
2号住居	2区	32J-10	—	—	—	18	—		カマド、東壁のみ確認
3号住居	2区	32L-9	長方形	320	275	12	7.8	長軸	
4号住居	2区	32J-9	長方形	300	245	20	(6.3)		南西部72号土坑と重複
5号住居	2区	32I-9	長方形	—	265	8	—		西半部のみ確認
6号住居	2区	32D-9	長方形	420	370	30	(13.3)	長軸	南東部3号井戸重複
7号住居	2区	32I-9	長方形	415	335	10	11.7		

堅穴遺構

遺構名	区	グリッド	平面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	備 考
2号堅穴	2区	32K-10	方形	—	—	20	東半部のみ確認
3号堅穴	2区	32I-7	長方形	—	245	12	北側不明

掘立柱建物一覧表

掘立柱建物	グリッド	規 規 桁行×梁行	規 規 計測値 cm	掘立柱建物との重複	
				桁行方向	梁行方向
1号掘立柱建物	32G-10	3×2	575×390	N-6-W	2号・3号・5号・6号・7号
2号掘立柱建物	32E-9	4×2	720×360	N-1-W	1号・3号・4号・5号・6号
3号掘立柱建物	32F-9	2×2	420×270	N-2-W	1号・3号・5号・6号
4号掘立柱建物	32D-9	3×2	575×380	N-3-E	2号
5号掘立柱建物	32F-9	2×2	450×330	N-S	1号・2号・3号・6号
6号掘立柱建物	32G-9	3×3	360×330	N-14-W	1号・2号・3号・5号
7号掘立柱建物	32H-10	2×2	420×330	N-50-E	1号
8号掘立柱建物	32D-8	2×2	390×330	N-8-E	9号・10号・12号
9号掘立柱建物	32E-8	4×2	660×390	N-5-W	10号・11号・12号・13号・14号
10号掘立柱建物	32E-8	2×2	450×390	N-88-E	9号・11号・12号・13号
11号掘立柱建物	32E-7	3×3	360×330	N-12-W	9号・10号・12号・13号
12号掘立柱建物	32E-8	2×2	420×390	N-10-W	9号・10号・11号・13号・14号
13号掘立柱建物	32F-8	2×2	450×420	N-3-W	9号・10号・11号・12号・14号
14号掘立柱建物	32F-8	3×2	270×210	N-90-E	9号・12号・13号
15号掘立柱建物	32A-9	2×2	480×270	N-88-E	—

掘立柱建物柱穴計測表

1号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	61 57 55	
2	円形	56 50 56	
3	円形	50 48 47	
4	円形	49 41 42	
5	楕円形	54 46 20	
6	楕円形	44 38 42	
7	楕円形	51 38 35	
8	円形	40 40 13	
9	楕円形	54 47 25	

4号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	50 48 59	107号ビット
2	円形	48 44 36	11号ビット
3	—	—	
4	円形	42 37 33	
5	円形	47 43 61	
6	円形	61 36 60	
7	円形	69 69 64	
8	楕円形	71 44 65	

5号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	不整形	41 40 40	36号ビット
2	円形	34 33 30	
3	円形	38 37 52	17号土坑
4	円形	27 22 30	
5	楕円形	46 37 59	47号ビット
6	円形	46 43 39	
7	楕円形	60 42 36	26号ビット
8	楕円形	56 40 25	31号ビット

6号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	44 38 53	
2	—	—	
3	楕円形	83 58 16	
4	楕円形	31 26 26	
5	円形	28 28 26	
6	円形	30 30 46	
7	円形	65 59 27	60号土坑
8	円形	39 36 46	
9	楕円形	56 40 25	31号ビット
10	—	—	

3号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	59 50 49	12号ビット
2	楕円形	43 34 50	2号ビット
3	円形	38 36 40	
4	円形	26 23 48	
5	楕円形	68 59 44	66号ビット
6	円形	35 34 56	
7	円形	44 41 39	
8	楕円形	44 37 40	

## 7号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	33 33 21	
2	円形	32 28 32	
3	円形	28 26 25	
4	楕円形	28 22 18	
5	楕円形	64 52 31	57号土坑
6	円形	39 38 12	
7	円形	34 33 32	

## 8号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	42 38 20	
2	—	—	
3	円形	35 34 23	
4	円形	79 74 82	3井と重複
5	楕円形	109 91 44	
6	楕円形	64 41 30	6号ビット
7	円形	50 42 30	
8	楕円形	71 47 30	
9	楕円形	44 37 52	4号ビット

## 9号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	52 41 35	91号ビット
2	楕円形	34 29 16	
3	楕円形	60 43 41	
4	円形	25 23 18	
5	楕円形	87 58 33	56号ビット
6	方形	43 34 63	
7	方形	62 56 58	1号ビット
8	楕円形	41 35 47	98号ビット
9	楕円形	55 49 51	
10	円形	24 23 44	71号ビット
11	楕円形	42 35 41	
12	方形	38 29 36	

## 10号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	30 28 22	
2	—	—	
3	楕円形	28 23 9	
4	楕円形	45 30 72	68号ビット
5	楕円形	23 21 33	
6	円形	39 36 38	
7	楕円形	43 36 44	45号ビット
8	楕円形	41 28 48	69号ビット
9	楕円形	57 44 23	
10	円形	45 41 21	
11	楕円形	41 27 12	
12	方形	34 34 20	

## 11号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	31 29 18	
2	方形	23 23 14	
3	円形	23 21 13	
4	円形	31 30 35	
5	—	—	
6	—	—	
7	楕円形	80 50 53	
8	楕円形	94 71 41	97号土坑
9	円形	33 29 30	
10	円形	47 46 49	72号ビット
11	円形	47 42 37	

## 12号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	51 39 38	74号ビット
2	—	—	
3	楕円形	27 21 54	
4	楕円形	66 42 51	7号ビット
5	楕円形	71 62 45	
6	方形	47 45 60	60号ビット
7	楕円形	63 46 41	
8	円形	46 43 49	97号ビット

## 13号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	方形	43 34 33	
2	円形	44 43 51	92号ビット
3	楕円形	31 19 37	
4	楕円形	44 32 53	88号ビット
5	楕円形	61 50 52	80号ビット
6	円形	40 39 45	70号ビット
7	円形	44 41 45	100号ビット
8	円形	34 32 21	

## 14号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	44 41 30	
2	円形	43 39 35	
3	円形	42 40 24	
4	楕円形	39 29 31	
5	—	—	
6	楕円形	53 45 23	
7	方形	35 33 40	
8	円形	48 48 50	
9	円形	27 27 30	99号ビット
10	円形	40 38 28	
11	円形	35 35 26	
12	楕円形	46 41 35	

## 15号掘立柱建物

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	35 24 33	
2	円形	40 38 50	
3	円形	33 33 48	
4	円形	40 40 25	
5	円形	21 20 39	
6	—	—	
7	円形	72 71 50	
8	楕円形	35 29 23	
9	円形	26 23 28	

## 2号柱穴

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	37 23 50	
2	円形	27 24 22	
3	楕円形	30 25 44	
4	楕円形	32 24 23	
5	円形	44 39 49	

## 3号柱穴

PNo	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	35 27 44	
2	—	—	
3	—	—	
4	円形	27 24 44	
5	円形	25 25 54	
6	楕円形	40 31 45	
7	楕円形	49 30 33	

福島大光坊遺跡 土坑一覧表

番号	区	面	グリッド	平面形	長さcm	短径cm	深さcm	
1	2	2	29A-6	楕円形	98	77	20	
2	2	3	28I-4	—	—	84	15	
3	7	7	27H-10	楕円形	106	65	30	
3	12	7	25L-11	大型楕円形	560	155	20	
4	10	7	26D-12	楕円形	80	61	9	
4	2	7	28I-5	円形	150	141	24	
5	2	7	28I-6	方形	91	89	35	
5	10	7	26F-12	楕円形	194	114	30	
6	2	7	28I-4	—	—	113	30	東半部未調査
6	10	7	26G-12	円形	345	327	14	
7	2	6	28P-4	楕円形	160	—	18	
7	10	7	26E-12	方形	159	150	55	
8	6	7	28T-9	楕円形	165	65	10	
9	7	7	27D-10	楕円形	115	95	80	
10	7	7	27A-11	方形	100	80	48	
10	10	7	26H-12	円形	55	50	30	
11	7	7	27B-10	楕円形	60	45	14	
12	7	7	27B-10	楕円形	85	38	10	
11	10	7	26F-13	楕円形	185	—	30	↑重複
12	10	7	26F-13	楕円形	185	—	30	↓
13	7	7	27B-10	楕円形	130	70	10	
13	10	7	26G-11	不整形	120	110	20	
14	7	7	27A-10	楕円形	175	140	65	
14	10	7	26F-12	楕円形	125	100	25	
15	10	7	26G-12	楕円形	132	110	25	
15	7	7	27E-11	楕円形	190	125	50	
16	7	7	27F-10	楕円形	80	45	8	
17	7	7	27F-11	楕円形	128	62	10	
18	7	7	27A-9	楕円形	105	55	25	
19	7	7	27D-11	楕円形	110	40	30	2基重複
20	7	7	27D-11	楕円形	110	50	28	
21	7	7	27D-11	楕円形	95	55	25	
22	2	7	28O-6	楕円形	—	60	8	南半部未調査
23	2	7	28J-6	楕円形	115	90	10	
24	2	7	28M-4	楕円形	125	90	30	
25	2	7	28I-4	方形	190	180	38	30・31号土坑と重複
26	2	7	28M-6	楕円形	120	105	18	
27	2	7	28N-6	大型楕円形	196	155	17	
27	10	7	26I-13	円形	23	20	20	
28	2	7	28M-4	大型楕円形	295	125	28	
28	10	7	26I-12	円形	25	25	23	
29	7	7	27B-10	円形	80	80	10	
30	2	7	28I-4	円形	75	70	23	
31	2	7	28I-4	大型円形	195	190	32	25号土坑と重複
32	2	7	28M-4	楕円形	130	80	40	
33	6	7	28N-8	楕円形	105	65	18	
34	2	7	28O-4	楕円形	110	80	8	
35	2	7	28P-6	楕円形	65	—	15	西半部未調査
36	1	5	26H-8	円形	56	50	10	
37	1	5	26G-8	楕円形	105	95	18	
38	1	5	26G-8	楕円形	135	—	18	
39	1	8	26H-8	楕円形	165	95	12	
40	1	8	26H-8	楕円形	100	70	20	
41	6	8	28N-9	楕円形	132	110	45	縄文土器出土
42	2	7	28I-6	円形	70	70	43	土器あり

福島大光坊遺跡 住居一覧表

区	番号	グリッド	平面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	壁高 (cm)	床面積 (㎡)	主軸方向	備考
2	3	28I-6	—	—	—	10	—	—	カマド、東壁のみ確認
2	4	28I-5	長方形	—	460	18	—	—	北西部のみ確認、壁溝
7	1	27C-10	長方形	—	320	10	—	—	北西部のみ確認
7	2	27B-10	長方形	500	—	15	—	—	1号住居を切る
10	1	26A-13	長方形	350	280	10	—	—	南壁部に攪乱
10	2	26B-13	長方形	280	260	5	—	—	1号住居に切られる
10	3	26I-13	—	—	—	3	—	—	西半部不明
10	4	26H-12	長方形	375	275	5	—	—	
10	5	26G-12	—	—	—	10	—	—	カマド付近のみ確認
10	6	26F-11	—	—	—	17	—	—	住居北西部のみ確認
10	7	26D-11	長方形	320	300	8	—	—	掘り方のみ確認
10	8	26G-12	長方形	—	—	8	—	—	掘り方確認、南部不明
10	9	26H-11	長方形	—	—	5	—	—	掘り方確認、南部不明



福島大光坊遺跡 ビット一覧表

番号	区	面	グリッド	平面形状	長さcm	幅cm	深さcm	時期
1	8	4	26O-11	円形	49	44	18	中世
1	10	3	26I-11	楕円形	44	26	9	中世
1	2	4	28H-6	円形	54	53	17	中世
2	10	3	26I-11	楕円形	41	21	9	中世
2	2	4	28H-5	楕円形	44	35	10	中世
3	10	3	26I-11	円形	24	24	16	中世
3	2	3	27Q-6	円形	36	35	15	中世
4	2	3	27Q-6	楕円形	36	30	9	
5	10	3	26I-11	円形	25	21	21	中世
5	2	3	27Q-5	円形	24	22	10	
6	10	3	26I-12	円形	21	20	24	中世
6	2	4	27M-6	円形	41	40	17	
7	10	3	26I-12	楕円形	22	17	17	中世
7	2	4	28H-5	楕円形	54	42	10	
8	10	3	26H-12	円形	33	30	14	中世
8	7	4	27M-10	円形	29	28	13	中世
9	10	3	26I-12	楕円形	32	21	17	中世
9	7	4	27M-10	楕円形	55	35	5	中世
10	10	3	26H-12	円形	30	26	13	中世
10	7	4	27N-10	楕円形	43	24	11	中世
11	10	3	26H-11	円形	23	22	11	中世
11	6	5	27R-9	楕円形	46	25	8	
12	10	3	26H-11	円形	26	24	12	中世
12	7	7	27I-10	楕円形	36	30	15	
13	2	7	28J-4	円形	39	28	20	
14	6	7	27Q-9	円形	45	35	11	
15	10	3	26H-12	不整楕円形	63	31	24	中世
15	6	7	27Q-9	円形	32	30	13	
16	6	7	27I-9	円形	29	29	7	
17	6	7	28B-9	円形	29	29	13	
18	7	7	27D-10	楕円形	44	34	11	
19-20	10	3	26H-11	—	56	36	24	中世 円形ビット2基重複
19	7	7	27C-10	楕円形	49	44	14	
21	10	3	26H-12	楕円形	37	26	15	中世
22	10	3	26H-12	円形	39	35	14	中世
22	7	7	27D-10	円形	28	26	12	
23	10	3	26H-12	楕円形	44	39	36	中世
23	7	7	27D-10	円形	25	25	23	
24	7	7	27E-10	楕円形	29	22	14	
25	10	3	26E-11	楕円形	45	33	11	中世
25	7	7	27E-10	楕円形	30	25	19	
26	10	3	26E-12	楕円形	40	35	23	中世
27	7	7	27F-10	円形	29	29	22	
29	10	3	26I-11	円形	25	21	13	中世
30	10	3	26G-11	円形	19	14	16	中世
30-5	10	3	26C-11	円形	19	17	5	中世
31	10	3	26H-12	不整形	60	—	10	中世
31	7	7	27F-10	円形	18	18	26	北半部未調査
33	7	7	27A-10	円形	39	39	30	
34	2	7	28K-6	楕円形	40	30	14	
35	2	7	28K-6	楕円形	59	50	29	
36	2	7	28K-5	円形	50	49	25	
37	2	7	28J-5	円形	48	48	37	
38	7	7	27F-9	楕円形	29	25	16	
40	7	7	27D-10	円形	31	29	13	
41	6	7	28N-9	円形	24	24	4	
42	6	7	28M-9	楕円形	46	38	10	
43	6	7	28M-8	円形	38	38	6	
44	6	7	27B-11	円形	30	29	29	
46	7	7	27F-9	楕円形	62	47	25	
47	2	7	28J-5	楕円形	62	47	25	
48	2	7	28J-5	円形	25	25	25	
49	2	7	28J-4	円形	24	24	27	
50	2	7	28J-4	円形	22	22	11	
51	2	7	28I-4	円形	28	28	30	
52	7	7	27C-10	円形	24	24	34	
53	2	7	28K-6	円形	60	60	10	
54	6	7	28N-9	円形	28	28	12	
55	2	7	28N-5	楕円形	31	24	14	
56	2	7	28O-6	楕円形	57	46	47	
57	2	7	28O-6	円形	50	50	7	
58	2	7	28O-5	円形	24	24	6	
59	2	7	28O-5	円形	29	29	14	
60	2	7	28O-5	楕円形	28	24	5	
61	2	7	28O-5	円形	28	28	13	
62	2	7	28O-5	円形	37	37	7	
68	2	7	28O-6	円形	59	—	9	
64	1	5	26I-8	楕円形	42	32	10	
65	2	7	28N-6	円形	40	40	11	
66	2	7	28N-6	楕円形	59	59	84	
67	2	7	28O-6	円形	55	53	7	
72	2	7	28O-5	円形	60	60	42	

福島大光坊遺跡7面水田計測表

古墳時代 水田計測一覽表

水田No	長軸 (m)	短軸 (m)	面積 (㎡)
1	--	--	--
2	--	--	--
3	--	--	--
4	(1.98)	1.06	2.20
5	2.14	1.08	2.25
6	1.94	1.22	2.37
7	(1.50)	1.10	2.09
8	--	--	--
9	--	--	--
10	2.15	0.80	1.65
11	2.12	1.03	2.09
12	2.18	1.10	2.21
13	2.13	1.12	2.39
14	2.12	1.24	2.49
15	2.14	1.24	2.66
16	2.36	(1.52)	2.82
17	--	--	--
18	2.18	1.05	2.24
19	2.28	0.94	1.96
20	2.12	0.92	1.90
21	2.18	1.08	2.27
22	2.20	1.10	2.19
23	2.42	1.20	2.80
24	2.58	1.26	3.09
25	2.92	1.68	5.01
26	--	--	--
27	(1.08)	1.00	1.53
28	1.80	1.60	2.92
29	2.22	1.24	2.89
30	2.50	1.16	2.89
31	--	--	--
27	(1.08)	1.00	1.53
28	1.80	1.60	2.92
29	2.22	1.24	2.89
30	2.50	1.16	2.89
31	--	--	--
32	--	--	--
33	--	--	--
34	(1.68)	1.12	1.75
35	--	--	--
36	--	--	--
37	1.59	0.96	1.40
38	1.82	0.83	1.46
39	1.96	0.92	1.73
40	1.66	1.02	1.57
41	1.47	1.02	1.38
42	--	--	--
43	--	--	--
44	(2.00)	1.23	2.29
45	2.22	1.19	2.61
46	2.44	0.93	2.28
47	2.24	1.16	2.42
48	1.80	1.17	1.86
49	--	--	--

水田No	長軸 (m)	短軸 (m)	面積 (㎡)
50	--	--	--
51	1.70	1.10	1.75
52	1.80	1.05	1.88
53	(1.84)	1.42	2.46
54	--	--	--
55	--	--	--
56	--	--	--
57	--	--	--
58	2.08	1.18	2.11
59	--	--	--
60	--	--	--
61	2.12	1.72	3.41
62	2.10	1.80	3.65
63	(1.72)	1.72	2.81
64	--	--	--
65	2.12	1.56	3.16
66	2.00	1.70	3.20
67	2.26	1.98	4.36
68	2.28	1.72	3.61
69	--	--	--
70	--	--	--
71	1.73	1.20	1.86
72	1.50	1.06	1.49
73	1.66	1.60	2.54
74	1.87	1.82	3.23
75	(1.66)	1.48	2.24
76	--	--	--
77	--	--	--
78	1.84	1.20	3.18
79	1.28	1.10	1.37
80	1.76	1.40	2.33
76	--	--	--
77	--	--	--
78	1.84	1.20	3.18
79	1.28	1.10	1.37
80	1.76	1.40	2.33
81	1.52	1.43	2.08
82	1.90	1.46	2.54
83	--	--	--
84	--	--	--
85	2.46	1.88	4.41
86	2.22	1.66	3.55
87	2.26	1.84	3.82
88	1.92	1.88	2.23
89	1.68	1.52	2.29
90	--	--	--
91	--	--	--
92	1.86	1.40	2.50
93	1.58	1.56	2.30
94	1.32	1.30	1.66
95	1.71	1.70	2.74
96	2.54	1.90	4.63
97	--	--	--
98	--	--	--

水田No	長軸 (m)	短軸 (m)	面積 (㎡)
99	1.50	1.29	1.76
100	1.46	1.19	1.65
101	1.46	1.29	1.77
102	1.92	1.30	2.37
103	2.00	1.96	3.84
104	--	--	--
105	--	--	--
106	3.06	--	--
107	--	--	--
108	--	--	--
109	2.82	2.20	6.27
110	2.38	2.21	6.25
111	--	--	--
112	2.64	--	--
113	2.90	2.38	6.75
114	2.38	2.32	7.00
115	--	2.32	--
116	--	--	--

水田No	長軸 (m)	短軸 (m)	面積 (㎡)
145	1.40	1.39	1.75
146	1.44	--	--
147	1.28	--	--
148	1.76	1.68	2.74
149	1.46	1.28	1.78
150	1.50	1.12	1.62
151	--	--	--
152	--	--	--
153	1.50	1.32	1.85
154	1.76	1.58	2.67
155	1.48	1.40	1.92
156	1.68	--	--
157	--	--	--
158	1.68	1.30	1.98
159	1.42	1.22	1.66
160	1.50	1.10	1.60
161	1.58	1.16	1.75
162	--	--	--

117	—	—	—
118	—	—	—
119	—	—	—
120	1.78	0.92	1.62
121	1.73	1.42	2.35
122	1.82	1.19	2.13
123	1.81	—	—
124	1.97	1.42	2.55
125	2.07	1.12	2.28
126	2.08	1.42	2.89
127	2.42	1.38	3.30
128	1.50	—	—
129	1.72	1.59	2.75
130	1.51	1.10	1.69
131	1.49	(1.30)	1.79
132	—	—	—
133	1.68	1.46	2.22
134	1.42	1.33	1.82
135	1.79	1.21	2.08
136	1.63	—	—
137	2.00	1.22	2.31
138	1.98	1.58	2.29
140	1.50	1.08	1.66
142	—	—	—
144	1.38	1.06	1.42

163	1.40	1.14	1.56
164	1.48	1.09	1.49
165	1.32	1.14	1.43
166	1.53	1.41	2.08
167	—	—	—
168	1.68	—	—
169	1.72	1.28	2.12
170	1.74	1.24	2.13
171	1.84	1.28	2.22
172	1.84	—	—
173	1.78	1.23	2.11
174	1.98	1.33	2.38
175	—	—	—
176	2.10	1.41	2.71
177	2.40	1.58	3.56
178	2.08	1.58	3.28
179	—	1.28	—
180	—	—	—
181	—	—	—
182	—	1.46	—
183	—	—	—
189	1.91	0.96	1.72
141	—	—	—
143	1.73	1.42	2.34
73	1.66	1.60	2.54

### 1号掘立柱建物

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	方形	36×36×22	20号ビット
2	円形	16×15×23	29号ビット
3	円形	19×19×33	30号ビット
4	円形	41×40×38	21号ビット

### 2号掘立柱建物

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	26 24 21	45号ビット
2	円形	34 32 25	78号ビット
3	円形	31 30 23	26号ビット
4	円形	26 24 29	28号ビット

### 1号柱穴列

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	21 20 5	
2	楕円形	20 16 4	
3	円形	22 21 6	
4	円形	23 22 12	
5	楕円形	26 20 4	
6	楕円形	23 18 4	
7	楕円形	23 17 7	
8	楕円形	21 17 6	

### 2号柱穴列

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	20 16 4	
2	楕円形	23 17 4	
3	楕円形	24 23 9	
4	円形	23 20 5	
5	円形	23 20 4	

### 3号柱穴列

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	24 22 5	
2	円形	32 31 6	
3	楕円形	30 24 4	

### 4号柱穴列

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	35 32 4	
2	円形	32 31 5	
3	円形	29 29 4	
4	楕円形	35 32 5	

### 5号柱穴列

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	27 27 5	
2	楕円形	31 28 5	
3	楕円形	33 27 3	

### 7号柱穴列

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	円形	35 33 20	68号ビット
2	楕円形	74 62 8	69号ビット
3	円形	41 36 17	70号ビット
4	楕円形	35 32 12	71号ビット

### 8号柱穴列

PN <sub>0</sub>	平面形	長径×短径×深(cm)	備考
1	楕円形	51 42 10	
2	楕円形	41 34 12	
3	楕円形	46 27 11	

福島大光坊遺跡 ビット一覧表

溝番号	区	面	グリッド	幅cm	深さcm	走行	時期	備考
1	6区	1面	28K-8	400	32	E-W		
1	8区・10区	3面	25Q-9	-	-	E-W		8区5溝と重複
2	6区	1面	28F-8	90	30	E-W		
2	9区	1面	26R-9	200	65	E-W		9区3溝と平行する
3	6区	1面	28A-8	160	20	E-W		
3	9区	1面	26Q-9	200	70	E-W		
4	7区	1面	27K-9	-	20	E-W		
5	7区	1面	27D-9	120	15	E-W		
5	8区・10区	4面	25P-9	-	-	E-W		
6	3区	1面	30A-5	90	18	E-W		
6	9区	3面	26P-9	120	25	E-W		9区7溝と重複
7	6区	2面	28P-9	45	15	N-S		
7	9区	3面	26P-9	120	30	E-W		9区6溝と重複
8	9区	2面	29A-4	75	18	E-W		
8	9区	3面	26P-9	40	5	E-W		
9	7区・9区	3面	26R-11	95	22	N-S		
10	9区	3面	28S-5	50	10	N-S		
10	9区	3面	26R-9	125	25	E-W		9区2溝と重複
11	2区・4区	5面	27M-5	50	10	E-W		17溝と平行
11	8区	7面	25S-10	30	12	N-S		
12	1区	4面	28P-7	95	20	E-W		
13	1区	4面	26S-7	-	18	-		
13	8区・10区	7面	25T-9	150	30	N-S		
14	1区	4面	28S-6	68	26	-		
14	9区	7面	28N-11	50	20	N-S		15・16溝と重複
15	1区	4面	27B-7	166	22	-		
15	9区	7面	26N-11	70	10	N-S		10区37・38溝と同一
16	1区	4面	28T-7	60	-	-		
16	9区	7面	26N-11	80	20	N-S		14・15溝と重複
17	2区	5面	27L-6	50	15	E-W		11溝と平行
17	8区	7面	25S-10	45	8	N-S		8区13溝と重複
18	4区	5面	30B-8	28	15	E-W		
19	3区・4区	5面	30B-5	35	10	E-W		
19	10区	1面	26H-11	45	15	E-W		図面番号383
20	4区	5面	30C-8	25	15	N-S		19溝に切られる
20	12区	3面	25L-10	250	120	N-S		
21	1区	4面	26R-7	190	50	E-W		
21	10区	4面	26H-11	20	8	E-W		22溝と重複
22	10区	4面	26H-11	35	10	E-W		23溝と重複
23	7区	7面	27J-9	-	10	E-W		北半部未調査
23	10区	4面	26G-12	50	10	E-W		31溝と同一 南側に原曲
24	10区	3面	26B-12	40	8	E-W		
24	2・6区	7面	28M-5	176	38	-		
25	2区	7面	25H-4	60	12	-		
26	2区	6面	29C-5	53	8	-		
27	10区	7面	26D-12	45	18	E-W		
28	6区	7面	28M-10	60	10	E-W		
28	12区	7面	25K-12	65	25	N-S		
29	2区	7面	28L-4	35	18	E-W		
29	10区	7面	25T-12	30	5	E-W		10区5溝北側に平行する
30	2区	7面	28P-4	40	10	E-W		
31	10区	4面	26E-10	30	8	N-S		23溝と同一
31	6区	7面	28M-9	84	16	-		
32	10区	4面	26G-13	30	8	N-S		
32	6区	7面	28M-10	43	28	-		
33	1区	7面	26H-8	35	10	E-W		
34	4区	8面	30B-5	40	18	N-S		
35	6区	7面	28P-8	44	12	-		
37	10区	7面	28J-12	-	-	-		
38	10区	7面	26K-12	-	-	-		

福島久保田遺跡 遺物一覧表

継続番号	写真	出土位置	形 種	口径 底径 器高(cm)	底成・色調	製作技法等の特徴	残存
9	P137	32K-10	土師器5字壺	(15.0) × × × ×	酸化 濃い黄褐色	口縁部横溝で、底部縦ハケ目。	口縁片
9	P137	32C-8	土師器砂鉢	× × × ×	酸化 濃い黄褐色	胴部に横溝三角形の装帯が施り、両端部に5単位の櫛状工具による刻文。	胴部片
9	P137	32B-8	土師器砂鉢	× × × ×	酸化 明褐色	折り返し口縁で、口縁部は尖り釜み。表面磨き落す。内面ハケ目。	口縁片
9	P137	32H-10	土師器砂鉢	× × × ×	酸化 濃い黄褐色	台付要素。	破片
9	P137	32C-8	土師器砂鉢	× × × ×	酸化 浅黄褐色	胴部片、平行線により連続砥状文が重複して施文される。	破片
9	P137	32K-8	土師器砂台	(6.5) × × × ×	酸化 黄褐色	内面ハケ目。脚部欠。	破片
9	P137	32K-8	土師器砂台	(8.4) × × × ×	酸化 濃い黄褐色	脚部欠。	破片
9	P137	32I-7	土師器砂台	× × × ×	酸化 濃い黄褐色	台付要素。底部、台部欠。	破片
9	P137	32C-8	土師器砂台	(15.0) × × × ×	酸化 褐色	脚部縁直線。外面横溝で鋭く磨き。内面ハケ目。割れ口に磨面。再利用か。	破片
9	P137	2区	土師器砂台	× × × ×	酸化 褐色	脚部片。外周縁位へ磨り。円孔は3×磨。	胴部片
9	P137	32K-10	土師器 鉢 (4.2)		酸化 濃い黄褐色	外周縁位磨き。内面横溝で、球状形を呈するミニチュア土器。	1/4
22	P137	130号土坑	土師器砂台	10.2×10.6×9.3	酸化 褐色	脚部中央に円孔3ヶ所。杯部中央が同心円状に磨面。使用によるもの。	定形
22	P137	130号土坑	土師器砂台	7.3×8.2×6.2	酸化 濃い黄褐色	小型砂台。脚部中央に円孔4ヶ所。位置は均等ではない。	定形
22	P137	130号土坑	土師器砂台	(8.8) × × × ×	酸化 灰白色	脚部円孔3ヶ所。鋭く磨き。台部端部はわずかに内側に丸みをもち、微動状磨き。	1/3
22	P137	130号土坑	土師器砂台	× × × ×	酸化 褐色	脚部円孔縦2次、3ヶ所。鋭く磨き。杯部欠。	胴部片
22	P137	130号土坑	土師器高杯	× × × ×	酸化 濃い黄褐色	脚部円孔縦2次、3ヶ所。鋭く磨き。	胴部片
22	P137	130号土坑	土師器高杯	(12.4) × × × ×	酸化 褐色	脚部欠。底部は丸みをもち、内外面横へ磨き。	杯部
22	P137	130号土坑	土師器高杯	13.9 × × × ×	酸化 褐色	脚部欠。底部やや湾曲さみに立ち上がる。内外面横へ磨き。	杯部
22	P137	130号土坑	土師器高杯	(23.9) × × × ×	酸化 濃い赤褐色	杯部底部はやや湾曲さみに立ち上がる。大型の高杯。	杯部片
23	P137	130号土坑	土師器高杯	19.5 × × × ×	酸化 明赤褐色	脚部欠。杯部内外面横へ磨き。口縁部横溝で、胴部に段をもつ。	杯部片
23	P137	130号土坑	土師器高杯	(22.8) × × × ×	酸化 明赤褐色	底部直線的に立ち上がる。底部横ハケ、口縁部横溝で、内面放射状へ磨き。	杯部片
23	P137	130号土坑	土師器鉢	12.6×5.2×6.1	酸化 濃い黄褐色	底部外面横ハケ。口縁部横溝で。底面は凹成で、縁下部が磨き落す。	2/3
23	P137	130号土坑	土師器埴小壺	(11.0) × × × ×	酸化 濃い黄褐色	口縁部は直線的で外反する。内外面横へ磨き。	口縁片
23	P137	130号土坑	土師器小型壺	12.2×2.9×7.8	酸化 灰黄色	最大径は口縁部。口縁部横溝で。底部左→右斜ハケ目。底部凹成。	ほぼ定
23	P137	130号土坑	土師器小型壺	(11.8) × × × ×	酸化 濃い黄褐色	口縁部横溝で。底部横ハケ目。	口縁片
23	P137	130号土坑	土師器小型壺	(10.8) ×4.3×12.7	酸化 濃い黄褐色	口縁部くの字状に内反する。底部横溝で、底部凹成状を呈する。	1/3
23	P137	130号土坑	土師器小型壺	(15.2) × × × ×	酸化 濃い黄褐色	口縁部はわずかに湾曲さみに外反する。	1/3
23	P137	130号土坑	土師器台付壺	× ×7.2×台高3.3	酸化 褐色	台部端部はわずかに屈曲し広がる。外面斜位へ磨き。	台部片
23	P137	130号土坑	土師器台付壺	× ×8.2×台高4.3	酸化 濃い黄褐色	外面横ハケ目。内面横ハケ目。胴部は平面をもつ。	台部片
23	P137	130号土坑	土師器台付壺	× ×7.8×台高3.8	酸化 濃い黄褐色	外面横ハケ目。内面横ハケ目。胴部は平面をもつ。	台部片
23	P137	130号土坑	土師器台付壺	× ×10.0×台高4.5	酸化 明褐色	外面横ハケ目。内面横ハケ目。胴部はわずかに内湾さみ。	台部片
23	P137	130号土坑	土師器砂	× ×(8.4) × × × ×	酸化 灰白色	底部横溝で内外面ともハケ目。底部はわずかに段状で底面は平坦。	胴部片
23	P137	130号土坑	土師器砂	17.3 × × × ×	酸化 濃い黄褐色	幅広の折り返し口縁に内反する。口縁部はわずかに内湾さみ。	口縁片
23	P137	130号土坑	土師器砂	× × × ×	酸化 濃い黄褐色	胴部隆部上に櫛状工具による斜形刻文。	胴部片
23	P137	130号土坑	土師器砂	× ×7.0 × × × ×	酸化 濃い黄褐色	底部は凹成。破片片であるが杯部で湾曲。	破片
23	P137	130号土坑	土師器砂	× × × ×	酸化 濃い黄褐色	底部上に横文。胴部に縦線がありし磨面。	胴部片
23	P137	130号土坑	土師器壺	(19.0) × × × ×	酸化 浅黄褐色	口縁部横溝で、底部縦ハケ。胴部内面に微動状磨き。	口縁片
23	P137	130号土坑	土師器壺	(18.8) × × × ×	酸化 濃い黄褐色	口縁部横溝で、底部縦ハケ目。	1/6
23	P137	130号土坑	土師器壺	(18.1) × × × ×	酸化 灰褐色	全体の形勢は粗雑。折り返し口縁で、胴部は外側に面をもつ。	口→胴
23	P137	130号土坑	土師器5字壺	(13.0) × × × ×	酸化 灰褐色	口縁部横溝で、底部上平縁ハケ目後、横ハケ目。	口縁片
23	P137	130号土坑	土師器5字壺	(18.2) × × × ×	酸化 濃い黄褐色	口縁部横溝で、底部上平縁ハケ目後、横ハケ目。	口縁片
23	P137	130号土坑	土師器5字壺	(13.0) × × × ×	酸化 濃い黄褐色	口縁部横溝で、底部上平縁ハケ目後、横ハケ目。	口縁片
24	P138	2区1号住	須恵器砂鉢	13.8×6.5×3.8	還元 灰白色	右回転糸切り。内面は平面をもつ。	2/3
24	P138	2区1号住	須恵器砂鉢	(12.8) ×6.1×4.1	還元 黄褐色	右回転糸切り。砂鉢欠。	2/3
24	P138	2区1号住	土師器壺	底径 4.2	酸化 褐色	外面縁位へ磨り。底部へ磨り。凸面を形成。	破片
24	P138	2区2号住	土師器砂	12.5 × × ×3.9	酸化 褐色	口縁部やや内湾。横溝で、底部外面横へ磨り。	ほぼ定
24	P138	2区2号住	土師器皿	15.7 × × ×3.6	酸化 濃い黄褐色	口縁部やや湾曲さみに外反。横溝で、底部外面横へ磨り。	ほぼ定
24	P138	2区2号住	土師器皿	(15.4) × × ×(3.2)	酸化 褐色	口縁部横溝で、底部外面横へ磨り。	1/2
24	P138	2区5号住	須恵器陶	× ×7.1 × × × ×	還元 灰褐色	高台陥りつかけ。横溝で。内面平面を形成。	破片
27	P138	2区5号住	須恵器陶	(13.2) ×(6.8) ×(4.1)	還元 褐色	底部回転糸切り。内面とも磨面される。	1/5
27	P138	2区3号住	須恵器陶	× ×6.5 ×1.5	還元 黄褐色	底部回転糸切り。	破片
27	P138	2区3号住	須恵器陶	× × × ×2.5	還元 濃い黄褐色	高台直溝。外側面とも磨面される。	破片
27	P138	2区3号住	須恵器陶	× ×7.2 ×2.5	還元 灰白色	底部回転糸切り。右回転。	破片
27	P138	2区3号住	須恵器陶	× ×(6.5) ×2.3	還元 灰白色	底部回転糸切り。右回転。	破片
27	P138	2区3号住	須恵器陶	× ×(7.2) ×(4.6)	還元 濃い黄褐色	底部回転糸切り。高台陥りつかけ。横溝で、胴部は凸凹する。	破片
27	P138	2区3号住	須恵器陶	× ×(6.0) ×(3.3)	還元 灰白色	底部回転糸切り。高台は陥り。胴部は平面形成。	破片
27	P138	2区3号住	須恵器陶	(14.6) ×(6.8) ×(5.3)	還元 灰褐色	底部は湾曲さみで、口縁部は外反する。	1/5
27	P138	2区3号住	土師器小型壺	(9.4) × × × × × ×	酸化 濃い黄褐色	胴部の筋は弱い。外面に輪帯状横溝。口縁部内面に灰化物付着。	口縁片
27	P138	2区3号住	土師器壺	× ×7.4 × × × ×	酸化 褐色	台高はやや低めで、外面に灰化物付着。	破片
27	P138	2区3号住	土師器壺	× ×8.6 × × × × × ×	酸化 明赤褐色	台部陥りつけ。	破片

27	PL28	2区3号住	土師器委	- × 9.4 × -	酸化	にがい橙色	外面に炭化物付着。	底面片
28	1 PL28	2区4号住	土師器坏	11.8×8.1×3.7	酸化	にがい橙色	口縁部破損。底部へう割り。体部微塵状残存。断面凹凸著しい。	完全
29	2 PL28	2区4号住	土師器坏	(12.0) × (8.0) × (3.1)	酸化	明赤褐色	口縁部破損。体部へう割り。底部へう割り。内面炭化物付着。	1/8
30	3 PL28	2区4号住	土師器坏	12.1×8.2×3.8	酸化	にがい橙色	口縁部。体部破損。底部へう割り。内面微塵状残存。	1/2
31	4 PL28	2区4号住	土師器坏	13.3×9.0×4.1	酸化	褐色	口縁部破損。体部へう割り。底部へう割り。内面微塵状残存。	2/3
32	5 PL28	2区4号住	土師器坏	(13.0) × (9.0) × 3.5	酸化	褐色	口縁部下に凹線状となる。破損。底部へう割り。内面微塵。	1/6
33	6 PL28	2区4号住	土師器坏	(13.0) × (9.0) × (2.6)	酸化	褐色	口縁部破損。体部へう割り。底部へう割り。内面微塵。	1/8
34	7 PL28	2区4号住	甗器坏	(11.6) × 5.1 × 3.9	還元	灰白色	右回転ネ切り取。体部やや膨らみをもち、口縁部外反さみ。	1/2
35	8 PL28	2区4号住	甗器坏	(12.4) × 5.4 × 3.8	還元	灰黄色	右回転ネ切り取。底部凹凸となる。体部やや丸みをもち、口縁部外反さみ。	1/3
36	9 PL28	2区4号住	甗器坏	(12.4) × (6.6) × 3.3	還元	灰色	底部右回転ネ切り取。腹部やや丸み。口縁部は外反する。積質。	1/2
37	10 PL28	2区4号住	甗器器底	(14.9) × 6.2 × (2.1)	還元	にがい黄褐色	器壁厚く、積質。右回転ネ切り取。口縁部外反する。	1/4
38	11 PL28	2区4号住	甗器坏	- × 6.0 × -	還元	灰白色	右回転ネ切り取。	底面片
39	12 PL28	2区4号住	甗器坏	(15.2) × (9.0) × (4.0)	還元	灰色	底部回転ネ切り取。体部下でわずかに丸みがあるが、ほぼ直線的に立ち上がる。	1/4
40	13 PL28	2区4号住	甗器器胸	- × 6.6 × -	還元	褐色	回転ネ切り取。高台は扁平で、断面に面をもつ。	底面片
41	14 PL28	2区4号住	甗器器胸	- × 5.9 × -	還元	褐色	右回転ネ切り取。高台断面。	底面片
42	15 PL28	2区4号住	甗器器委	- × (17.0) × -	還元	灰色	内外面押搾すべえ残存。破損。	底面片
43	1 PL29	7号住	土師器坏	(12.3) × 6.0 × 3.3	酸化	褐色	口縁部やや内湾さみ。破損。体部微塵状残存。底部へう割り。	1/2
44	2 PL29	7号住	土師器坏	12.0×6.5×3.8	酸化	にがい橙色	器体歪み。体部微塵状残存。底部器体状の痕跡。	1/1
45	3 PL29	7号住	甗器器底	(14.4) × 5.1 × 2.5	還元	灰白色	右回転ネ切り取。体部は大きく広がる。玉縁口縁。	2/3
46	4 PL29	7号住	甗器坏	(12.0) × 6.0 × 3.8	還元	灰白色	右回転ネ切り取。	2/3
47	5 PL29	7号住	甗器坏	(13.5) × 6.4 × 4.2	還元	灰白色	右回転ネ切り取。	1/4
48	6 PL29	7号住	甗器器胸	(15.4) × 6.8 × 6.4	還元	灰黄色	右回転ネ切り取。	1/2
49	7 PL29	7号住	甗器器胸	(15.0) × - × -	還元	灰色	口唇部外反さみ。右回転。	口唇片
50	9 PL29	7号	土師器委	- × 3.1 × -	酸化	褐色	外面直立へう割り。底部割断。	底面片
51	10 PL29	7号	土師器高坏	- × - × -	酸化	にがい橙色	脚部。外面直立へう割り。	脚部片
52	11 PL29	7号住	甗器器委	底径 17.0	還元	褐色	外面平行タケタ。内面微塵状残存。	底面片
53	12 PL29	7号住	土師	長4.1×径1.7×孔深0.4	酸化	にがい橙色	長軸方向にへう割る。	完全
54	1 PL28	6号住	土師器坏	12.3×7.0×3.7	酸化	灰褐色	口縁部破損。底部外面は粗粒状の器面をもつ。	ほぼ完全
55	2 PL28	6号住	甗器坏	(14.4) × (8.0) × (3.9)	還元	黄灰色	底部回転ネ切り取。	1/3
56	3 PL28	6号住	甗器器胸	14.4×7.3×6.1	還元	灰色	右回転ネ切り取。底部内側にも回転ネ切り取残存。	2/3
57	4 PL28	6号住	甗器坏	(14.4) × (5.6) × (4.0)	還元	灰白色	右回転ネ切り取。体部わずかにみくらみをもつ。	1/3
58	5 PL28	6号住	甗器坏	(14.4) × (5.6) × (4.5)	還元	灰色	底部回転ネ切り取。口縁部外側に凹凸。	1/5
59	6 PL28	6号住	甗器器小	- × (6.5) × -	還元	にがい橙色	底部はわずかに段状を呈し、腹部に横をもつ。	底面片
60	7 PL28	6号住	甗器器胸	(17.7) × (7.6) × (6.7)	還元	灰色	大型の甗。底部回転ネ切り取。高台は扁平。口縁部外反さみ。	1/2
61	8 PL28	6号住	土師器委	(18.8) × - × -	酸化	にがい橙色	コノ字状口縁であるが、粗粒さみ。	口唇片
62	1 PL29	128土埴	甗器器底	13.9×6.5×5.1	還元	にがい黄褐色	体部はほぼ直線的に立ち上がる。内面スス付着。	1/2
63	2 PL29	128土埴	甗器器胸	(14.3) × 6.0 × 4.3	還元	褐色	高台は扁平で方形断面を呈する。体部丸みをもち、口縁部外反。	1/3
64	3 PL29	128土埴	甗器	(17.4) × - × -	還元	褐色	ロクロ整形。器底つけは丁家で、断面に面をもつ。	口唇片
65	4 PL29	136土埴	土師器坏	11.9×8.2×3.5	酸化	褐色	口縁部破損。やや内湾さみ。体部に微塵状残存。底部へう割り。	完全
66	5 PL29	136土埴	甗器器鉢	- × 9.0 × -	還元	灰白色	高台断面は粗く丸みをもつ。	底面片
67	1 PL29	3号壱穴	甗器器坏	(13.2) × 5.8 × 3.9	還元	灰白色	右回転ネ切り取。体部はほぼ直線的に立ち上がり、口縁部わずかに外反。	1/2
68	2 PL29	3号壱穴	碓石	長8.1×幅5.7×厚2.0	碓石		両面使用により器壁の粗度となる部分もある。	半片
69	1 PL29	1号井戸	土師器坏	(12.2) × - × 3.4	酸化	褐色	外面へう割りで。	完全
70	2 PL29	1号井戸	土師器坏	11.3 × - × 3.5	酸化	褐色	外面へう割りで。	完全
71	3 PL29	1号井戸	土師器坏	(11.2) × - × 3.8	酸化	褐色	外面へう割りで。	1/4
72	4 PL29	1号井戸	土師器坏	(14.0) × - × 3.2	酸化	にがい橙色	外面へう割りで。体部下にわずかな段をもつ。	1/4
73	5 PL29	1号井戸	土師器底	(16.7) × - × 3.6	酸化	褐色	口縁部破損。体部外面へう割り。	1/3
74	6 PL29	1号井戸	土師器底	18.2 × - × 4.5	酸化	褐色	口縁部破損。体部外面へう割り。	完全
75	1 PL29	2区	土師器坏	11.8×8.0×3.2	酸化	灰褐色	口唇部内湾し、内側に凹線をもつ。口縁部破損。底部へう割り。	ほぼ完全
76	2 PL29	2区-9	土師器坏	(12.0) × - × 2.9	酸化	褐色	口縁部破損で、下に凹線をもつ。体部破損。底部へう割り。	1/4
77	3 PL29	2区K-9	土師器坏	(12.2) × (8.0) × 2.9	酸化	にがい赤褐色	口唇部内側に凹線をもち、やや内湾さみ。	1/4
78	4 PL29	2区K-8	土師器坏	(12.1) × 8.4 × 3.5	酸化	にがい赤褐色	口縁部破損で、下にわずかな段をもつ。底部へう割り。	1/4
79	5 PL29	2区K-8	土師器坏	(11.8) × (8.2) × 3.3	酸化	にがい橙色	内湾さみに立ち上がる。	1/4
80	6 PL29	2区F-9	土師器坏	(11.9) × (8.0) × 3.5	酸化	にがい赤褐色	口縁部破損。断面にわずかに段をもつ。底部へう割り。	1/2
81	7 PL29	2区F-7	甗器器坏	12.5×6.4×3.3	還元	灰白色	右回転ネ切り取。体部はほぼ直線的に立ち上がる。	完全
82	8 PL29	2区K-8	甗器器坏	12.8×4.8×4.2	還元	にがい黄褐色	右回転ネ切り取。内面に塗層付着。灯芯痕残存。灯明器として使用可。	完全
83	9 PL29	2区K-8	甗器器坏	(12.4) × 5.4 × 4.6	還元	にがい黄褐色	右回転ネ切り取。器底がやや内湾さみ。内面炭化物付着。灯明器としてしよう可。	1/2
84	10 PL29	2区D-9	甗器器坏	(14.2) × 6.7 × 5.25	還元	灰白色	右回転ネ切り取。高台は扁平で、外面に面をもつ。体部はほぼ直線的に立ち上がる。	1/3
85	11 PL29	2区F-8	甗器器胸	(13.4) × (6.8) × 5.2	還元	灰色	右回転ネ切り取。体部はほぼ直線的に立ち上がる。	1/4
86	12 PL29	2区C-9	甗器器鉢	- × 8.5 × -	還元	にがい赤褐色	右回転ネ切り取。	底面片
87	13 PL29	2区I-8	甗器器胸	- × 6.2 × -	還元	淡黄色	右回転ネ切り取。高台は扁平で、断面に面をもつ。	底面片
88	14 PL29	2区F-9	甗器器胸	- × 6.8 × -	還元	灰白色	底部回転ネ切り取。体部丸みをもち、口縁部は外反さみ。	1/2

38	15	PL29	32H-10	環巻部輪	- × 6.9 × -	還元	灰白色	石臼回転車切り肌。破損。	底部分
38	16	PL29	32D-9	環巻部環	14.2 × 6.6 × 3.3	還元	灰黄色	石臼回転車切り肌。高台端面に面をもち、口縁部は外反きのみ。破損。	L/1
38	17	PL29	32E-8	環巻部環	- × 6.0 × -	還元	にぶい橙	底面回転車切り肌。体部丸をもつ。	口縁欠
38	18	PL29	32H-10	環巻部輪	- × 8.5 × -	還元	灰白色	石臼回転車切り肌。高台端面に凹面形成。破損。	底部分
39	19	PL4	32J-8	環巻部鉄	- × 9.2 × -	還元	灰色	石臼回転車切り肌。白色粉を粘り多含む。	底部分
39	20	PL40	32C-8	環巻部輪	- × 7.2 × -	還元	灰白色	石臼回転車切り肌。高台欠。	底部分
39	21	PL40	32J-8	環巻部鉄	直径 14.5	還元	灰白色	軋貫。底面外面中央がやや凹み状になる。	底部分
39	22	PL40	32L-8	環巻部鉄	(27.0) × - × -	還元	灰白色	突帯の縁り付けは丁寧で、やや欠け。	口縁片
39	23	PL40	32D-9	土師部環	- × - × -	酸化	棕色	外面に塗着。字様なし。	口縁片
39	24	PL40	32K-8	環巻部鉄	- × - × -	還元	灰色	体部石臼輪。	L/4
39	25	PL40	31S-9	灰輪陶器輪	(13.3) × - × -	灰白色	内外面輪軸。軸 灰オリーブ色。大塚2号家式。	口縁片	
39	26	PL40	32J-8	灰輪陶器輪	(16.0) × - × -	灰白色	内外面輪軸。軸 灰オリーブ色。大塚2号家式。	口縁片	
39	27	PL40	32K-9	灰輪陶器輪	(16.0) × - × -	灰白色	網毛輪軸。軸 灰オリーブ色。大塚2号家式。	口縁片	
39	28	PL40	32I-8	灰輪陶器輪	- × (5.3) × -	灰白色	内外面輪軸。軸 灰オリーブ色。黒芝14号家式。	底部分	
39	29	PL40	32K-9	灰輪陶器輪	- × (7.9) × -	灰白色	軸 灰白色。黒芝9号家式。	底部分	
39	30	PL40	32I-9	灰輪陶器輪	(16.0) × - × -	灰白色	内外面輪軸。軸 灰オリーブ色。大塚2号家式。	口縁片	
39	31	PL40	32H-8	灰輪陶器輪	- × (6.4) × -	灰白色	内外面を焼く肌。軸 灰オリーブ色。光ヶ丘1号家式。	底部分	
39	32	PL40	32E-9	灰輪陶器輪	- × (8.0) × -	灰白色	内外面を焼く肌。内面平磨面を形成。軸 灰白色。大塚2号家式。	口縁片	
39	33	PL40	32G-9	灰輪陶器輪	(16.0) × - × -	灰白色	内外面輪軸。網毛輪軸。軸 灰白色。大塚2号家式。	底部分	
39	34	PL40	32I-9	灰輪陶器輪	- × (7.3) × -	灰白色	内外面輪軸。底面石臼輪車切り肌。軸 浅灰色。9世紀前半。	底部分	
39	35	PL40	32E-9	灰輪陶器輪	- × (8.2) × -	浅灰色	内外面輪軸。並ね焼き肌。軸 灰オリーブ色。光ヶ丘1号家式。	底部分	
39	36	PL40	32D-8	鉄輪車	径5.5×厚0.4×輪幅0.4	鉄製	軸両端欠。	-	
49	1	PL40	2弁弁	覆り鉄	- × (10.2) × -	還元	灰色	底面石臼輪車切り肌。8条11単位の距目が底面端まで施される。	底部分
49	2	PL40	2弁弁	石鉄	(37.0) × - × -	焼結硬石炭山岩	内面磨面により平滑面をもつ。	口縁片	
65	1	PL40	32G-10	環	幅7.1×厚1.4	頁岩	両端欠。磨面は滑潤。裏面に「文相五年」および十字文様刻。	破片	
65	2	PL40	32D-8	かわらけ	(9.0) × (6.0) × 1.95	酸化	灰白色	灯明筒。口縁部内外面にスス。油煙付着。底面回転車切り肌。	L/4
65	3	PL40	32E-9	かわらけ	7.5×4.8×1.7	酸化	にぶい橙	石臼輪車切り肌。	L/2
65	4	PL40	32E-9	灰輪陶器輪	- × (6.8) × -	還元	灰白色	底面内面平磨面をもつ。軸 灰白色。10世紀前半の混入遺物。大塚2号家式。	底部分
65	5	PL40	32E-9	灰輪陶器輪	- × (8.0) × -	還元	灰白色	軸 オリーブ灰色。9世紀後半の混入遺物。大塚2号家式。	底部分
65	6	PL40	32C-8	土師	長4.4×径2.0×孔径0.5	酸化	棕色	長軸方向にへラ磨き。	定形
65	7	PL40	32E-9	土師	長6.9×径3.1×孔径1.5	酸化	明艶灰色	長軸方向に磨り後、へラ磨き。	2/3
65	8	PL40	2区	内耳輪	(30.0) × - × (16.0)	オリーブ黒色	口縁部短く外反、口唇部内面に突出。底面縁部に凹面が深る。	L/5	
65	9	PL40	2区	内耳輪	(31.0) × - × (14.0)	灰色	口縁部短く外反、口唇部内面にわずかに突出。体部下側に段をもつ。	1/6	
65	10	PL40	32G-10	鉄	(28.0) × (12.0) × 12.2	灰色	外面はやや凸出する。内面は磨滅面形成。こね跡。	1/9	
65	11	PL40	32D-10	石製品	長5.8×幅3.7×厚1.3	砂岩	重さ42g。上下面平滑面(自然面)、縁部面に加工痕。用途不明。	定形小	
65	12	PL40	32G-9	石製品	厚3.0	焼結硬石炭山岩	茶白縁面片。	破片	
65	13	PL40	32D-8	石製品	幅4.5×厚0.6	頁岩	半円状平面。一方の端は加工面。他一面は滑潤面となる。用途不明。	破片	
65	14	PL40	32C-8	土製品	径5.15×厚1.75	酸化	棕色	台形断面を呈し、中央からややずれて径5mmの孔。鉄輪車に類似するが、不明。	L/2
70	1	PL40	11号溝	内耳輪	(28.8) × (17.4) × 14.6	灰色	口縁部わずかに外反のみ。	1/9	
70	2	PL40	11号溝	土製品	径3.2×孔径0.9	酸化	にぶい橙	形状異に粘土巻き付けにより製作。円形土師。	定形
70	3	PL40	11号溝	土製品	長4.3×径1.6×孔径0.4	酸化	灰黒黄色	長軸方向にへラ磨き。	定形
70	4	PL40	14号溝	土師部環	(12.2) × (8.8) × (3.1)	酸化	にぶい橙	口縁部輪軸で、底面へラ磨り。内面スス、油煙、打芯痕あり。灯明筒。混入遺物。	1/4
70	5	PL40	14号溝	土師部環	(12.0) × (7.8) × (2.9)	酸化	にぶい橙	口縁部輪軸で、底面へラ磨り。内面スス、油煙、打芯痕あり。灯明筒。混入遺物。	1/5
86	1	PL40	31B-9	網磨部	(14.0) × (6.6) × (4.6)	灰白	磨面。口縁部外面および内面輪軸。	L/5	
86	2	PL40	32K-10	網磨部	- × - × -	灰白色	磨面。軸 オリーブ灰色。	口縁片	
86	3	PL40	32D-9	灯明筒	(7.7) × (5.5) × 2.2	Lにぶい黄棕色	縦戸突蓋部。	L/2	
86	4	PL40	31N-9	網磨部	- × (9.0) × -	浅灰色	底面石臼輪車切り肌。体部内外面に輪軸。	底部分	
86	5	PL40	1区	古銭	径2.5×孔径0.6		寛永通宝。	定形	
86	6	PL40	30C-9	網磨	長6.2×径1.1	銅製	縦字模管貫首。明はなでらかに傾らみをもつ。各縁が加えられる。	磨首部	
86	7	PL40	第1区	網磨	長12.2×径0.9	高鉄製	軸へ塗着。環口部短欠。環口部は断面6角形。管部中に鉄線突起。	ほぼ定	
86	8	PL40	第1区	碇石	幅4.0×厚2.3	碇石製	長方形断面。四面使用。	破片	
86	9	PL40	32E-9	扁平小環	長1.7×幅1.3×厚0.5	焼結硬石炭山岩	重さ2g。碇石小。	定形	
86	10	PL40	31S-10	扁平小環	長2.1×幅1.7×厚0.5	頁岩	重さ3g。碇石小。	定形	
86	11	PL40	32E-9	扁平小環	長1.8×幅1.3×厚0.4	頁岩	重さ2g。碇石小。	定形	

#### 福島大光坊遺跡 遺物一覧表

棟号	写真	出土位置	部 類	口径	直径	厚高(m)	焼成・色調	製作技法等の特徴	残存
100	1	PL79 7区1位	土師部環	(11.0) × - × -	酸化	棕色	口縁部内面磨面をもち、磨面、外面磨面をもち、体部と半外周磨面をもち、下平石研ぎをもち。	L/2	
100	2	PL79 7区1位	土師部環	- × - × -	酸化	にぶい橙	台付き定形破片。	底部分	
100	3	PL79 7区1位	土師部環	(13.4) × - × -	酸化	にぶい橙	S字口縁台付き。口縁部輪軸で、体部上半左削ハケ目。下半右削ハケ目。	L/3	
101	1	PL79 7区2位	土師部環	(14.0) × - × -	酸化	灰褐色	S字口縁。断面ハケ目上に磨面による凹面が加えられる。	口縁片	
101	1	PL79 2区4位	土師部環	11.5×7.1×3.4	酸化	にぶい橙	口唇部短く外反、口唇部内面に凹面が深る。口縁部輪軸で、底面へラ磨り。中央にくぼみ。	定形	
101	2	PL79 2区4位	土師部環	(12.2) × (9.0) × 2.9	酸化	棕色	口縁部輪軸で、わずかに後方に傾る。体部に指頭部。底面へラ磨り。	L/3	

103	3	PL79	2区4位	土師器 坏	(10.8) × (6.6) × 3.1	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、底部へ丸がり、縁辺は明確な線を形成する。	1/8
103	4	PL79	2区4位	土師器 坏	12.4 × 8.2 × 3.5	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、わずかに縁を形成する。底部へ丸がり。	1/1
103	5	PL79	2区4位	土師器 坏	(12.2) × (9.4) × 3.0	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、底部へ丸がり。	1/8
103	6	PL79	2区4位	土師器 坏	(12.0) × (8.0) × (3.0)	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、	口縁片
103	7	PL79	2区4位	土師器 坏	12.4 × 7.8 × 3.0	酸化	褐色	口縁部隆起で、底部へ丸がり。底内面に黒着。	1/1
103	8	PL79	2区4位	土師器 坏	- × - × -	酸化	褐色	底部内面に黒着。	底部片
103	9	PL79	2区4位	土師器 坏	- × - × -	酸化	褐色	底部内面に黒着。	底部片
103	10	PL79	2区4位	土師器 香合	胴径14.3	酸化	ぶい・褐色	体部外面へ丸みで後、短促へ丸まり。	底部片
103	11	PL79	2区4位	土師器 鉢	- × (8.0) × -	酸化	ぶい・黄褐色	底部はやや台状を呈する。内面磨き滑しい。	底部片
104	1	PL79	10区1位	土師器 坏	(12.3) × (9.6) × 3.2	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、体部に指摺による凹溝。底部へ丸がり。	1/4
104	2	PL79	10区1位	土師器 坏	12.6 × 10.6 × 3.4	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、体部短縮状。底部へ丸がり。	ほぼ定
105	1	PL79	10区2位	土師器 坏	12.7 × 9.7 × 3.3	酸化	ぶい・褐色	口縁部やや内縮まり、横溝で、	2/3
106	1	PL79	10区3位	須恵器 碗	- × 6.0 × -	還元	灰白色	右回転糸切り痕。	底部片
106	2	PL79	10区3位	石製品	幅8.5 × 厚5.7	デイトラ雲母灰岩		被熱により威折する。カマド縁石。	鏡片
107	1	PL79	10区4位	須恵器 坏	- × 5.5 × -	還元	ぶい・褐色	右回転糸切り痕。内面内裏加磨。	底部片
107	2	PL79	10区10位	石製品	長11.4 × 幅10.5 × 厚3.0	粗粒輝石安山岩		扁平円盤。カマド構築材か。重き490g。	定形
108	1	PL79	10区5位	土師器 坏	12.3 × 9.3 × 3.4	酸化	褐色	口縁部隆起で、底部へ丸がり。	2/3
108	2	PL79	10区5位	土師器 坏	(12.2) × (7.8) × (3.7)	酸化	褐色	口縁部隆起で、	口縁片
108	3	PL79	10区5位	土師器 坏	(12.0) × - × 3.0	酸化	褐色	口縁部隆起で、	口縁片
108	4	PL79	10区5位	土師器 鉢	(15.5) × - × -	酸化	褐色	口縁部隆起で。体部横へ丸がり。	口縁片
108	5	PL79	10区5位	石製品	長23 × 幅7 × 厚4.2	かんらん岩		体状塊。2/3程度酸化する。カマド支脚として使用か。重き1200g。	定形
109	1	PL79	10区6位	土師器 坏	(13.0) × - × -	酸化	褐色	口縁部隆起で、体部横へ丸がり。	口縁片
110	1	PL79	10区7位	土師器 坏	11.9 × 8.3 × 3.3	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、下に凹部が深る。底部へ丸がり。	定形
110	2	PL79	10区7位	須恵器 碗	- × - × -	還元	灰白色	口縁部。	口縁片
110	3	PL79	10区7位	須恵器 碗	- × 6.8 × -	還元	明褐色	高台は扁平で丸みをもつ。	底部片
113	1	PL79	1号瀬立	土師器 釜	- × 10.4 × -	酸化	ぶい・褐色	底部はわずかに台状で、底部は凹底を呈する。体部外縁横へ丸まり後、丸まり着。	1/8
120	1	PL80	2区22上	土師器 鉢	(18.7) × - × -	酸化	ぶい・褐色	口縁部浅溝を帯びて外反。底部内面に指摺部。	口縁片
120	2	PL80	2区24上	須恵器 碗	13.0 × 7.0 × 2.8	還元	灰白色	右回転糸切り痕。高台粘り付け位置は中央よりややずれる。	定形
120	3	PL80	2区24上	須恵器 碗	- × (8.0) × -	還元	灰白色	体部下高台粘り付け部に横をもつ。	底部片
120	4	PL80	2区24上	土師器 鉢	(20.0) × - × -	酸化	褐色	コノ字口縁。体部外縁隆起で、	口縁片
120	5	PL80	2区24上	土師 鉢	長5.1 × 径1.8 × 孔径0.4	酸化	ぶい・褐色	長軸方向にへ丸がり。	定形
120	6	PL80	2区24上	土師器 鉢	(15.3) × - × -	酸化	浅黄褐色	S字口縁の器。	口縁片
120	7	PL80	10区7上	土師器 坏	(13.0) × - × 3.0	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、体部外面指摺部、底部へ丸がり。	1/8
120	8	PL80	10区11上	土師器 坏	(13.0) × - × 4.2	酸化	ぶい・褐色	口縁部隆起で、体部外面横へ丸がり。底部に横をもつ。	底部片
120	9	PL80	2区31上	土師器 鉢	- × 5.3 × -	酸化	ぶい・黄褐色	底部縁部に絶上帯を帯り付け台状の体部を形成。	底部片
120	10	PL80	10区13上	須恵器 碗	- × (6.2) × -	還元	灰白色	高台はやや丸みをもつ。夫塚2号変式類。	底部片
121	11	PL80	2区32上	土師器 鉢	(12.0) × - × -	酸化	浅黄褐色	S字口縁。口縁隆起で、体部上平右・左斜ハケ目、下平左・右斜ハケ目。	1/8
121	12	PL80	2区32上	土師器 鉢	(14.0) × - × -	酸化	浅黄褐色	S字口縁。口縁隆起で、体部上平右・左斜ハケ目。	口縁片
121	13	PL80	2区32上	土師器 鉢	- × - × -	酸化	黄灰色	S字口縁。	口縁片
121	14	PL80	2区32上	土師器 鉢	- × (8.6) × -	酸化	ぶい・褐色	S字口縁台付き妻台部。縁部は短く折り返し。	底部片
121	15	PL80	2区32上	土師器 鉢	- × - × -	酸化	明黄褐色	台付き妻台部。体部、底部隆起部。	底部片
121	16	PL80	2区32上	土師器 鉢	- × (8.5) × -	酸化	ぶい・赤褐色	S字口縁台付き妻台部。縁部は短く折り返し。	底部片
121	17	PL80	2区32上	土師器 鉢	- × - × -	酸化	ぶい・褐色	台付き妻台部。体部、底部隆起部。	底部片
121	18	PL80	2区42上	土師器 鉢	14.7 × - × 5.3	酸化	ぶい・褐色	内面指摺状突起。口縁部外面指摺着。底部縁より、着き。体部に幾度浅凹孔あり。	定形
121	19	PL80	2区42上	土師器 高坏	- × - × -	酸化	ぶい・褐色	断面外面横へ丸まり。体部、断面下部欠。	断面片
121	20	PL80	2区42上	土師器 鉢	(14.0) × - × -	酸化	浅黄褐色	S字口縁の器。	口縁片
121	21	PL80	2区42上	土師器 鉢	(10.2) × - × -	酸化	浅黄褐色	S字口縁台付き妻。口縁部隆起で、体部上平右・左斜ハケ目。	口縁片
121	22	PL80	2区42上	土師器 鉢	- × - × -	酸化	ぶい・褐色	S字口縁台付き妻。口縁隆起で、体部上平右・左斜ハケ目、下平左・右斜ハケ目。	1/4
121	23	PL80	7区9上	土師器 鉢	14.8 × - × -	酸化	淡青色	S字口縁台付き妻。口縁隆起で、体部上平右・左斜ハケ目、下平左・右斜ハケ目。	ほぼ定
121	24	PL80	7区10上	土師器 鉢	(15.7) × 5.5 × 16.4	酸化	褐色	口唇部隆起で、口縁部から体部上平ハケ目。体部下平へ丸がり。底部凹底。	1/2
121	25	PL80	7区14上	土師器 鉢	(13.1) × - × -	酸化	ぶい・褐色	S字口縁。	口縁片
121	26	PL80	7区19上	須恵器 碗	- × (6.2) × -	還元	灰白色	右回転糸切り痕。	底部片
121	27	PL80	7区14上	土師器 坏	(14.0) × - × 3.4	酸化	褐色	口縁部隆起で、底部へ丸がり。	1/3
121	28	PL80	7区14上	土師器 坏	(13.6) × - × 3.0	酸化	褐色	やや扁平。口縁部隆起で、	1/3
121	29	PL80	7区14上	石製品	長16.6 × 幅11.2 × 厚4.7	石炭質輝岩		扁平環。縁部に指摺が加工えられる。重き1250g。	定形
121	30	PL80	7区14上	石製品	長26 × 幅14 × 厚5.5	粗粒輝石安山岩		中央部に凹溝部。重き2840g。	定形
123	1	PLA1	2区52上	須恵器 碗	- × (7.0) × -	還元	灰白色	右回転糸切り痕。	1/3
124	1	PLA1	1号丹井	土師器 鉢	(18.4) × - × -	酸化	褐色	口縁部隆起で、体部丸みをもち、横へ丸がり。	1/6
124	2	PLA1	1号丹井	須恵器 碗	13.7 × 6.3 × 4.0	還元	灰白色	浅径凹形。体部内外面に油輪。先9圧1号変式類。	2/3
124	3	PLA1	1号丹井	須恵器 碗	(14.6) × (7.0) × (5.1)	還元	灰白色	浅径凹形。体部内外面に油輪。先9圧1号変式類。	1/4
124	4	PLA1	1号丹井	須恵器 碗	13.5 × 6.5 × 5.8	還元	黄灰色	右回転糸切り痕。内面内裏に滑りより黒化。	2/3
124	5	PLA1	1号丹井	須恵器 碗	- × 6.7 × -	還元	灰白色	高台扁平。	底部片



# 写 真 图 版





2区中世館を上空から望む



1 2区4面を上空から望む



2 2区7面を上空から望む



1 2区7面水田(南東から)



2 2区7面水田調査状況



1 2区3面南垣(繪)



2 2区3面南垣土层断面



1 2区3面北堀(敵)



2 2区3面北堀土層断面



1 2区4面水田（北西から）

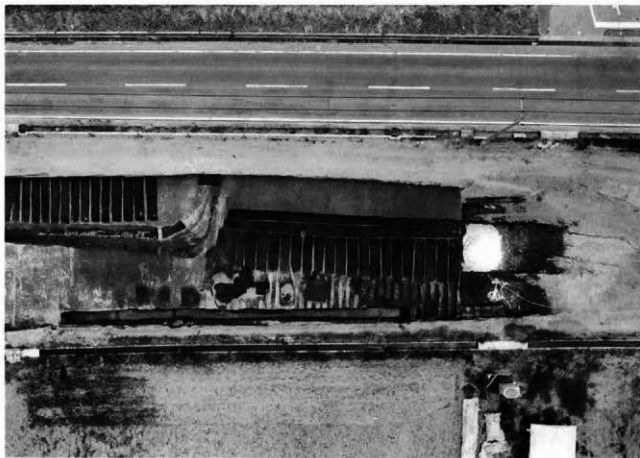


2 2区4面水田（南東から）

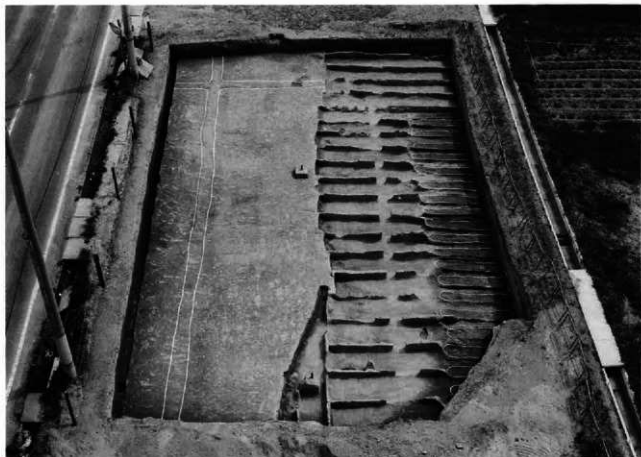




1 2区1面 空撮



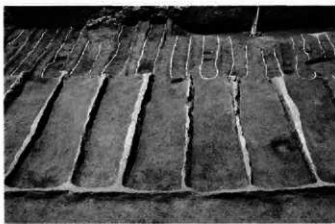
2 2区1面 空撮



1 2区火山灰復旧溝



2 2区水田



3 2区火山灰復旧溝



4 洪水砂復旧溝



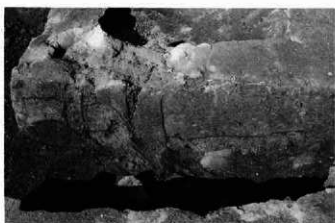
5 2区復旧溝掘削工具痕



1 2区1号住居(北から)



2 2区1号住居カマド(南から)



3 2区1号住居カマド(北から)



4 2区1号住居カマド全景



5 2区1号住居カマド遺物出土



1 2区2号住居（西から）



2 2区2号住居（東から）



3 2区2号住居土層断面（東から）



4 2区2号住居土層断面（東から）



5 2区2号住居土層断面（東から）



1 2区3号住居（北西から）



2 2区3号住居遺物出土状態



3 2区3号住居遺物出土状態



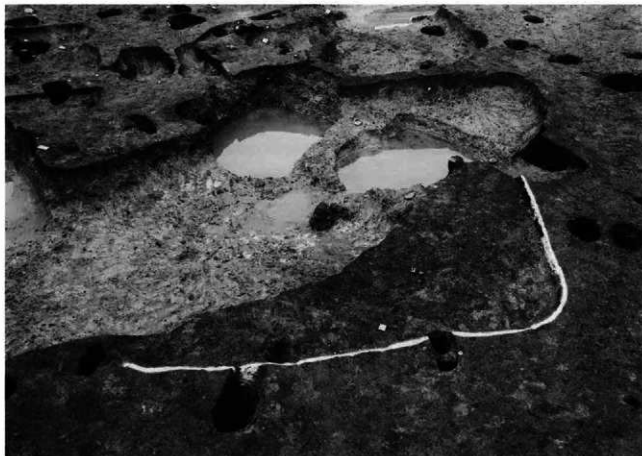
4 2区3号住居遺物出土状態



5 2区3号住居遺物出土状態



1 2区4号住居（西から）



2 2区5号住居（西から）



1 2区6号住居（西から）



2 2区6号住居遺物出土状態



3 2区6号住居遺物出土状態



4 2区90号土坑・3号井戸土層



5 2区6号住居土層断面



1 2区7号住居（西から）



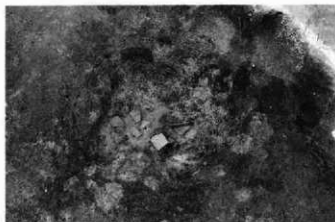
2 2区7号住居カマド遺物出土状態



3 2区7号住居遺物出土状態

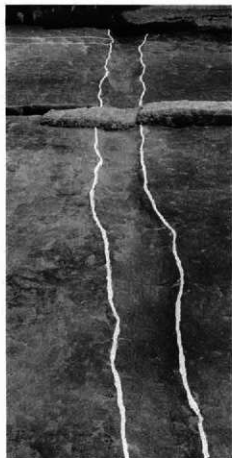


4 2区7号住居遺物出土状態



5 2区7号住居貯蔵穴





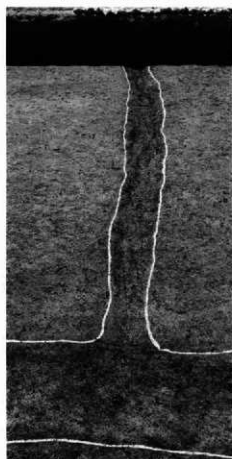
1 2区3号溝 (西から)



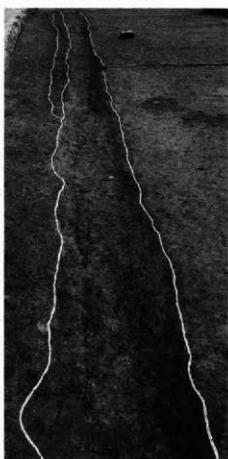
2 2区4号溝 (西から)



3 2区8号溝 (東から)



4 2区9号溝 (東から)



5 2区10号溝 (北から)



6 2区11号溝 (東から)



1 2区12号溝・13号溝（北西から）



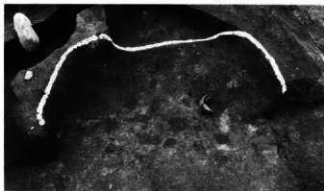
2 2区14号溝（南西から）



3 2区17号溝（南西から）



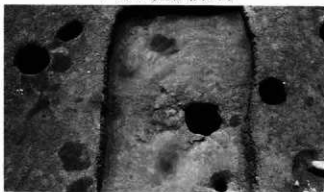
4 2区20号溝（西から）



1 2区2号土坑(西から)



2 2区2号土坑遺物出土状態



3 2区4号土坑(北から)



4 2区4号土坑土層断面



5 2区5号土坑(北から)



6 2区5号土坑土層断面



7 2区6号土坑(東から)



8 2区6号土坑土層断面



9 2区7号土坑(東から)



10 2区7号土坑土層断面



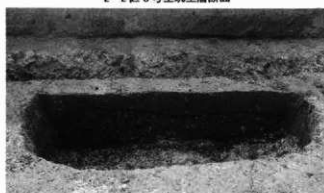
1 2区8号土坑 (東から)



2 2区8号土坑土層断面



3 2区9号土坑 (東から)



4 2区9号土坑土層断面



5 2区11号・19号土坑 (南から)



6 2区11号・19号土坑土層断面



7 2区12号土坑 (南から)



8 2区12号土坑土層断面



9 2区13号土坑 (北西から)



10 2区13号土坑土層断面



1 2区14号土坑(南から)



2 2区14号土坑土層断面



3 2区15号土坑(南から)



4 2区15号土坑土層断面



5 2区16・23・26・27号土坑



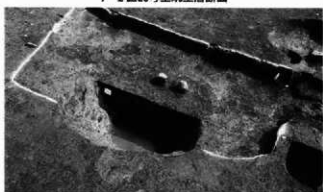
6 2区16号土坑土層断面



7 2区23号土坑土層断面



8 2区26号土坑土層断面



9 2区17・69号土坑(北から)



10 2区17・69号土坑土層断面



1 2区土坑群(北から)



2 2区土坑群(東から)



3 2区18・19・33号土坑土層断面



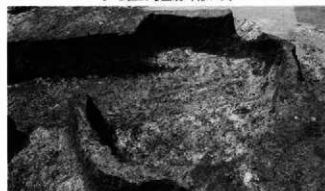
4 2区29・31号土坑土層断面



5 2区20号土坑(北から)



6 2区20号土坑土層断面



7 2区34号土坑(南から)



8 2区34号土坑土層断面



9 2区36・39号土坑(東から)



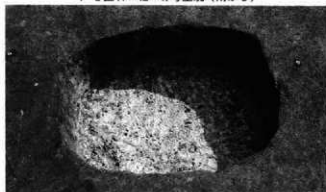
10 2区39・44号土坑土層断面



1 2区41・42・47号土坑(南から)



2 2区41・42号土坑土層断面



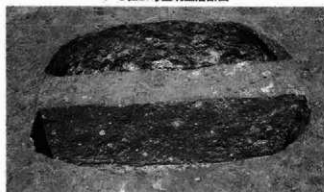
3 2区21号土坑(北から)



4 2区21号土坑土層断面



5 2区22号土坑(南から)



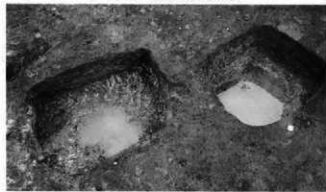
6 2区22号土坑土層断面



7 2区24・25号土坑土層断面



8 2区28号土坑土層断面



9 2区27・84号土坑(東から)



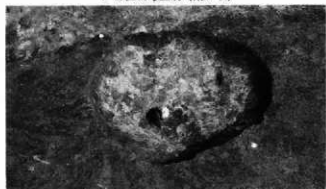
10 2区84号土坑土層断面



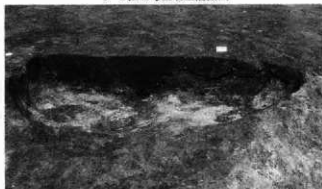
1 2区43号土坑 (南から)



2 2区43号土坑土層断面



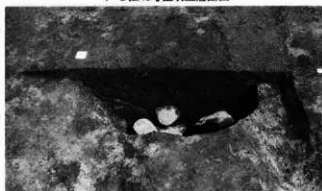
3 2区48号土坑 (西から)



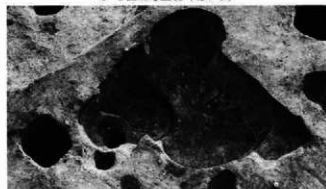
4 2区48号土坑土層断面



5 2区49号土坑 (北から)



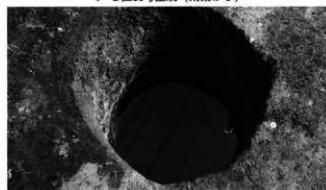
6 2区49号土坑土層断面



7 2区50号土坑 (南東から)



8 2区50号土坑土層断面

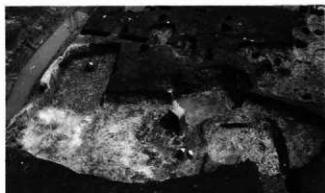


9 2区51号土坑 (南から)



10 2区51号土坑土層断面





1 2区52・54・55・58・62号土坑



2 2区52・54号土坑土層断面



3 2区55号土坑土層断面



4 2区54号土坑土層断面



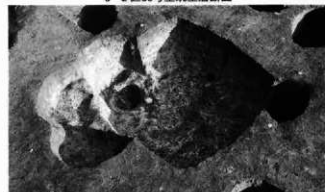
5 2区58号土坑（北から）



6 2区56号土坑土層断面



7 2区58号土坑土層断面



8 2区59号土坑（北西から）



9 2区61・62・64号土坑（北東から）



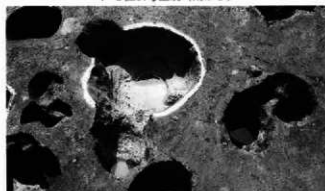
10 2区62号土坑土層断面



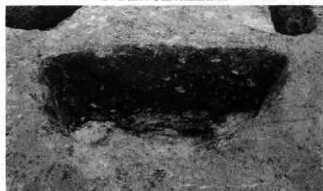
1 2区61号土坑(南から)



2 2区61号土坑土層断面



3 2区63号土坑(北から)



4 2区63号土坑土層断面



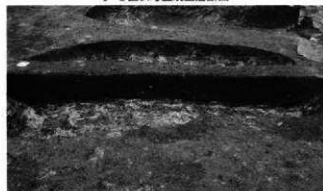
5 2区64号土坑(南から)



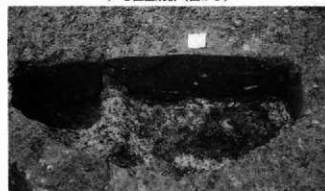
6 2区64号土坑土層断面



7 2区土坑群(西から)



8 2区65号土坑土層断面



9 2区91号土坑土層断面



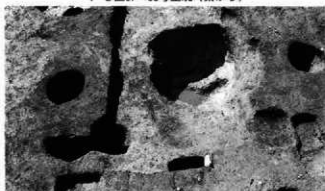
10 2区93・94・95号土坑(南から)



1 2区67・68号土坑(東から)



2 2区67・68号土坑土層断面



3 2区69号土坑(南から)



4 2区70・71号土坑(東から)



5 2区72号土坑遺物出土状態



6 2区72号土坑土層断面



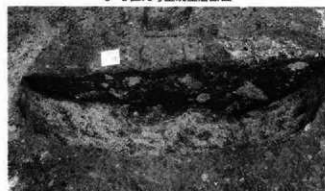
7 2区73号土坑(南から)



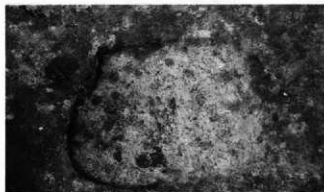
8 2区73号土坑土層断面



9 2区74号土坑土層断面



10 2区75号土坑土層断面



1 2区76号土坑 (南から)



2 2区76号土坑土層断面



3 2区77・78・79号土坑 (北から)



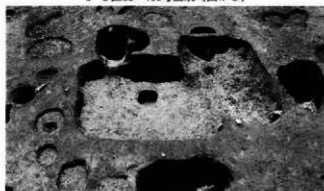
4 2区77・78号土坑土層断面



5 2区85・100号土坑 (西から)



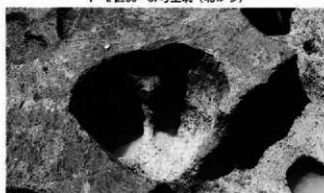
6 2区85・100号土坑土層断面



7 2区86・87号土坑 (北から)



8 2区86・87号土坑土層断面



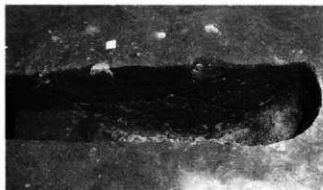
9 2区88号土坑 (北から)



10 2区88号土坑土層断面



1 2区89号土坑(西から)



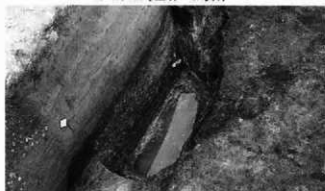
2 2区89号土坑土層断面



3 2区90号土坑・3号井戸



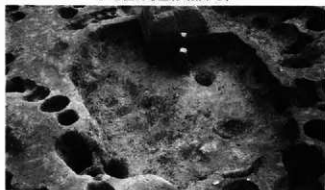
4 2区90号土坑・3号井戸土層



5 2区98号土坑(東から)



6 2区98号土坑土層断面



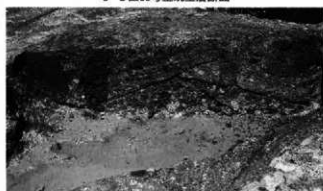
7 2区99号土坑(北から)



8 2区99号土坑土層断面



9 2区101号土坑(西から)



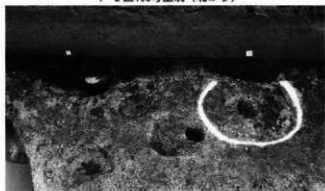
10 2区101号土坑土層断面



1 2区103号土坑 (北から)



2 2区103号土坑土層断面



3 2区123・104号土坑 (西から)



4 2区104号土坑土層断面



5 2区107号土坑 (南西から)



6 2区107号土坑土層断面



7 2区108号土坑 (西から)



8 2区108号土坑土層断面



9 2区111号土坑 (北西から)



10 2区111号土坑土層断面



1 2区112号土坑・37ピット(南から)



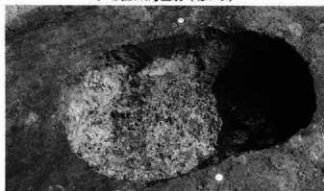
2 2区112号土坑土層断面



3 2区113号土坑(北から)



4 2区116号土坑土層断面



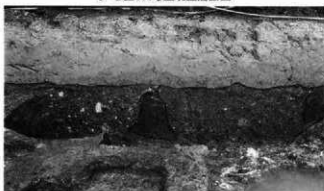
5 2区114号土坑(北西から)



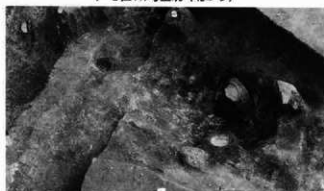
6 2区114号土坑土層断面



7 2区117号土坑(北から)



8 2区121・122号土坑土層断面



9 2区126号土坑(北西から)



10 2区126号土坑土層断面



1 2区128・129号土坑（南から）



2 2区129号土坑遺物出土状態



3 2区128号土坑遺物出土状態



4 2区128号土坑遺物出土状態



5 2区130号土坑（東から）



6 2区130号土坑遺物出土状態



7 2区130号土坑土層断面



8 2区130号土坑遺物出土状態



9 2区131号土坑土層断面



10 2区134号土坑（北から）





1 2区133号土坑(西から)



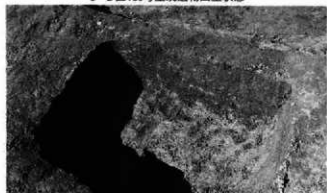
2 2区133号土坑土層断面



3 2区136号土坑遺物出土状態



4 2区136号土坑土層断面



5 2区138号土坑土層断面



6 2区139号土坑土層断面



7 2区5号ピット(南から)



8 2区9・10号ピット(南から)



9 2区12号ピット(南東から)



10 2区13号ピット(南から)



1 2区15号ピット (南西から)



2 2区16号ピット (南から)



3 2区18・19号ピット (南から)



4 2区21号ピット (南から)



5 2区25・25号ピット (南から)



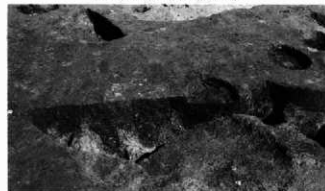
6 2区27号ピット (西から)



7 2区28号ピット (南から)



8 2区29・30号ピット (南から)



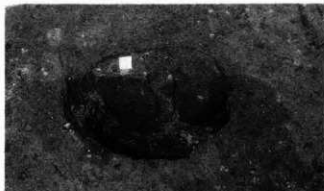
9 2区32・33・35号ピット (南から)



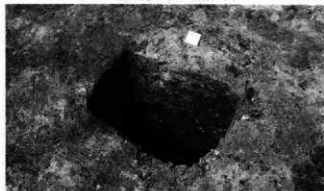
10 2区40号ピット (南東から)



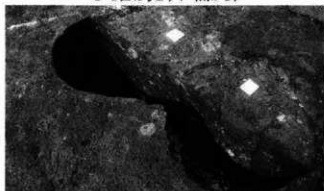
1 2区41号ピット(東から)



2 2区48号ピット(南から)



3 2区50号ピット(南から)



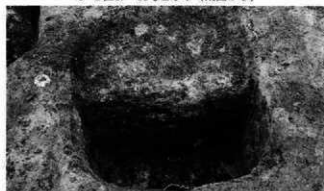
4 2区54・55号ピット(南西から)



5 2区57・58号ピット(南西から)



6 2区59号ピット(南から)



7 2区62号ピット(南から)



8 2区65・66・67号ピット(南から)



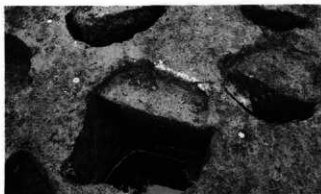
9 2区69・87号ピット(南から)



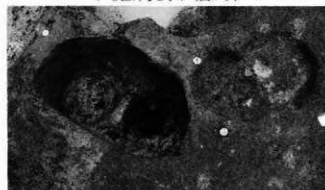
10 2区73号ピット(南から)



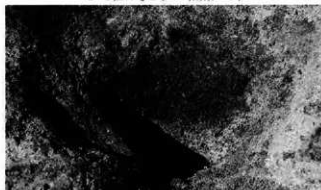
1 2区76号ピット (西から)



2 2区77号ピット (南東から)



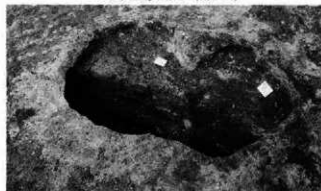
3 2区82号ピット (南から)



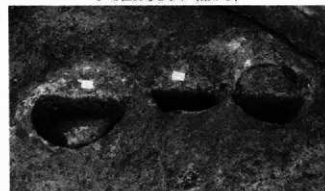
4 2区89号ピット (南から)



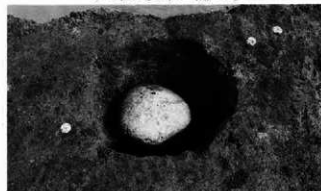
5 2区90号ピット (東から)



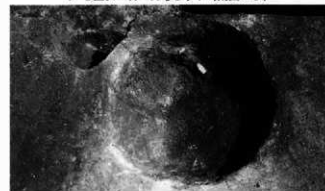
6 2区93号ピット (南から)



7 2区94・96・98号ピット (南西から)



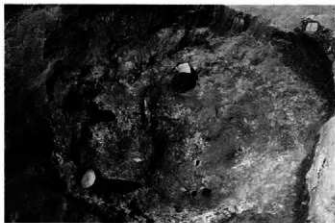
8 2区104号ピット (南から)



9 2区112号ピット (西から)



10 2区83・84・85・86号ピット



1 1区1号井戸 (東から)



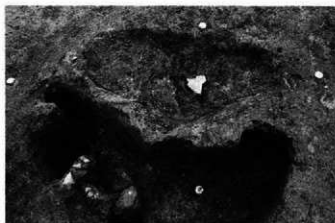
2 2区2号井戸 (東から)



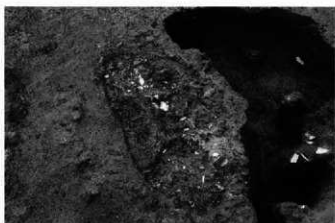
3 2区1号墓墳 (東から)



4 2区1号墓墳掘り方 (東から)



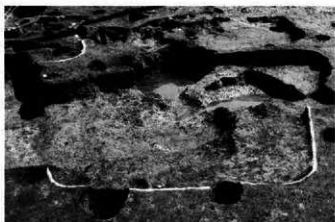
5 2区2号墓墳 (西から)



6 2区2号墓墳 (北から)



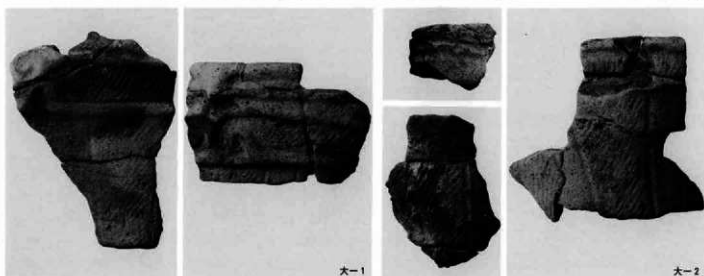
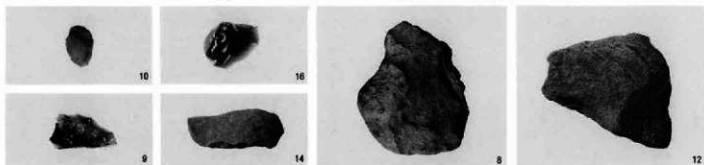
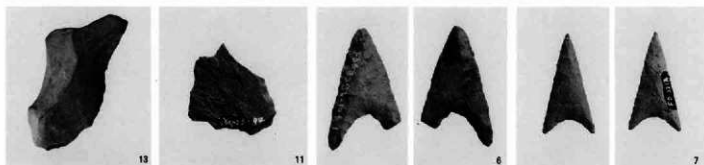
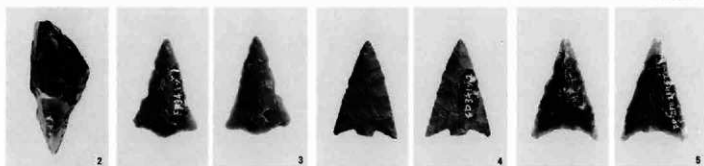
7 2区2号竪穴遺構



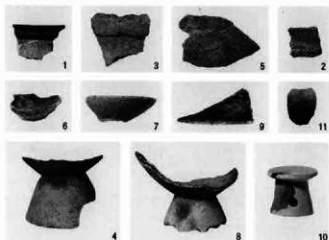
8 2区3号竪穴遺構



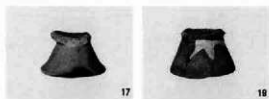
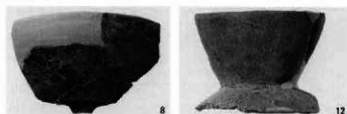
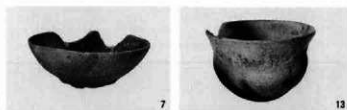
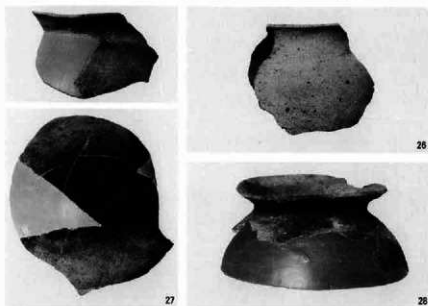
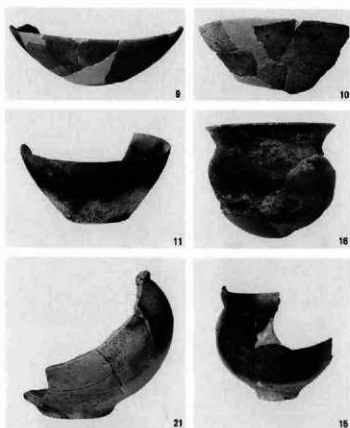
福島久保田

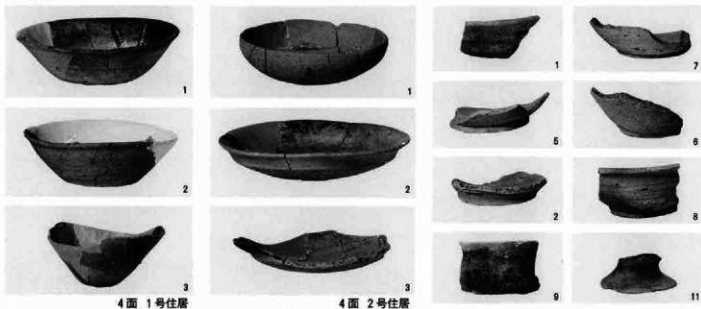


福島大光坊



7面 グリッド



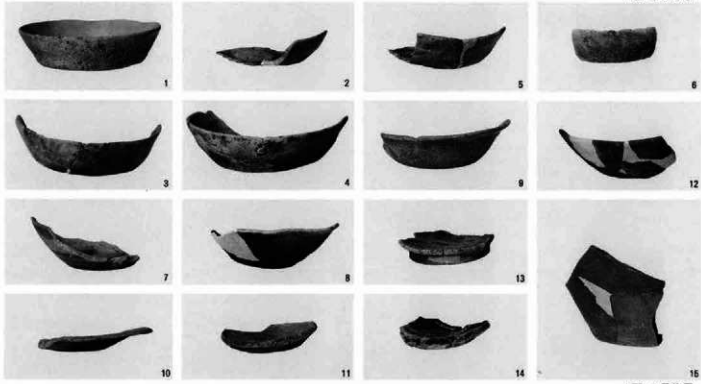


4面 1号住居

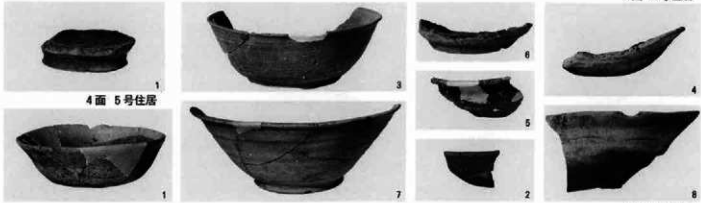
4面 2号住居



4面 3号住居



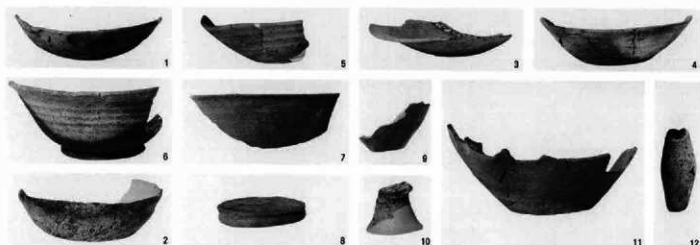
4面 4号住居



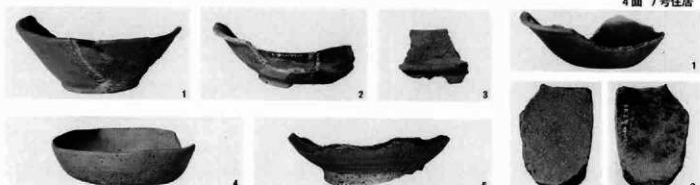
4面 5号住居

4面 6号住居



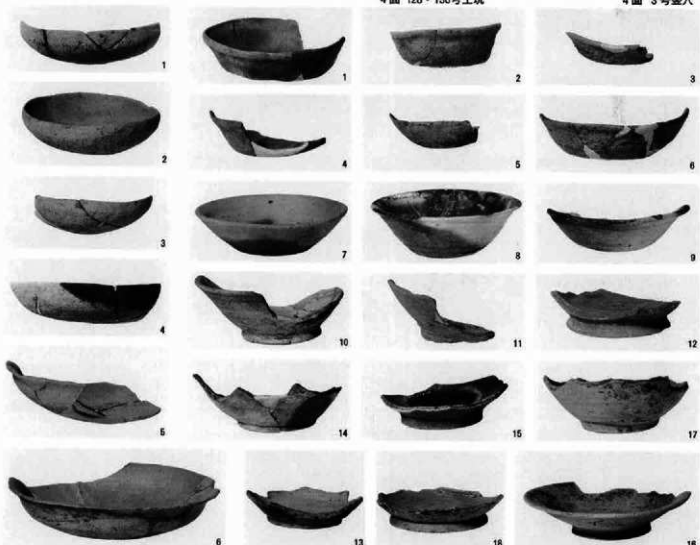


4面 7号住居



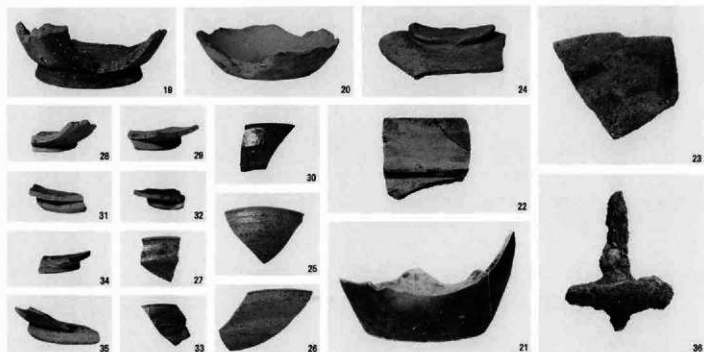
4面 128・136号土坑

4面 3号壁穴

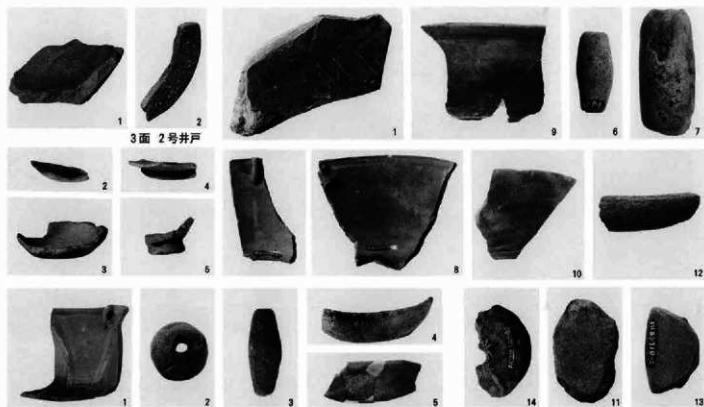


4面 1号井戸

4面 グリッド



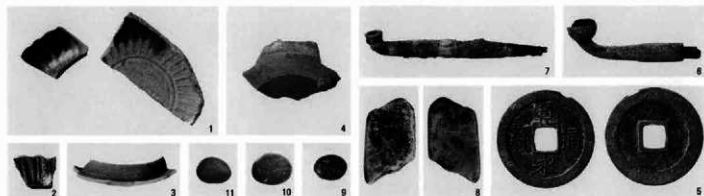
4面 グリッド



3面 2号井戸

3面 11・14号溝

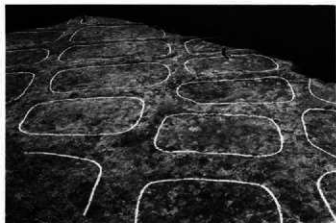
3面 グリッド



1面 グリッド



1 2区7面水田



2 3区7面水田



3 6区7面水田



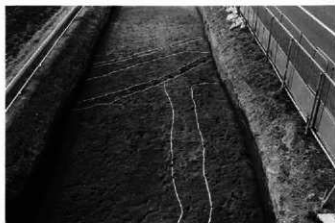
4 6区7面水田



5 4区7面水田



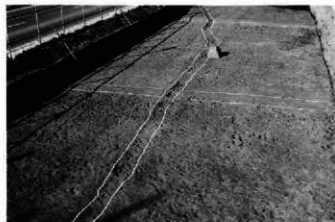
1 1区4面水田 (南から)



2 1区4面水田 (北から)



3 2区4面水田



4 2区4面水田



5 2区4面水田



6 7区4面水田



7 7区4面水田



8 7区4面水田 (南から)



1 2区3面水田 (東から)



2 2区3面水田 (北から)



1 7区1号住居（西から）



2 7区1号住居掘り方（西から）



3 10区1号住居（西から）



4 10区1号住居掘り方（西から）



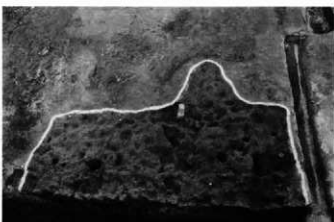
5 7区2号住居掘り方（西から）



6 10区2号住居（南から）



7 2区3号住居掘り方（西から）



8 10区3号住居掘り方（西から）



1 2区4号住居（西から）



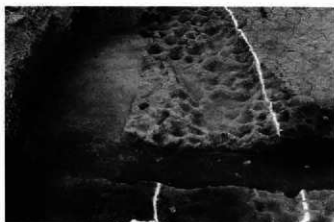
2 10区4号住居（西から）



3 10区4号住居（西から）



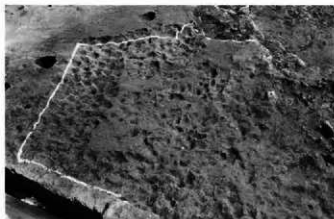
4 10区5号住居カマド掘り方



5 10区6号住居（北から）



6 10区7号住居（西から）



7 10区8号住居掘り方



8 10区9号住居掘り方



1 2区1号土坑(東から)



2 2区1号土坑土層断面



3 2区2号土坑



4 10区4号土坑土層断面



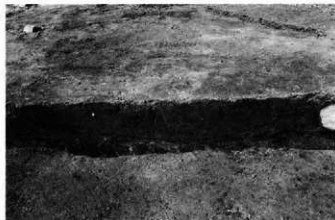
5 7区3号土坑(北から)



6 7区3号土坑土層断面



7 12区3号土坑(西から)



8 12区3号土坑土層断面





1 2区4号土坑(東から)



2 2区4号土坑土層断面



3 2区5号土坑(南から)



4 2区5号土坑土層断面



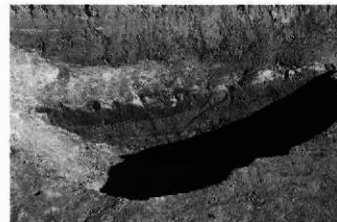
5 10区5号土坑土層断面



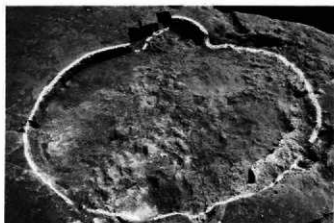
6 10区7号土坑土層断面



7 2区6号土坑(西から)



8 2区6号土坑土層断面



1 10区6号土坑(北西から)



2 10区6号土坑土層断面



3 2区7号土坑(東から)



4 2区7号土坑土層断面



5 6区8号土坑(北から)



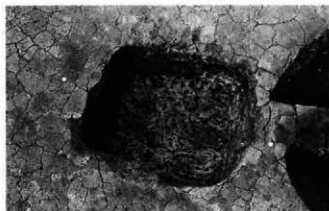
6 6区8号土坑土層断面



7 7区9号土坑(東から)



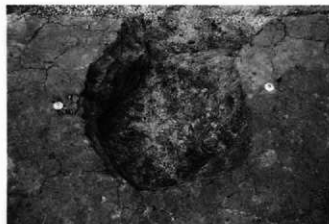
8 7区9号土坑土層断面



1 7区10号土坑(南から)



2 7区10号土坑土層断面



3 10区10号土坑(南から)



4 10区10号土坑土層断面



5 7区11号土坑(南から)



6 10区11・12号土坑(西から)



7 7区12号土坑(西から)



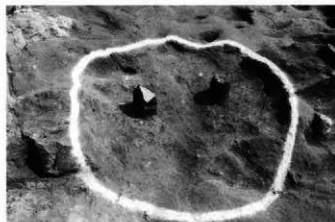
8 7区12号土坑土層断面



1 7区13号土坑 (南から)



2 7区13号土坑土層断面



3 10区13号土坑 (西から)



4 7区15号土坑 (北から)



5 7区14号土坑 (北から)



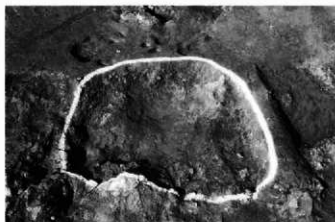
6 7区14号土坑土層断面



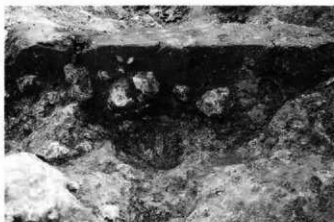
7 10区14号土坑 (西から)



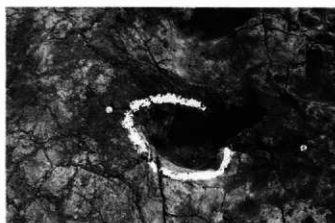
8 10区14号土坑土層断面



1 10区15号土坑 (南から)



2 10区15号土坑土層断面



3 7区16号土坑 (西から)



4 7区16号土坑土層断面



5 7区17号土坑 (東から)



6 7区17号土坑土層断面



7 7区18号土坑・32号ピット



8 7区18号土坑・32号ピット断面



1 7区19号土坑（北から）



2 7区19号土坑土層断面



3 7区20号土坑土層断面



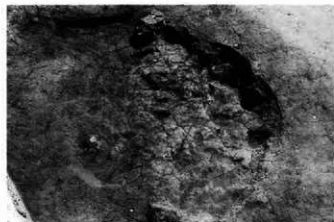
4 7区21号土坑土層断面



5 2区23号土坑（西から）



6 2区23号土坑土層断面



7 2区27号土坑（西から）



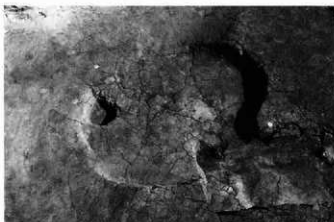
8 2区24号土坑土層断面



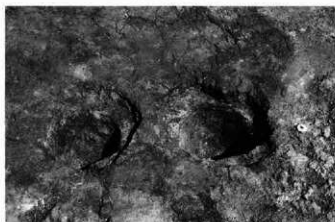
1 2区25・31号土坑 (東から)



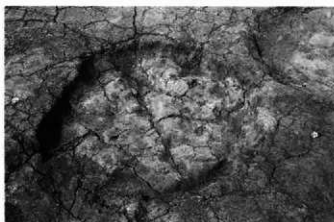
2 2区25号土坑土層断面



3 2区26号土坑 (南から)



4 10区27・28号土坑 (南から)



5 7区29号土坑 (南から)



6 7区29号土坑土層断面



7 2区30号土坑 (西から)



8 2区32号土坑土層断面



1 6区33号土坑（西から）



2 6区33号土坑土層断面



3 2区34号土坑（北から）



4 2区34号土坑土層断面



5 2区35号土坑（東から）



6 1区38号土坑（北から）

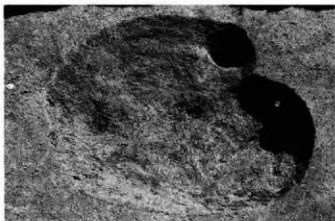


7 1区36号土坑（東から）



8 1区36号土坑土層断面

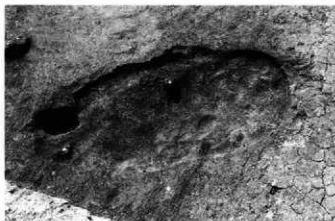




1 1区37号土坑 (北から)



2 1区37号土坑土層断面



3 1区39号土坑 (東から)



4 1区39号土坑土層断面



5 1区40号土坑 (北から)



6 1区40号土坑土層断面



7 6区41号土坑 (北から)



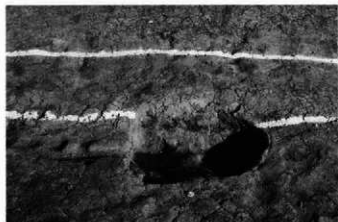
8 6区41号土坑土層断面



1 2区42号土坑 (南から)



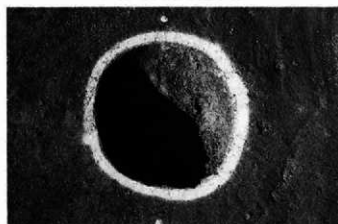
2 2区42号土坑土層断面



3 2区1号ピット (南から)



4 2区1号ピット土層断面



5 9区1号ピット (南から)



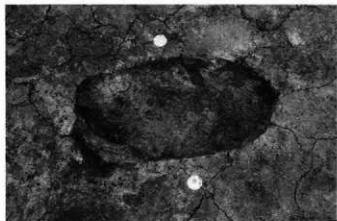
6 9区1号ピット土層断面



7 10区1号ピット (南から)



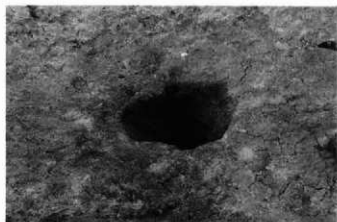
8 10区1号ピット土層断面



1 10区2号ビット(南から)



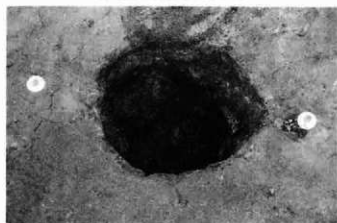
2 10区2号ビット土層断面



3 2区3号ビット(東から)



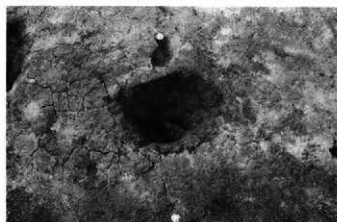
4 2区3号ビット土層断面



5 10区3号ビット(南から)



6 10区3号ビット土層断面



7 2区4号ビット(南から)



8 2区4号ビット土層断面



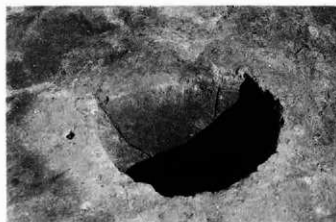
1 2区5号ピット (南から)



2 2区5号ピット土層断面



3 10区5号ピット (南から)



4 10区5号ピット土層断面



5 2区6号ピット (南から)



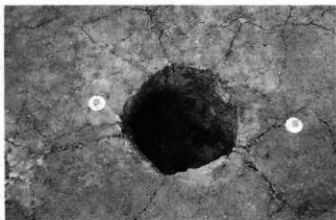
6 10区6号ピット (南から)



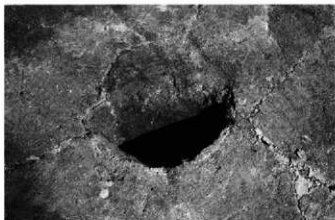
7 2区7号ピット (南から)



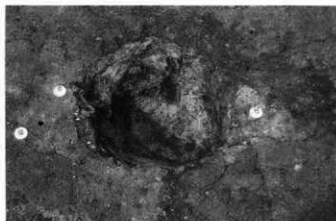
8 2区7号ピット土層断面



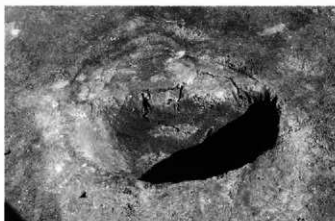
1 10区7号ピット(南から)



2 10区7号ピット土層断面



3 10区8号ピット(南から)



4 10区8号ピット土層断面



5 7区8号ピット(南から)



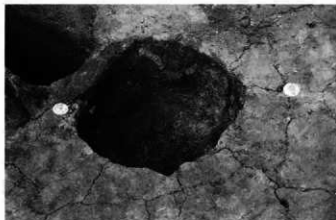
6 10区10号ピット土層断面



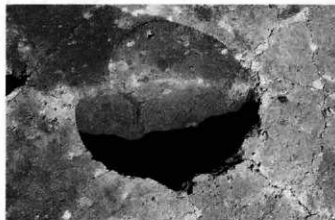
7 7区9号ピット(南から)



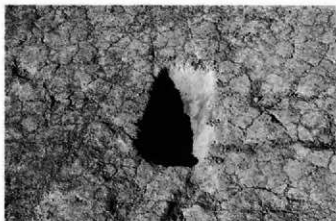
8 7区9号ピット土層断面



1 10区9号ピット (南から)



2 10区9号ピット土層断面



3 7区10号ピット (南から)



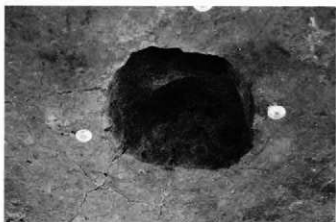
4 7区10号ピット土層断面



5 6区11号ピット (南から)



6 6区11号ピット土層断面



7 10区11号ピット (南から)



8 10区11号ピット土層断面



1 7区12号ビット(南から)



2 7区12号ビット土層断面



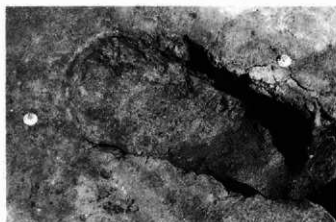
3 10区12号ビット(南から)



4 10区12号ビット土層断面



5 2区13号ビット遺物出土状態



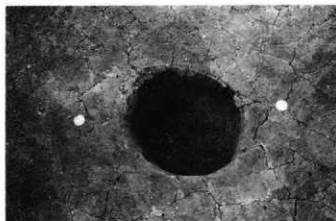
6 10区15号ビット(南から)



7 6区14号ビット(南から)



8 6区14号ビット土層断面



1 6区15号ビット(南から)



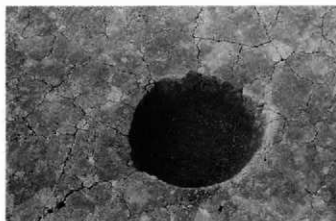
2 6区15号ビット土層断面



3 6区16号ビット(南から)



4 6区16号ビット土層断面



5 6区17号ビット(南から)



6 6区17号ビット土層断面

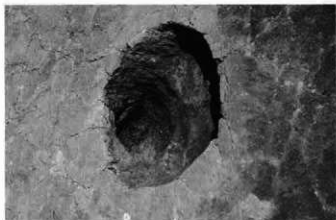


7 7区18号ビット(南から)



8 7区19号ビット土層断面

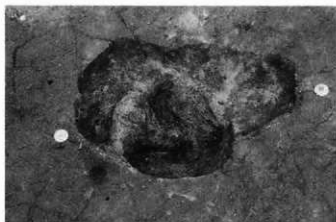




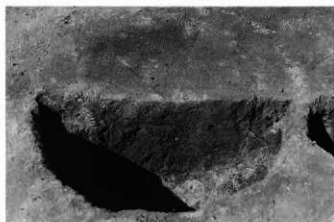
1 7区19号ピット(西から)



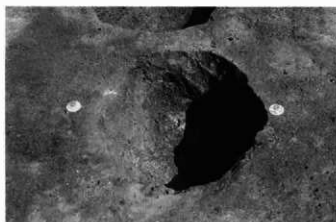
2 7区19号ピット土層断面



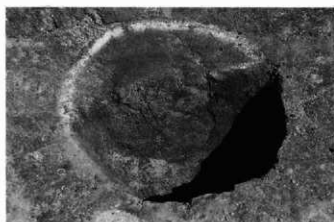
3 10区19-20号ピット(東から)



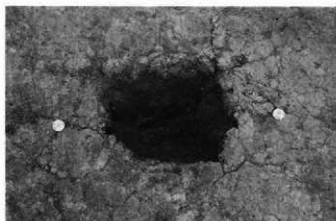
4 10区20号ピット土層断面



5 10区21号ピット(南から)



6 10区21号ピット土層断面



7 7区22号ピット(西から)



8 7区22号ピット土層断面



1 10区22号ビット土層断面



2 10区23号ビット土層断面



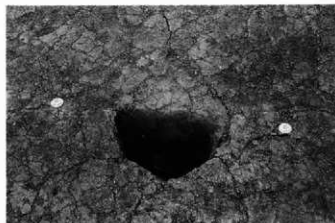
3 7区23号ビット (西から)



4 7区23号ビット土層断面



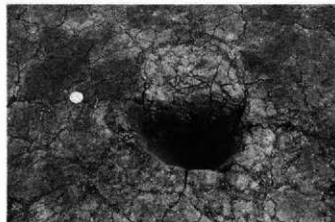
5 7区24号ビット (南から)



6 7区24号ビット土層断面



7 7区25号ビット (東から)



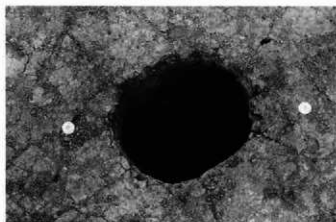
8 7区25号ビット土層断面



1 10区25号ビット土層断面



2 10区26号ビット土層断面



3 7区27号ビット(北から)



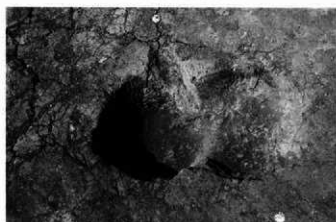
4 7区27号ビット土層断面



5 7区31号ビット(西から)



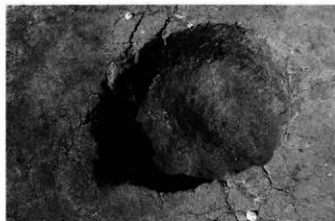
6 10区31号ビット土層断面



7 2区34号ビット(東から)



8 2区34号ビット土層断面



1 2区35号ピット(東から)



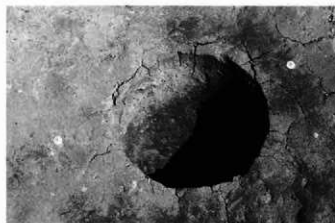
2 2区35号ピット土層断面



3 2区36号ピット(東から)



4 2区36号ピット土層断面



5 2区37号ピット(南から)



6 2区37号ピット土層断面



7 10区29号ピット(南から)



8 7区38号ピット(西から)



1 7区40号ピット(東から)



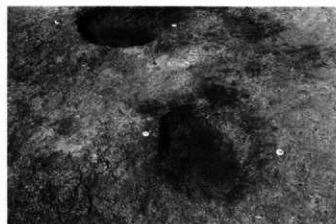
2 7区40号ピット土層断面



3 6区41・54号ピット(南から)



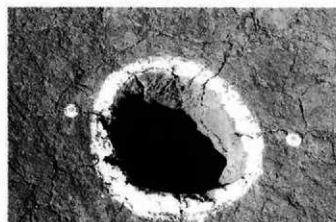
4 6区42号ピット土層断面



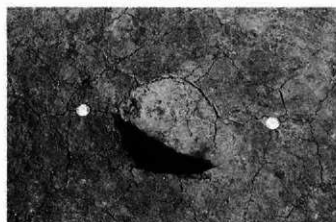
5 6区42・43号ピット(南から)



6 6区43号ピット土層断面



7 7区46号ピット(南から)



8 7区46号ピット土層断面



1 2区47号ピット遺物出土状態



2 6区54号ピット土層断面



3 2区48・49・50号ピット (南から)



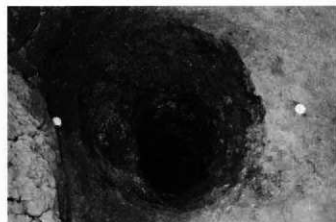
4 2区48・49・50号ピット土層断面



5 2区53号ピット (南から)



6 2区53号ピット土層断面



7 2区56号ピット (東から)



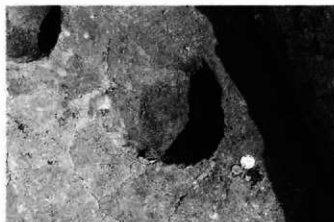
8 2区56号ピット土層断面



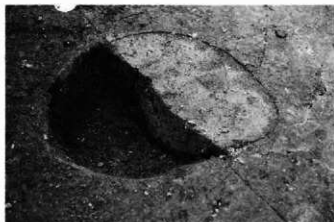
1 2区57号ピット(南から)



2 2区57号ピット土層断面



3 2区58号ピット(南から)



4 2区58号ピット土層断面



5 2区59・60号ピット(北から)



6 2区59・60号ピット土層断面



7 2区61・62号ピット(東から)



8 2区61号ピット土層断面



1 2区62号ビット土層断面



2 2区63号ビット土層断面



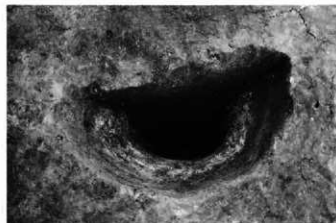
3 1区64号ビット(東から)



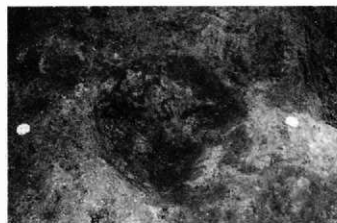
4 1区64号ビット土層断面



5 2区66号ビット(南から)



6 2区66号ビット土層断面



7 2区65号ビット(南から)



8 2区72号ビット土層断面





1 6区1号溝(西から)



2 9区2・3号溝(東から)



3 7区4号溝(東から)



4 8区5号溝(東から)



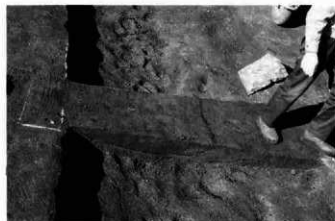
5 10区5号溝(東から)



6 3区6号溝(東から)



7 2区8号溝(東から)



8 9区8号溝(東から)



1 9区6号溝 (西から)



2 9区7号溝 (西から)



3 7区9号溝 (南から)



4 6区7号溝 (北から)



5 2区11・17号溝 (南から)



1 2区10号溝 (北から)



2 1区13・14号溝 (南から)



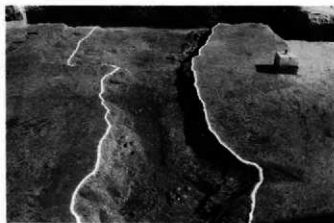
3 9区14・15・16号溝 (南から)



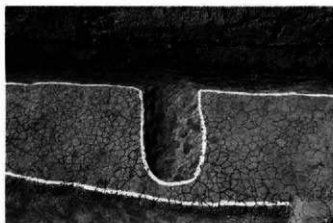
4 8区11号溝 (北東から)



5 1区12号溝 (東から)



6 10区13号溝 (西から)



7 1区15・16号溝 (東から)



1 8区17号溝 (北から)



2 10区19号溝 (東から)



3 10区21・22・23号溝 (東から)



4 3区19号溝 (南から)



5 12区20号溝 (西から)



6 1区21号溝 (東から)



7 2区24号溝 (東から)



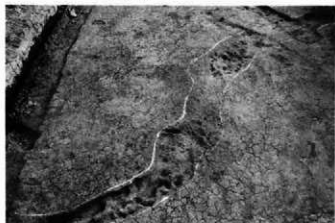
1 10区24号溝 (東から)



2 2区25号溝 (東から)



3 2区26号溝 (西から)



4 6区28号溝 (北から)



5 2区30号溝 (北から)



6 6区31・32号溝 (西から)



7 10区37・38号溝 (南から)



1 10区27号溝 (西から)



2 12区28号溝 (南から)



3 2区29号溝 (西から)



4 10区29号溝 (西から)



5 10区31号溝 (北西から)



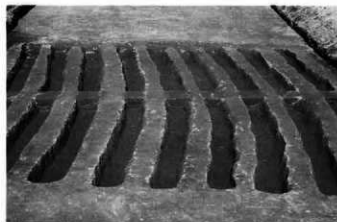
6 10区37号溝 (北から)



1 2区1号畑 (東から)



2 8区1号畑 (東から)



3 2区2号畑 (南から)



4 2区2号畑 (南から)



5 10区2号畑 (北から)



6 2区3号畑 (南から)



7 2区4号畑 (南から)



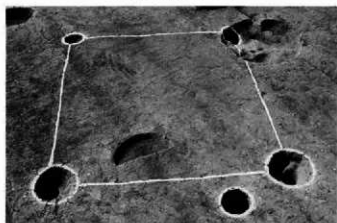
8 6区5号畑 (北から)



1 4区6号畑（東から）



2 2区7号畑（東から）



3 7区1号掘立柱建物（南から）



4 7区2号掘立柱建物（南から）



5 6区3号柱穴列（西から）



6 6区3号柱穴列土層断面



7 10区1号井戸・8号土坑（南から）



8 10区1号井戸土層断面





1



2



3



1

7区 2号住居



1



2



7

7区 1号住居



4



3



5



6



8



9



10



11

2区 4号住居



1



1



1



1



2

10区 1号住居



2

10区 3号住居



2

10区 4号住居



4



3



2



5

10区 5号住居



1

10区 2号住居



1

10区 6号住居



1



3

10区 7号住居



2



1

7区 1号掘立柱建物





2区 55号ピット



1



2



3



1

9区 14・15・16号溝



4



5



6



9



8



7



1



10



12



11

10区 1号井戸



2

6区 28号溝



1



3



2



1



4



5



7

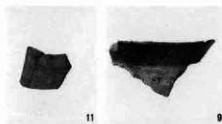


2

6区 31号溝



8



11



9

10



12



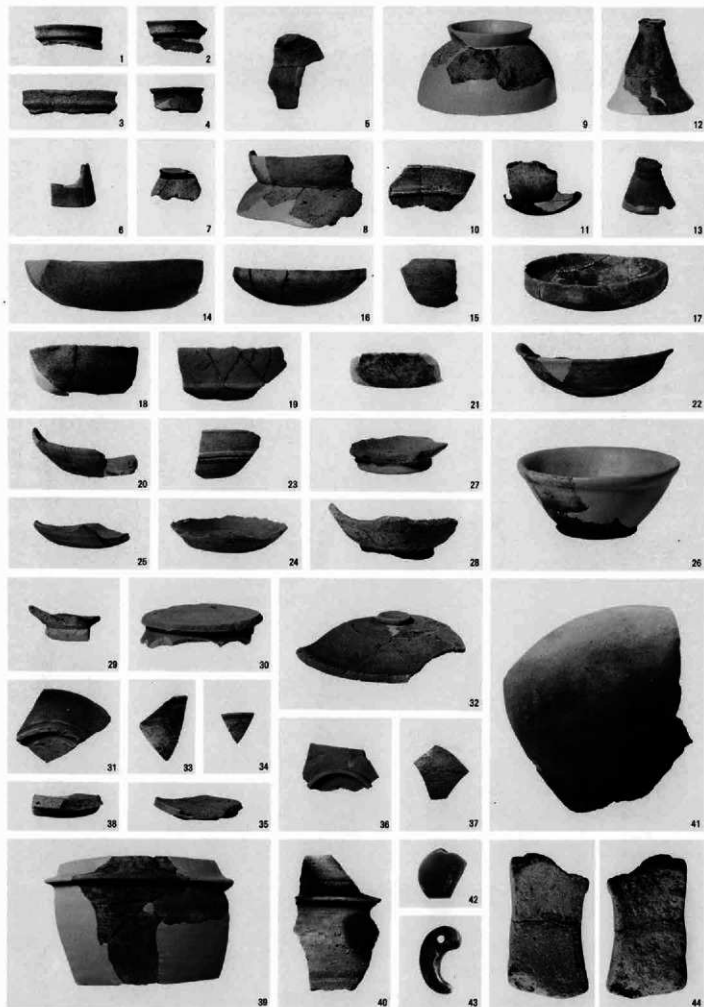
13

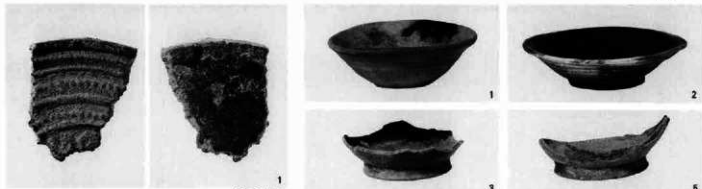


14

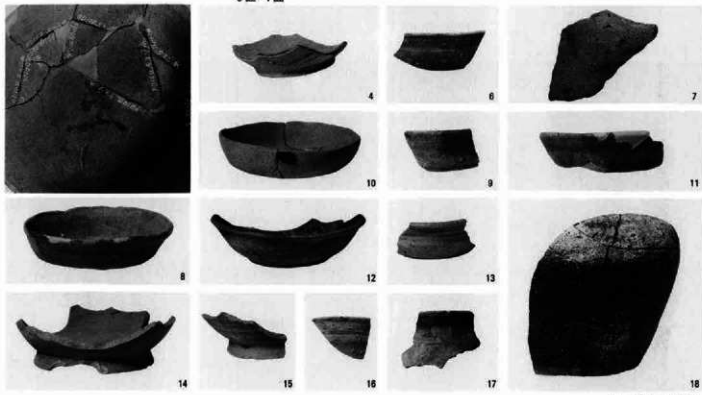
15

2区 24号溝





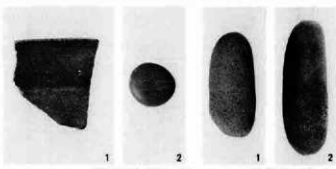
6区 4面



8・10区 5号溝

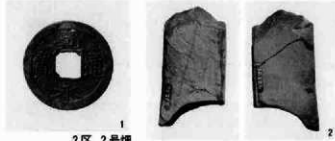


10区 22・23号溝

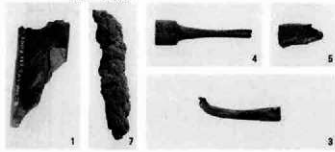


8区 3面 グリッド

10区 3面 ビット



2区 2号堀



2区 グリッド



7・8区 骨(馬)

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第317集

## 福島久保田遺跡 福島大光坊遺跡

主要地方道藤岡・大胡線地方特定道路整備事業  
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告

---

平成15年3月18日 印刷  
平成15年3月28日 発行

編集/発行 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団  
〒377-8555 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2  
電話 0279 (52) 2511 (代表)  
ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷/松本印刷工業株式会社

---

福島久保田遺跡 2区3面 館 全体図

